SHARP

取扱説明書

液晶カラーテレビ

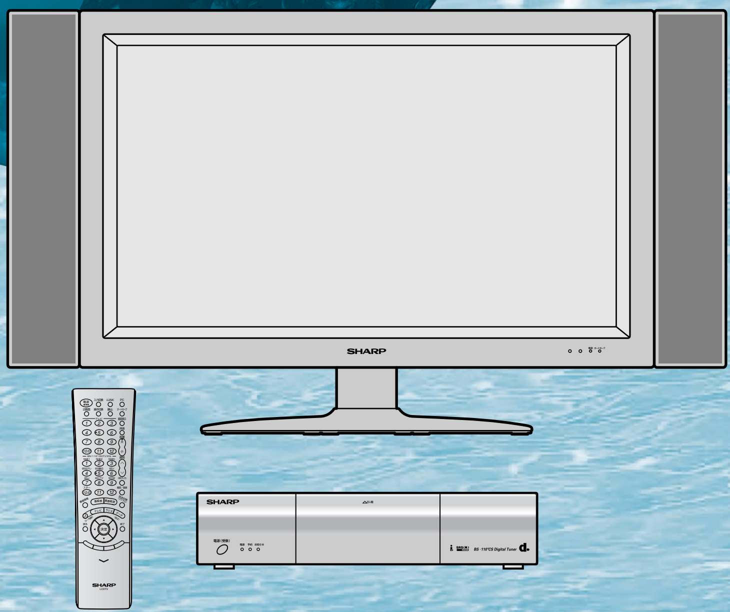
形 名

LC-37BD5

AQUOS

BS DIGITAL

110° CS DIGITAL



GR GHOST REDUCTION

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

はじめに

設置と準備

テレビを楽しむ

BS／110°CSデジタル放送を楽しむ

他の機器をつないで使う

お知らせ

Quick Start Guide in English

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（6ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

設置と準備 23

テレビを楽しむ 71

テレビを楽しむ（つづき）

BS／110°CSデジタル放送を楽しむ

次ページへつづく

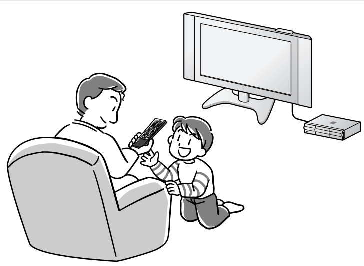
もくじ(つづき)

BS／110°CSデジタル放送を楽しむ(つづき)

他の機器をつないで使う 177

ご注意 お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
※ 本取扱説明書で「テレビ」と表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。



安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

記号は、気をつける必要があることを表しています。

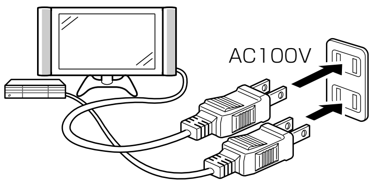
記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

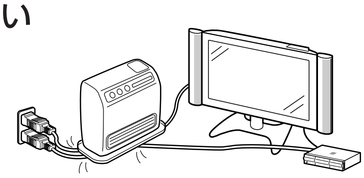
100ボルト
以外禁止



火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

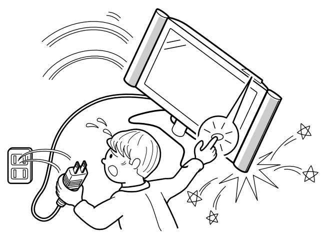
禁止



火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

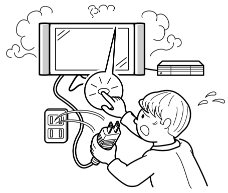
電源プラグ
を抜く



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

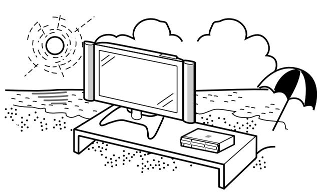
電源プラグ
を抜く



異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

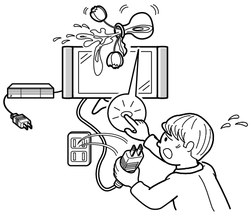


火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

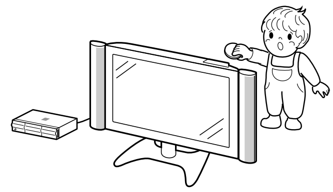
電源プラグを抜く



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

異物を入れない

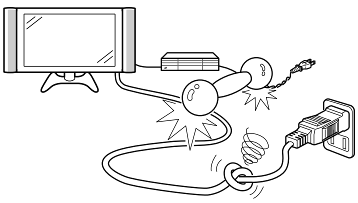
禁止



通風孔(裏ぶたのすき間)などからものを入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

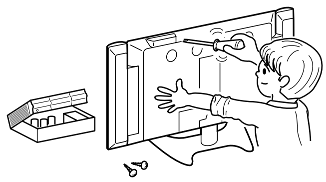
禁止



電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

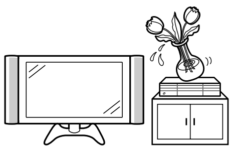
分解禁止



内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

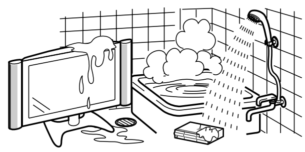
水ぬれ禁止



水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

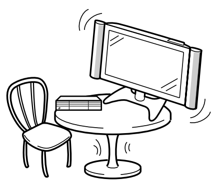
風呂、シャワー室での使用禁止



火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

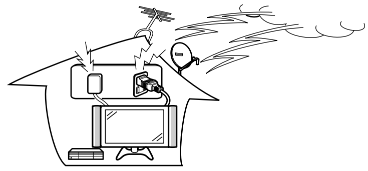
禁止



落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

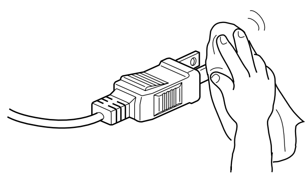
接触禁止



感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

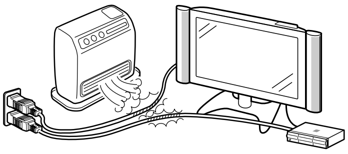
次ページへつづく

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない

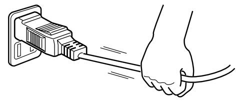
禁止



電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

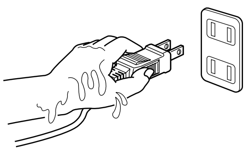
禁止



電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

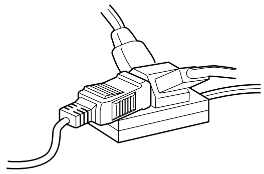
ぬれ手禁止



感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

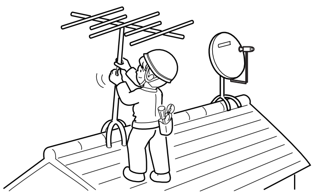
禁止



火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

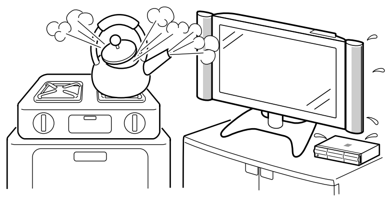
離して配置



- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS/110°CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

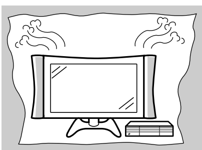
禁止

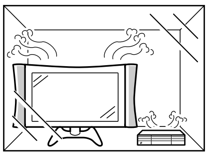


調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

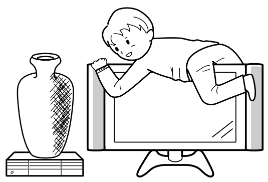




ファンの排気孔や通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

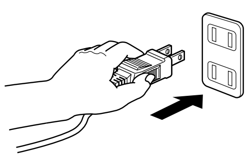
禁止



倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

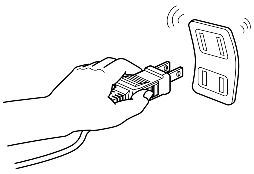


電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

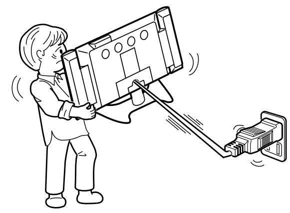
禁止



発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

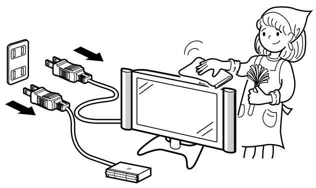
接続線をはずす



接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

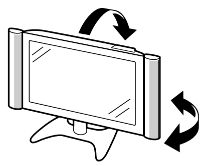
電源プラグを抜く



感電や火災の原因となることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

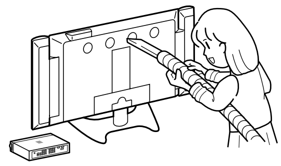
注意



手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

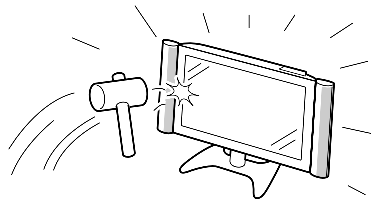
注意



内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

液晶画面に衝撃を与えない

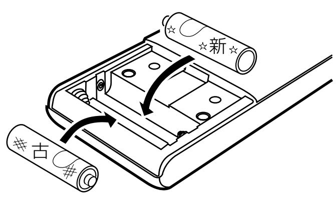
禁止



液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。

指定以外の電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

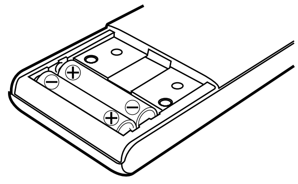
禁止



破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)の向きに注意する

表示どおりに入れる



破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

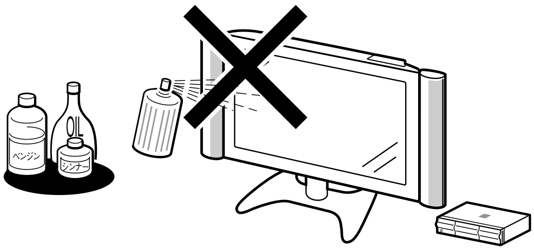
- この取扱説明書で「テレビ」と表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

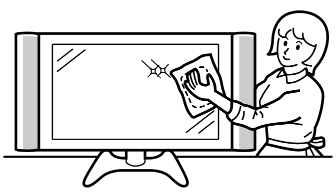
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

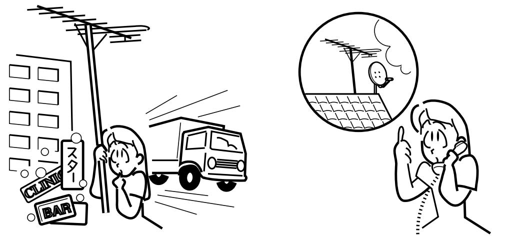
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、画面の表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 画面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- 画面の保護のため、ホコリのついた布や湿った布、または化学雑巾で拭きとらないでください。
- お手入れの際は、必ずディスプレイ部天面の主電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。



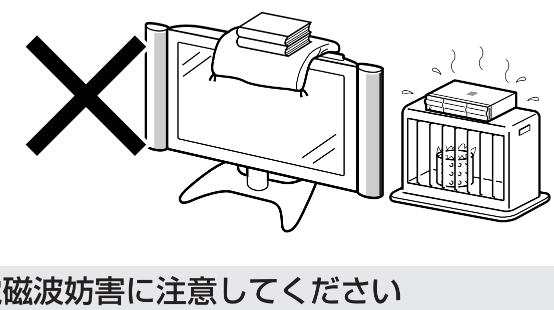
アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS／110°CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(**31**ページ参照)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。



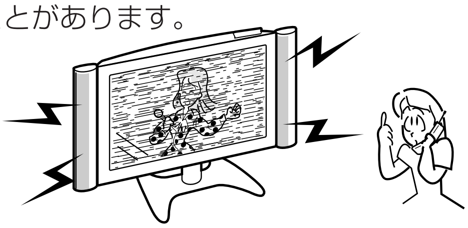
設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。



電磁波妨害に注意してください

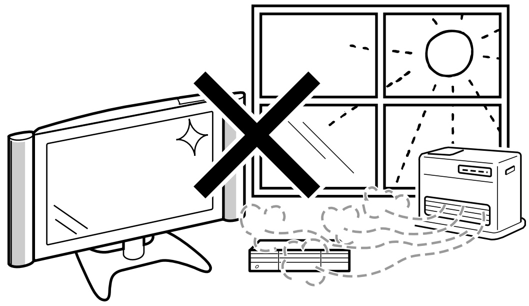
- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。



守っていただきたいこと

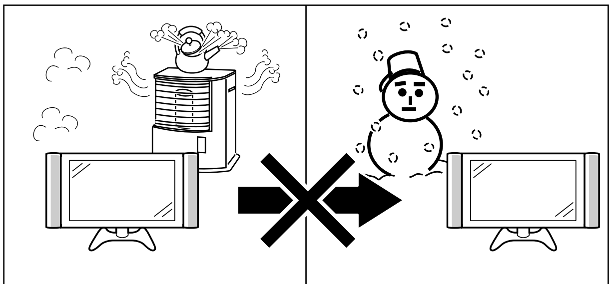
直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。



急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

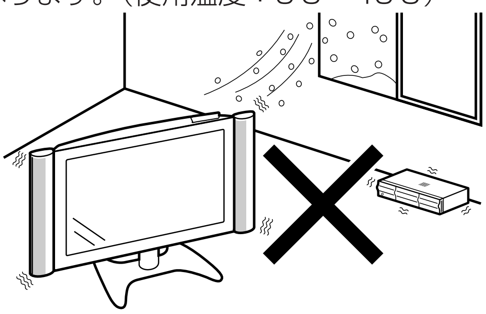
- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。



暖かい室内使用　寒冷地での室外使用

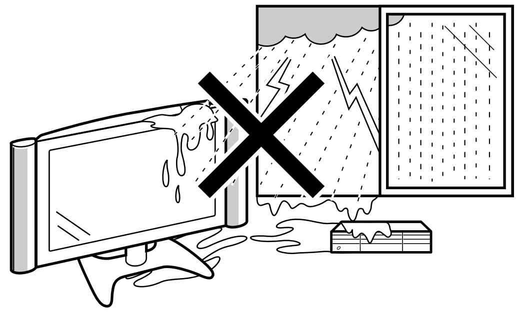
低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度：0℃～40℃)



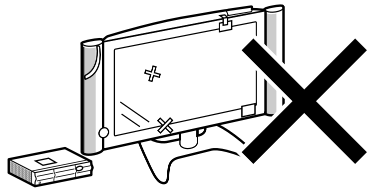
雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。



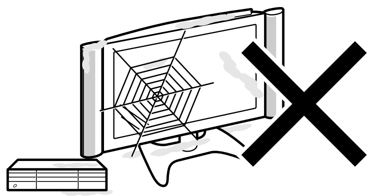
ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。



長期間ご使用にならないとき

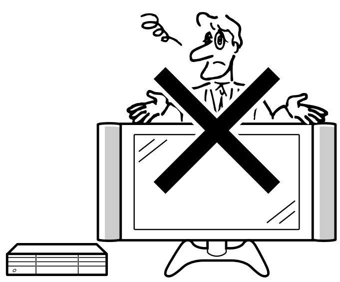
- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。



国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



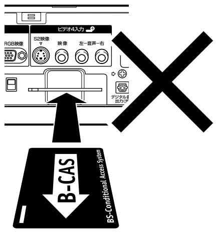
次ページへつづく

使用上のご注意（つづき）

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。



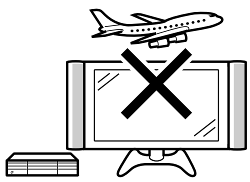
結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。



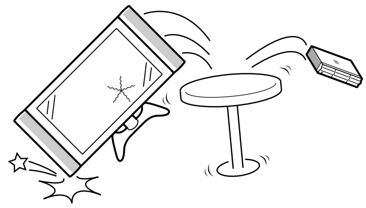
持ち運びのとき

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。



取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押さないように、また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れると危険です。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。



使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

蛍光管について

■本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
寿命の目安…約60,000時間（調光を標準[手動調整でセンター値]に設定している場合）
- 詳しくは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、ディスプレイ部天面の主電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

本機の特長

- **37型大画面液晶パネルでデジタルハイビジョン放送をリアルに再現**
- **明るい映像を実現する「ツインインバーターバックライトシステム」採用**
- **低消費電力設計、液晶パネルバックライトを自動調光する「オートセーブ機能」など、環境世紀にふさわしい、AQUOSならではの優れた環境性能**

AVポジション

- 番組やソフトの内容に合わせ、最適な映像・音声設定を選べます。

標準
ダイナミック
映画
ゲーム
AVメモリー

詳しくは ☞ **88**ページ

クイックシュート機能

- 動きの速いシーンも見やすく、くっきり再現します。

詳しくは ☞ **93**ページ

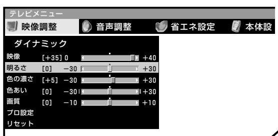
I／P設定

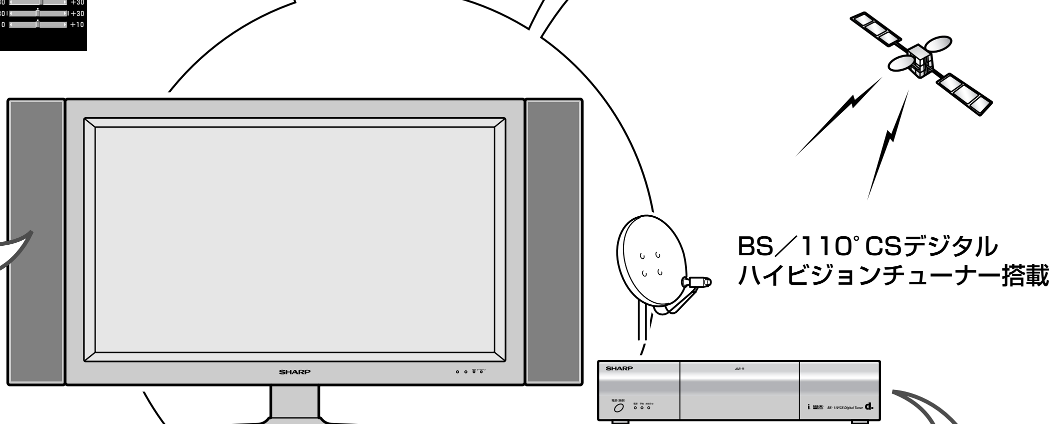
- 映像に合わせて「インターレース」または「プログレッシブ」を選べます。

詳しくは ☞ **89**ページ

高画質・高音質を十分にお楽しみいただくため、お好みに合わせ、きめ細かい映像・音声調整が可能です。
映像調整…**90**ページ
音声調整…**95**ページ

(映像調整画面例)





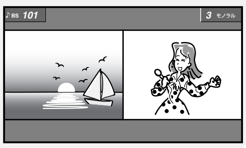
サラウンド音声

- 臨場感あふれる立体サウンドを再現します。

詳しくは ☞ **96**ページ

2画面機能

(画面例)



- 左右の画面で別々の番組が見られます。

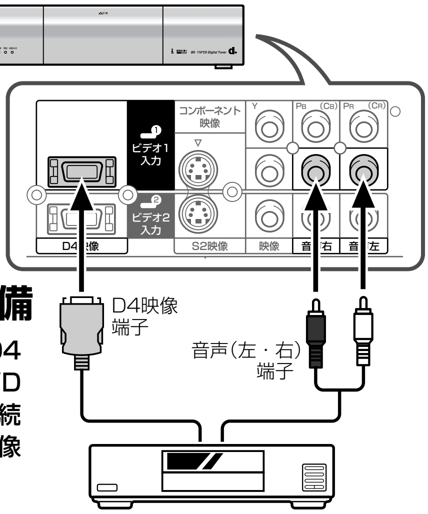
詳しくは ☞ **75**ページ

オフタイマー

- 指定時間後に自動的に電源を切る機能です。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利。



詳しくは ☞ **99**ページ

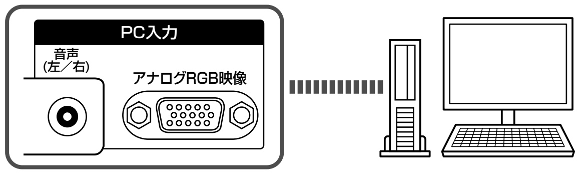


D4映像端子装備

- チューナー部後面にD4映像端子を装備。DVDプレーヤーなどを接続し、美しい高精細映像が楽しめます。

パソコン接続用端子を装備

- チューナー部前面扉内にPC接続端子を装備しています。
  お手持ちのパソコンをつないで、デジタル写真などを大画面で見ることができます。



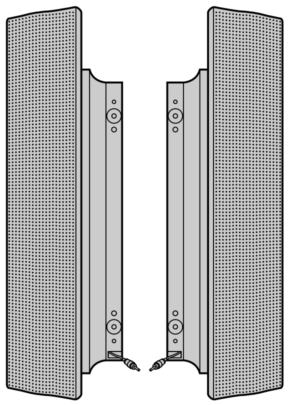
付属品

付属品をご確認ください

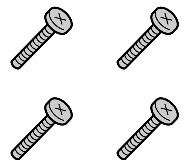
ご注意 B-CASカードは開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

スピーカー

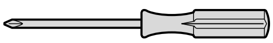
（左）　（右）



スピーカー取付けネジ×４



スピーカー取付け用ドライバー×１



（使いかた→**25**ページ）

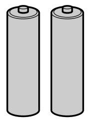
リモコン×１



（使いかた→**20**・**21**ページ）

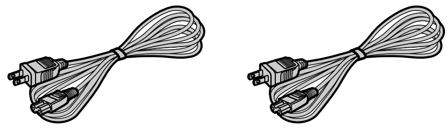
単４形乾電池×２

（取扱説明書の袋に同梱）



（使いかた→**21**ページ）

電源コード×２

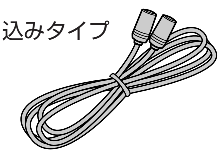


（使いかた→**28**ページ）

アンテナケーブル

（VHF／UHF用×１）

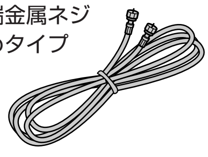
差し込みタイプ



（使いかた→**30**ページ）

（BS／110°CS用×１）

先端金属ネジ止めタイプ



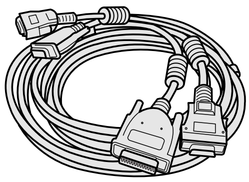
（使いかた→**31**ページ）

B-CASカード×１（注意書付き）



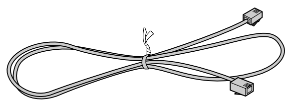
（使いかた→**57**ページ）

システムケーブル（3m）×１



（使いかた→**28**ページ）

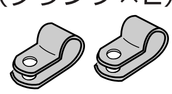
電話線×１



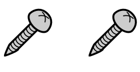
（使いかた→**54**ページ）

転倒防止用部品一式

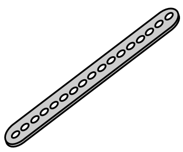
（クランプ×2）



（クランプ取付けネジ×2）



（固定バンド×１）

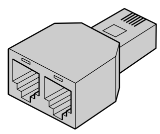


（固定バンド取付けネジ×１）



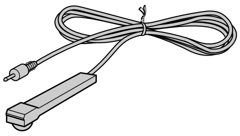
（使いかた→**26**ページ）

モジュラー分配器×１



（使いかた→**54**ページ）

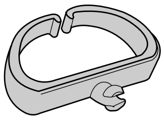
ビデオコントローラー×１



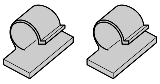
（使いかた→**184**ページ）

ケーブルクランプ

（大×１）

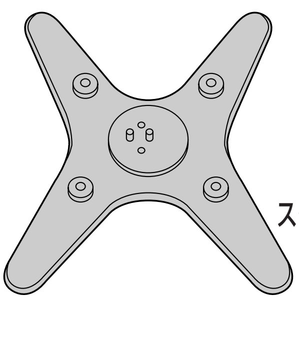


（小×２）

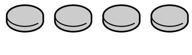


（使いかた→**29**ページ）

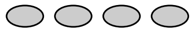
縦置き用スタンド×１



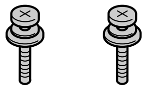
スタンド脚×４



シート×４

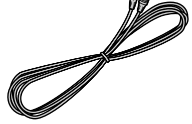


スタンド取付けネジ×２



（使いかた→**27**ページ）

DC電源ケーブル×１

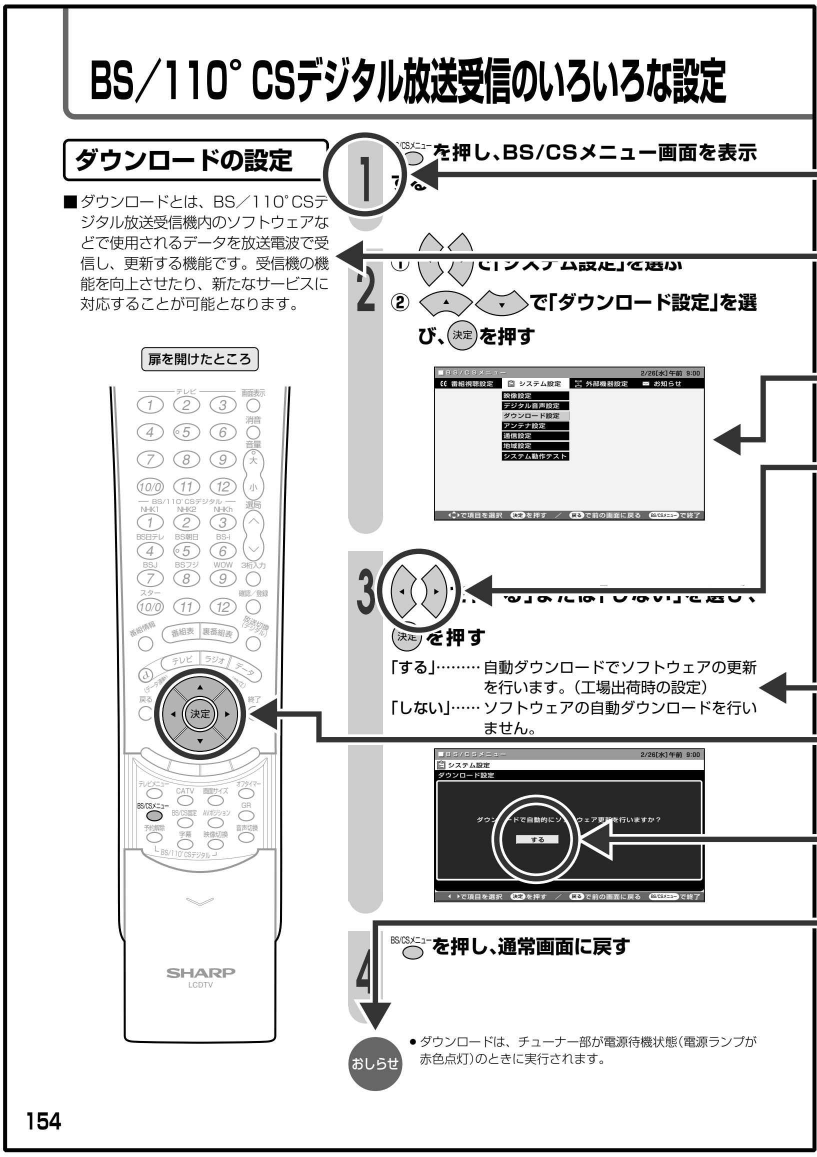


（使いかた→**19**ページ）

- 取扱説明書×１
- アンケートカード×１
- 保証書×１

この取扱説明書の見かた

おしらせ 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。（ディスプレイ部やチューナー部の操作ボタンを使う場合の説明は、「ディスプレイ部天面の○○ボタンを押す」などの表現にしてあります。）



- 番号順に操作してください。
- 機能の概要説明などです。
- テレビ画面に現われる表示です。※
- 操作するボタンです。左のイラストのボタンに対応しています。
- 操作の結果や補足的な説明です。
- 操作するときに使うリモコンのボタンです。※
- 選択･入力する項目や欄です。
- 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

ご注意	正しくお使いいただくためのご注意です。
おしらせ	もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。
ヒント	知っていると便利な情報です。

こんなときは ▶▶▶

お手入れをするときは ☞ 10ページ

故障かな？と思ったら ☞ 218 ページ

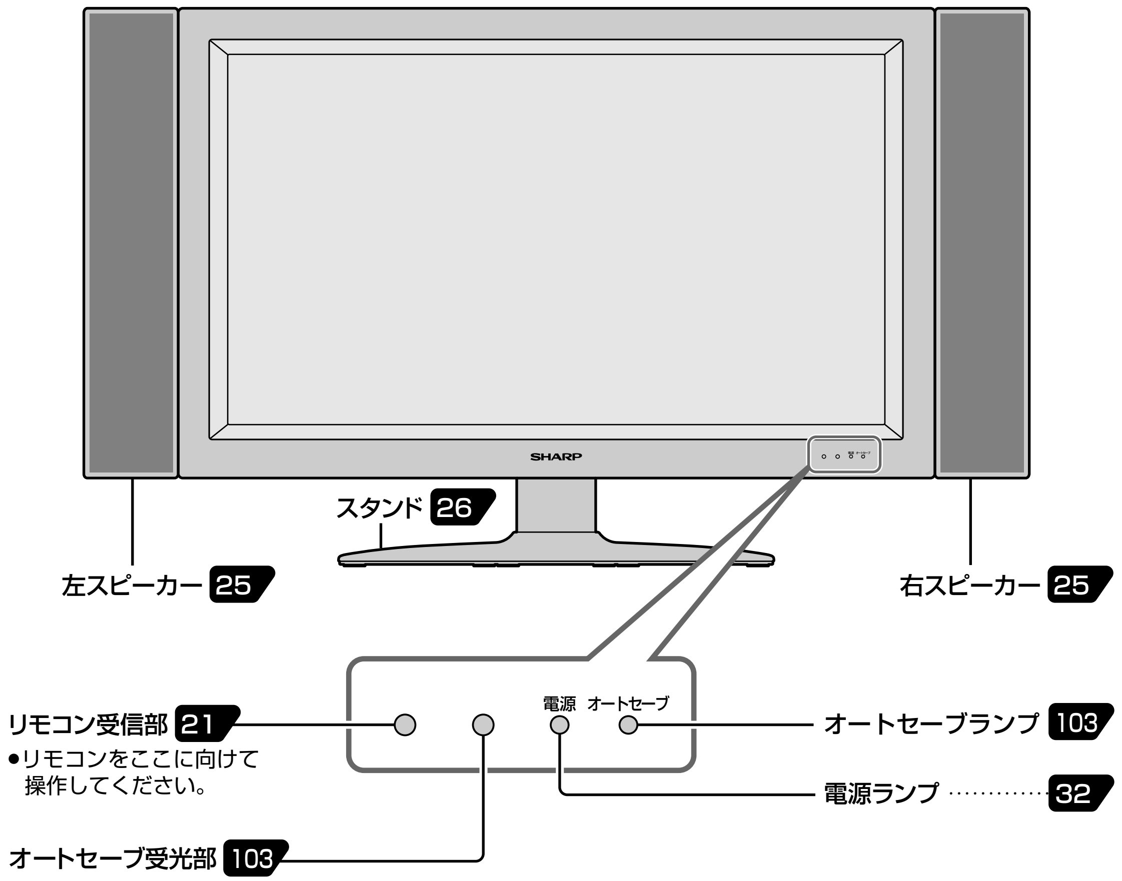
分からない用語があるときは ☞ 228 ページ

各部のなまえ

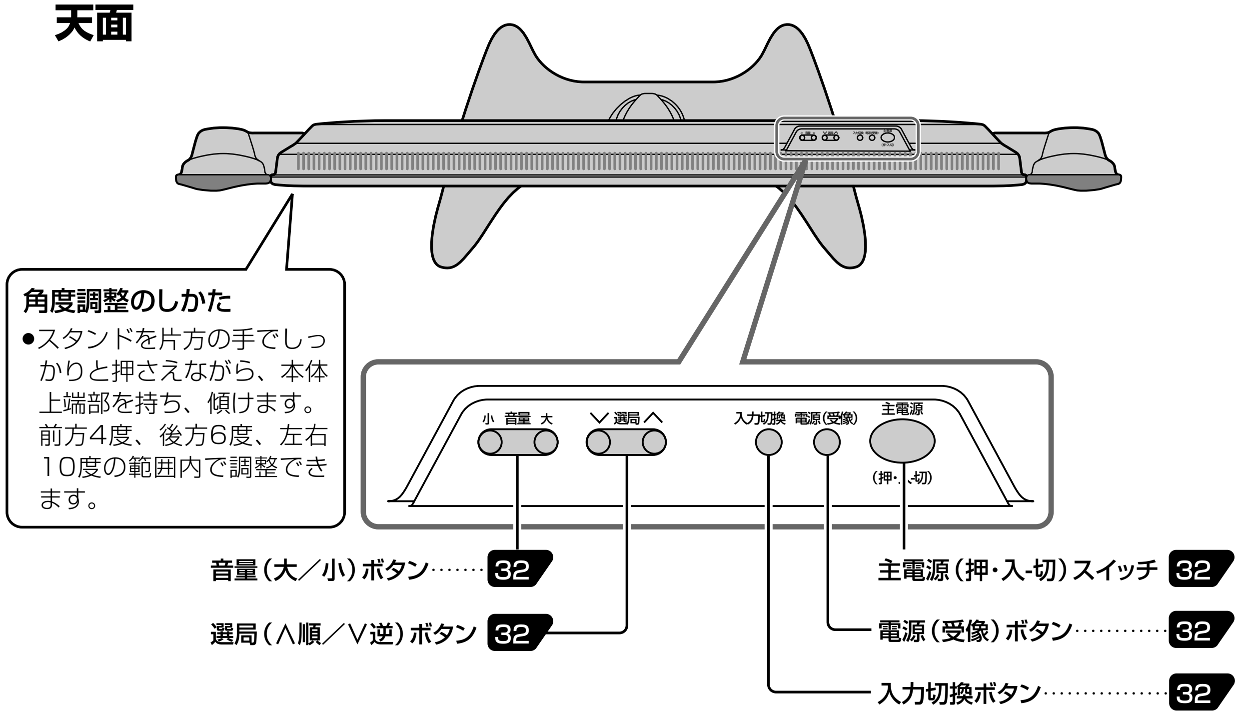
内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

ディスプレイ部

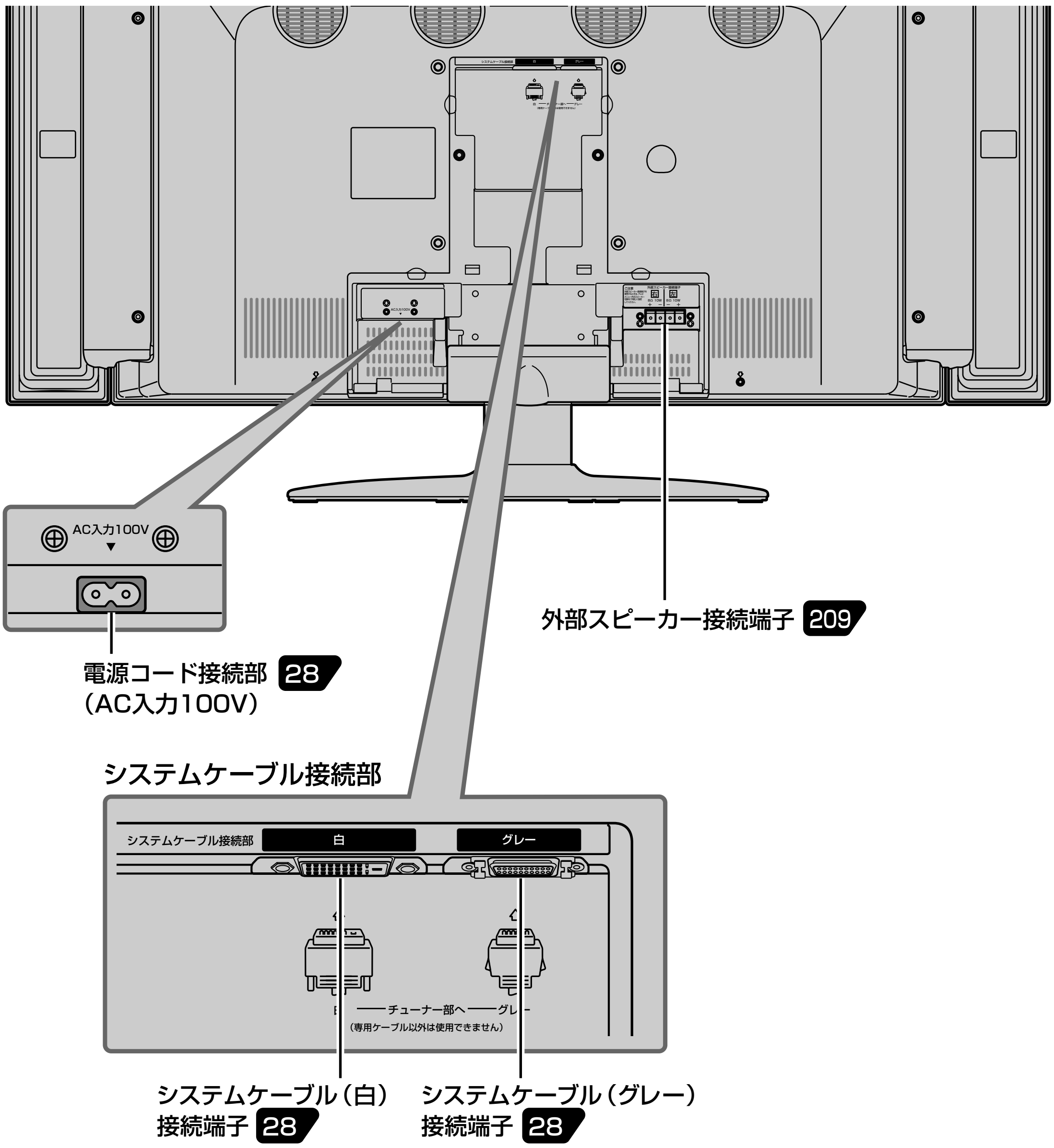
前面



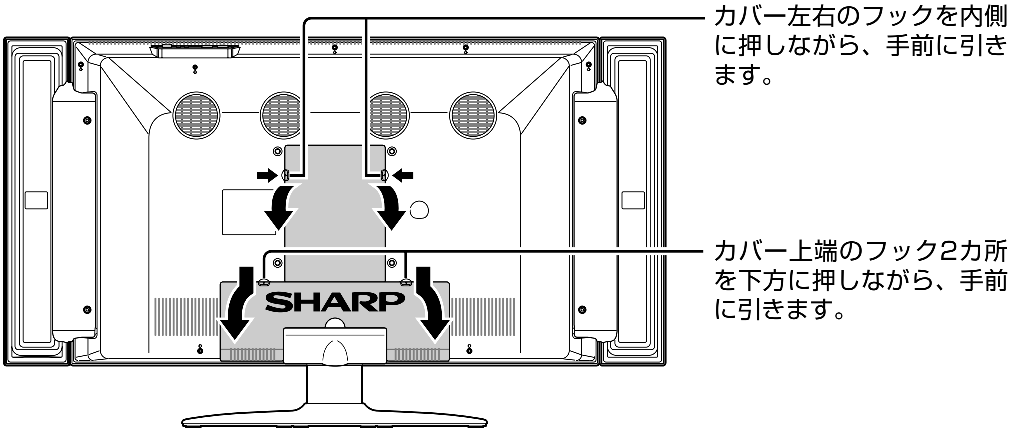
天面



後面



端子カバーの外しかた

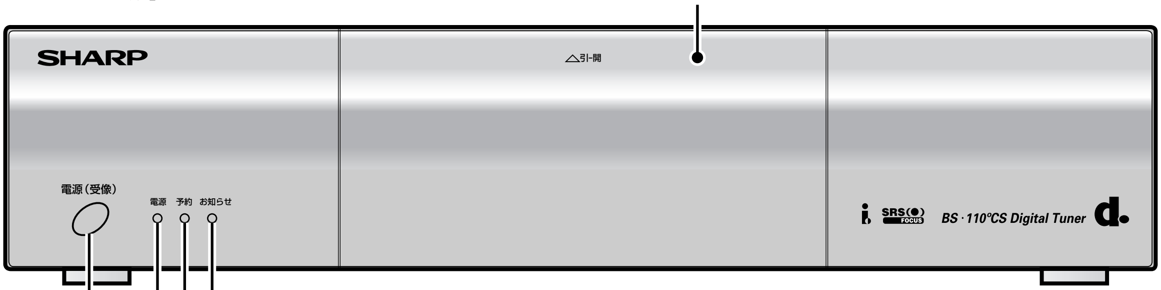


各部のなまえ(つづき)

チューナー部

前面（扉を閉じたところ）

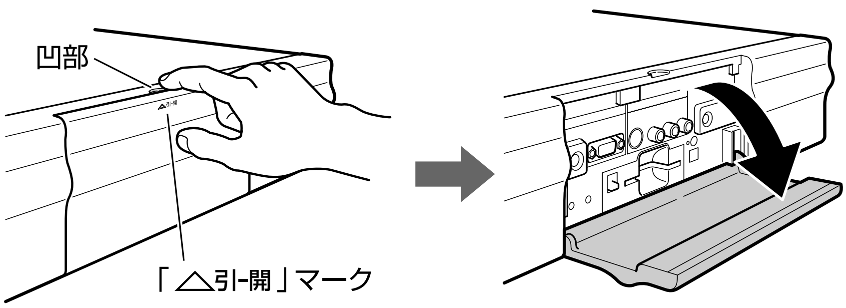
前面扉



お知らせランプ 170
予約ランプ……… 135
電源ランプ……… 32
電源（受像）ボタン 32

前面扉の開けかた

- 「△引-開」マークの上にある凹部に指先をかけ、手前に引きます。

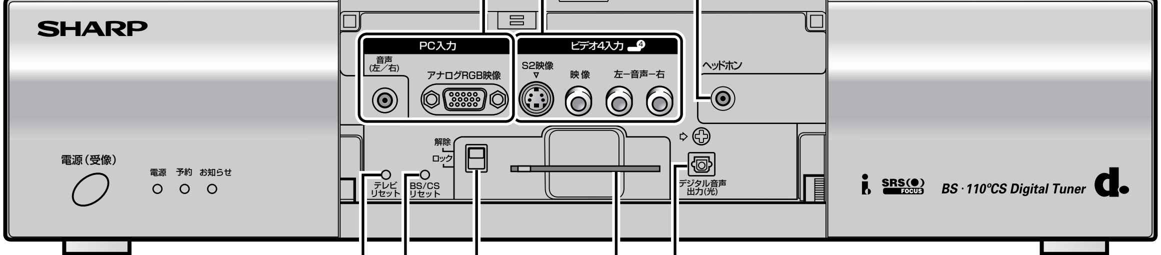


PC入力 211
アナログRGB映像端子
音声（左／右）端子

ビデオ4入力 178
S2映像端子
映像・音声端子

前面（扉を開けたところ）

ヘッドホン端子 178



テレビリセットボタン‥ 217
BS/CSリセットボタン 217
デジタル音声出力（光）端子……………………… 206
B-CASカード挿入口…………………………… 57
B-CASカードロックスイッチ（解除／ロック） 57

後面

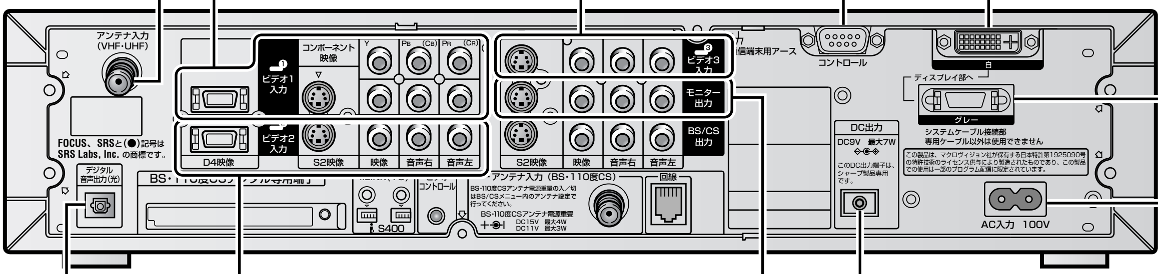
アンテナ入力（VHF・UHF）端子 30

ビデオ1入力 178
- D4映像端子
- コンポーネント映像端子
- S2映像端子
- 映像・音声端子

ビデオ3入力 178
- S2映像端子
- 映像・音声端子

コントロール端子 214

システムケーブル（白）接続端子 28



システムケーブル（グレー）接続端子 28

電源コード接続部（AC入力100V） 28

ビデオ2入力 178
- D4映像端子
- S2映像端子
- 映像・音声端子

DC出力端子
- DC9Vを出力します。付属のDC電源ケーブルを用い、AVデジタルワイヤレス伝送システム（別売）をつなぐことができます。（2002年11月現在）

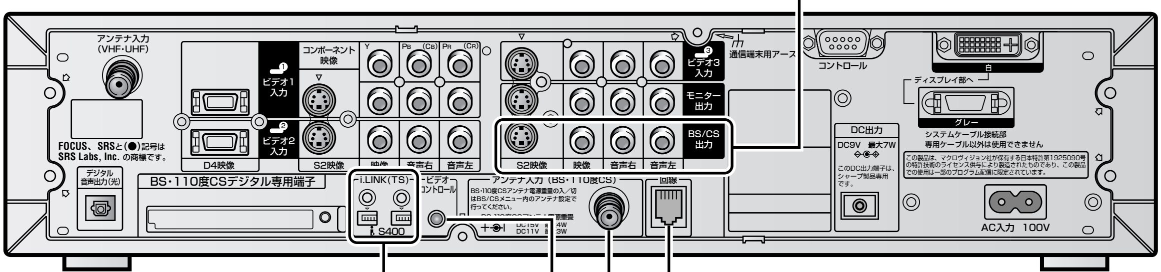
※シャープ指定のオプション機器でのみご利用ください。

デジタル音声出力（光）端子 206

モニター出力 178
- S2映像端子
- 映像・音声端子

後面（BS・110度CSデジタル専用端子部）

BS/CS出力 182
- S2映像端子
- 映像・音声端子



i.LINK（TS）端子 195

電話回線端子……………………………… 54

アンテナ入力（BS・110度CS）端子 31

ビデオコントロール端子……………… 184

各部のなまえ（つづき）

リモコン

▼扉を閉じたところ

電源……………………………… 32
電源を入／切（待機状態）します。

2画面……………………………… 75
2画面表示にします。

操作切換………………………… 76
2画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

テレビチャンネル…………… 33
- 地上放送やCATV放送を選局します。
- チャンネル設定の入力にも使用します。

BS／110°CSチャンネル 112
- BS／110°CSデジタル放送を選局します。
- 各種設定の数字入力にも使用します。

番組表…………………………… 118
BS／110°CSデジタル放送の電子番組表（EPG）の表示を入／切します。

番組情報………………………… 122
視聴中のBS／110°CSデジタル番組の詳細な情報を表示します。

裏番組表………………………… 123
BS／110°CSデジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。

***d*（データ連動）**………… 114
BS／110°CSデジタル放送のテレビ番組やラジオ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

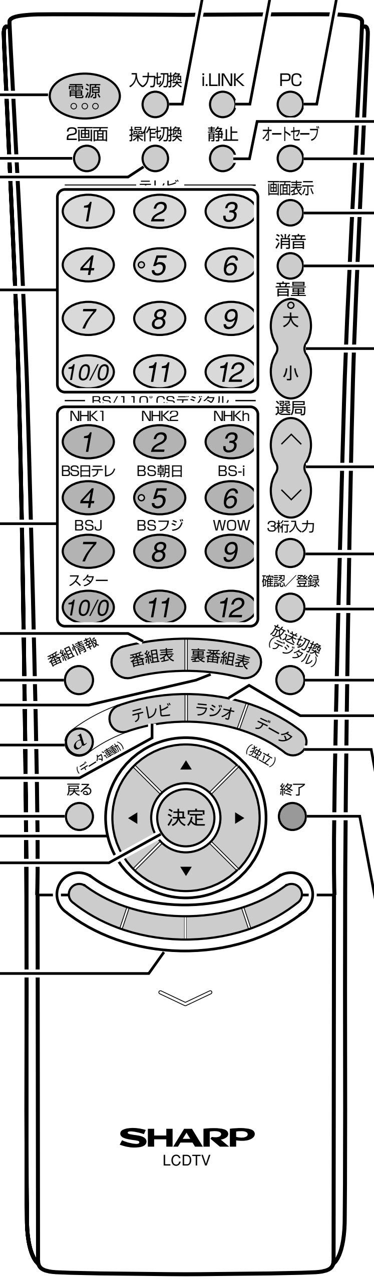
テレビ…………………………… 111
BS／110°CSデジタル放送のテレビ番組を選びます。

戻る……………………… 50・70
１つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。

カーソル（上下左右）… 50・118
メニューや項目を選びます。

決定……………………… 50・118
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

カラーボタン………………… 118
（青／赤／緑／黄）
BS／110°CSデジタル放送の電子番組表（EPG）やデータ番組の操作に使います。



入力切換………………………… 180
入力を切り換えます。

i.LINK…………………………… 202
i.LINK入力を選びます。i.LINK操作パネルの表示を入／切します。

PC………………………………… 80
PC入力を選びます。
（PC［パソコン］画面が表示されます。）

静止……………………………… 77
視聴中の番組を2画面にして、静止画と動画で表示します。

オートセーブ………………… 103
周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動調整します。

画面表示………………………… 33
画面表示（チャンネルサイン）を入／切します。

消音……………………………… 33
音を一時的に消します。

音量（大／小）……………… 33
音量を調整します。

選局（∧順／∨逆）………… 33
各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

3桁入力………………………… 113
チャンネル番号を入力してBS／110°CSデジタル放送を選局するときに使います。

確認／登録…………… 116・144
BS／110°CSチャンネルボタンに設定されているBS／110°CSチャンネルの確認／登録画面を表示します。

放送切換（デジタル）……… 111
ネットワーク（BS、CS1、CS2）の切換えをします。

ラジオ…………………………… 111
BS／110°CSデジタル放送のラジオ番組を選びます。

データ（独立）……………… 111
BS／110°CSデジタル放送の独立データ番組を選びます。

終了……………………… 50・118
2画面、静止画面、電子番組表やメニュー操作などを終了します。

ヒント メニューや電子番組表の操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。

▼扉を開けたところ

テレビメニュー…………… 50
テレビ／PCメニュー画面の表示を入／切します。

BS／110°CSデジタル用

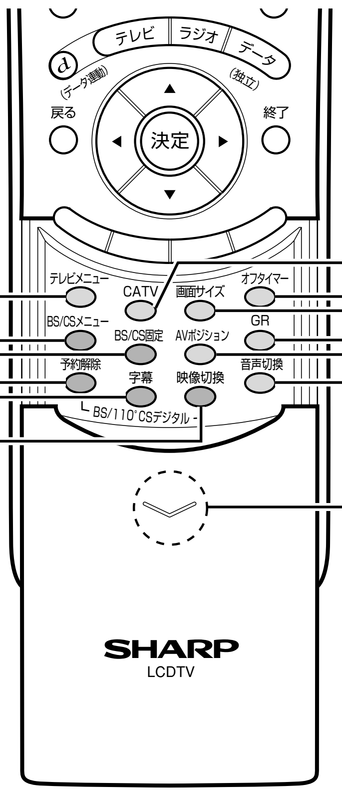
BS/CSメニュー………… 70
BS/CSメニュー画面の表示を入／切します。

BS/CS固定……………… 183
現在選んでいるBS／110°CSチャンネルに固定されます。BS／110°CSデジタル番組を録画しながら、地上放送やCATV放送を見たいときなどに便利です。

予約解除…………………… 137
実行中の予約録画を取り消します。
※録画のための動作（2分前より）が開始していない予約の解除はできません。

字幕………………………… 146
BS／110°CSデジタル放送の字幕表示を切り換えます。

映像切換…………………… 115
BS／110°CSデジタル放送の主・副映像を選びます。



CATV……………………… 33
CATV放送のチャンネル番号を入力して選局するときに使います。

オフタイマー……………… 99
電源を指定時間後に切ります。

画面サイズ…………… 73・74
お好みの画面サイズを選びます。

GR………………………… 97
GR（ゴースト軽減）機能の入／切をします。

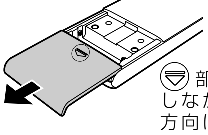
AVポジション…………… 88
お好みのAVポジションを選びます。

音声切換……………… 94・115
音声モードを切り換えます。

扉の開けかた
- この部分を軽く押しながら、手前にスライドさせます。

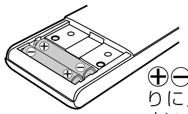
乾電池の入れかた

1 カバーを開ける



㊀部分を軽く押しながら、矢印方向にスライドさせます。

2 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを閉める



⊕⊖の表示どおりに入れてください。

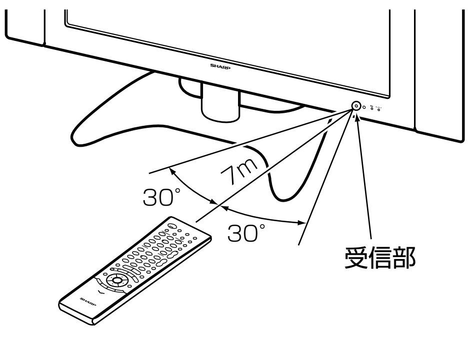
リモコン使用上のご注意
- リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- リモコン受信部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
  照明の向きを変えるなどしてみてください。

乾電池使用上のご注意
注意

乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂することがありますので、つぎのことをお守りください。
- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解したりしない。
- ⊕極と⊖極を正しく入れる。
- ショートさせない。

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、ディスプレイ前面右下の受信部に向けて操作してください。操作できる範囲は受信部から7m、上下左右に30度以内です。



リモコンで動作しにくいとき
- リモコンとディスプレイの受信部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。

おしらせ
- 付属の乾電池は保存状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し、電池の向きを確かめて、入れなおしてください。

お使いになる前の準備

① リモコンに乾電池を入れる ☞21ページ

↓

② チューナー部とディスプレイ部を接続する ☞28ページ

↓

③ アンテナ線、電話線をつなぐ ☞30・54ページ

⚠注意
アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

↓

④ ビデオやオーディオ等、周辺機器をつなぐ ☞177ページ

⚠注意
接続する周辺機器の取扱説明書を併せてご覧になり、正しくつないでください。

↓

⑤ 電源コードをつなぎ、電源プラグをコンセントに差し込む ☞28ページ

⚠警告
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意
旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

↓

⑥ テレビのチャンネルを設定する ☞34ページ

↓

⑦ BS／110°CSデジタル放送を視聴するための準備をする ☞53ページ

設置と準備

● この章では、本機の設置から、アンテナや電話回線の接続、電源の入れかた、テレビチャンネルの設定、他の必要な設定まで、テレビ放送とBS／110°CSデジタル放送のチャンネルが見られるようにするための手順を説明しています。

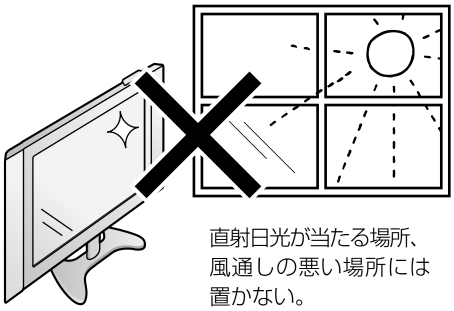


設置のしかた

設置の手順

1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらない、風通しの良い場所を選んでください。
- ディスプレイ部とチューナー部を結ぶシステムケーブルの長さは、約3メートルです。



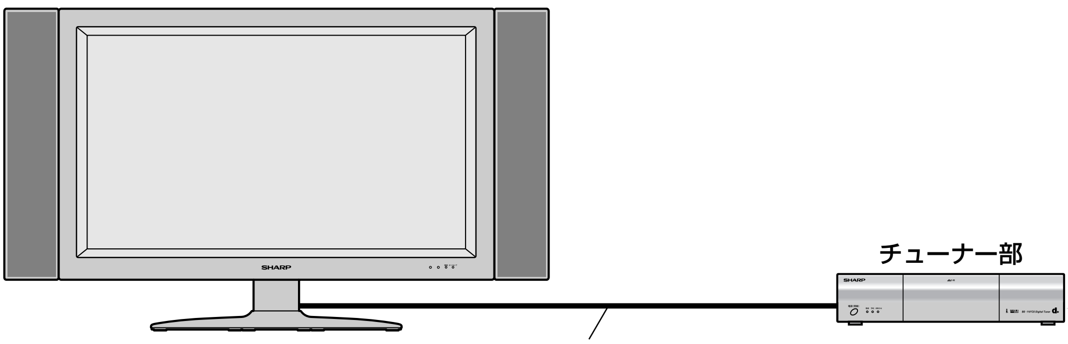
直射日光が当たる場所、風通しの悪い場所には置かない。

2 製品を配置する

●ディスプレイ部を設置する

ご注意
- ディスプレイ部は重いので、移動するときは、必ず2人以上で行ってください。
- ディスプレイ部のスタンドは、壁掛け金具などのオプションを利用する場合以外は外さないでください。
- 設置後、移動するときは、スピーカーを持たずにディスプレイ部を持ってください。

●チューナー部を設置する

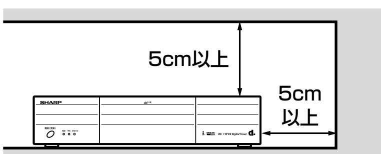


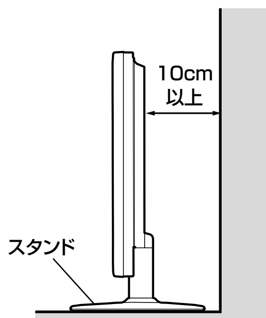
（つなぎかた→**28**ページ）

※ディスプレイ部とチューナー部をさらに離して設置する場合は、別売のシステムケーブルAN-07SC1（約7メートル）をお買い求めください。

右側面に排気用ファンがあります。

ご注意
- チューナー部の上には、ビデオデッキ等を乗せないでください。
- ディスプレイ部の背面部・天面部、チューナー部の天面部・側面部は、十分なスペースをとって設置してください。
- チューナー部の通風孔および側面ファンの排気孔はふさがないでください。
- チューナー部の下に厚手の布を敷いたり、チューナー部に布をかけたりしないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。





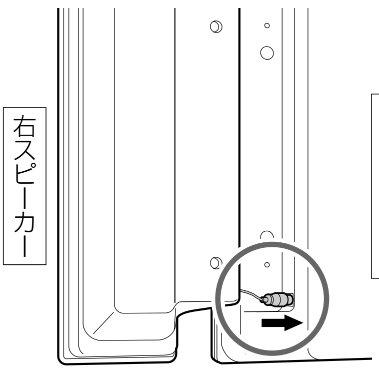
3 スピーカーを取り付ける

- 本機のスピーカーは取付け・取外しができるセパレートタイプです。
- スピーカーの取付け・取外しの際は、本体の電源を切ってください。
- スピーカーの取付け・取外しの際は、必ず2人以上で作業を行ってください。

1 ディスプレイ部のスピーカー端子に、スピーカープラグを差し込む

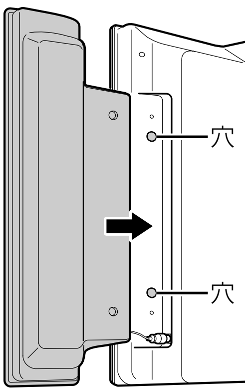
- 奥まで完全に差し込んでください。

〈例〉右スピーカーの取付け

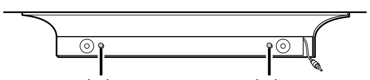


2 スピーカーをディスプレイ部のへこみの形状に合わせてゆっくりとはめ込む

- スピーカーの接続面にある突起2カ所がディスプレイ部接続面の穴に入るようにしてください。

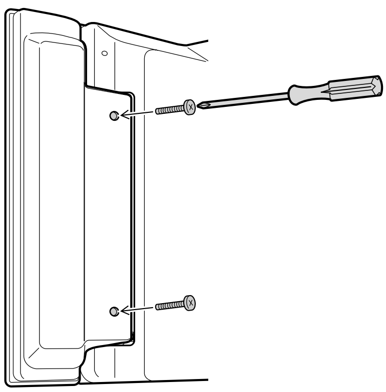


スピーカー接続面の突起



3 付属の取付けネジでスピーカーを固定する

- 付属のドライバーを使います。



- 左スピーカーも同じ要領で取り付けます。

ご注意

- ディスプレイ部の専用スピーカー端子は付属スピーカー専用ですので、他機のプラグなど付属のスピーカー以外は接続しないでください。
- スピーカー部を持って持ち上げたり、運んだりしないでください。

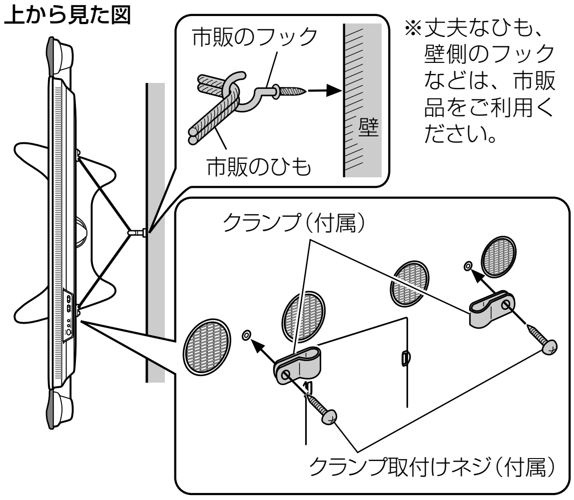
おしらせ

- 左右のスピーカーとも、同じ手順で行ってください。
- スピーカーを取り外すときは、逆の手順を行ってください。
- お手持ちのスピーカーを本機(ディスプレイ部)に接続することもできます。(**209**ページ参照)

設置のしかた（つづき）

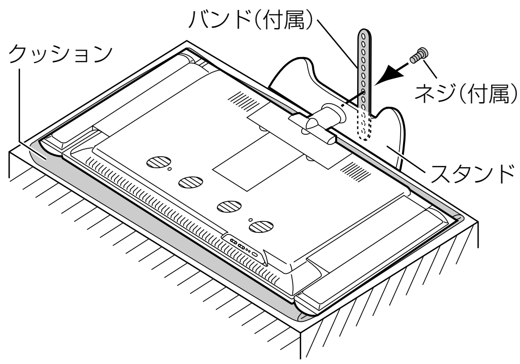
4 転倒防止策を実施する

1. 付属の転倒防止用のクランプを取り付けます。
2. 市販の丈夫なヒモと金具を使い、壁または柱に固定します。
3. 反対側も同様に固定します。

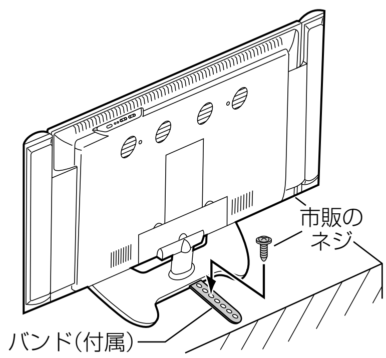


スタンドを台や床の上に固定するとき

1. 作業する台の上に厚手の柔かい布などを敷き、その上にディスプレイ部を、画面を下にしてうつ伏せに置きます。
2. スタンド底面に、付属のバンドを付属のネジで取り付けます。



3. ディスプレイ部を起こし、固定する台や床の上に置き、位置決めをします。
4. 市販の木ネジなどを使い、金具を台や床に固定します。



ご注意

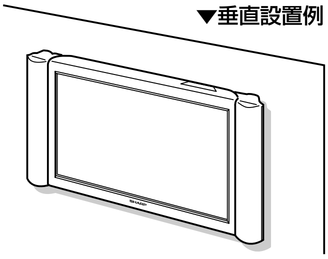
- ディスプレイ部はかなりの重量がありますので、台に設置する場合は、この重量に耐え得る堅固なもので、かつ十分な幅と奥行きのある、転倒しにくいものを使用してください。

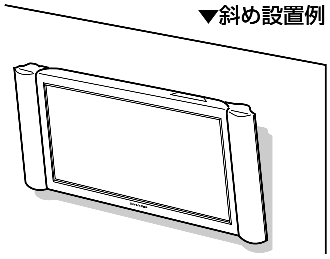
別売品を使ってディスプレイ部を設置する場合

■本機のディスプレイ部を別売の壁掛け金具(AN-37AG1)に取り付けて設置することもできます。
■取付け方法など詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

壁にかけて使う場合〈壁掛け金具(AN-37AG1)〉(詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。)

ご注意 液晶カラーテレビの設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。



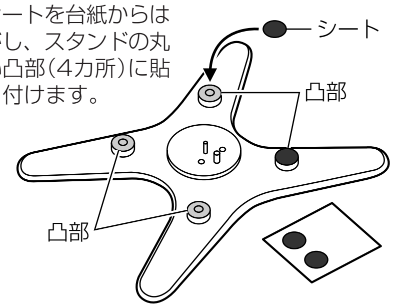


縦置き用スタンドを使ってチューナー部を設置する場合

■付属の縦置き用スタンドを使い、チューナー部を縦置き設置することができます。

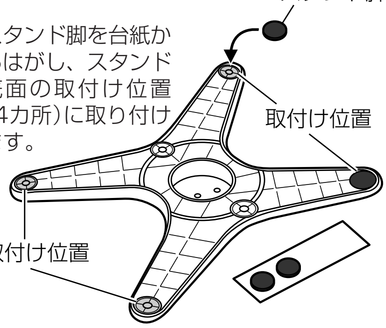
1 縦置き用スタンドにシートを貼り付ける

シートを台紙からはがし、スタンドの丸い凸部(4カ所)に貼り付けます。



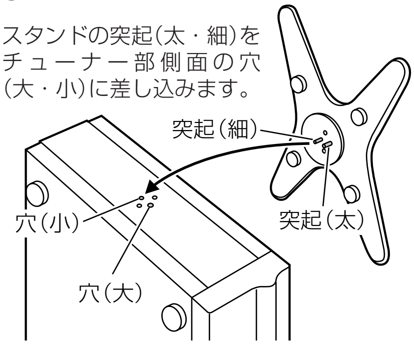
2 縦置き用スタンドにスタンド脚を取り付ける

スタンド脚を台紙からはがし、スタンド底面の取付け位置(4カ所)に取り付けます。

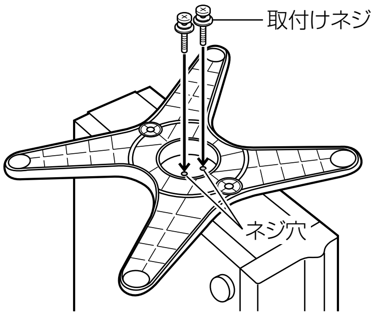


3 縦置き用スタンドをチューナー部側面にはめる

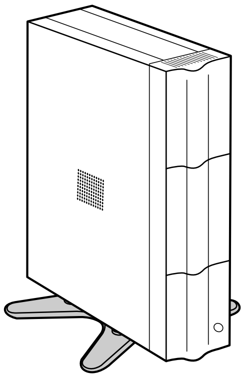
スタンドの突起(太・細)をチューナー部側面の穴(大・小)に差し込みます。



4 縦置き用スタンドをスタンド取付けネジで取り付ける



縦置き用スタンドで設置したところ



ご注意
- チューナー部を縦置き設置する場合は、必ず付属のスタンドをご使用ください。床の上などにじかに縦置きすると、通風孔がふさがれ、故障の原因となります。

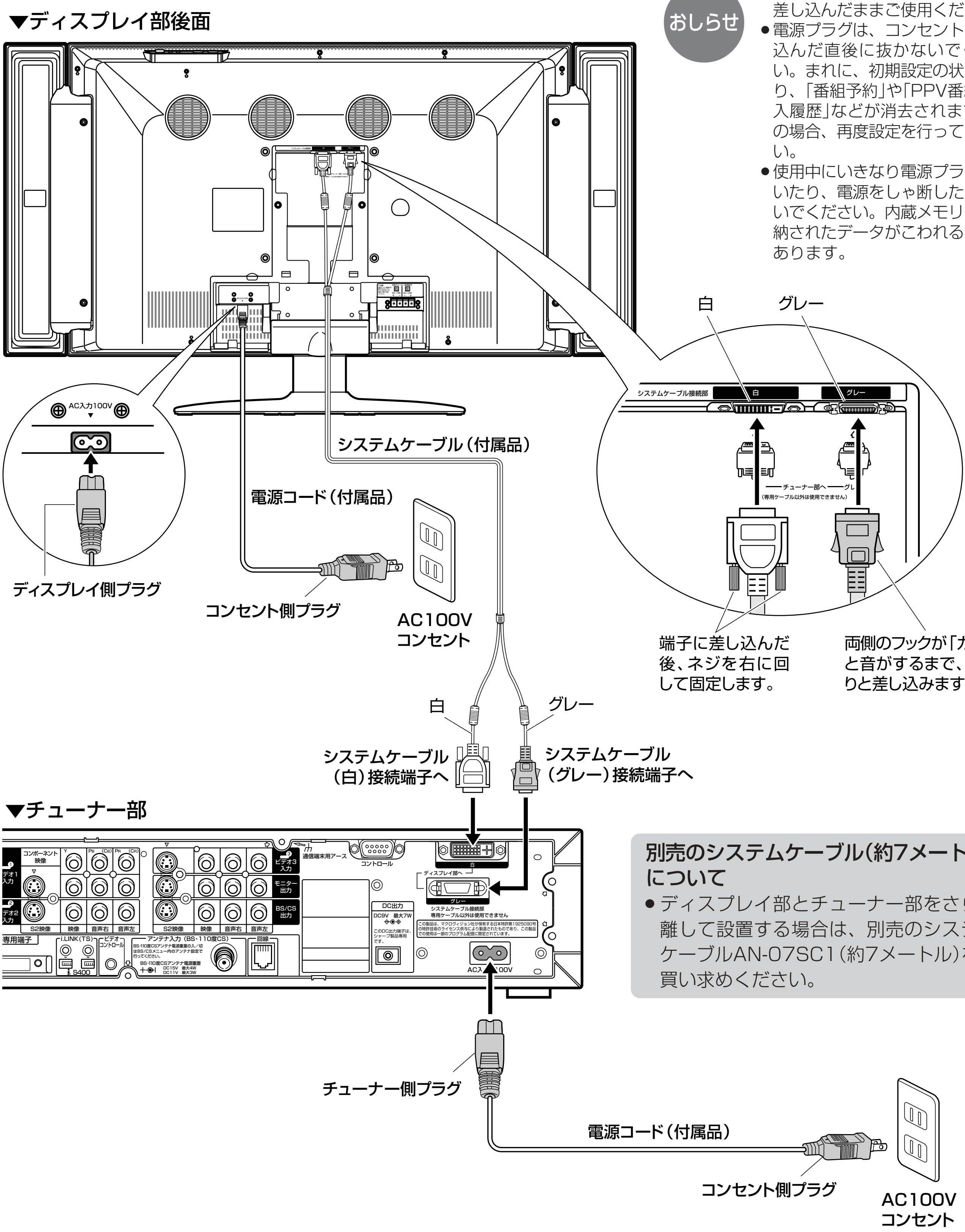
システムの接続のしかた

システムケーブルと電源コードを接続する

ご注意 接続が終了するまでは、電源を入れないでください。

おしらせ

- 通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。この場合、再度設定を行ってください。
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。



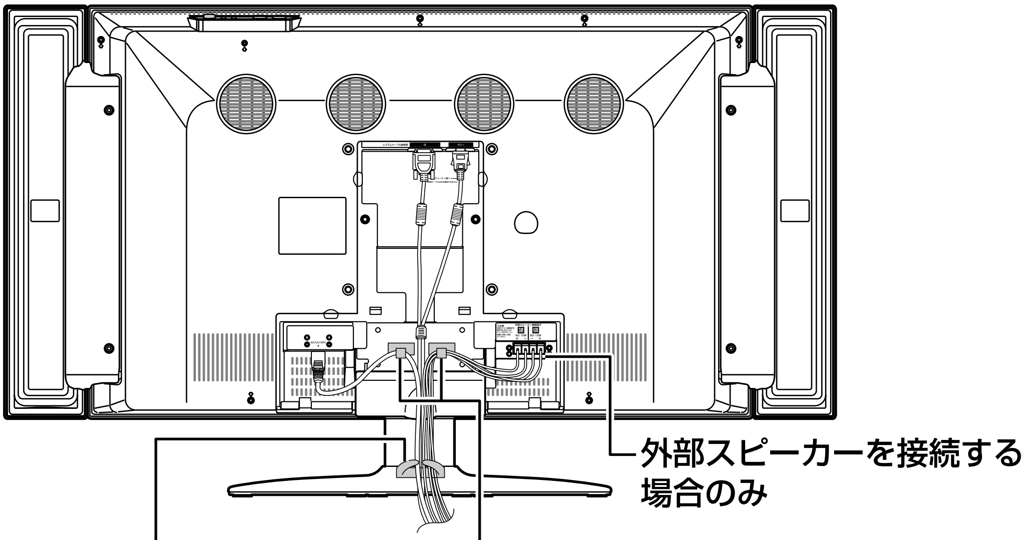
別売のシステムケーブル（約7メートル）について

- ディスプレイ部とチューナー部をさらに離して設置する場合は、別売のシステムケーブルAN-07SC1（約7メートル）をお買い求めください。

ケーブル処理のしかた

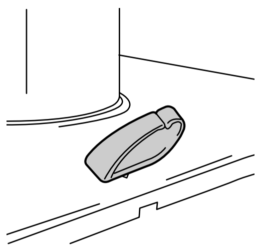
■ ディスプレイ部後面の端子に接続した電源コードやシステムケーブルなどのケーブルは、付属のケーブルクランプを使うと、下図のようにすっきりとまとめることができます。

▼ディスプレイ部後面



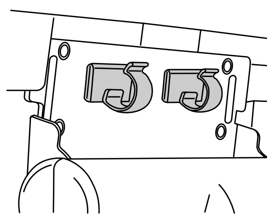
ケーブルクランプ(大)

スタンドの穴に挿入して、取り付けます。

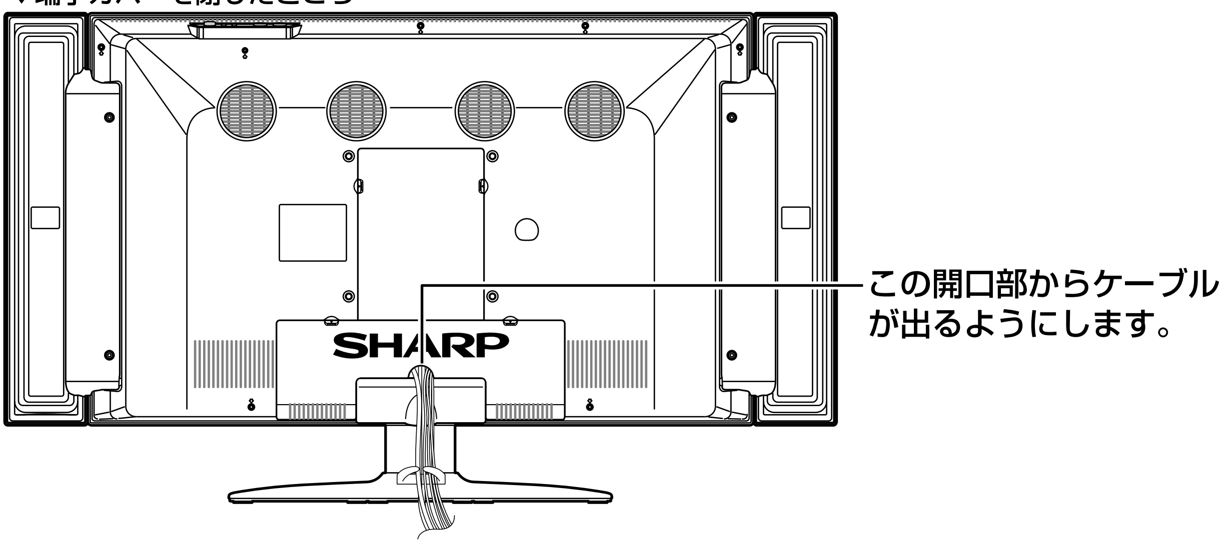


ケーブルクランプ(小)

裏面のシールシートをはがして、貼り付けます。



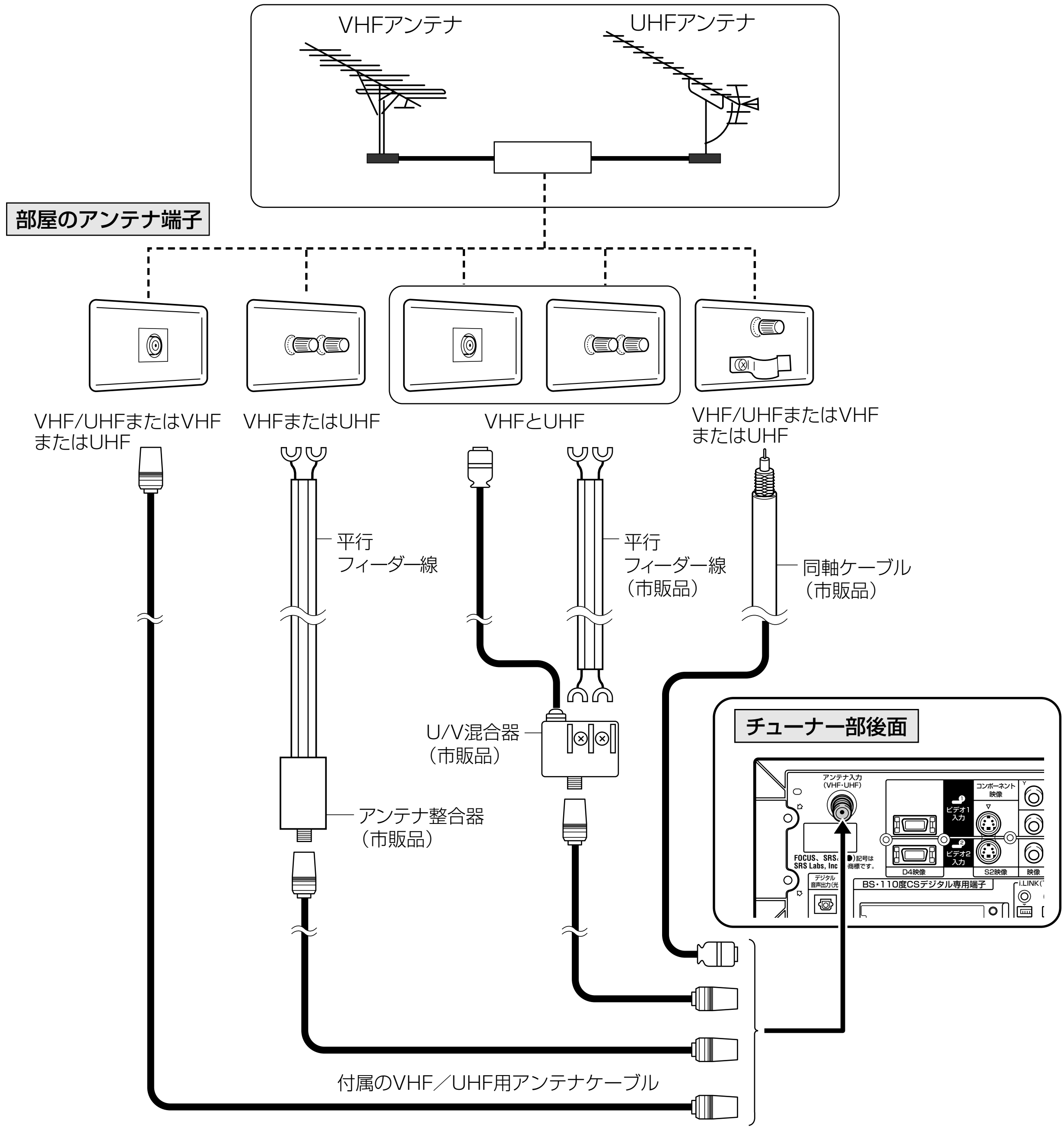
▼端子カバーを閉じたところ



アンテナの接続のしかた

VHF／UHFアンテナの接続

■付属のVHF／UHF用アンテナケーブル（差し込みタイプの方）、市販のアンテナ整合器等を、部屋のアンテナ端子の種類や使用するアンテナ線に応じて接続し、チューナー部後面のアンテナ入力（VHF・UHF）端子に接続してください。



おしらせ
- VHF／UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナ入力（VHF・UHF）端子への接続には、付属の2本のアンテナケーブルのうち、先端プラグが差し込みタイプの方（形状：　）をお使いください。

BS／110° CS共用アンテナの接続

■BS／110° CSデジタル放送受信用のアンテナおよびアンテナ線は、専用のものをご使用ください。

アンテナ……… 市販のBS／110° CS共用アンテナをご使用ください。共用アンテナでない**従来のBSアンテナ、CSアンテナは使用できません。**

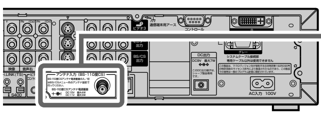
アンテナ線…… 110° CS帯域（2150MHz）まで対応しているもの（例. S-5C-FB）をご使用ください。

ブースターや分配器をご使用の場合… 110° CS帯域（2150MHz）まで対応しているものをお使いください。

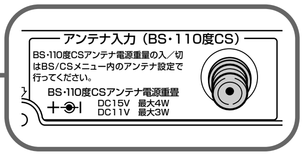
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■BS／110° CS共用アンテナの取付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

▼チューナー部後面

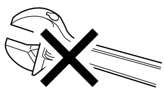


▼アンテナ入力（BS・110度CS）端子



- BS／110° CS共用アンテナからの衛星放送用ケーブル（同軸ケーブル）をつなぎます。この端子は、BS／110° CSアンテナに取り付けられたBS／110° CSコンバーターに＋15V/＋11Vの電源を供給する働きももっています。

ご注意 プラグをアンテナ入力端子に取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。



おしらせ

- アンテナ入力（BS・110度CS）端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。（**157**ページ参照）
- アンテナ入力（BS・110度CS）端子への接続には、付属の2本のアンテナケーブルのうち、先端に六角形の金属プラグ（ネジ止めタイプ）が付いている方（形状：　）をお使いください。

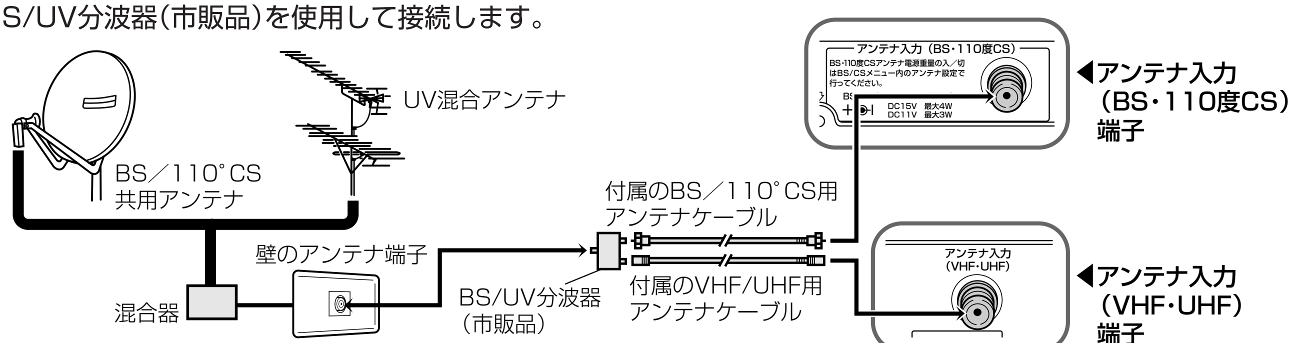
BS／110° CSアンテナを単独で接続するとき

付属のBS／110° CS用アンテナケーブルをチューナー部後面のアンテナ入力（BS・110度CS）端子と壁のアンテナ端子に接続します。

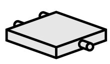


BS／110° CSとVHF／UHFが混合されているとき（マンションなど、共聴システムの場合）

BS/UV分波器（市販品）を使用して接続します。



- BS/UV分波器・分配器は金属シールドタイプで110° CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。



「BS／110° CS共用アンテナの接続」のつぎは☞ **157**ページの「アンテナの設定」を行ってください。

電源の入れかた

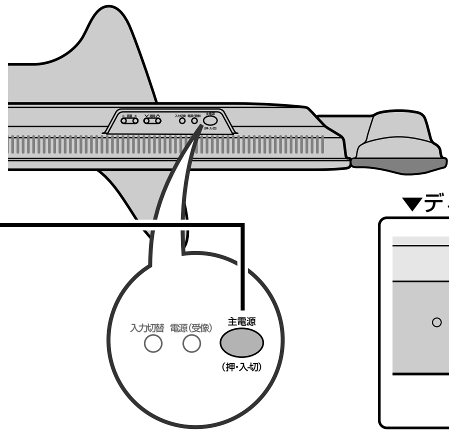
■本機の電源の入れかたを説明します。
■電源を入れる前に各種ケーブルの接続を済ませておいてください。

❶ディスプレイ部の主電源スイッチを押し、電源「入」にする

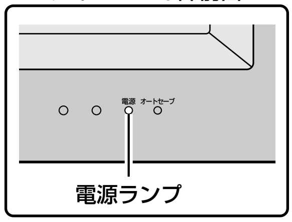
- 電源待機状態（電源ランプ赤色点灯）または動作状態（電源ランプ緑色点灯）になります。

電源待機状態のとき ⇨ 手順 ❷ に進みます。
動作状態のとき ⇨ 手順 ❸ に進みます。

▼ディスプレイ部天面



▼ディスプレイ部前面



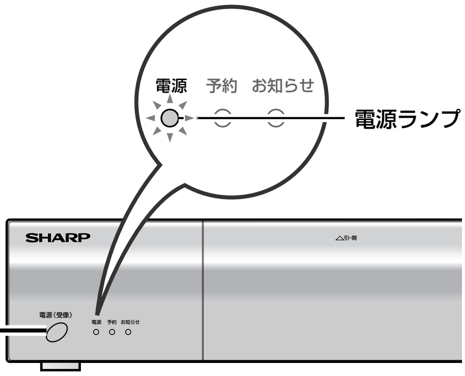
ヒント *電源ランプが赤色点滅していたら*
- *システムケーブル、チューナー部の電源コードの接続を確認してください。*

❷つぎのいずれかの方法で動作状態（電源ランプ緑色点灯）にする

① リモコンの電源ボタンを押す
② ディスプレイ部の電源(受像)ボタンを押す
③ チューナー部の電源(受像)ボタンを押す

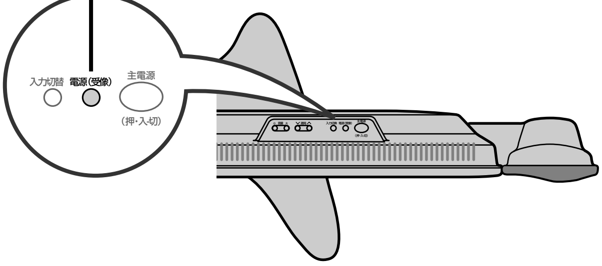
▼リモコン





チューナー部▶

▼ディスプレイ部天面

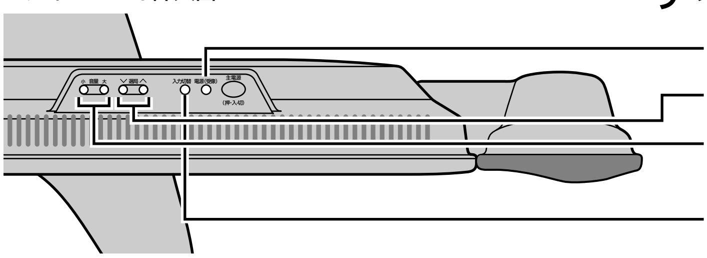


おしらせ

電源プラグの接続について
- 本機は電源待機状態のときでも、BS／110°CSデジタル放送局と通信を行います。
- 通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。この場合、再度設定を行ってください。
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

▼ディスプレイ部天面

ディスプレイ部の操作ボタンのはたらき

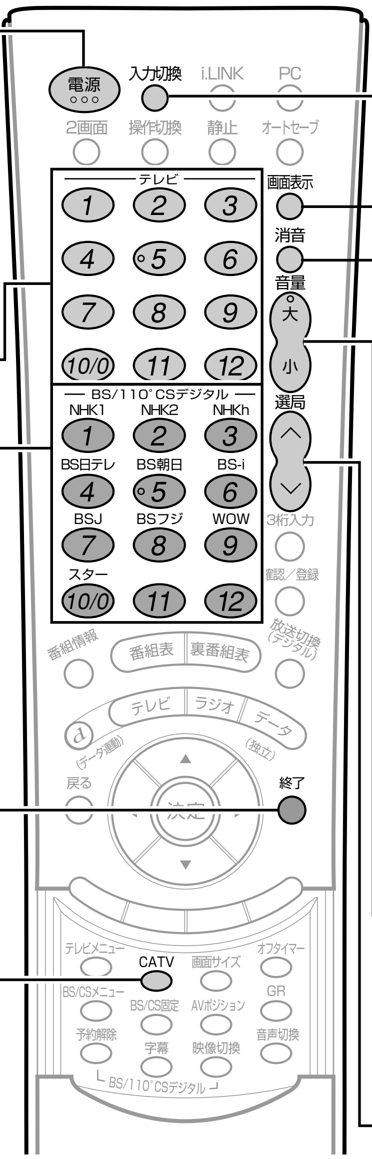


❷ 電源を入／切(待機状態)する
❸ チャンネルを選ぶ
❹ 音量を調整する
入力を切り換える

ふだんの使いかた

選局・音量調整など

扉を開けたところ



電源を入／切(待機状態)する

電源「入」…………電源ランプ緑色点灯
(動作状態)

電源「切」…………電源ランプ赤色点灯
(電源待機状態)

❸チャンネルを選ぶ

テレビチャンネル
(地上放送／CATV放送)

BS／110°CSチャンネル
(BS／110°CSデジタル放送)

BS／110°CSデジタル放送の視聴のしかたについては、**107～176**ページをご覧ください。

操作を終了する

2画面、静止画面、メニュー操作などを終了します。

ヒント メニューや電子番組表の操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。

CATV放送を選ぶ

CATVチャンネルを選局するときは、まずCATVボタンを押し、つぎにテレビチャンネルボタンでチャンネル番号を入力します。

入力を切り換える

→テレビ→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ4→i.LINK→PC→

※ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

※接続されている映像用端子と、入力選択の設定(**190**ページ参照)で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。

画面表示を入／切する

<画面表示例…チャンネルサイン>

地上放送受信時	8 モノラル
BSデジタル放送受信時	BS 141
110°CSデジタル放送受信時	CS1 001
CATV放送受信時	c24 モノラル
ビデオ入力時	ビデオ1 [自動]
PC入力時	PC [1024×768 60Hz]

音を一時的に消す

もう一度押すか、音量(大／小)ボタンなどを押すと、音声が出るようになります。

❹音量を調整する

数字(最大60)とバーで表示



選局(∧順／∨逆)

おしらせ

受信チャンネルについて

- 工場出荷時は、VHF1～12チャンネルとBS／110°CSデジタルチャンネルが受信できるようにセットされています。
  UHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、**34**～**49**ページをご覧ください。

ケーブルテレビ(CATV)について

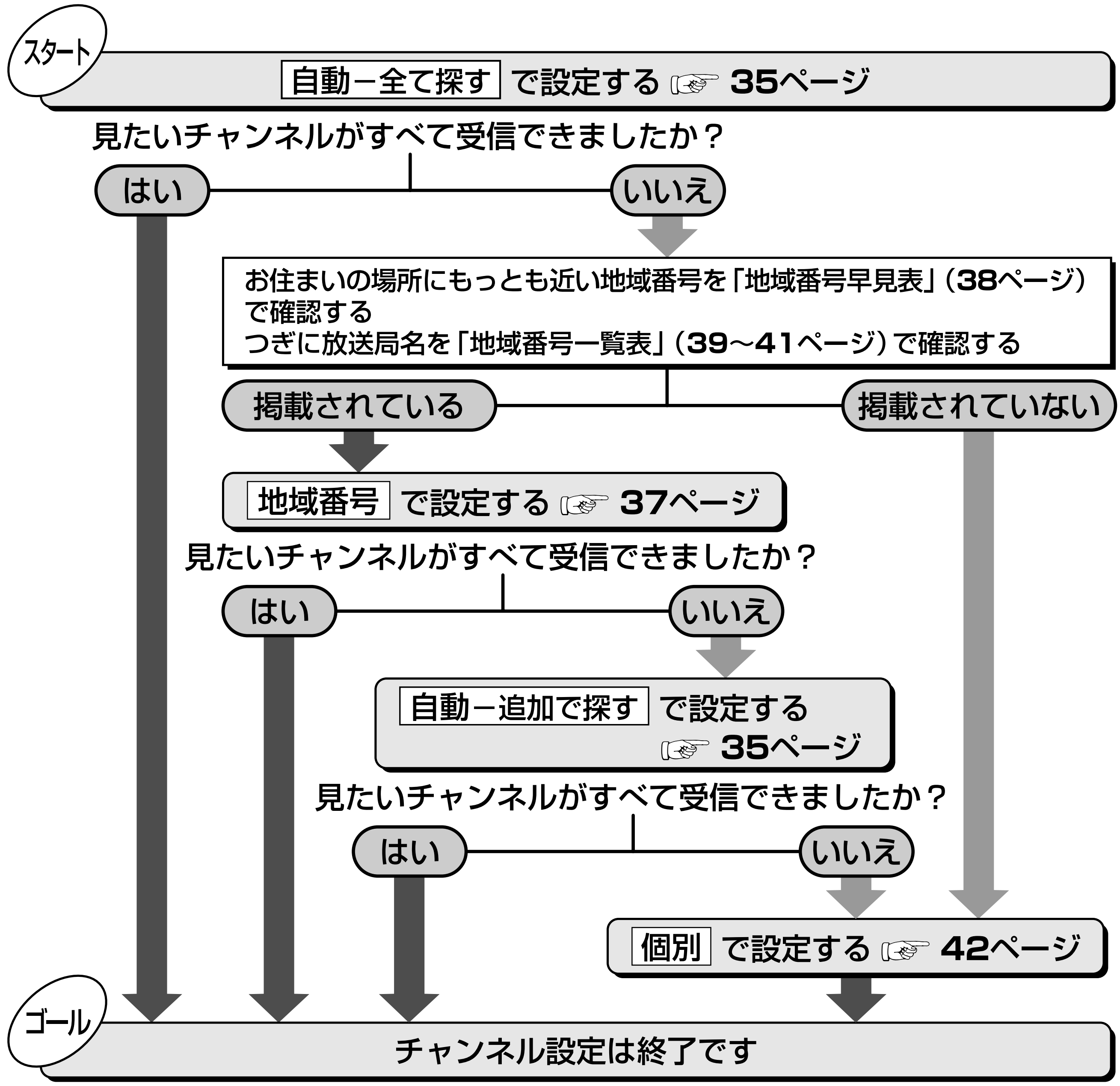
- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルを選局(∧順／∨逆)ボタンで選局できるようにするには、CATVチャンネルを選局した後、個別設定(**42**ページ)を行ってください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。

無信号オフ機能について

- 無信号オフ機能(**105**ページ)を｢する｣に設定していると、放送終了後約15分でテレビの電源が｢切｣(電源待機状態)になります。(電源ランプが赤色に点灯)
  (放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは正しく動作しない場合があります。)
- ビデオ入力画面のときも、無信号オフ機能を｢する｣に設定していると、無信号状態になってから約15分で電源待機状態になります。
- BS／110°CSデジタル放送受信時、i.LINK入力時は働きません。

テレビのチャンネルを設定する

■地上放送（VHF/UHF）の受信チャンネル設定です。
（工場出荷時は、VHF1～12チャンネルが設定されています。）
■チャンネル設定には「自動」と「地域番号」と「個別」の3つの方法があります。（下記参照）



自　動	ご使用になる場所の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送チャンネルを自動的にキャッチし、記憶させる方法です。「全て探す」と「追加で探す」があります。 **「全て探す」**……… 初めてチャンネル設定するときや、一度登録したチャンネルを消して新たに設定しなおすとき。 **「追加で探す」**…… 地域番号設定などで登録したチャンネルを消さずに、空きチャンネルに追加登録するとき。
地域番号	ご使用になる場所にもっとも近い都市（受信している電波を送信している都市）を**38**～**41**ページの地域番号早見表・地域番号一覧表から選び「地域番号」を入力する方法です。 ● その地域ごとに、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。 ● 地域番号一覧表（**39**～**41**ページ）には放送局名を掲載しています。 ● 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり設定しても受信できない場合があります。このときは、自動設定の「追加で探す」もしくは個別設定をしてください。
個　別	地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後ほかのチャンネルを追加したり削除するとき、チャンネルを1局ずつ設定する方法です。

■使用する地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波(チャンネル)を自動的にキャッチして、記憶させることができます。
■記憶できるチャンネルは、最大20局です。記憶された局の1～12チャンネルは、リモコンのテレビチャンネルボタンで選局できます。

扉を開けたところ

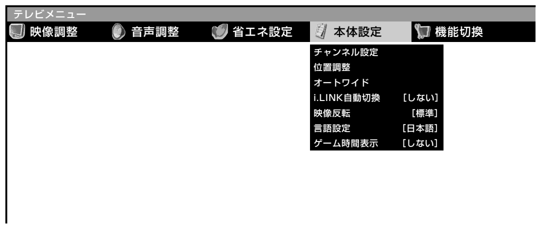


自動設定

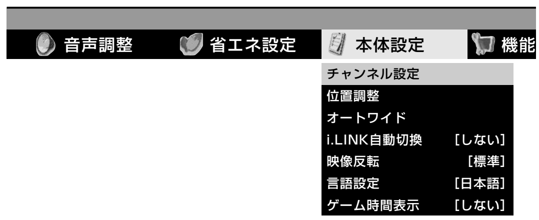
1 入力切換を押し、テレビ入力にする

2 ① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

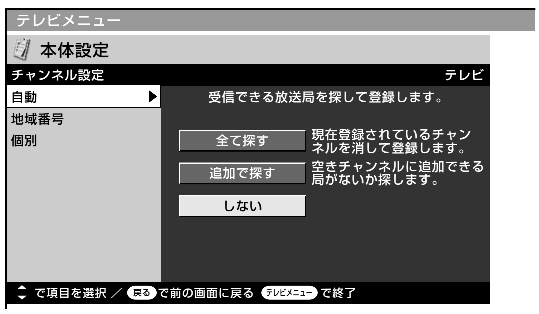
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ



3 ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す



4 ▲▼で「自動」を選び、決定を押す



次ページへ

おしらせ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへつづく

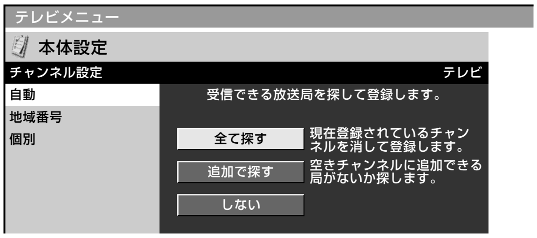
テレビのチャンネルを設定する(つづき)

扉を開けたところ



5 で「全て探す」または「追加で探す」を選び、決定を押す

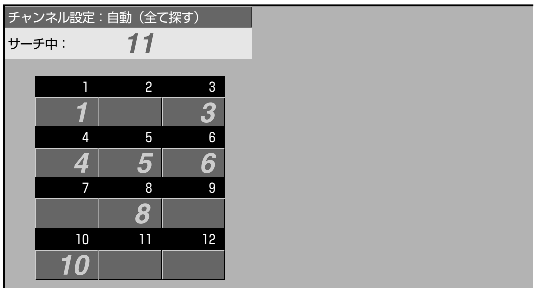
- 「全て探す」と「追加で探す」について詳しくは、左下のおしらせをご覧ください。



6

- 自動チャンネル設定が始まり、画面左上に「サーチ中」が表示されます。

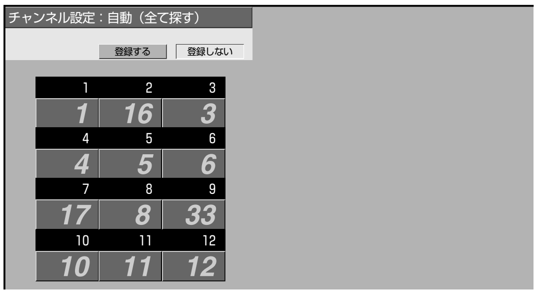
（画面例）



- 見つかった放送チャンネルが表示されていきます。
- 放送チャンネルが1つも見つからなかった場合は、サーチ開始前に設定されていたチャンネルが表示されます。

7 で「登録する」を選び、決定を押す

（画面例）



- 少し待つと上のような画面から表示が変わります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

※ 画面が変わる前に電源を切らないでください。

8 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

おしらせ

「全て探す」と「追加で探す」について

- 手順**5**で「全て探す」を選んだときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録しなおします。初めてチャンネル設定するときは、「全て探す」で行います。登録済みチャンネルを残しておきたい場合は、「追加で探す」を選んでください。
- 手順**5**で「追加で探す」を選んだときは、現在登録されているチャンネルを消さずに残したまま、空きチャンネルに追加登録できる放送局がないか探します。地域番号設定の後で空きチャンネルに追加登録したいときなどは、「追加で探す」で行います。

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

地域番号設定

■「地域番号早見表」(**38**ページ)、「地域番号一覧表」(**39**～**41**ページ)で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認したうえで、お住まいの地域にもっとも近い地域番号を入力してください。

［例］東京都八王子市にお住まいの場合
（地域番号「31」を設定する）

1

① 入力切換 を押し、テレビ入力にする

② テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

③ ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

④ ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

●チャンネル設定画面が表示されます。

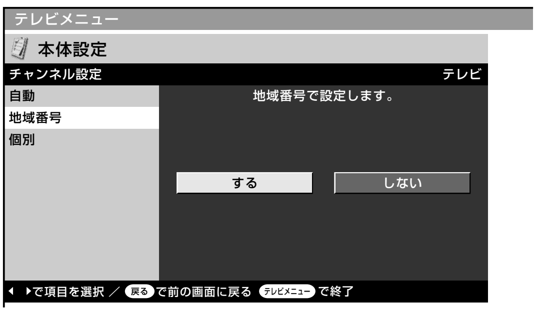
2

▲ ▼ で「地域番号」を選び、決定 を押す



3

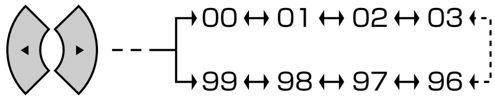
◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

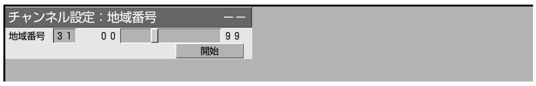


4

① テレビチャンネルボタン 1 ～ 10/0 で、地域番号「31」を入力する

●左右カーソルボタンでも入力できます。



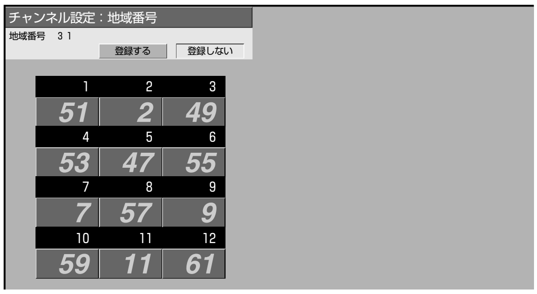


② 「開始」で 決定 を押す

●チャンネル設定が始まり、リモコン番号1～12に受信チャンネルが設定されます。

5

◀ ▶ で「登録する」を選び、決定 を押す



●少し待つと上のような画面から表示が変わります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

※画面が変わる前に電源を切らないでください。

6

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

●終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

おしらせ

- 地域番号一覧表に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が、現在受信しているチャンネルと一致している場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定(**42**ページ)をしてください。

ヒント

- 地域番号設定をした後、自動設定(**35**ページ)の「追加で探す」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。(UHF放送が受信できる地域など)

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号早見表に該当する都市にお住まいの場合は、その都市の地域番号を入力してください。
該当する都市にお住まいでない場合は、もっとも近い都市の地域番号を入力してください。

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	21
	青森市	10
	明石市	63
	昭島市	30
	秋田市	15
	阿久根市	95
	上尾市	27
	朝霞市	27
	旭川市	02
	足利市	27
	厚木市	33
	網走市	01
	我孫子市	29
	尼崎市	61
	安城市	54
い	飯田市	45
	池田市	61
	生駒市	61
	石巻市	14
	和泉市	61
	伊勢崎市	25
	伊丹市	61
	市川市	29
	一宮市	54
	市原市	29
	茨木市	61
	今治市	81
	入間市	27
	いわき市	20
	岩国市	77
	岩槻市	27
う	宇治市	60
	宇都宮市	24
	宇部市	76
	浦安市	29
え	海老名市	33
	江別市	01
お	青梅市	30
	大分市	91
	大垣市	47
	大阪市	61
	大館市	16
	大津市	58
	大牟田市	86
	岡崎市	54
	岡山市	70
	沖縄市	96
	小樽市	07
	小田原市	35
	帯広市	05
	小山市	27
か	各務原市	48
	加古川市	63
	鹿児島市	94

五十音	都市名	地域番号
か	橿原市	65
	柏市	29
	春日井市	54
	春日部市	27
	勝田市	22
	門真市	61
	金沢市	41
	鎌倉市	33
	刈谷市	54
	川口市	27
	川越市	27
	川崎市	33
	河内長野市	61
	川西市	64
き	木更津市	29
	岸和田市	61
	北九州市	84
	北見市	09
	岐阜市	47
	京都市 1	60
	京都市 2	98
	桐生市	26
く	釧路市	04
	熊谷市	28
	熊本市	90
	倉敷市	70
	久留米市	85
	呉市	73
こ	高知市	82
	甲府市	43
	神戸市	61
	郡山市	19
	小金井市	30
	越谷市	27
	小平市	30
	小牧市	54
	小松市	41
さ	さいたま市	27
	堺市	61
	佐賀市	87
	酒田市	18
	相模原市	33
	佐倉市	29
	佐世保市	89
	札幌市	01
	座間市	33
	狭山市	27
し	静岡市	49
	清水市	49
	下関市	75
	上越市	38
す	吹田市	61
	鈴鹿市	57
せ	瀬戸市	54

五十音	都市名	地域番号
せ	仙台市	13
そ	草加市	27
た	大東市	61
	高岡市	40
	高崎市	25
	高槻市	61
	高松市	78
	宝塚市	61
	立川市	30
	多摩市	32
ち	茅ケ崎市	34
	千葉市	29
	調布市	30
つ	津市	57
	つくば市	29
	土浦市	29
	鶴岡市	18
と	東京２３区	30
	徳島市	97
	徳山市	74
	所沢市	27
	鳥取市	67
	苫小牧市	06
	富山市	39
	豊川市	55
	豊田市	56
	豊中市	61
	豊橋市	55
	富田林市	61
な	長岡市	37
	長崎市	88
	長野市	44
	流山市	29
	名古屋市	54
	那覇市	96
	奈良市	65
	習志野市	29
に	新潟市	37
	新座市	27
	新居浜市	80
	西宮市	61
ぬ	沼津市	52
ね	寝屋川市	61
の	野田市	29
	延岡市	93
は	函館市	03
	秦野市	36
	八王子市	31
	八戸市	11
	羽曳野市	61
	浜田市	69
	浜松市	50
	半田市	54
ひ	東大阪市	61

五十音	都市名	地域番号
ひ	東久留米市	30
	東村山市	30
	彦根市	59
	日立市	23
	日野市	30
	姫路市	62
	枚方市	61
	平塚市	34
	弘前市	10
	広島市	71
ふ	福井市	42
	福岡市	83
	福島市	19
	福山市	72
	藤枝市	53
	藤沢市	33
	富士市	51
	富士宮市	51
	府中市(東京)	30
	船橋市	29
へ	別府市	91
ほ	防府市	74
ま	前橋市	25
	町田市	33
	松江市	68
	松阪市	57
	松戸市	29
	松原市	61
	松本市	46
	松山市	79
み	三郷市	27
	三島市	52
	三鷹市	30
	水戸市	22
	都城市	92
	宮崎市	92
む	武蔵野市	30
	室蘭市	08
も	盛岡市	12
	守口市	61
や	矢板市	31
	焼津市	49
	八尾市	61
	八千代市	29
	八代市	90
	山形市	17
	山口市	74
	大和市	33
よ	横須賀市	33
	横浜市	33
	四日市市	57
	米子市	68
わ	和歌山市 1	66
	和歌山市 2	99

おしらせ

- 工場出荷時は、地域番号「00」に設定されています。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表(**39**〜**41**ページ)に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます(地域番号「00」は除く)。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、自動設定の「追加で探す」(**35**ページ)もしくは個別設定(**42**ページ)をしてください。

地域番号一覧表

※ 地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は、当社の調査によるものです。（2002年11月現在）

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	01	1 北海道放送	2	3 NHK総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ	6	27 北海道文化放送	8	35 北海道テレビ	10	11	12 NHK教育
	旭川	02	1	2 NHK教育	33 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	函館	03	21 テレビ北海道	27 北海道文化放送	35 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 NHK教育	11	12 札幌テレビ
	釧路	04	1	2 NHK教育	39 北海道テレビ	41 北海道文化放送	5	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	帯広	05	32 北海道文化放送	2	34 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 札幌テレビ	11	12 NHK教育
	苫小牧	06	47 テレビ北海道	49 NHK教育	51 NHK総合	53 北海道文化放送	55 北海道放送	57 札幌テレビ	61 北海道テレビ	8	9	10	11	12
	小樽	07	24 テレビ北海道	2 NHK教育	26 北海道文化放送	4 北海道テレビ	5	6	7 札幌テレビ	8	9 北海道放送	10	11 NHK総合	12
	室蘭	08	1	2 NHK教育	29 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	北見	09	1	2 NHK教育	3	4	59 北海道文化放送	61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	53 北海道放送	12
青森	青森	10	1 青森放送テレビ	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	38 青森テレビ	8	34 青森朝日放送	10	11	12
	八戸	11	1	2	33 青森テレビ	4	31 青森朝日放送	6	7 NHK教育	8	9 NHK総合	10	11 青森放送テレビ	12
岩手	盛岡	12	1	2	3	4 NHK総合	5	6 IBCテレビ	7	8 NHK教育	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手	11	33 めんこいテレビ
宮城	仙台	13	1 東北放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 東日本放送	8	34 宮城テレビ	10	11	12 仙台放送
	石巻	14	59 東北放送	2	51 NHK総合	4	49 NHK教育	6	61 東日本放送	8	55 宮城テレビ	10	11	57 仙台放送
秋田	秋田	15	1	2 NHK教育	3	4	5	6	7	8	9 NHK総合	31 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	37 秋田テレビ
	大館	16	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 秋田放送テレビ	7	8 NHK教育	9 NHK総合	59 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	57 秋田テレビ
山形	山形	17	1	2	3	4 NHK教育	5	36 テレビユー山形	30 さくらんぼテレビ	8 NHK総合	9	10 山形放送	11	38 山形テレビ
	鶴岡	18	1 山形放送	2	3 NHK総合	4	5	6 NHK教育	7	39 山形テレビ	9	22 テレビユー山形	11	24 さくらんぼテレビ
福島	福島	19	1	2 NHK教育	31 テレビユー福島	4	33 福島中央テレビ	6	35 福島放送	8	9 NHK総合	10	11 福島テレビ	12
	いわき	20	1	62 テレビユー福島	3	4 NHK総合	5	58 福島中央テレビ	7	8 福島テレビ	9	10 NHK教育	11	60 福島放送
	会津若松	21	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5	6 福島テレビ	7	47 テレビユー福島	9	37 福島中央テレビ	11	41 福島放送
茨城	水戸	22	44 NHK総合	2	46 NHK教育	42 日本テレビ	5	40 TBSテレビ	7	38 フジテレビ	9	36 テレビ朝日	11	32 テレビ東京
	日立	23	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
栃木	宇都宮	24	29 NHK総合	2	27 NHK教育	25 日本テレビ	5	23 TBSテレビ	7	21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
群馬	前橋	25	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	40 放送大学	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	48 群馬テレビ	62 テレビ東京
	桐生	26	43 NHK総合	2	45 NHK教育	39 日本テレビ	40 放送大学	37 TBSテレビ	7	35 フジテレビ	9	33 テレビ朝日	41 群馬テレビ	31 テレビ東京
埼玉	さいたま	27	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	熊谷	28	33 NHK総合	2	35 NHK教育	25 日本テレビ	5	23 TBSテレビ	16 放送大学	21 フジテレビ	28 テレビ埼玉	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
千葉	千葉	29	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23区	30	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBSテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	31	51 NHK総合	2	49 NHK教育	53 日本テレビ	47 東京メトロポリタン	55 TBSテレビ	7	57 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
	多摩	32	30 NHK総合	2	32 NHK教育	26 日本テレビ	28 東京メトロポリタン	24 TBSテレビ	7	22 フジテレビ	9	20 テレビ朝日	11	18 テレビ東京
神奈川	横浜	33	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ケ崎	34	33 NHK総合	2	29 NHK教育	35 日本テレビ	5	37 TBSテレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	35	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	36	47 NHK総合	2	49 NHK教育	51 日本テレビ	5	53 TBSテレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京

次ページへつづく

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号一覧表(つづき)

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
新潟	新潟	37	21 新潟テレビ21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK教育
	上越	38	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5	37 新潟テレビ21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	39	1 北日本テレビ	2	3 NHK総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	40	50 北日本テレビ	2	48 NHK総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	41	1	2	3	4 NHK総合	5	6 MROテレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	42	39 福井テレビ	2	3 NHK教育	4	5	6 MROテレビ	7	8	9 NHK総合	10	11 FBCテレビ	12
山梨	甲府	43	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	44	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	48 信越放送	12
	飯田	45	44 長野朝日放送	2	3 NHK教育	4 NHK総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	46	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	47	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	37 岐阜放送
	各務原	48	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	28 岐阜放送
静岡	静岡	49	1	2 NHK教育	31 静岡第1テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	50	1	30 静岡第1テレビ	3	4 NHK総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	51	1	54 NHK教育	27 静岡第1テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	52	1	51 NHK教育	61 静岡第1テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	53	1	44 NHK教育	24 静岡第1テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	54	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	55	56 東海テレビ	2	54 NHK総合	4	62 CBCテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK教育	10	60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	56	57 東海テレビ	2	53 NHK総合	4	55 CBCテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK教育	10	61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	57	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	33 三重テレビ	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	58	1	28 NHK総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABCテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK教育
	彦根	59	1	52 NHK総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK教育
京都	京都1	60	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
	京都2	98	32 NHK京都	2 NHK総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
大阪	大阪	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
兵庫	神戸	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
	姫路	62	1	50 NHK総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK教育
	明石	63	1	51 NHK総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABCテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK教育
	川西	64	1	29 NHK総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABCテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK教育
奈良	奈良	65	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
和歌山	和歌山1	66	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	26 NHK教育
	和歌山2	99	1	50 NHK総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK教育
鳥取	鳥取	67	1 日本海テレビ	2	3 NHK総合	4 NHK教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSSテレビ	11	12
島根	松江	68	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK総合	7	8	9	10 BSSテレビ	11	12 NHK教育
	浜田	69	1	2 NHK総合	54 日本海テレビ	4	5 BSSテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育	10	11	12

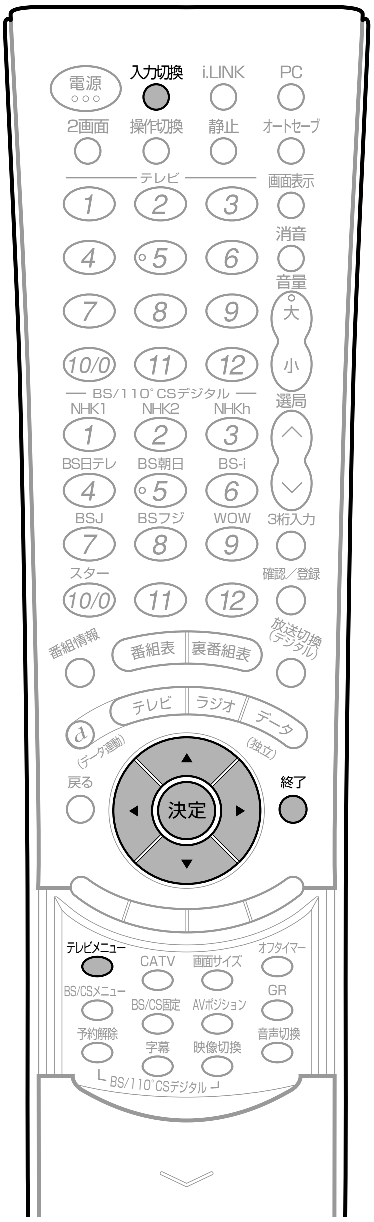
	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
岡山	岡山	70	23 テレビせとうち	2	3 NHK教育	4	5 NHK総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHKテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	71	31 テレビ新広島	2	3 NHK総合	4 RCCテレビ	5	6	7 NHK教育	8	9	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	11	12 広島テレビ
	福山	72	1 NHK総合	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	26 テレビ新広島	6	7 NHK教育	8	9	10 RCCテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	73	1 NHK教育	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCCテレビ	10	11 NHK総合	12
山口	山口	74	1 NHK教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK総合	10	11 山口テレビ	12
	下関	75	41 NHK教育	2 九州朝日放送	23 TXN九州	4 山口テレビ	21 山口朝日放送	6 NHK総合	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 NHK総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 NHK教育
	宇部	76	14 NHK教育	2 九州朝日放送	3	4	31 山口朝日放送	6 NHK総合	20 テレビ山口	8 RKB毎日放送	16 NHK総合	10 テレビ西日本	18 山口テレビ	12
	岩国	77	1 NHK教育	2	3	4 RCCテレビ	22 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK総合	10 南海テレビ	11 山口テレビ	12 広島テレビ
徳島	徳島	97	1 四国テレビ	2	3 NHK総合	4 毎日テレビ	5	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
香川	高松	78	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK教育	4	37 NHK総合	6	31 OHKテレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	79	1	2 NHK教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
	新居浜	80	1	2 NHK総合	3	4 NHK教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	81	1	30 NHK教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
高知	高知	82	1	2	3	4 NHK総合	5	6 NHK教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	83	1 九州朝日放送	2	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TXN九州	37 福岡放送
	北九州	84	1	2 九州朝日放送	23 TXN九州	35 福岡放送	5	6 NHK総合	7	8 RKB毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK教育
	久留米	85	57 九州朝日放送	2	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	5	54 NHK教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TXN九州	52 福岡放送
	大牟田	86	58 九州朝日放送	19 TXN九州	53 NHK総合	61 RKB毎日放送	5	50 NHK教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	87	19 TXN九州	36 サガテレビ	40 NHK教育	38 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	88	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	89	1	2 NHK教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	90	1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	91	1 NHK教育	2	3 NHK総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 NHK総合	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK教育
宮崎	宮崎	92	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK教育
	延岡	93	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	94	1 南日本放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	12
	阿久根	95	1	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK教育
沖縄	那覇	96	1	2 NHK総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK教育
工場出荷設定		00	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

■ 地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、1局ずつチャンネルを設定してください。(受信できる放送局を自動で探し追加登録する場合は、「自動設定」(**35**ページ)をお試しください。)

■ ふだん使用されている受信エリアで、新聞の番組表などにチャンネルの順番を合わせておくと便利です。

扉を開けたところ



個別設定

[例] テレビチャンネルボタン⑤(リモコン番号「5」)を押すとUHF放送「42」チャンネルが選局できるように設定する

1 **入力切換を押し、テレビ入力にする**

2 **① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

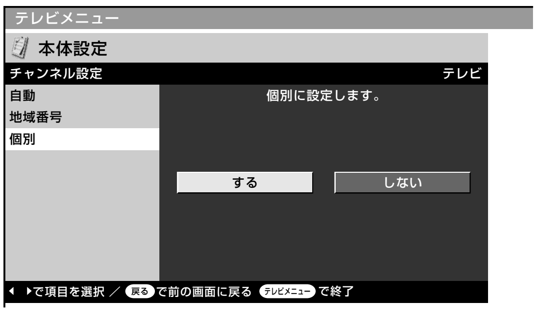
③ ▲ ▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す



3 **▲ ▼で「個別」を選び、決定を押す**



4 **◀ ▶で「する」を選び、決定を押す**



次ページへ

おしらせ

メニュー画面について

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

5 ▲ ▼で「リモコン番号」を選ぶ

チャンネル設定：個別		
リモコン番号	1	
受信チャンネル	1	
チャンネル表示	1	
受信微調整	0	−64 ～ +63
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	●する	●しない

6 ◀ ▶で「5」を選ぶ

▶ 1→ 2 → 3 ····· 18→ 19→20

◀ 1 →20→ 19→18 ····· 3→ 2

チャンネル設定：個別		
リモコン番号	5	
受信チャンネル	5	
チャンネル表示	5	
受信微調整	0	−64 ～ +63
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	●する	●しない

7 ▲ ▼で「受信チャンネル」を選ぶ

チャンネル設定：個別		
リモコン番号	5	
受信チャンネル	5	
チャンネル表示	5	
受信微調整	0	−64 ～ +63
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	●する	●しない

8 ◀ ▶で「42」を選び、（決定）を押す

▶ 1→ 2 ········· 61 →62 → C13 → C14 ····· C62 → C63 →（1に戻る）

◀ 1→C63→C62 ·····C14→C13 → 62 → 61 ········· 2 →（1に戻る）

チャンネル設定：個別		
リモコン番号	5	
受信チャンネル	42	
チャンネル表示	5	
受信微調整	0	−64 ～ +63
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	●する	●しない

- これでテレビチャンネルボタン（5）に42チャンネルが設定されました。
- 続けて他のチャンネルを設定するときは、手順**5**～**8**をくり返します。

9 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

おしらせ

CATV（ケーブルテレビ）放送について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルを選局（∧順／∨逆）ボタンで選局できるようにするには、CATVチャンネルを選局した後、個別設定を行ってください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

■あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、選局ボタンで選局するときに、空きチャンネル(放送のないチャンネル)や受信状態の悪いチャンネルを飛びこして選局することができます。

■CATVチャンネル(C13〜C63)は、工場出荷時にチャンネルスキップ「する」の状態になっています。チャンネルスキップ「しない」(解除)にすると、本体とリモコンの選局(∧順／∨逆)ボタンで選局ができるようになります。

扉を開けたところ



メニュー画面について

おしらせ

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

チャンネルスキップを設定する

[例] テレビチャンネル「11」をスキップ設定する

1 入力切換 を押し、テレビ入力にする

2

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す



3 ▲ ▼ で「個別」を選び、決定 を押す



4 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す



次ページへ

5 で「リモコン番号」を選ぶ

チャンネル設定：個別		
リモコン番号	1	
受信チャンネル	1	
チャンネル表示	1	
受信微調整	0	−64 +63
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	●する	●しない

6 で「11」を選ぶ

▶：1→2→3…18→19→20→（1に戻る）

◀：1→20→19→18…3→2→（1に戻る）

チャンネル設定：個別		
リモコン番号	11	
受信チャンネル	11	
チャンネル表示	11	
受信微調整	0	−64 +63
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	●する	●しない

7 で「スキップ」を選ぶ

チャンネル設定：個別		
リモコン番号	11	
受信チャンネル	11	
チャンネル表示	11	
受信微調整	0	−64 +63
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	○する	●しない

8 で「する」を選び、決定を押す

チャンネル設定：個別		
リモコン番号	11	
受信チャンネル	11	
チャンネル表示	11	
受信微調整	0	−64 +63
ＧＲ設定	●入	●切
ＧＲ速度	●標準	●速い
スキップ	●する	○しない

- チャンネルスキップを解除するときは、「しない」を選んで決定ボタンを押します。

9 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

おしらせ

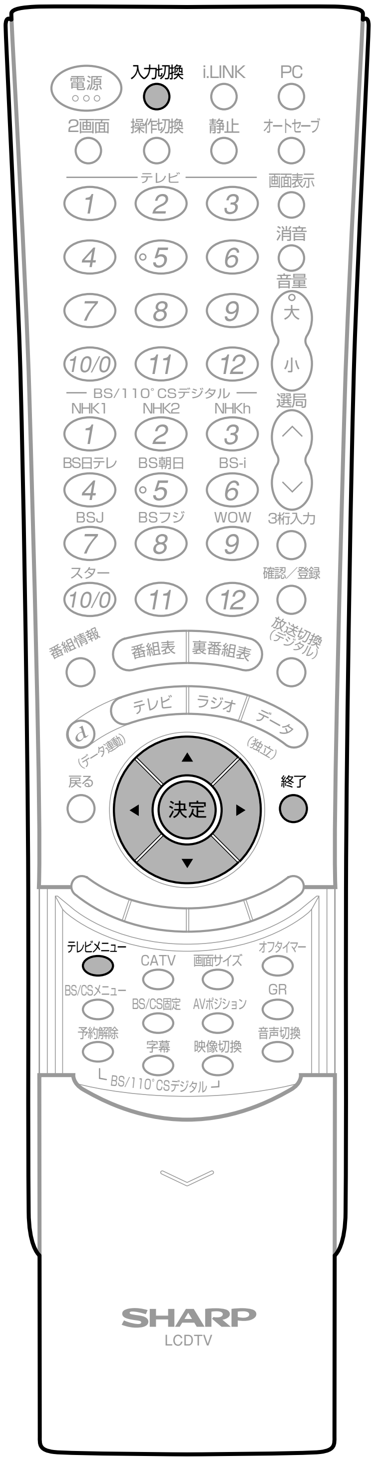
CATVチャンネルについて

- 工場出荷時の状態では、ＣＡＴＶチャンネル（C13〜C63）はスキップ「する」に設定されています。
- CATV会社と受信契約し、CATV放送を視聴する場合は、必要なチャンネルのスキップ設定を「しない」にしてください。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

■実際の使用状況に合わせて、画面に表示されるチャンネル番号を変えることができます。

扉を開けたところ



画面のチャンネル表示を変える

[例] テレビチャンネルボタン⑥を押したときのチャンネル表示「6」を「48」に変える

1 入力切換を押し、テレビ入力にする

2

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

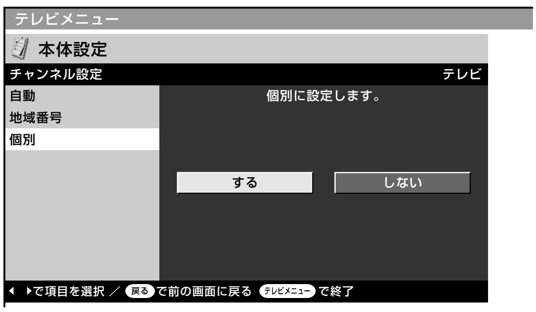
③ ▲ ▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す



3 ▲ ▼で「個別」を選び、決定を押す



4 ◀ ▶で「する」を選び、決定を押す



次ページへ

おしらせ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

5 ▲ ▼ で「リモコン番号」を選ぶ

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	1		
受信チャンネル	1		
チャンネル表示	1		
受信微調整	0	−64	+63
GR設定		●入	●切
GR速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

6 ◀ ▶ で「6」を選ぶ

▶ 1→2→3……18→19→20

◀ 1→20→19→18……3→2

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	6		
受信チャンネル	48		
チャンネル表示	6		
受信微調整	0	−64	+63
GR設定		●入	●切
GR速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

7 ▲ ▼ で「チャンネル表示」を選ぶ

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	6		
受信チャンネル	48		
チャンネル表示	6		
受信微調整	0	−64	+63
GR設定		●入	●切
GR速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

8 ◀ ▶ で、表示したいチャンネル番号「48」を選ぶ

▶ 1→2……98→99→C13→C14……C62→C63

◀ 1→C63→C62……C14→C13→99→98……2

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	6		
受信チャンネル	48		
チャンネル表示	48		
受信微調整	0	−64	+63
GR設定		●入	●切
GR速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

9

① 決定を押す

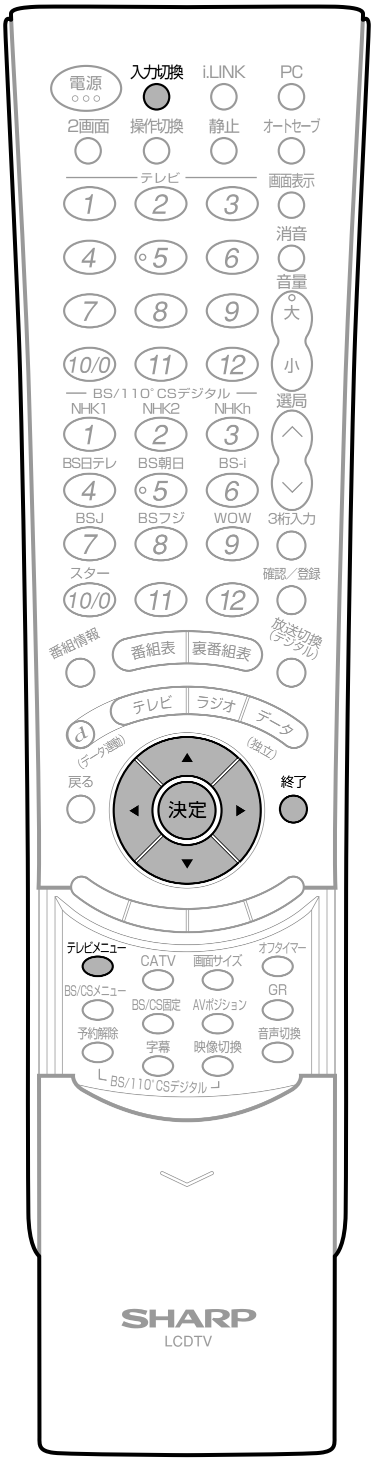
② テレビメニューを押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

■受信状態によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

扉を開けたところ



受信状態を微調整する

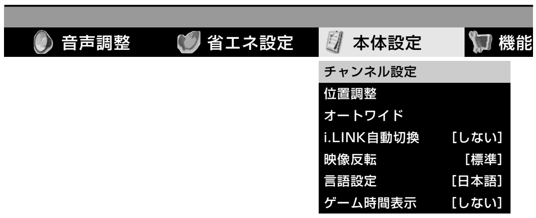
[例] テレビチャンネルボタン⑥の受信状態を微調整する

1 入力切換 を押し、テレビ入力にする

2 ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

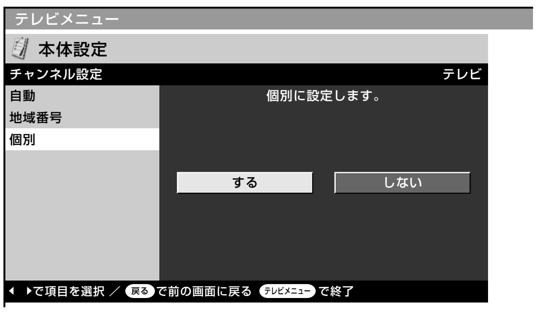
③ ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す



3 ▲ ▼ で「個別」を選び、決定 を押す



4 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す



次ページへ

おしらせ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

5 ▲ ▼ で「リモコン番号」を選ぶ

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	1		
受信チャンネル	1		
チャンネル表示	1		
受信微調整	0	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

6 ◀ ▶ で「6」を選ぶ

▶ 1→2→3……18→19→20

◀ 1→20→19→18……3→2

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	6		
受信チャンネル	48		
チャンネル表示	6		
受信微調整	0	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

7 ▲ ▼ で「受信微調整」を選ぶ

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	6		
受信チャンネル	48		
チャンネル表示	6		
受信微調整	0	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

8 ◀ ▶ で、見やすい映像に調整する

- 背景となっている受信中の映像がもっともよく見える位置に調整してください。
- −64〜0〜+63の範囲で調整できます。

チャンネル設定：個別			
リモコン番号	6		
受信チャンネル	48		
チャンネル表示	6		
受信微調整	+5	−64	+63
ＧＲ設定		●入	●切
ＧＲ速度		●標準	●速い
スキップ		●する	●しない

9

① 決定 を押す

② テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

- 終了ボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

チャンネル設定に関する用語

■ リモコン番号
リモコンのテレビチャンネル（数字）ボタンの番号です。

■ 受信チャンネル
放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

■ チャンネル表示
テレビ画面に表示されるチャンネルのことです。ご使用の地域で使われている、使い慣れたチャンネル表示に変えることができます。

■ 受信微調整
ご使用になる地域によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。そのようなときに調整します。

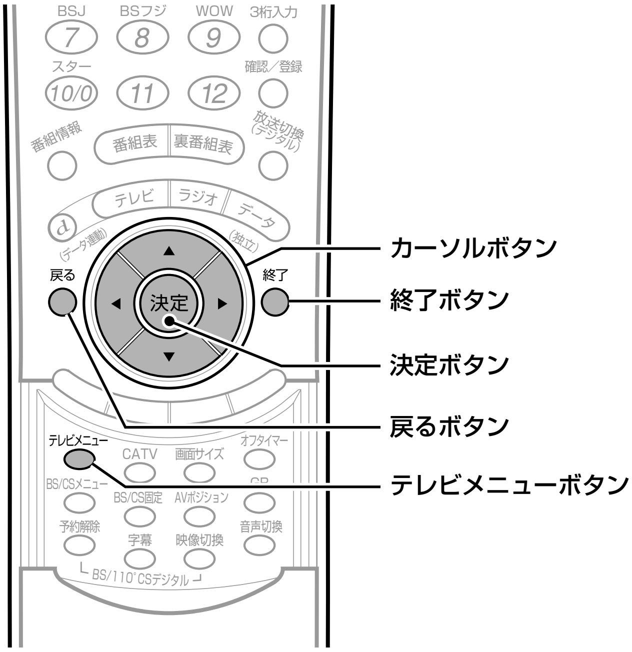
■ スキップ
スキップを「する」にしておくと、選局（∧順／∨逆）ボタンで選局するときに、空きチャンネル（放送のないチャンネル）を飛び越して選局できるようになります。

テレビメニュー画面について

■画面を見ながら、リモコン操作で映像や音声などの調整や機能の設定ができます。
ここではテレビメニューの項目を選択する方法について説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

■BS／110°CSデジタル放送を視聴するための調整や設定（BS/CSメニュー）については、**70**ページをご覧ください。

扉を開けたところ



メニュー項目の表示色について

- いま選ばれている項目が黄色で表示されます。
灰色の文字で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

メニュー画面の表示時間について

- メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。そのときは、はじめから操作しなおしてください。

メニュー言語の切換えについて

- *テレビメニューを英語で表示することもできます。*
日本語／英語の切換えの操作方法については、**102**ページをご覧ください。

おしらせ

- PC入力時にテレビメニューボタンを押すと、PCメニュー画面が表示されます。
- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

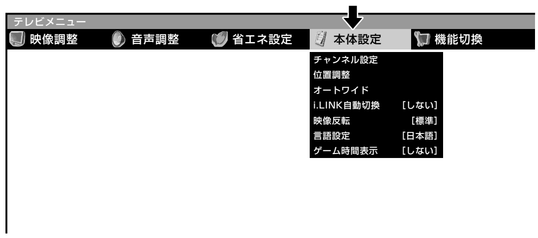
テレビメニューの基本操作

［例］「本体設定」メニューの「オートワイド」を選ぶ

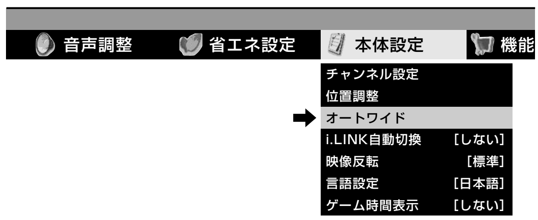
1 **テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する**



2 ① **◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ**



② **▲ ▼ で「オートワイド」を選ぶ**



3 **決定 を押す**

- つぎの画面に進みます。

操作を誤ったとき、やりなおしたいとき — **戻る を押す**

- 1つ前の画面に戻ります。

メニュー操作を終了するとき — **テレビメニュー または 終了 を押す**

■テレビメニューボタンを押したときに表示されるメニュー画面は、テレビ／ビデオ入力とPC入力とで内容が異なります。
■テレビ／ビデオ入力時は**「テレビメニュー」**、PC入力時は**「PCメニュー」**が表示されます。

テレビメニューで設定できる項目

- 映像調整
  - 映像／明るさ／色の濃さ／色あい／画質 …… **89**ページ
  - プロ設定 …… **91**ページ
    - カラーマネージメント／色温度／黒伸長／3次元設定／モノクロ／フィルムモード／I/P設定
- 音声調整
  - 高音／低音／バランス …… **95**ページ
  - サラウンド設定 …… **96**ページ
  - スピーカー切換 …… **210**ページ
- 省エネ設定
  - 調光 …… **104**ページ
  - 無信号オフ …… **105**ページ
  - 無操作オフ …… **105**ページ
- 本体設定
  - チャンネル設定※1
    - 自動 …… **35**ページ
    - 地域番号 …… **37**ページ
    - 個別 …… **42**ページ
  - 入力表示選択※2 …… **192**ページ
  - 位置調整
    - 水平位置／垂直位置 …… **78**ページ
  - オートワイド
    - 映像判別 …… **84**ページ
    - S2対応※2 …… **86**ページ
    - EDTVII対応 …… **85**ページ
    - D識別対応※3 …… **87**ページ
  - i.LINK自動切換 …… **205**ページ
  - 映像反転 …… **100**ページ
  - 言語設定 …… **102**ページ
  - ゲーム時間表示 …… **101**ページ
- 機能切換
  - 入力選択※2 …… **190**ページ
  - ノイズクリーン …… **92**ページ
  - モニター音声出力 …… **194**ページ
  - デジタル音声出力 …… **208**ページ
  - QS駆動 …… **93**ページ

（テレビメニュー項目の詳細については、**222**ページの「テレビメニュー項目一覧」をご覧ください。）

おしらせ
- 画面に灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。
- 「※1」の付いた項目は、テレビ入力時のみ表示されます。
- 「※2」の付いた項目は、ビデオ入力時のみ表示されます。
- 「※3」の付いた項目は、ビデオ1・2入力時のみ表示されます。

次ページへつづく

テレビメニュー画面について(つづき)

PCメニューで設定できる項目

- 映像調整
  - 映像／明るさ／赤／緑／青…… 89ページ
  - カラーマネージメント………… 89ページ
- 音声調整
  - 高音／低音／バランス………… 95ページ
  - サラウンド設定……………… 96ページ
  - スピーカー切換……………… 210ページ
- 省エネ設定
  - 調光…………………………… 104ページ
  - パワーマネージメント………… 106ページ
- 本体設定
  - 入力解像度選択
    - 入力解像度選択……………… 212ページ
  - 自動同期調整
    - 自動同期調整………………… 80ページ
  - 画面調整
    - 水平位置／垂直位置／クロック周波数／クロック位相……… 81ページ
  - i.LINK自動切換
    - i.LINK自動切換……………… 205ページ
  - 映像反転
    - 映像反転……………………… 100ページ
  - 言語設定
    - 言語設定……………………… 102ページ
- 機能切換
  - モニター音声出力…………… 194ページ
  - デジタル音声出力…………… 208ページ
  - QS駆動……………………… 93ページ

（PCメニュー項目の詳細については、**223**ページの「PCメニュー項目一覧」をご覧ください。）

おしらせ

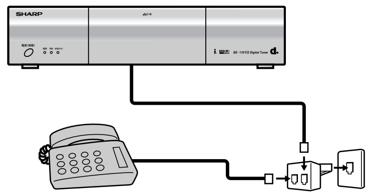
- 画面に灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

BS／110° CSデジタル放送を視聴するための準備

設置と初期設定の大まかな手順はつぎのとおりです。

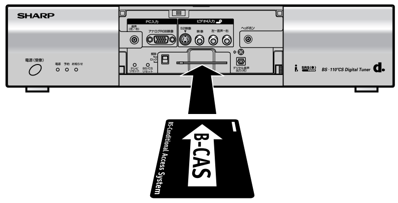
1 電話回線に接続する

………54ページ



2 B-CASカードを入れる

………57ページ



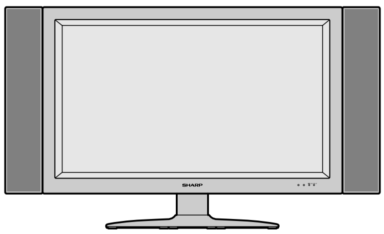
3 受信契約をする

………58ページ



4 電話回線を設定する

………60ページ



5 地域と郵便番号を設定する

………67ページ

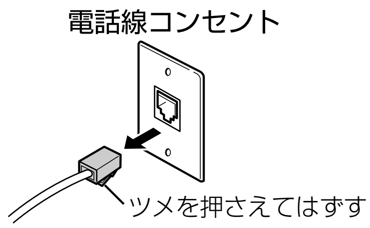
以上で設置と準備は終わりです。

電話回線に接続する(56ページも併せてご覧ください。)

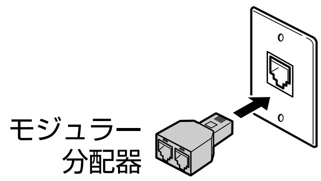
■本機は、双方向番組への参加や有料放送の受信情報の管理のために、放送局との通信を、電話回線を使って行います。
ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

1 本機と電話機の電源を切る

2 電話機の接続線(モジュラー線)を電話線コンセントから外す



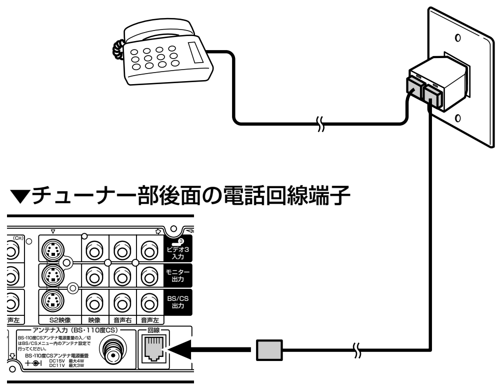
3 付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む



4 電話機の接続線(モジュラー線)をモジュラー分配器の一方に差し込む

5 付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子を接続する

▼チューナー部後面の電話回線端子



接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

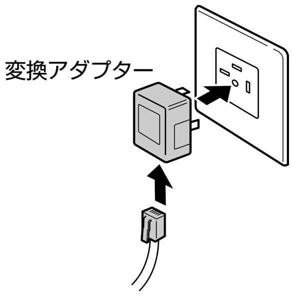
- **3ピンプラグの場合**

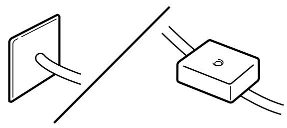
  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。

- **直結配線方式の場合**

  簡単な工事が必要です。

  詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。





■構内電話(ビジネスホン／ホームテレホン)では

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

■キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。

■本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。

通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ....)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

■直接デジタル回線に接続することはできません。

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

おしらせ

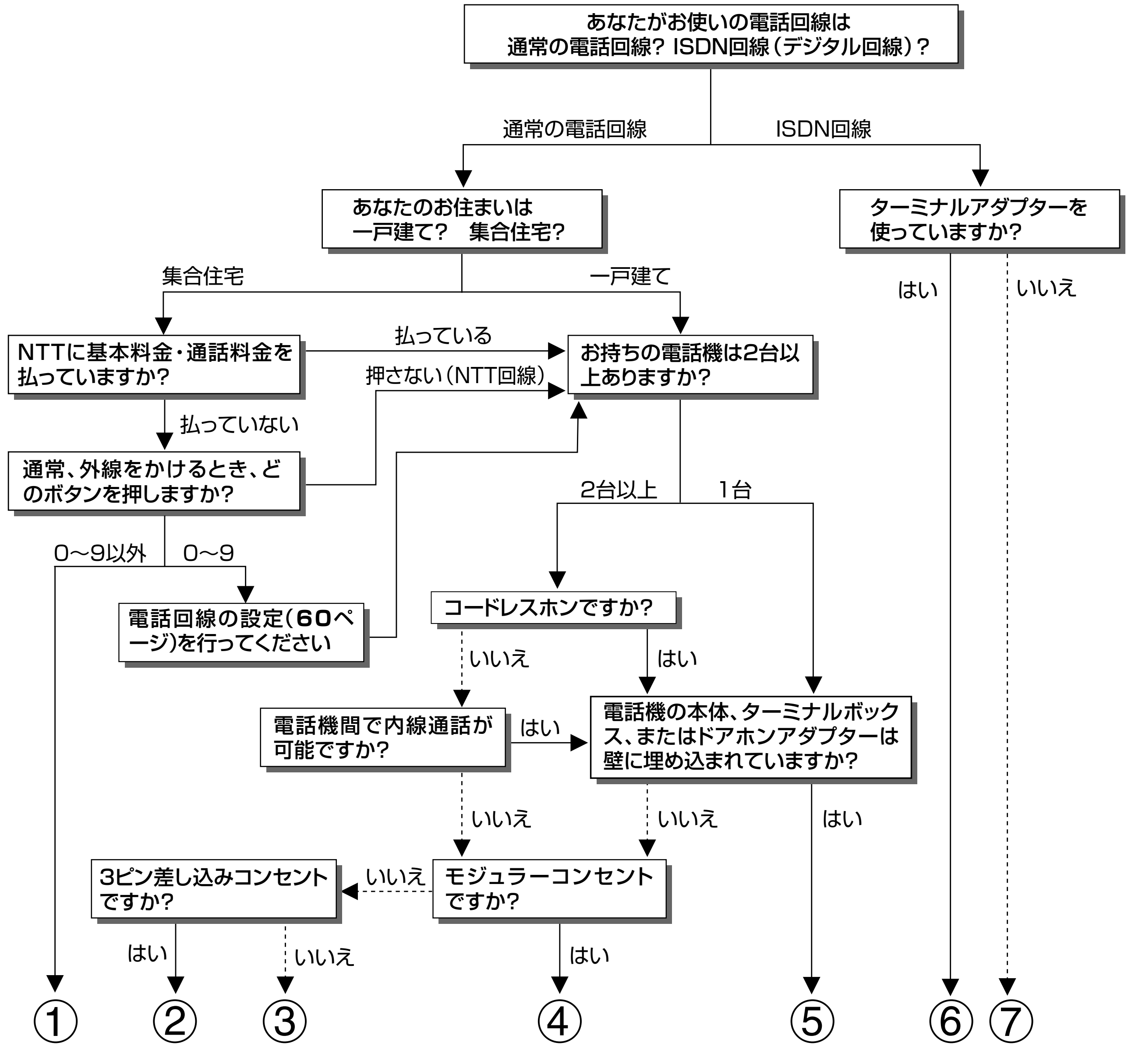
- **本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが異常ではありません。**

次ページへつづく

BS/110° CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

接続形態確認チャート



① マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。(**54**ページ参照)
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)でご相談ください。

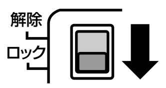
■BSデジタル放送、110°CSデジタル放送では、B-CASカードを利用した限定受信システム（＝CAS）を採用しています。
付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
■B-CASカードは、必ず登録してください。（登録は無料です。）
■プラットワン、スカイパーフェクTV！2、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

B-CASカードを入れる

B-CAS カードの入れかた

本機に付属のB-CASカードは、チューナー部を電源コンセントに接続していない状態で、つぎの手順にしたがって挿入してください。

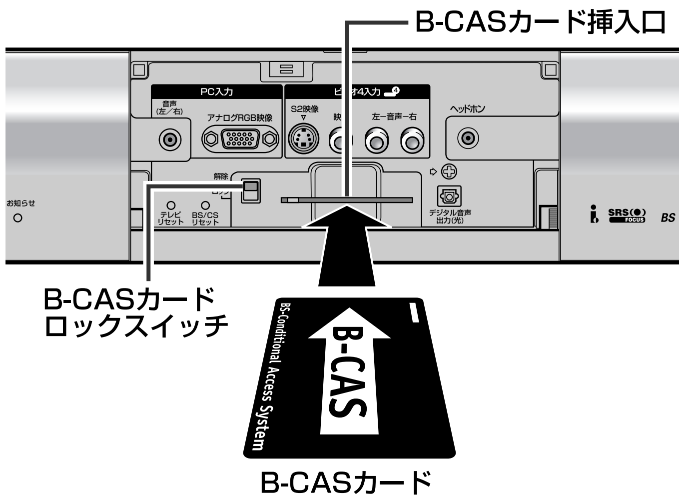
① B-CASカードを表面の矢印の方向に差し込む。（奥まで確実に挿入してください。）
② B-CASカードロックスイッチを下にスライドさせ、「ロック」位置にする。



カード挿入後、必ずロックしてください。
ロックしないとB-CASカードは働きません。

③ 端子カバーを閉める。

▼チューナー部前面の扉を開けたところ



※チューナー部前面の扉の開けかたについては、**18**ページをご覧ください。

おしらせ

B-CASカードについて

- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CASカードを入れていないとBSデジタル放送の有料番組や110°CSデジタル放送がご覧になれません。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。（2002年11月現在）
詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
（カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています。）

ご注意

取扱い上のご注意

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部（集積回路）には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは上記の手順どおり、チューナー部前面扉内のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CASカードを抜く必要がある場合は、チューナー部の電源を一度切り、チューナー部を電源コンセントに接続しない状態で、B-CASカードロックスイッチを上にスライドさせてロックを解除した後、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

BS/110° CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

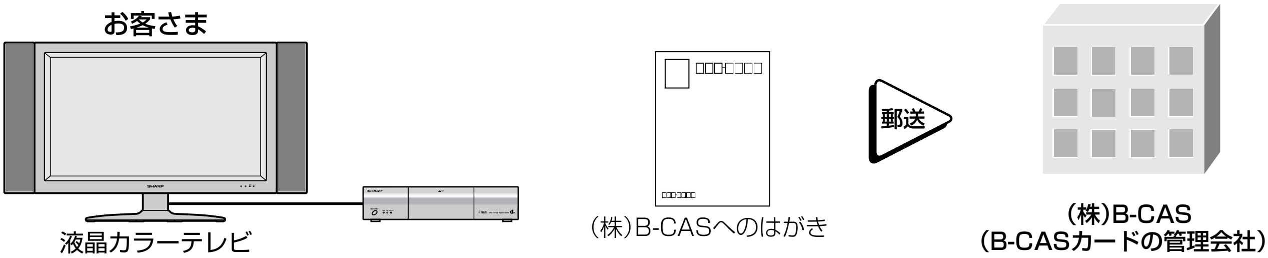
■BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

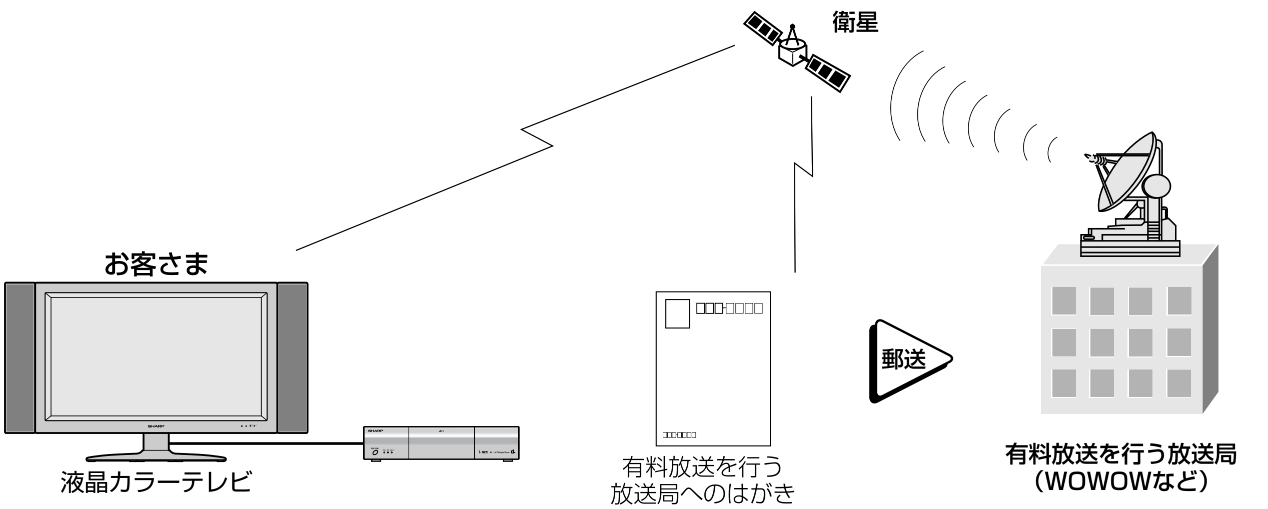
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。



②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。



おしらせ

● 本機のチューナー部は、契約データの受信のために、電源「切」(待機状態＝電源ランプ赤色点灯)のときでも動作することがあります。

110°CSデジタル放送を視聴するための手続き

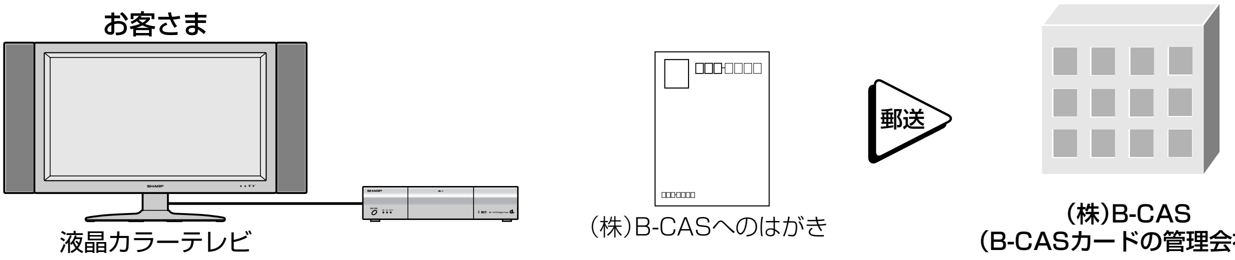
■110°CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

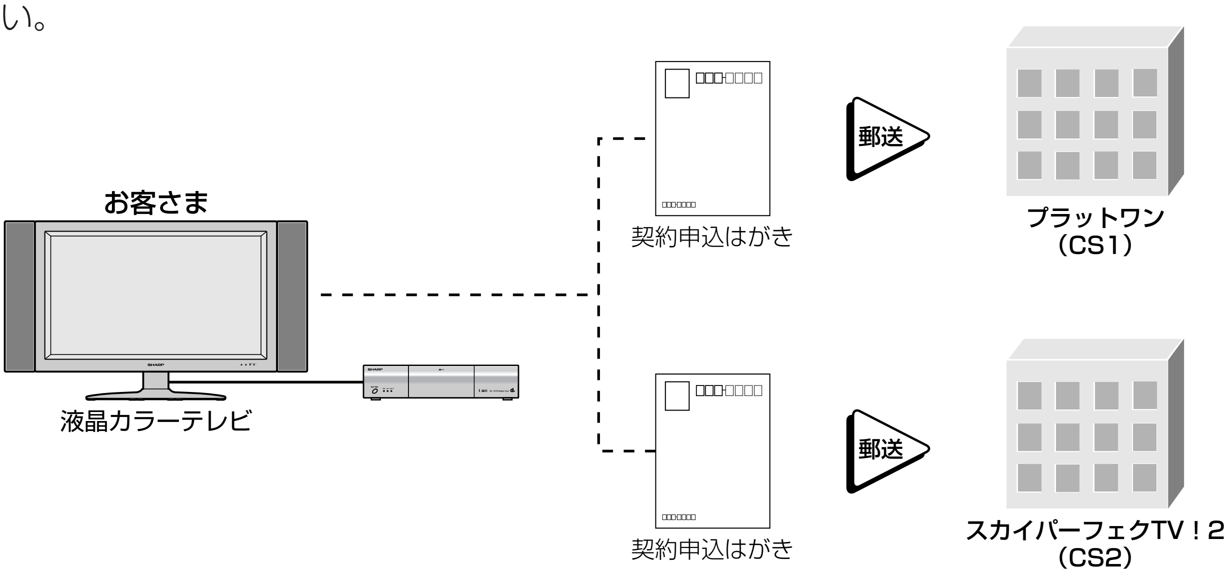


②視聴したいプラットフォーム(運営会社)に申し込む

110°CSデジタル放送は有料放送です(一部、無料放送もあります)。視聴するためには、各プラットフォーム(CS1·····プラットワン、CS2·····スカイパーフェクTV！2)※と個別に契約することが必要です。

契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、プラットワン、スカイパーフェクTV！2のカスタマーセンターにお問い合わせください。



※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

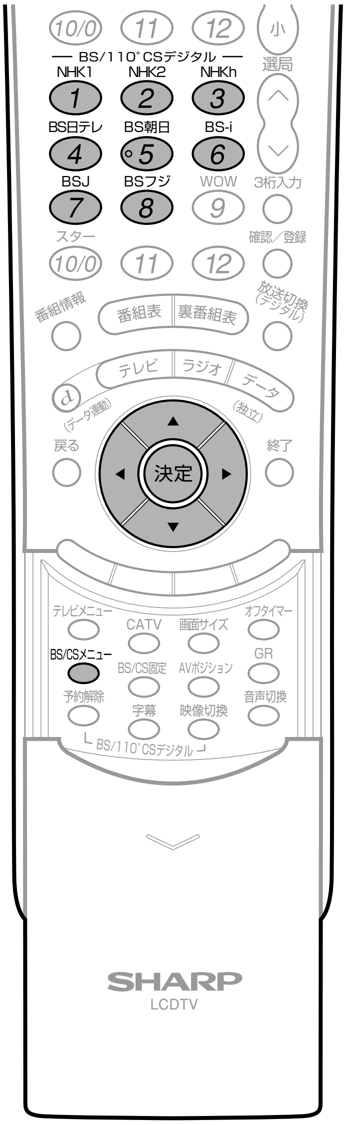
BS/110°CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話回線を設定する

設定を始める前に

- BS/CSメニューを使って設定を行う前に、BS/110°CSチャンネルボタン1〜8のいずれかを押し、画面をBSデジタル放送か110°CSデジタル放送の表示にしておいてください。(画面に「放送が受信できません」と表示されても、ほとんどの設定は行うことができます。)

扉を開けたところ



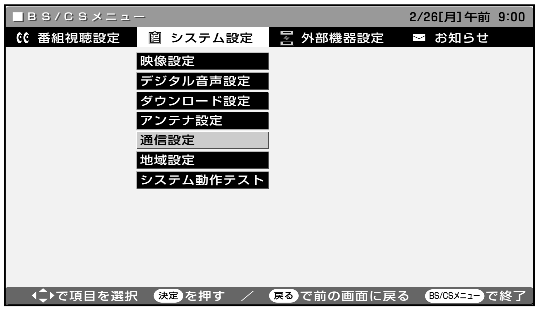
1 **電話回線が接続されていることを確認する(54ページ参照)**

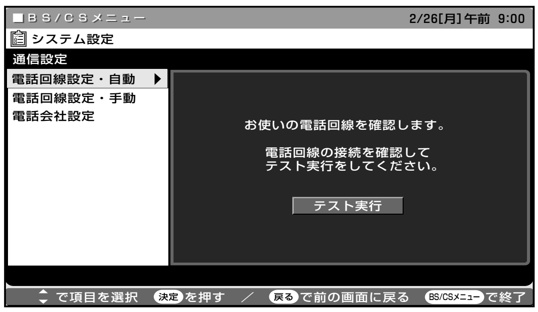
2

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「通信設定」を選び、決定を押す



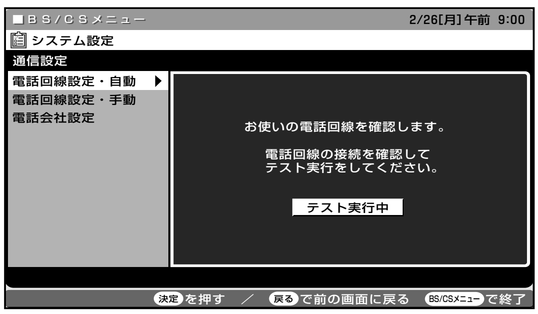


3

① 「電話回線設定・自動」で決定を押す

② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。



- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。(61ページ参照)

おしらせ

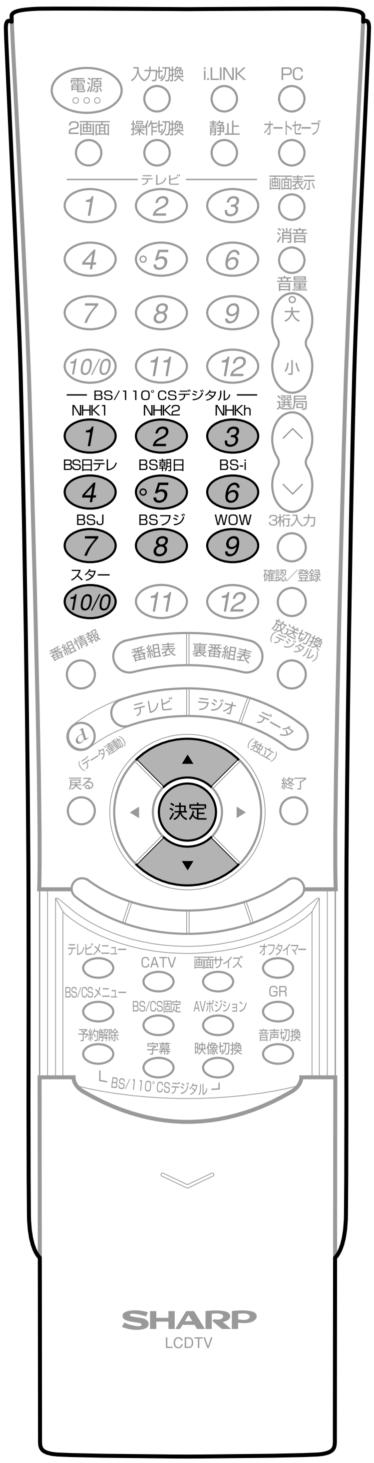
- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

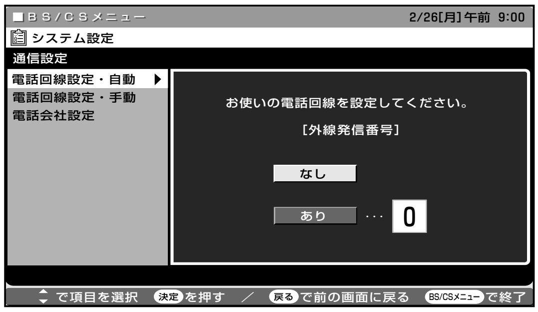
扉を開けたところ



外線発信番号の設定

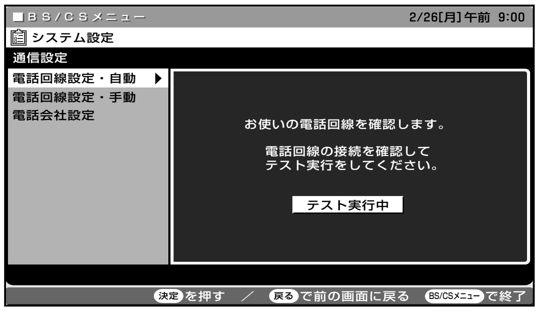
1 **▲ ▼ で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、（決定）を押す**

「なし」……外線交換機を使用しない場合
（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合



●「あり」を選んだ場合は、BS／110°CSチャンネルボタン（1〜10/0）で外線発信番号（0〜9）を右のボックスに入力してから決定ボタンを押します。

2 **「テスト実行」で（決定）を押す**



●「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
●電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、**62**ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

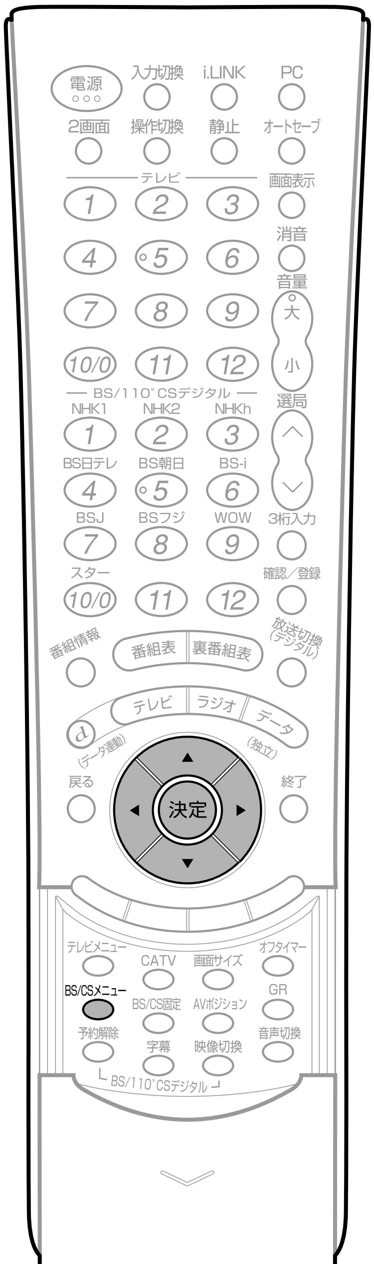
ご注意

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

BS/110° CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

扉を開けたところ



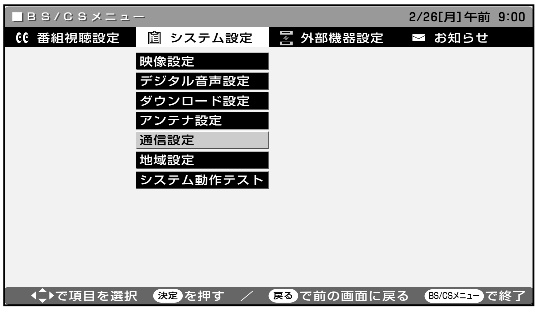
手動による電話回線設定

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

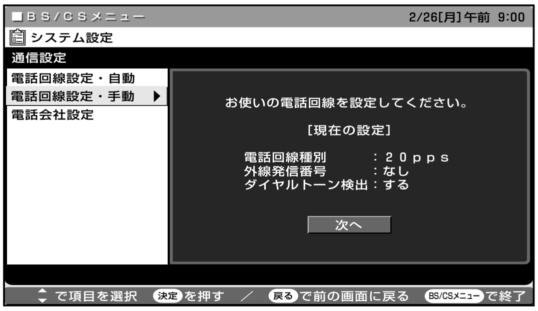
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す



2

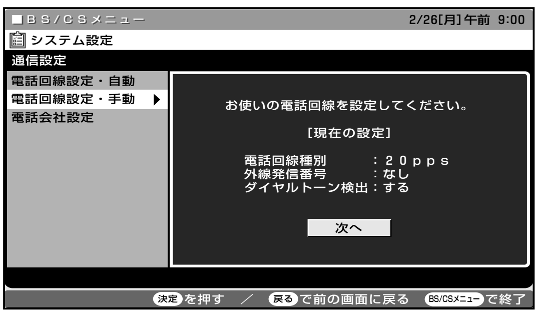
▲ ▼ で「電話回線設定・手動」を選び、決定 を押す



3

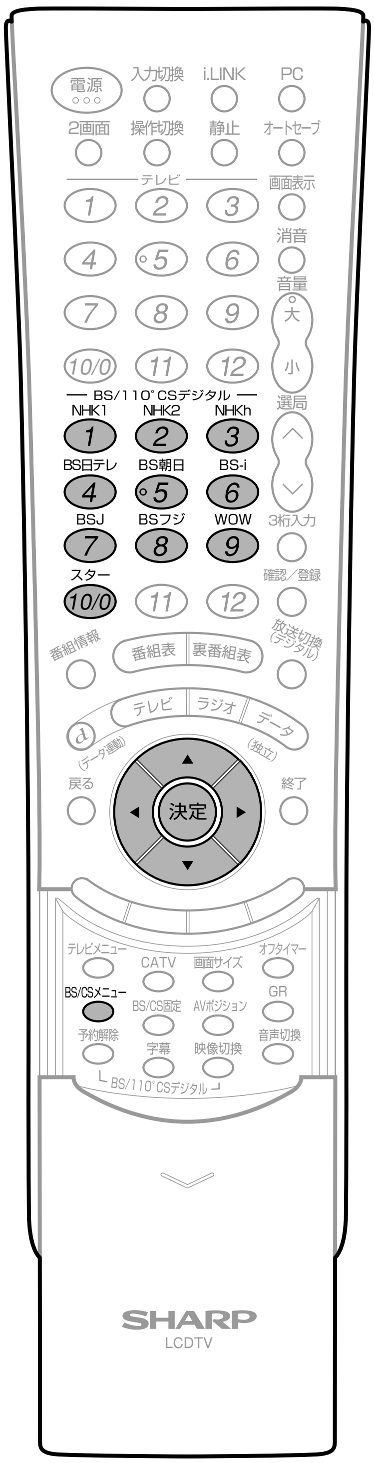
① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で 決定 を押す



次ページへ

扉を開けたところ

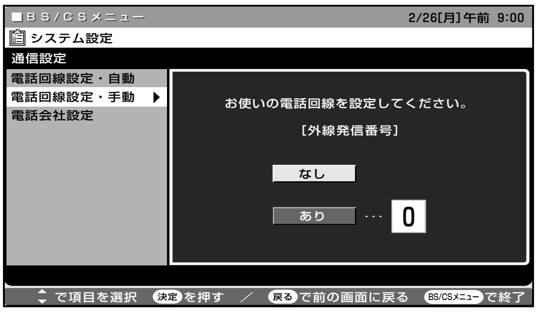


4 ご契約の電話回線種別を(▲)(▼)で選び、(決定)を押す

●契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。



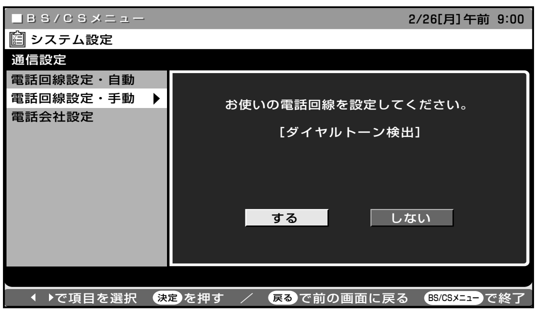
5 ① (▲)(▼)で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ



●「あり」を選んだ場合は、BS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で外線発信番号を右のボックスに入力してください。

② (決定)を押す

6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を(◀)(▶)で選び、(決定)を押す



7 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

ご注意

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

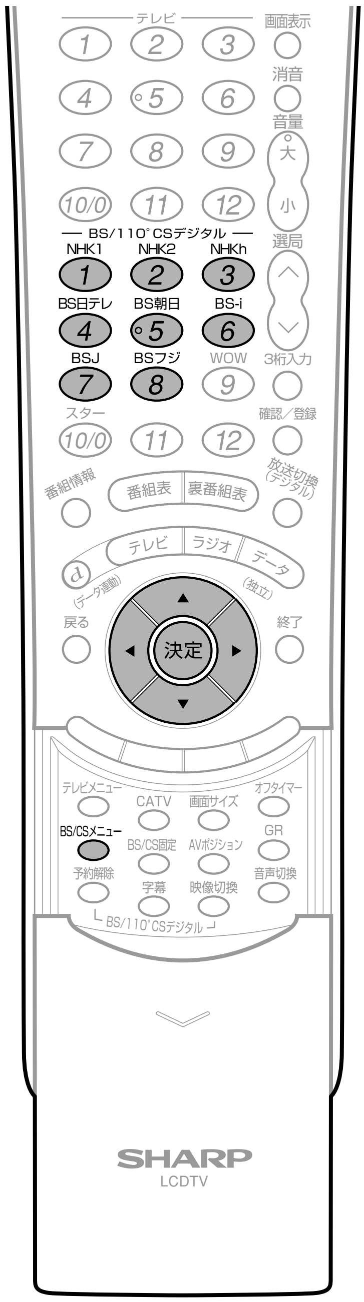
BS／110°CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話会社設定

■放送局やプラットフォームなど、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

■**通常は設定する必要はありません。**

扉を開けたところ



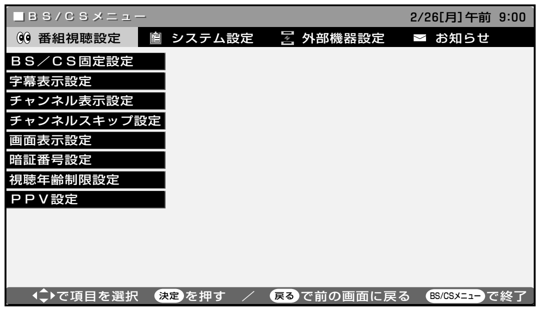
発信者番号通知設定

●通信時、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

1 **BS／110°CSチャンネルボタン(1 NHK1)〜(8 BSフジ)のいずれかを押し、BSデジタル放送か110°CSデジタル放送の表示にする**

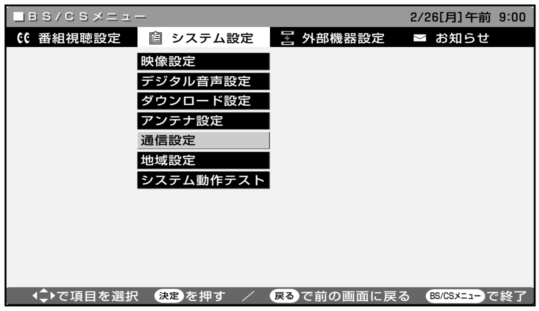
●画面に「放送が受信できません」と表示されても、ほとんどの設定は行うことができます。

2 **(BS/CSメニュー)を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

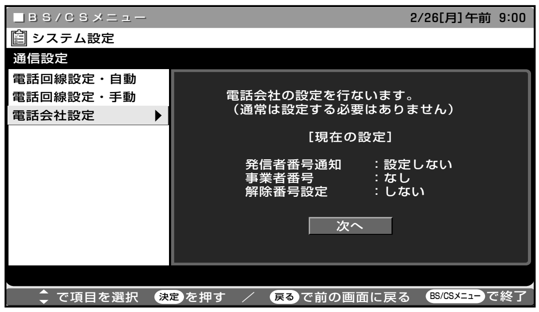


3 **① (◀)(▶)で「システム設定」を選ぶ**

② (▲)(▼)で「通信設定」を選び、(決定)を押す



4 **(▼)で「電話会社設定」を選び、(決定)を押す**



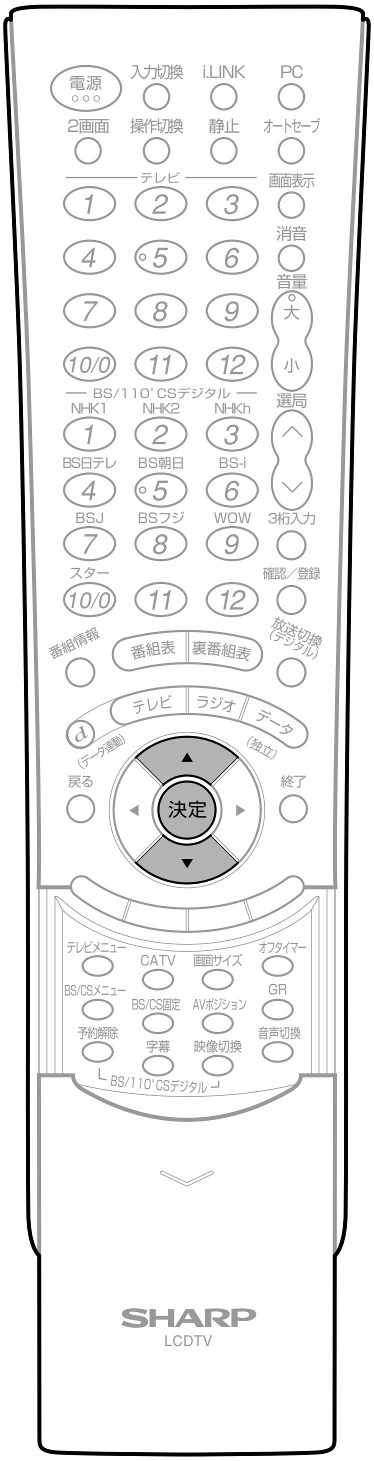
次ページへ

おしらせ

メニュー画面について

●メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

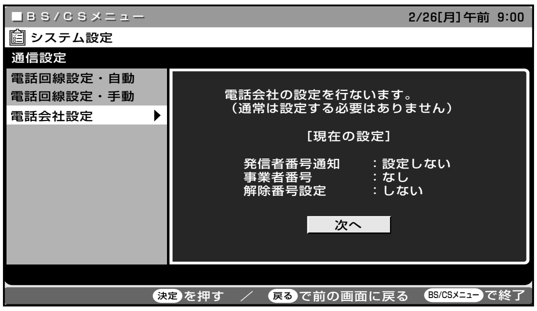
扉を開けたところ



5

① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で(決定)を押す



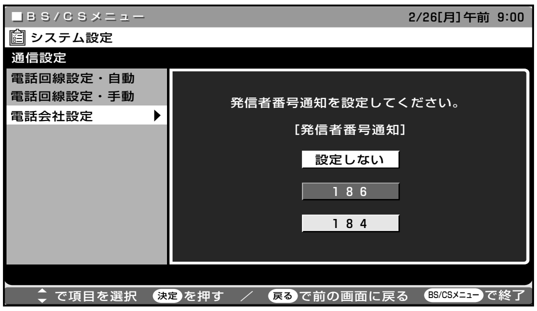
6

(▲)(▼)で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、(決定)を押す

「設定しない」……「186」「184」のどちらにも設定しない

「186」………………番号を通知する

「184」………………番号を通知しない

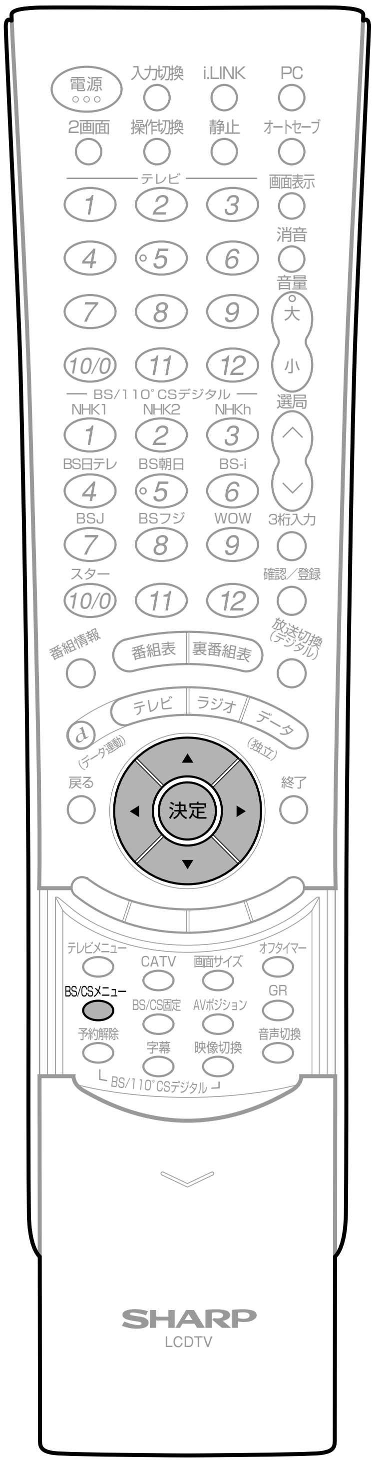


次ページへ

次ページへつづく

BS/110° CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

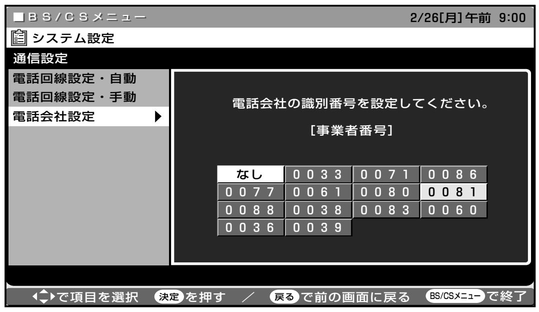
扉を開けたところ



事業者番号設定

- 電話回線による通信に利用する電話会社の識別番号を登録します。

7 **▲▼◀▶で、利用している電話会社の識別番号を選び、決定を押す**



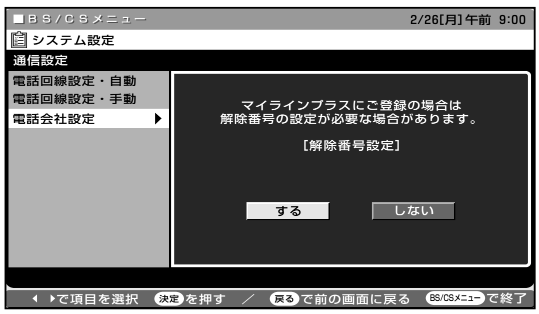
解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

8 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」……. マイラインプラスを解除しないで発信します。

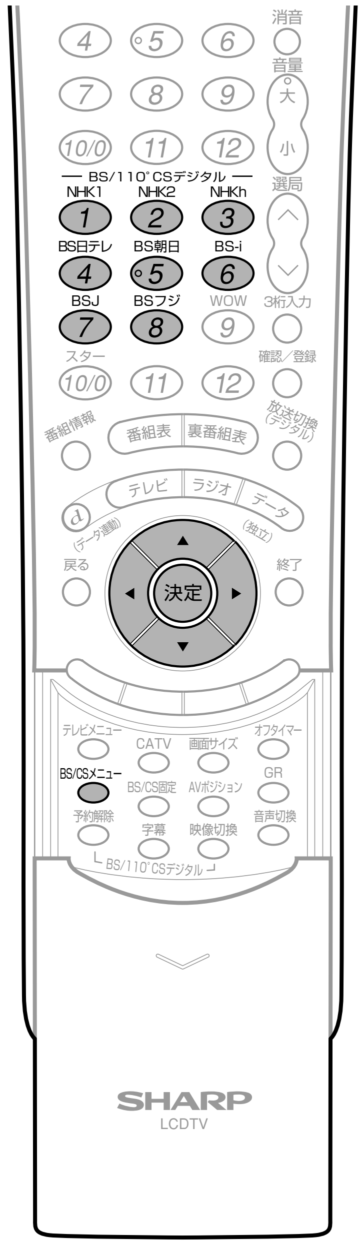


9 **BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す**

地域と郵便番号を設定する

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

扉を開けたところ



おしらせ

メニュー画面について

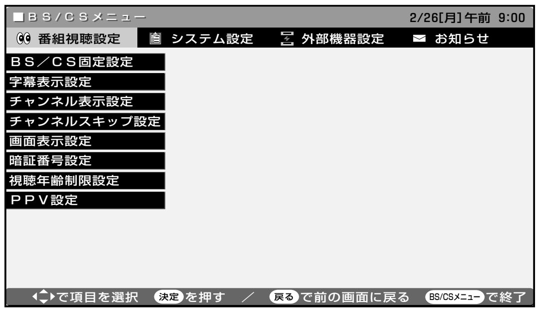
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

地域選択

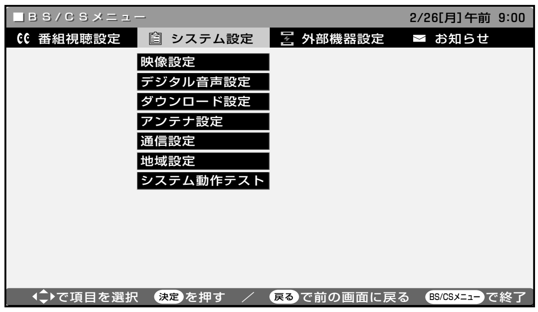
1 **BS／110°CSチャンネルボタン（NHK1）1〜（BSフジ）8のいずれかを押し、BSデジタル放送か110°CSデジタル放送の表示にする**

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、ほとんどの設定は行うことができます。

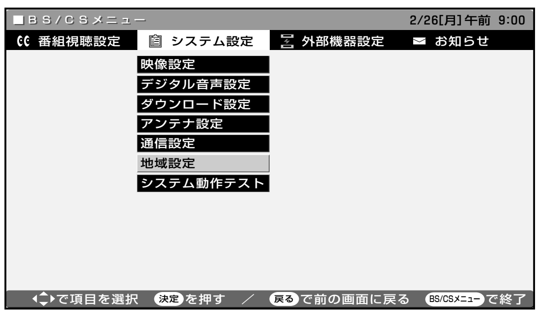
2 **BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する**



3 **◀ ▶で「システム設定」を選ぶ**



4 **▲ ▼で「地域設定」を選び、決定を押す**

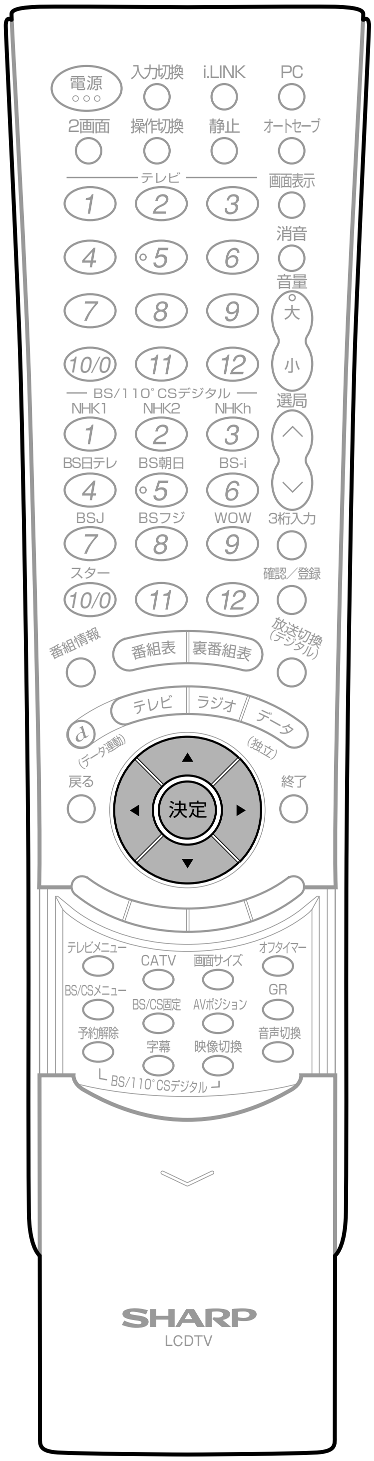


次ページへ

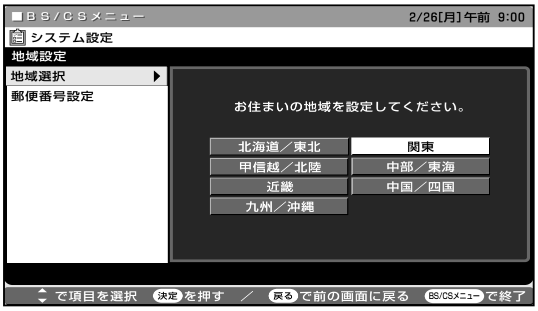
次ページへつづく

BS／110° CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

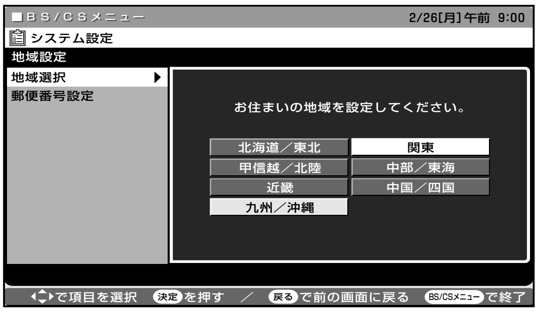
扉を開けたところ



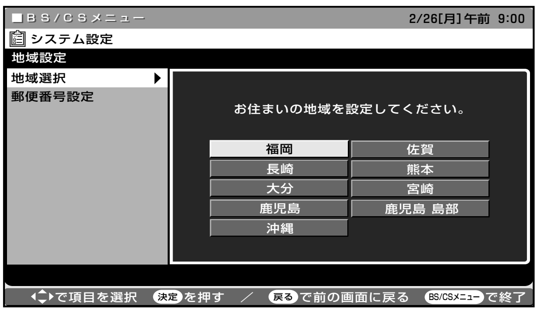
5 ▲で「地域選択」を選び、決定を押す



6 お住まいの地域を▲▼◀▶で選び、決定を押す

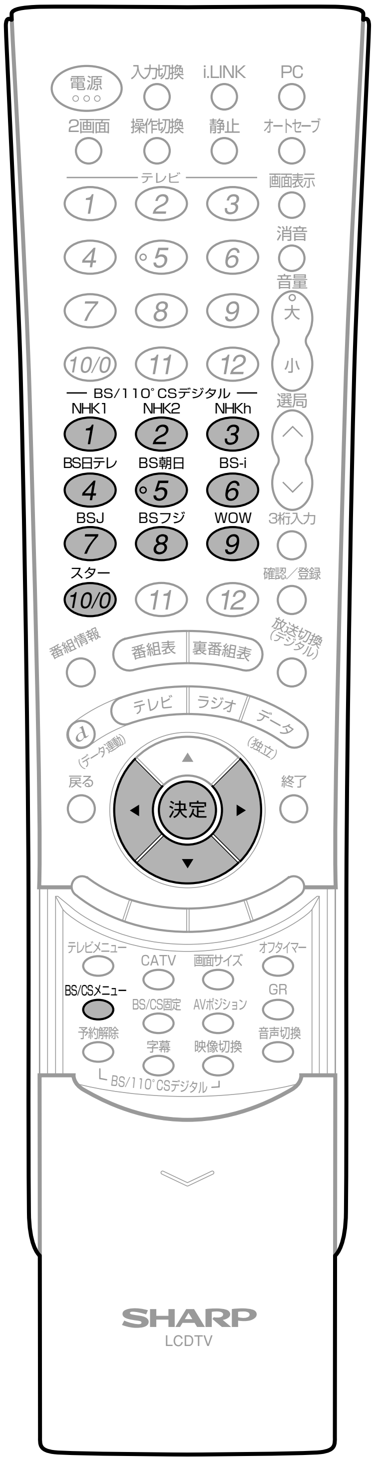


7 お住まいの都道府県を▲▼◀▶で選び、決定を押す



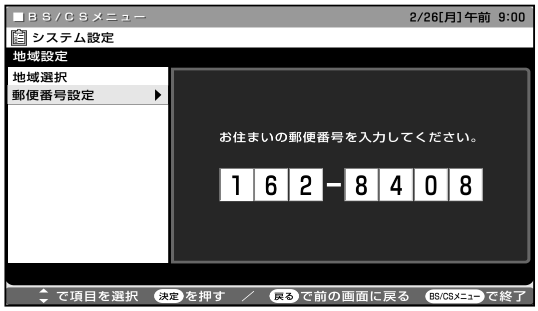
次ページへ

扉を開けたところ

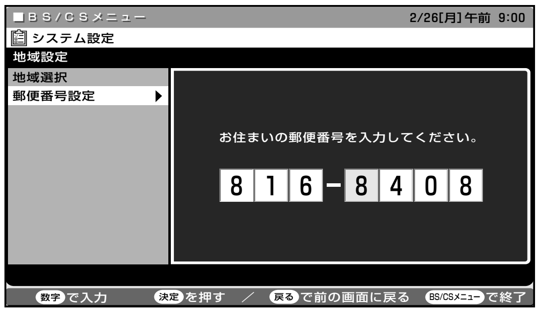


郵便番号設定

8 **▼で「郵便番号設定」を選び、決定を押す**



9 **BS／110°CSチャンネルボタン（1～10/0）で郵便番号を入力し、決定を押す**



- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BS／110°CSチャンネルボタンで入力しなおします。

10 **BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す**

BS/CSメニュー画面について

本機は、暗証番号の設定や予約録画の設定など、各種設定および設定内容の変更・確認、また受信した各種データの表示などをBS/CSメニューを使って行います。
操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

基本操作

BS/CSメニューを表示する／終了する ..... BS/CSメニュー　　カーソルで選ぶ ......

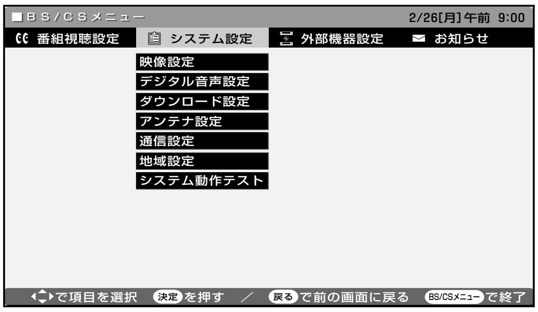
前に戻る .... 戻る　　決定する .... 決定

メニューの構成



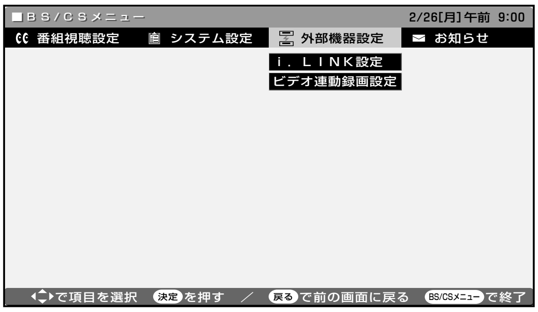
番組視聴設定

BS／CS固定設定 183ページ
字幕表示設定 146ページ
チャンネル表示設定 142ページ
チャンネルスキップ設定......... 143ページ
画面表示設定 145ページ
暗証番号設定 147ページ
視聴年齢制限設定 150ページ
PPV設定................................ 151ページ



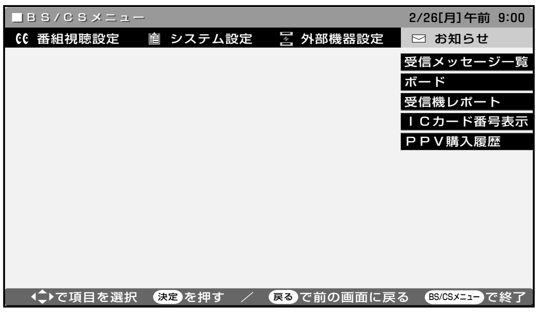
システム設定

映像設定................................. 139ページ
デジタル音声設定 207ページ
ダウンロード設定 154ページ
アンテナ設定 157ページ
通信設定 160ページ
地域設定 167ページ
システム動作テスト 176ページ



外部機器設定

i. LINK設定 197ページ
ビデオ連動録画設定 185ページ



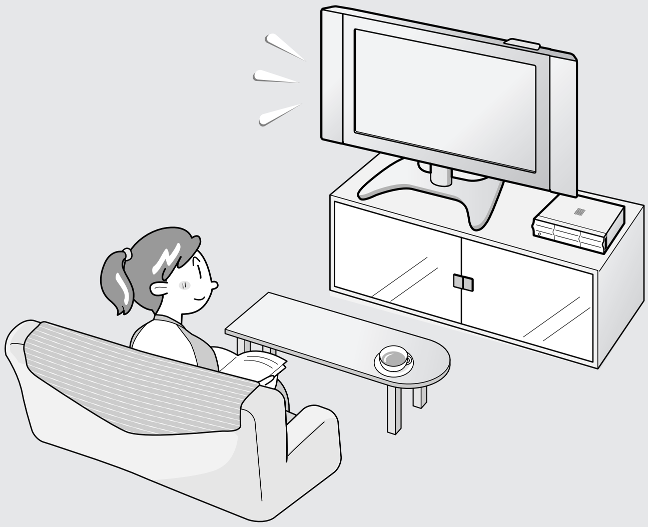
お知らせ

受信メッセージ一覧............ 170ページ
ボード 171ページ
受信機レポート..................... 173ページ
ICカード番号表示................ 174ページ
PPV購入履歴 175ページ

設定画面の表示　白で表示されている項目…………現在選択されている項目です。
黄色で表示されている項目………現在カーソルがある項目です。

テレビを楽しむ

● この章では、テレビを楽しく使っていただくうえで役立ついろいろな機能と操作方法につき説明しています。



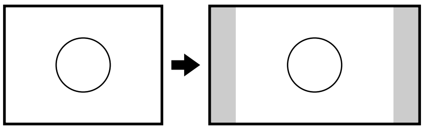
テレビ／ビデオ入力の画面サイズの種類

放送やソフトの内容によって、画面サイズが自動的に切り換わるようにしたり、手動で画面サイズを切り換えることができます。

■つぎの4つの画面サイズから選択できます。

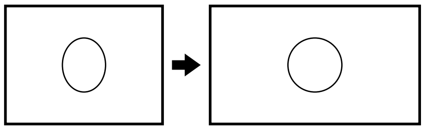
ノーマル

通常のテレビ画面（4:3サイズ）の映像です。



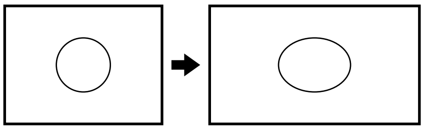
フル

16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。



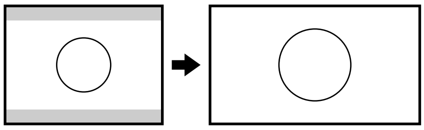
ワイド

通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。



シネマ

シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。



■選択できる画面サイズは、通常のテレビ／ビデオ映像とハイビジョン映像とで異なります。

テレビ／ビデオ映像	→ノーマル→ワイド→フル→シネマ
ハイビジョン映像	→フル1（1080i）→フル2（1035i）

※ 1080iと1035iは、本機の画面表示（チャンネルサイン）ではどちらも「1125i」と表示されます。

ワイドクリアビジョン放送や画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

- 本機は、ワイドクリアビジョン放送やビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。（**オートワイド機能**☞**83**ページ）

「映像判別」機能（☞**84**ページ）……映像の上下に黒い帯があるとき、自動的に最適なサイズで表示します。

「EDTVII対応」機能（☞**85**ページ）……ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適なサイズで表示します。（水平高画質化機能はありません。）

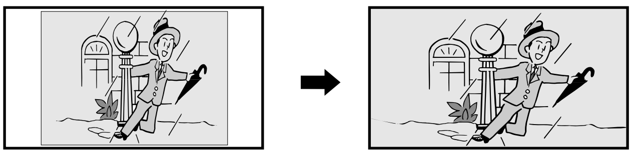
「S2対応」機能（☞**86**ページ）……DVDプレーヤーなどをS映像ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

「D識別対応」機能（☞**87**ページ）……DVDプレーヤーなどをD端子ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

フルモード制御信号・レターボックス制御信号とは

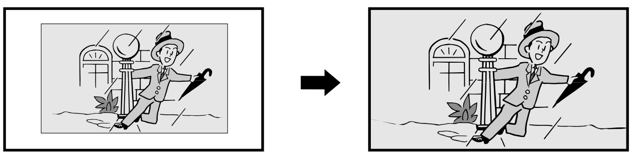
- 縦横比16：9の映像であることを示す信号です。

フルモード： オリジナルの映像が16：9のもの。



〈フルモード制御信号の入った映像〉 → 〈自動的にフルモードで表示します〉

レターボックス： 4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

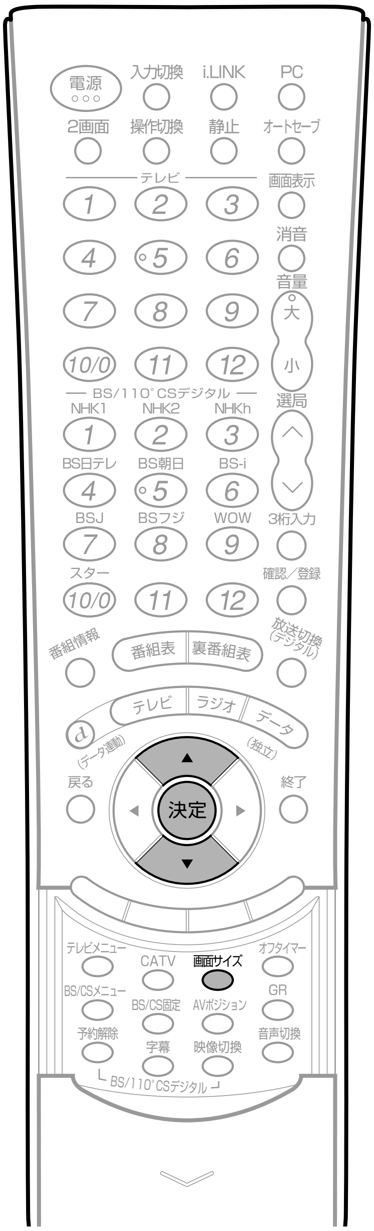


〈レターボックス制御信号の入った映像〉 → 〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

テレビ／ビデオ入力の画面サイズ切換え

画面サイズを選ぶ

扉を開けたところ



1 **画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する**



● メニュー表示中につぎの操作を行います。

2 **画面サイズ または ▲ ▼ で、「ノーマル」「ワイド」「フル」「シネマ」のうちから、お好みの画面サイズを選ぶ**



3 **決定 を押す**

おしらせ

- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド映像でない通常(4：3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(**78**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズ(シネスコサイズなど)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

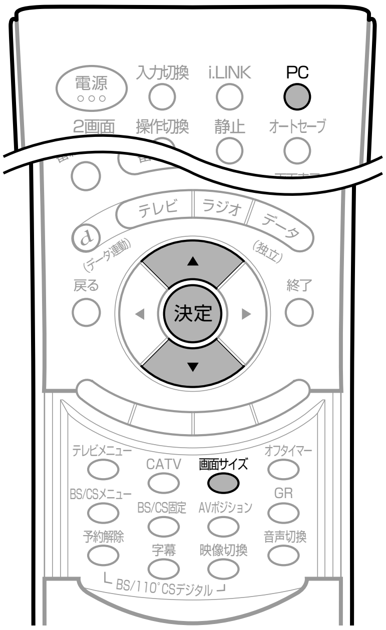
PC入力の画面サイズの種類と切換え

画面サイズを選ぶ

Dot by Dot（ドット・バイ・ドット）とは
- 接続したPC（パソコン）からの入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示する機能です。（**211**ページ「PC入力対応表」参照）

おしらせ
- 縦横比16：9の映像が入力されたときの表示サイズについては、「入力解像度を選択する」（**212**ページ）をご参照ください。

扉を開けたところ



■操作を行う前に、チューナー部とPC（パソコン）を接続しておいてください。（**211**ページ参照）

1 PC ◯を押し、PC入力にする

2 画面サイズ ◯を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

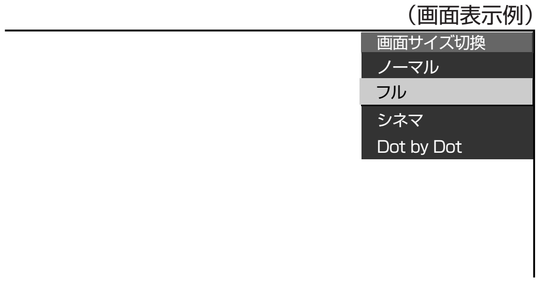
（画面表示例）



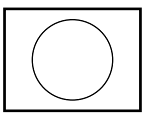
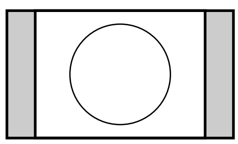
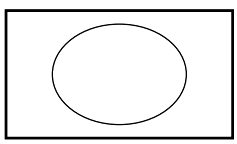
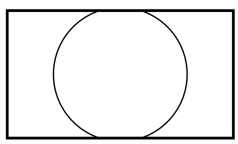
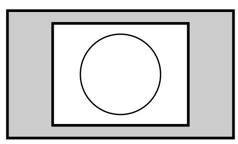
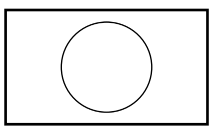
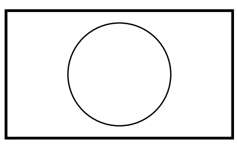
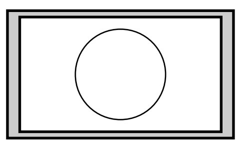
- メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 画面サイズ ◯または ▲ ▼ で、お好みの画面サイズを選び、決定 を押す

（画面表示例）



■つぎの画面サイズから選択できます。（入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	フル	シネマ	Dot by Dot
4：3映像  640×400、720×400 640×480、800×600 832×624、1024×768 1280×1024	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	 入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16：9映像  848×480 1280×768		 画面いっぱいに映します。		 入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

2画面で見る

2画面機能を使う

■本機は2つの異なる映像を同時に表示して見ることができます。

■2画面のとき、「♪」マークのある画面（操作画面）のチャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

扉を閉じたところ



2画面で見られる映像の組合せ

左画面＼右画面	地上放送	※1 BS/CS放送	外部入力	PC入力
地上放送	×	○	○ ※2	×
BS/CS放送	○	×	○ ※2・3	×
外部入力	○	○ ※3	○ ※2・4	×
PC入力	×	×	×	×

※1　BS/CS放送は、右画面に表示したとき自動的に525i信号に変換されます。

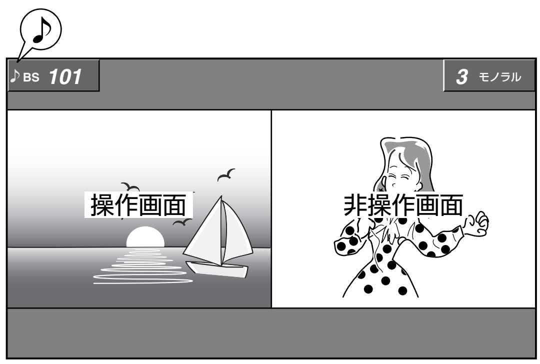
※2　右画面には525i信号（地上放送と同じ画質）のみ表示できます。外部入力で高解像度信号（525p/1125i/750p）が入力されている場合は、その入力に切り換えようとしてもスキップします。

※3　BS/CS放送とi.LINK入力の2画面表示はできません。

※4　同じ外部入力どうしの2画面表示はできません。

［例］地上放送とBS放送を2画面で見る

2画面 ○ を押す



●操作画面のチャンネル表示には、「♪」マークが付いています。

2画面時の音声と音量調整について

● 「♪」マークのある操作画面の音声が聞けます。
● 音量（大／小）ボタンで、操作画面の音量を調整できます。

おしらせ

● 2画面機能を入／切すると、まれに画面やBS/CS出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。
● 2画面表示中は、画面サイズボタンによる画面サイズの切換えができません。
● 2画面のとき、テレビメニュー操作はできません。

次ページへつづく

2画面で見る(つづき)

扉を閉じたところ



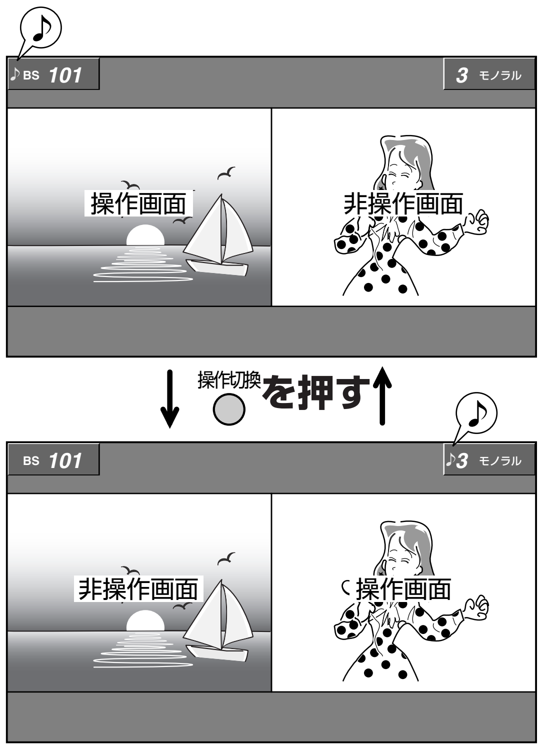
操作画面のチャンネルや入力を切り換えるには

- 選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

おしらせ

- 非操作画面がBS/CS放送のとき、操作画面は地上放送の中でのみ選局できます。
- 非操作画面が地上放送のとき、操作画面はBS/CS放送の中でのみ選局できます。
- 非操作画面がBS/CS放送のとき、操作画面の外部入力のi.LINKは選べません。
- 右画面には525i信号(地上放送と同じ画質)のみ表示できます。外部入力で高解像度信号(525p/1125i/750p)が入力されている場合は、その入力に切り換えようとしてもスキップします。

操作画面を切り換えるには



- 「♪」マークが移動します。

1画面に戻すには

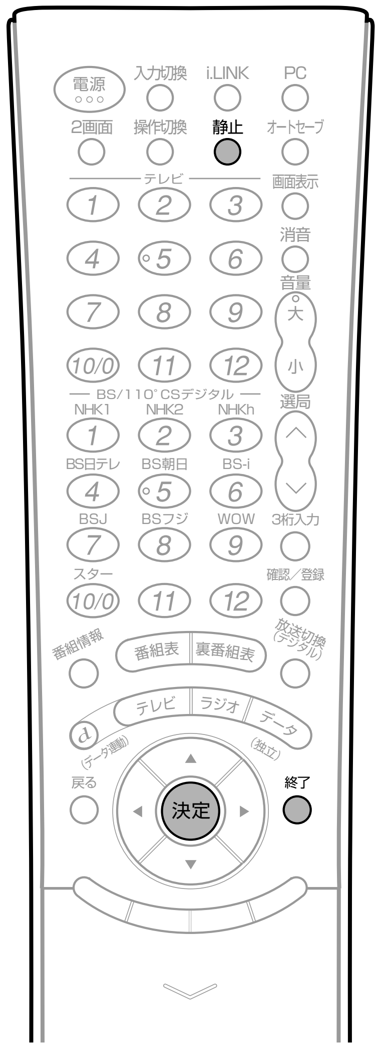
2画面 をもう一度押すか、終了 を押す

静止画面で見る

番組の内容をメモする

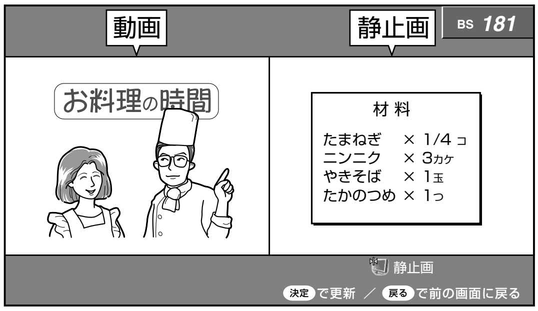
■いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするとき便利です。

扉を閉じたところ



映像を静止させたいところで、静止◯を押す

●2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。



●静止画表示中に決定ボタンを押すと、静止画が更新されます。

1画面に戻すには

静止◯をもう一度押すか、終了◯を押す

おしらせ

- 静止ボタンを押し、静止画表示になってから30分経過すると、自動的に1画面に戻ります。
- 静止画表示中に選局すると、1画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
- 静止画表示中は、BS/CS放送のデータ放送の操作、BS/CSメニューや電子番組表などの操作ができません。
- 静止画表示中に予約録画が実行された場合、静止画表示が解除されます。
- 静止画表示中は、i.LINKの操作ができません。

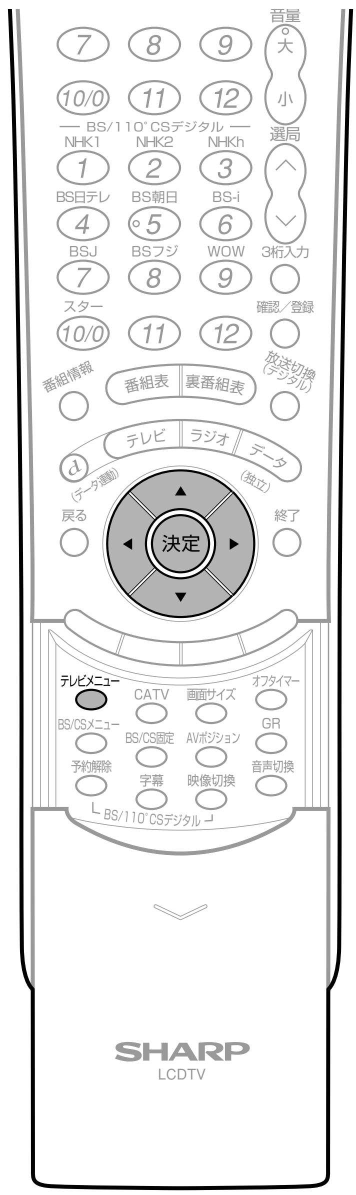
画面の位置を調整する

画面位置の調整のしかた

画面位置の調整について

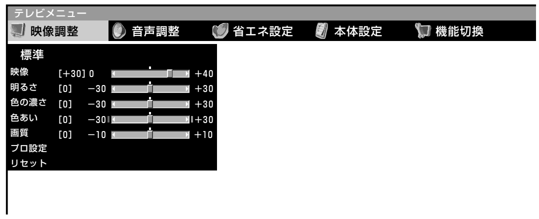
- 画面の位置を調整することができます。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

扉を開けたところ

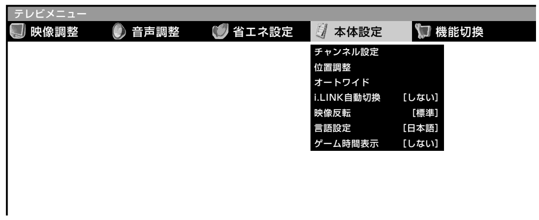


［例］画面の垂直位置を調整する

1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する



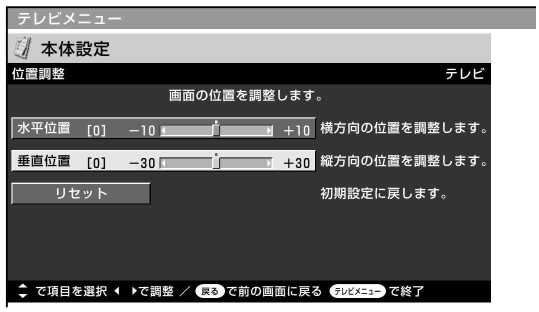
2 ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ



3 ▲ ▼ で「位置調整」を選び、決定 を押す

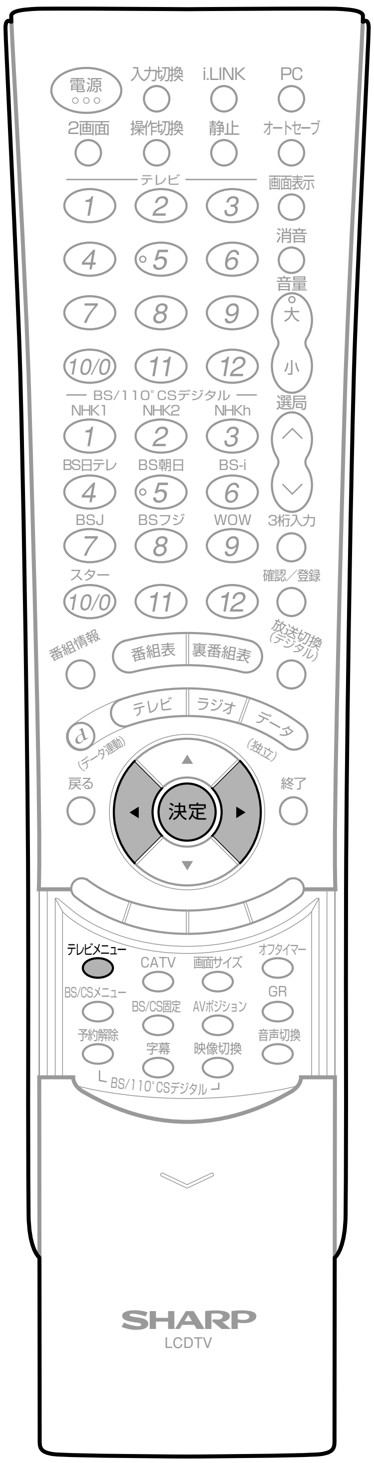


4 ▲ ▼ で「垂直位置」を選ぶ



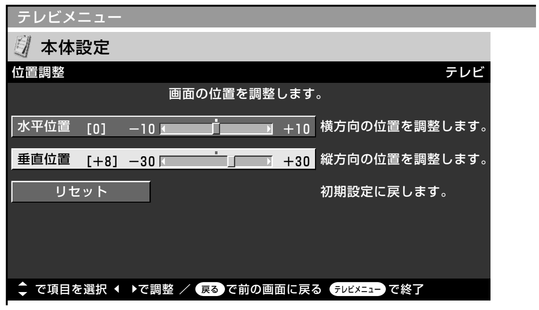
次ページへ

扉を開けたところ



5 ◀ ▶ で適切な位置に調整する

- 水平位置は、−10〜0〜+10の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、−30〜0〜+30の範囲で調整できます。



6 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

おしらせ

工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

PC入力の画面位置などの調整

自動同期調整で最適な画面にする

「自動同期調整」とは
- 最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的に画面の位置などが調整されます。

扉を開けたところ



おしらせ
- つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
  －動きのある映像
  －画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
- 映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。(**81**ページ参照)
- 入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。(**212**ページ参照)

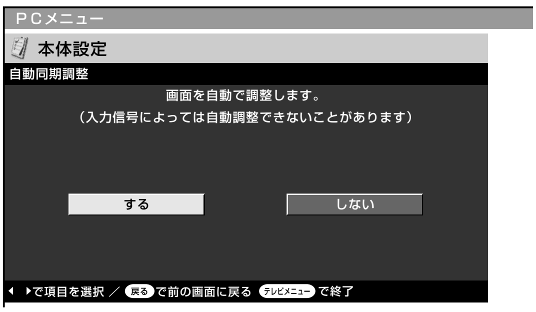
■操作を行う前に、チューナー部とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**211**ページ参照)

1 **PC を押し、PC入力にする**

2
① **テレビメニュー を押し、PCメニュー画面を表示する**
② **◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ**
③ **▲ ▼ で「自動同期調整」を選び、決定 を押す**



3 **◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す**



- 「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
- 自動調整が終了すると、「映像の調整をしました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

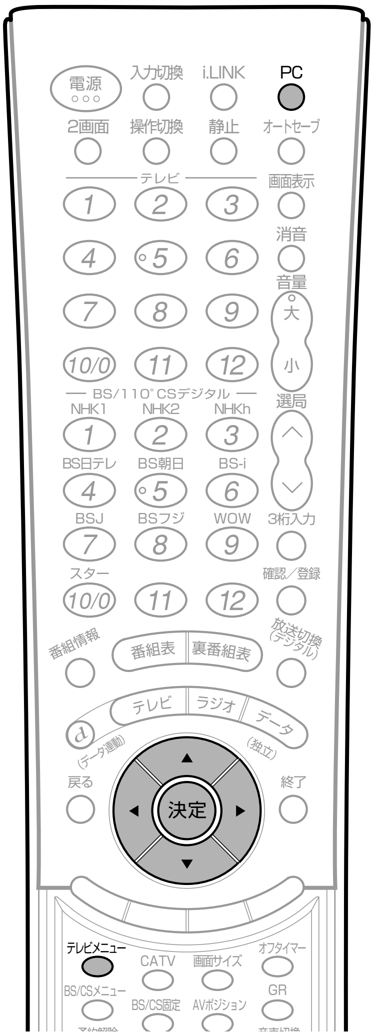
4 **テレビメニュー を押し、通常画面に戻す**

手動で最適な画面に調整する

「画面調整」とは

- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  - 「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  - 「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  - 「クロック周波数」…縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
  - 「クロック位相」…文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

扉を開けたところ



［例］画面の垂直位置を調整する

1

① **チューナー部とPC(パソコン)の接続を確認する(211ページ参照)**

② PC **を押し、PC入力にする**

2

① テレビメニュー **を押し、PCメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ **で「本体設定」を選ぶ**



3

▲ ▼ **で「画面調整」を選び、**

決定 **を押す**



4

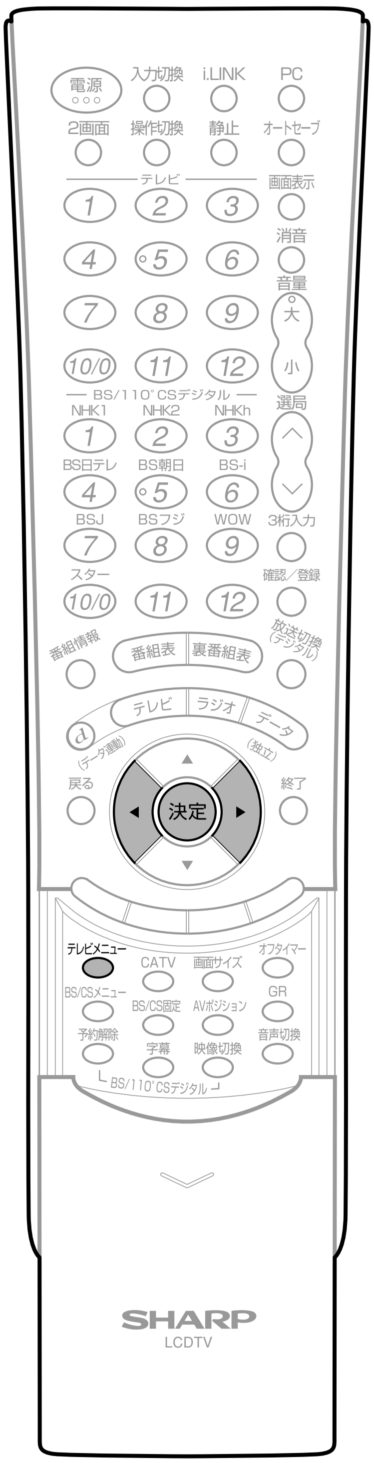
▲ ▼ **で「垂直位置」を選ぶ**



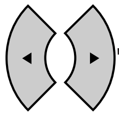
次ページへ

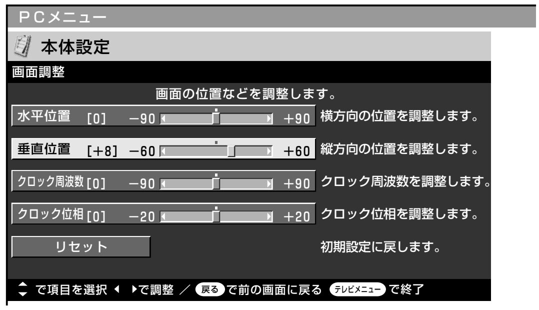
PC入力の画面位置などの調整(つづき)

扉を開けたところ



5

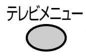

で適切な位置に調整する



各項目の調整範囲

水平位置	−90 ～ +90
垂直位置	−60 ～ +60
クロック周波数	−90 ～ +90
クロック位相	−20 ～ +20

6



を押し、通常画面に戻す

おしらせ

工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

画面サイズの自動最適化(オートワイド)

オートワイド機能について

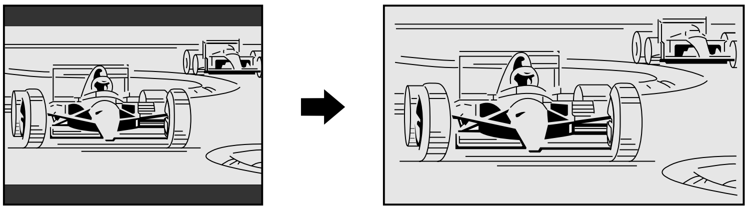
■オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。
■オートワイド機能にはつぎの4つの項目があります。各項目はテレビメニューの操作で設定します。

「映像判別」…………	受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に最適化するよう設定することができます。(☞**84**ページ)
「EDTVII対応」……	ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(水平高画質化機能はありません。)(☞**85**ページ)
「S2対応」…………… (ビデオ入力のみ)	S2入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(☞**86**ページ)
「D識別対応」……… (ビデオ1·2入力のみ)	D4映像端子に接続するケーブルを選択します。(☞**87**ページ)

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

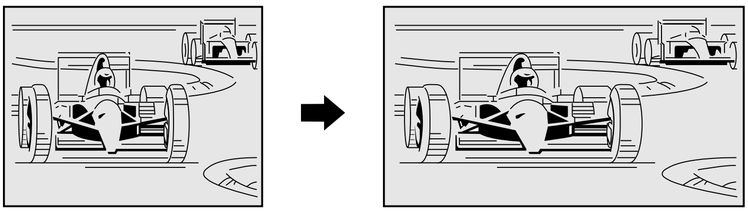
上下に黒い帯の入った映像

- 映像判別
- EDTVII対応
- S2対応
- D識別対応



スクイーズ映像

- S2対応
- D識別対応



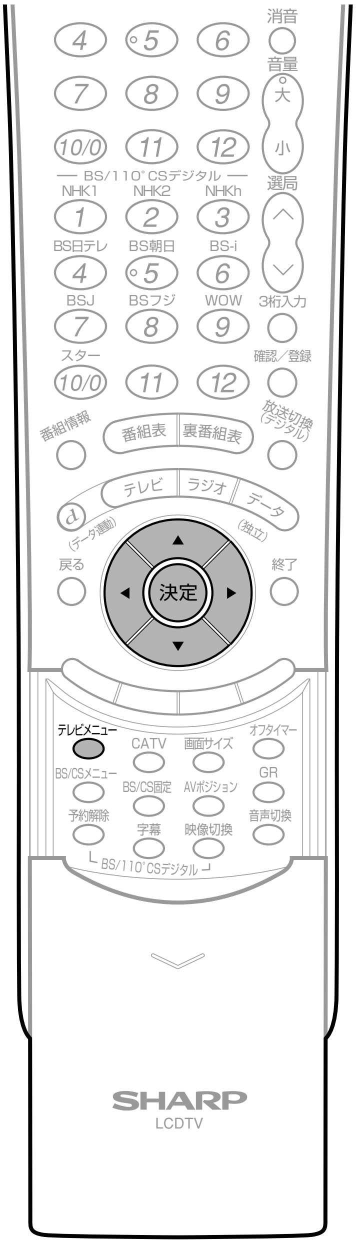
おしらせ

- オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。
  ① テレビメニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する。
  ② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
  ③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
  ④ 画面に表示されているすべての項目(「映像判別」「EDTVII対応」「S2対応」「D識別対応」のうち表示されているもの)を「しない」に設定する。(D識別対応は「信号」に設定する。)
  • 詳しい操作方法については、**84**〜**87**ページをご覧ください。
  ⑤ テレビメニューボタンを押し、通常画面に戻す。
- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 字幕など画面の一部が欠ける場合には、位置調整(**78**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズの自動最適化(オートワイド)(つづき)

■受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にする機能です。
■映像判別機能は、テレビを受信しているとき、ビデオ1〜4入力およびi.LINK入力のときに働きます。

扉を開けたところ



おしらせ

映像判別機能について

- コンポーネント映像端子、D4映像端子からの入力に対しては、入力された映像が「525i」のときのみ働きます。
- BS／110°CSデジタル放送のハイビジョン映像、525p映像に対しては働きません。

映像判別の設定

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

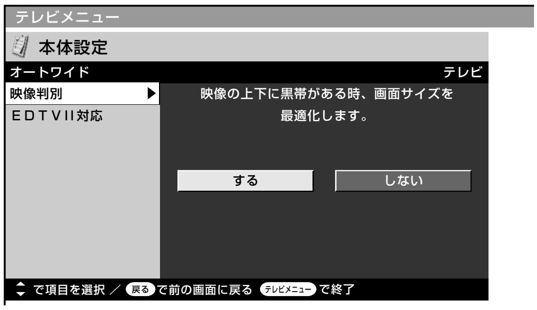
② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定 を押す



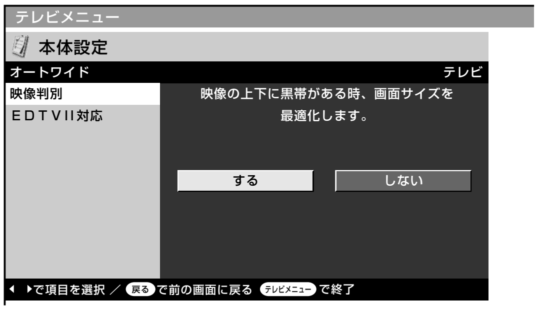
2

▲ ▼ で「映像判別」を選び、決定 を押す



3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選ぶ



4

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

EDTVII対応の設定

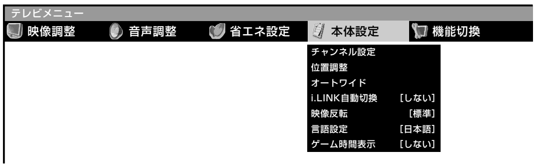
■ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に画面サイズを「シネマ」にする機能です。

■EDTVII対応機能は、テレビを受信しているとき、ビデオ1～4入力のとき（入力選択が「ビデオ映像」「S2映像」または「自動」で、それらが表示されているとき）に働きます。

1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する



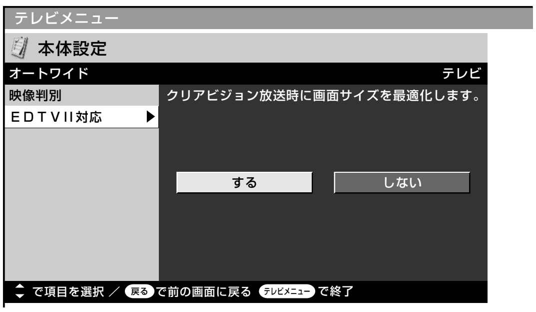
2 ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ



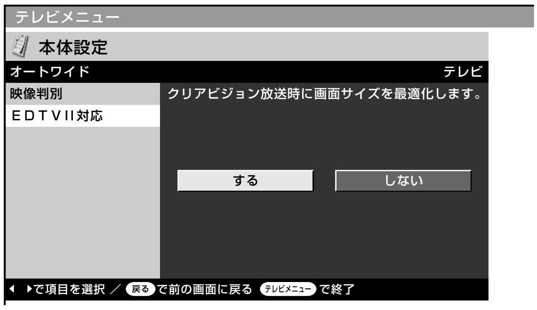
3 ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定 を押す



4 ▲ ▼ で「EDTVII対応」を選び、決定 を押す



5 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選ぶ



6 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

おしらせ

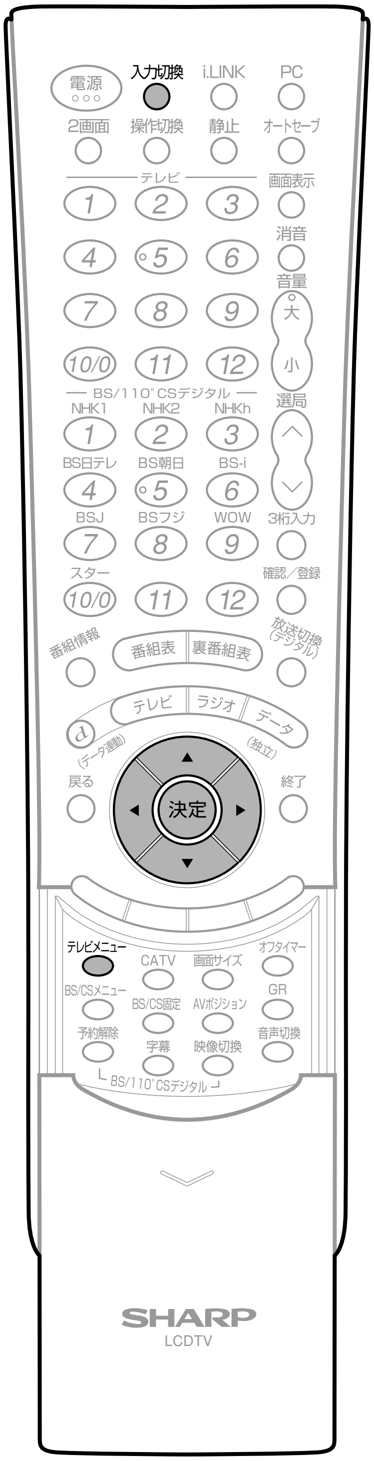
EDTVII対応機能について

● ワイドクリアビジョン放送をテレビから録画したものを視聴する場合、機能しないことがあります。

画面サイズの自動最適化(オートワイド)(つづき)

■S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。
■S2対応機能は、ビデオ1〜4入力のとき(入力選択が「S2映像」または「自動」でS2映像が表示されているとき)に働きます。

扉を開けたところ



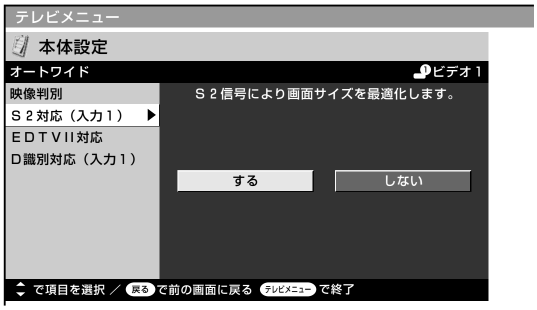
S2対応の設定

1 **入力切換を押し、S映像ケーブルを接続しているビデオ入力を選ぶ**

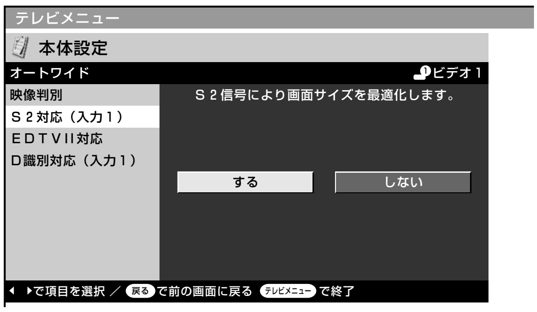
2
① **テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**
② **◀▶で「本体設定」を選ぶ**
③ **▲▼で「オートワイド」を選び、決定を押す**

3 **▲▼で「S2対応」を選び、決定を押す**

(例. ビデオ1入力を選んでいる場合)



4 **◀▶で「する」または「しない」を選ぶ**

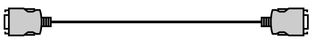


5 **テレビメニューを押し、通常画面に戻す**

D識別対応の設定

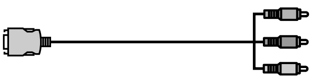
■D4映像端子と外部機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。

「端子」：外部機器との接続に使うケーブルがD端子接続ケーブルのときは、「端子」に設定します。



本機チューナー部側　　外部機器側

「信号」：外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「信号」に設定します。



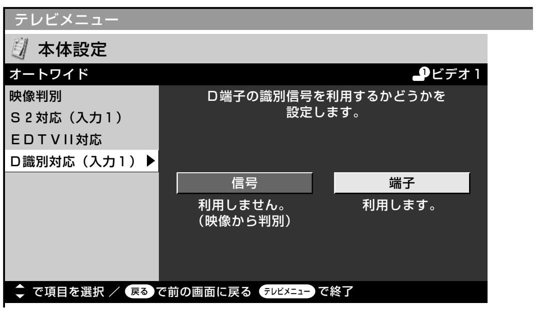
本機チューナー部側　　外部機器側

1 **入力切換を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続しているビデオ入力(1または2)を選ぶ**

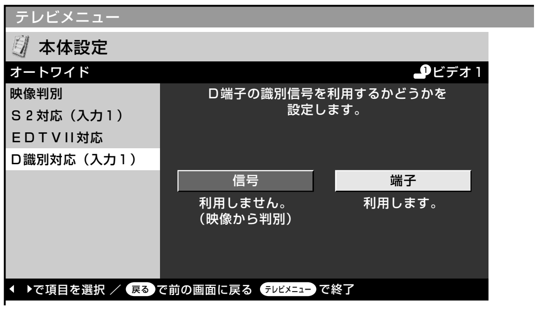
2
① **テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**
② **◀ ▶で「本体設定」を選ぶ**
③ **▲ ▼で「オートワイド」を選び、決定を押す**

3 **▲ ▼で「D識別対応」を選び、決定を押す**

（例. ビデオ1入力を選んでいる場合）



4 **◀ ▶で「信号」または「端子」を選ぶ**



5 **テレビメニューを押し、通常画面に戻す**

おしらせ
- Ｄ端子接続ケーブルやD-コンポーネント変換ケーブルは、市販のものをご使用ください。

お好みの映像・音声で楽しむ

最適な映像・音声設定を選ぶ（AVポジション）

AVポジションとは

- 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声調整に設定する機能です。

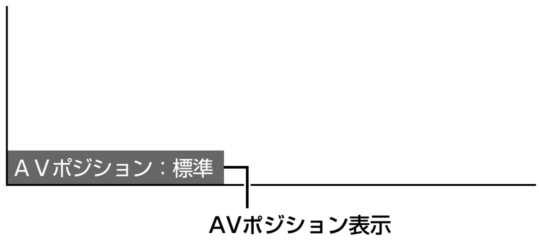
「標準」……………	画質・音質の設定がすべて標準値になります。
「ダイナミック」…（テレビ／ビデオ入力のみ）	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力にあふれたものにします。
「映画」……………（テレビ／ビデオ入力のみ）	コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
「ゲーム」…………（テレビ／ビデオ入力のみ）	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
「AVメモリー」……	各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

扉を開けたところ



1 AVポジション を押す

- 画面左下に現在のAVポジションが表示されます。



2 AVポジション表示が出ている間に再び AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

テレビ／ビデオ入力時

→標準→ダイナミック→映画→ゲーム→AVメモリー→（標準に戻る）

PC入力時

→標準→AVメモリー→（標準に戻る）

おしらせ

- AVポジションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます（例えば、テレビは「標準」、ビデオ1は「ダイナミック」.....など）が、「i.LINK」は「テレビ」と同じ設定になります。
また、「AVメモリー」の調整内容についても「テレビ」と同じものになります。

映像調整について

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
テレビ／ビデオ入力とPC入力は、別の調整項目になっています。
テレビ／ビデオ入力には、より細かい項目まで調整できる「プロ設定」があります。
■調整したいAVポジションを選んでから、映像調整の操作を行います。（**88**ページ参照）

テレビ／ビデオ入力での調整項目

＜項目＞	＜設定値＞	＜調整バー＞
映像	[+30]	0 ～ +40 弱くなる ⟷ 強くなる
明るさ	[0]	−30 ～ +30 暗くなる ⟷ 明るくなる
色の濃さ	[0]	−30 ～ +30 うすい色になる ⟷ 濃い色になる
色あい	[0]	−30 ～ +30 肌色が紫がかる ⟷ 肌色が緑がかる
画質	[0]	−10 ～ +10 やわらかな映像になる ⟷ くっきりした映像になる
プロ設定		

PC入力での調整項目

＜項目＞	＜設定値＞	＜調整バー＞
映像	[+30]	0 ～ +40 弱くなる ⟷ 強くなる
明るさ	[0]	−30 ～ +30 暗くなる ⟷ 明るくなる
赤	[0]	−30 ～ +30 赤が弱くなる ⟷ 赤が強くなる
緑	[0]	−30 ～ +30 緑が弱くなる ⟷ 緑が強くなる
青	[0]	−30 ～ +30 青が弱くなる ⟷ 青が強くなる
カラーマネージメント※		

項　目	内　容	設　定
カラーマネージメント※	色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相を変化させます。	−30～0～+30
色温度	色温度を調整します。	高/高-中/中/中-低/低
黒伸長	映像の暗い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。	しない/強/弱
3次元設定	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。	標準/動画より/静止画より
モノクロ	白黒映像にします。	する/しない
フィルムモード	フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。	する/しない
I／P設定	インターレース（通常のテレビ放送やビデオ等をきめ細かい映像で楽しむモード）とプログレッシブ（静止画やグラフィック等の画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード）を切り換えます。	インターレース／プログレッシブ

●プロ設定については、**91**ページをご覧ください。

※カラーマネージメントの調整項目について

系統色	調　整 −30……0……+30
R（赤）	マゼンタに近づく⟷黄に近づく
Y（黄）	赤に近づく⟷緑に近づく
G（緑）	黄に近づく⟷シアンに近づく
C（シアン）	緑に近づく⟷青に近づく
B（青）	シアンに近づく⟷マゼンタに近づく
M（マゼンタ）	青に近づく⟷赤に近づく

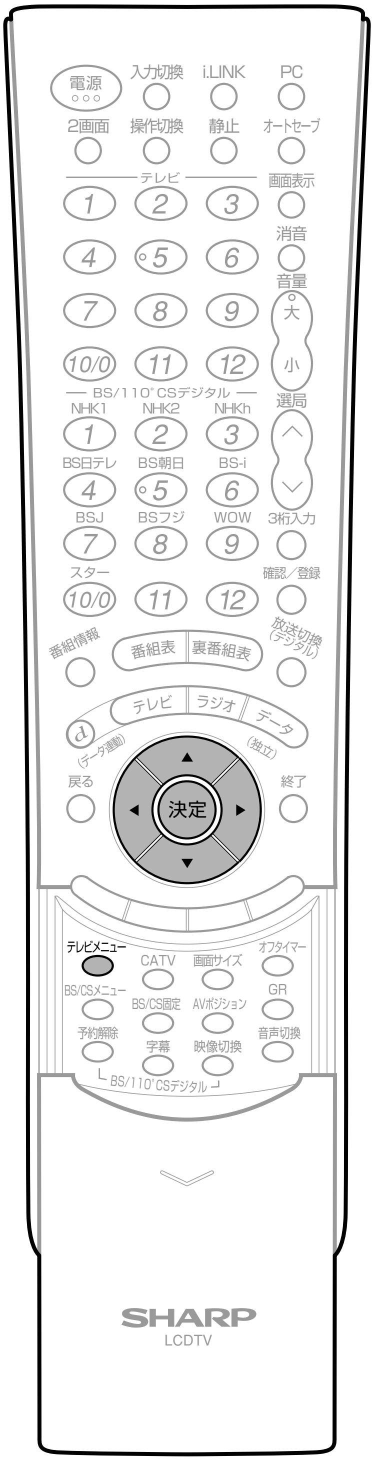
おしらせ
●2画面のとき、映像調整はできません。
●BSデジタル放送やコンポーネント映像端子から入力された映像などを視聴しているとき、プロ設定の「3次元設定」および「I／P設定」は選択できません。

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

お好みの映像に調整する

■AVポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させることができます。映像調整は、さきにAVポジションを選んでから行ってください。(**88**ページ参照)

扉を開けたところ



[例] AVポジション「ダイナミック」の「明るさ」を調整する

1

① テレビメニュー **を押し、テレビメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ **で「映像調整」を選ぶ**

③ ▲ ▼ **で「明るさ」を選ぶ**



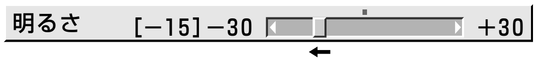
2

◀ ▶ **で、お好みの明るさに調整する**

▶ を押すと、より明るくなります。



◀ を押すと、より暗くなります。



●続けて他の項目を調整したいときは、上下カーソルボタンで項目を選び、同じ要領で調整します。

3

テレビメニュー **を押し、通常画面に戻す**

おしらせ

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**1**の③で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

「初期設定に戻しました。」と表示されます。

この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

● 2画面のとき、映像調整はできません。

プロ設定の調整

■映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できる機能です。
調整できる項目については、**89**ページを参照してください。

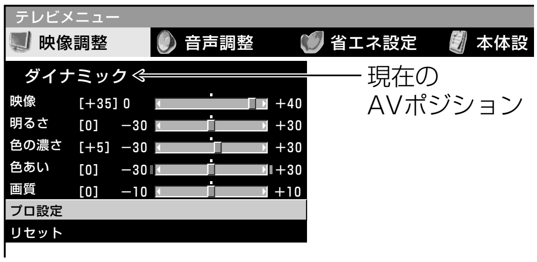
扉を開けたところ



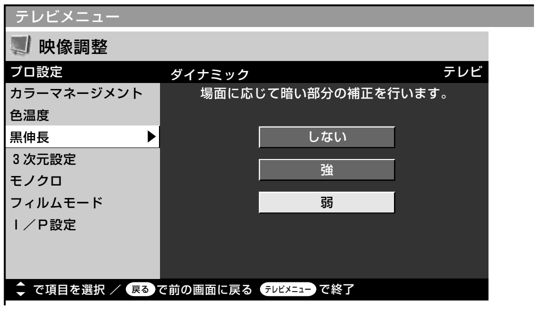
おしらせ
- 2画面のとき、映像調整はできません。
- BSデジタル放送やコンポーネント映像端子から入力された映像などを視聴しているとき、「3次元設定」および「I／P設定」は選択できません。

［例］黒伸長を「強」に設定する

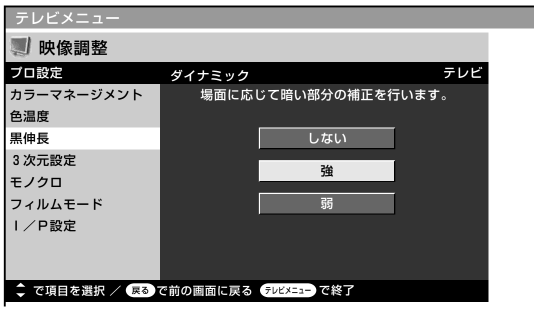
1
① **テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**
② **◀ ▶で「映像調整」を選ぶ**
③ **▲ ▼で「プロ設定」を選ぶ**



2
▲ ▼で「黒伸長」を選び、決定を押す



3
▲ ▼で「強」を選ぶ



- 続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**〜**3**をくり返します。

4
テレビメニューを押し、通常画面に戻す

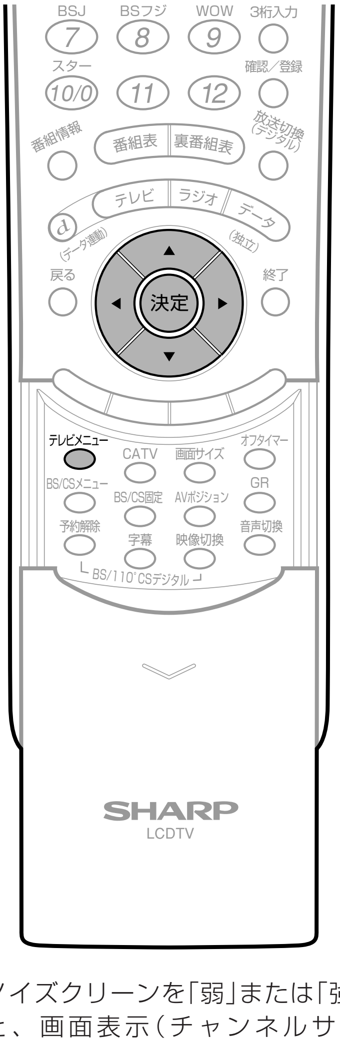
お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

映像をすっきりさせる（ノイズクリーン）

■ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。

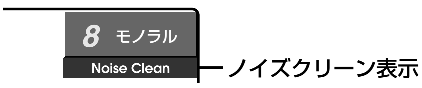
■テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定ができます。

扉を開けたところ



おしらせ

● ノイズクリーンを「弱」または「強」に設定すると、画面表示（チャンネルサイン）の下に「**Noise Clean**」（ノイズクリーン）が表示されます。



● BS／110°CSデジタル放送のハイビジョン放送、およびコンポーネント映像端子から入力された525p／1125i／750pの映像に対しては、ノイズクリーン機能が働きません。

● BS/CSメニューの「システム設定」内、映像設定の「画面サイズ設定」が「フル固定」になっていると、BS／110°CSデジタル放送受信時にノイズクリーン機能が働きません。

［例］ ノイズクリーンを「強」に設定する

1

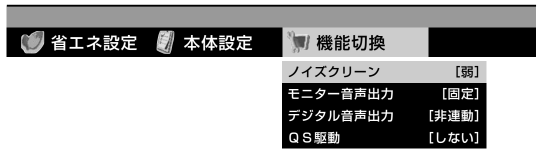
① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「機能切換」を選ぶ



2

▲ ▼で「ノイズクリーン」を選び、決定を押す



3

▲ ▼で「強」を選ぶ



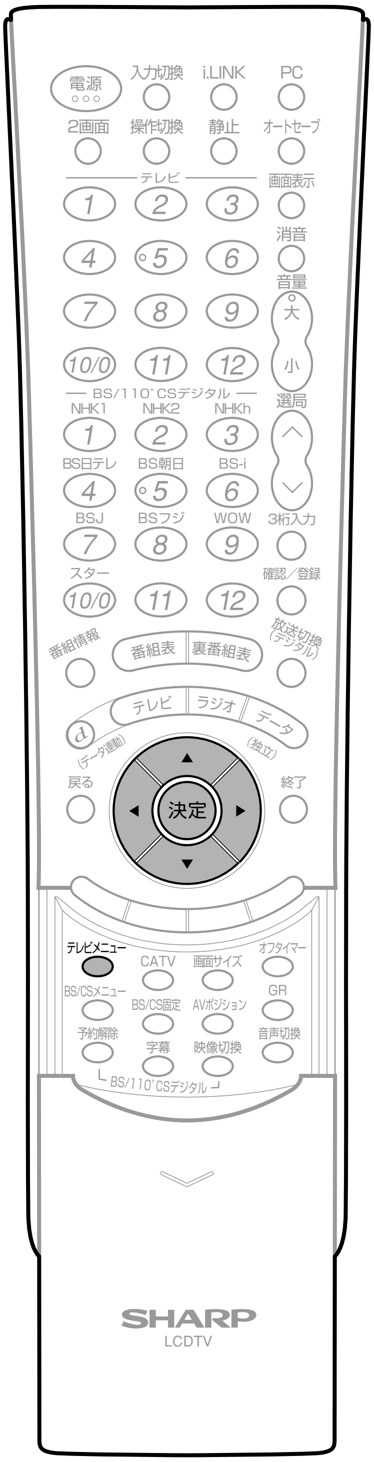
4

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

動きの速い映像を見やすくする（QS駆動）

■動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。

扉を開けたところ



1

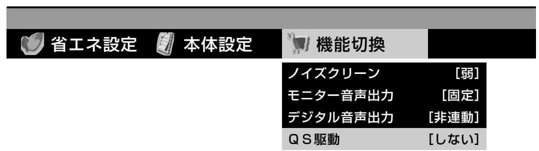
① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「機能切換」を選ぶ



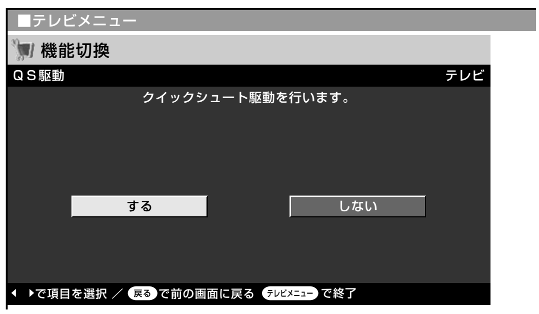
2

▲▼ で「QS駆動」を選び、決定 を押す



3

◀▶ で「する」を選ぶ



4

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

■二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

チャンネル表示の色について

● 二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。

▼画面表示

二重音声放送のとき



ステレオ放送のとき



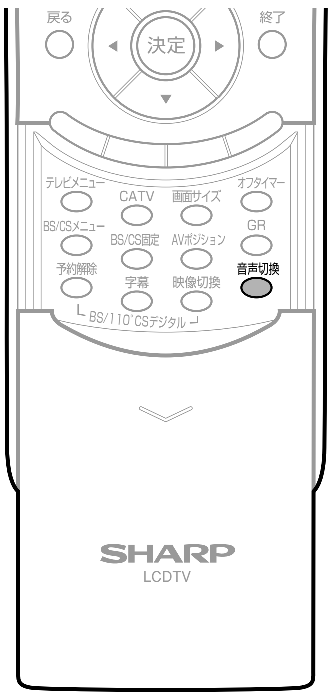
モノラル放送のとき



メイン(主音声)とサブ(副音声)について

● ニュースや洋画などの二カ国語放送で、吹き替えの日本語(メイン)と英語などの外国語(サブ)の2種類の音声が楽しめます。

扉を開けたところ

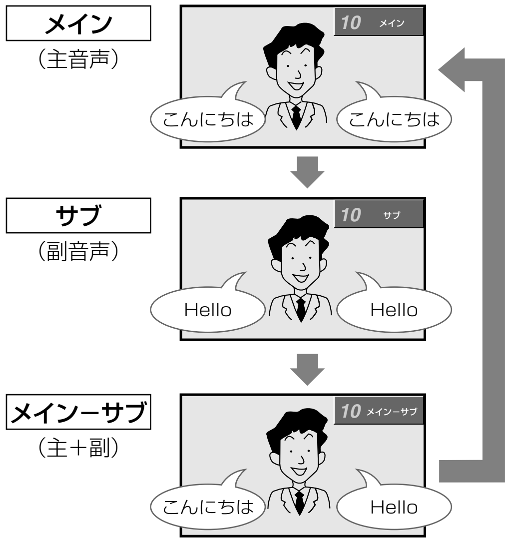


二重音声放送の音声切換

音声切換 を押し、お好みの音声を選ぶ

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

▼画面表示



ステレオ放送の音声切換

■ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

雑音が多いときは、音声切換 で「モノラル」にする

●画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。
●「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

おしらせ

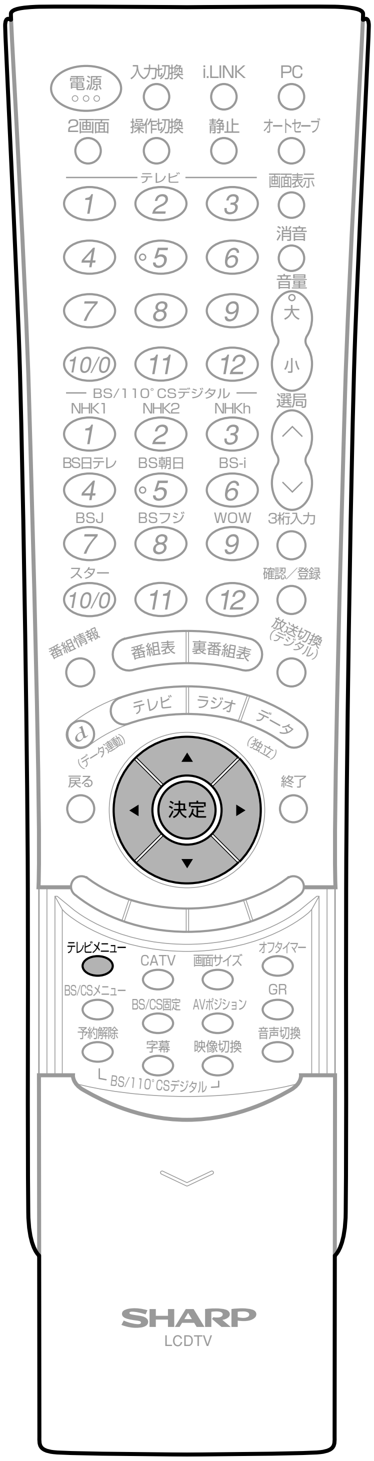
● 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
● BS/110°CSデジタル放送は「モノラル」への切換えができません。

お好みの音声に調整する

音声調整について

- 「高音」「低音」「バランス」の3つの項目をお好みに合わせて調整することができます。
  調整したいAVポジションを選んでから、音声調整の操作を行います。(**88**ページ参照)

扉を開けたところ



[例] AVポジション「ダイナミック」の「高音」を調整する

1

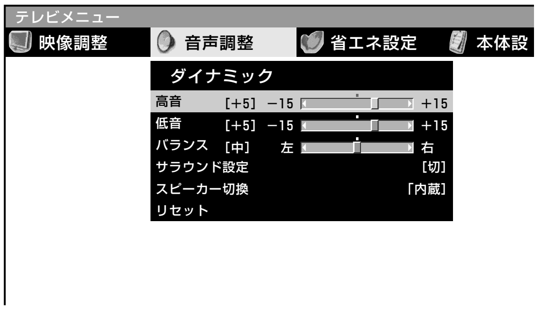
① テレビメニュー **を押し、テレビメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ **で「音声調整」を選ぶ**



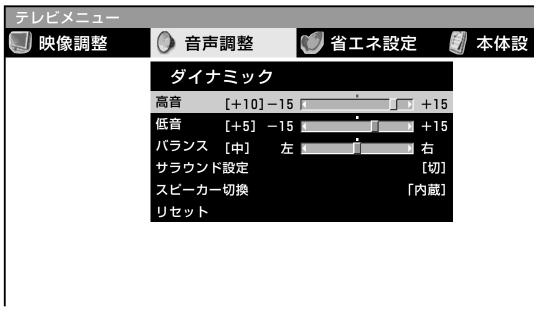
2

▲ ▼ **で「高音」を選ぶ**



3

◀ ▶ **で、お好みの位置に調整する**



- 続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**〜**3**をくり返します。

4

テレビメニュー **を押し、通常画面に戻す**

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

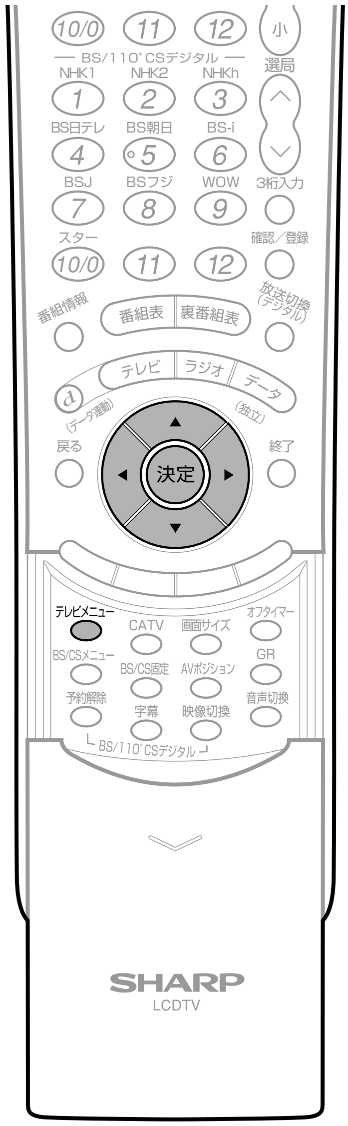
サラウンド音声で聞く

■3つのサラウンドモードから選んで、お好みのサラウンド効果をお楽しみいただけます。
「切」を選ぶと通常の音声になります。

「SRS」……………	効果の大きな立体サウンドが再現できます。
「FOCUS」………	音が聞こえてくる垂直方向(音像定位)を変えることができます。
「FOCUS+SRS」…	2つの方式を併用することにより、立体サウンドの効果がアップします。

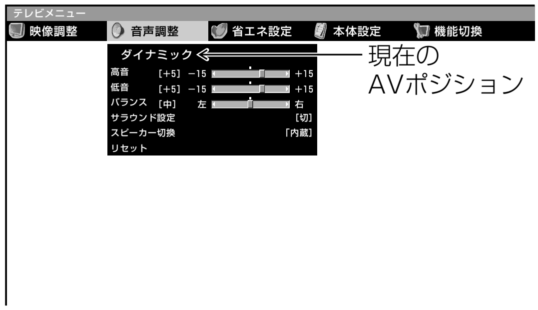
※ SRS(●) FOCUS はSRS Labs, Inc.の商標です。

扉を開けたところ

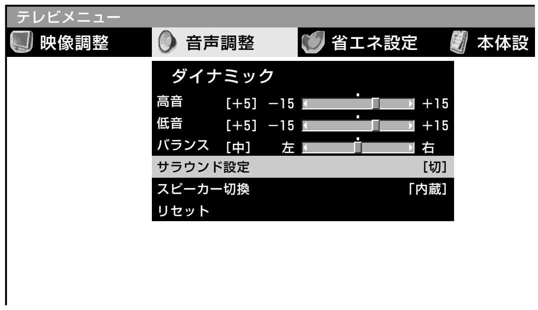


1 ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

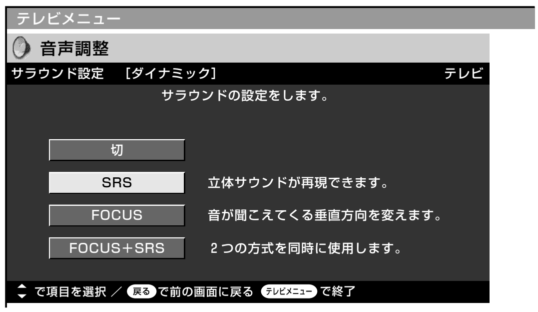
② ◀ ▶ で「音声調整」を選ぶ



2 ▲ ▼ で「サラウンド設定」を選び、決定 を押す



3 ▲ ▼ で、お好みのモードを選ぶ



4 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

ゴーストを軽減する(GR機能)

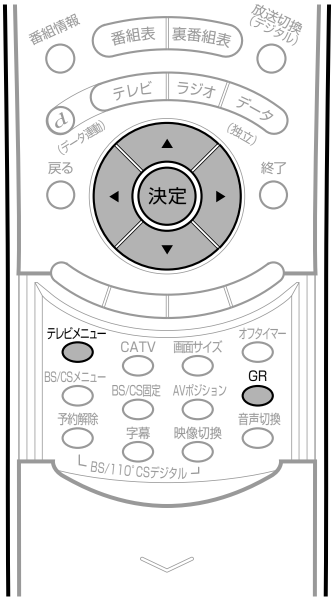
GR機能を使う

■ゴーストの発生によって見にくくなったチャンネルのゴーストを軽減することができます。（GR機能）※GRはゴーストリダクションの略称です。

■GR機能は、VHF/UHFアンテナ入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■GR設定は工場出荷時、すべてのチャンネルが「入」に設定されています。

扉を開けたところ

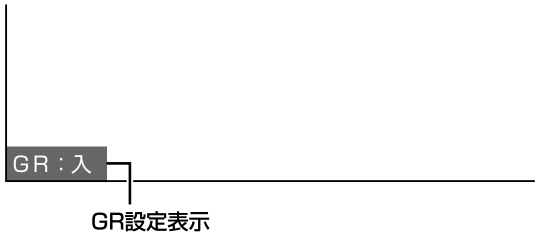


おしらせ

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキからの映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。（アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。）

1 GRを押す

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。



2 GR設定表示が出ている間に再び GRを押す

- ボタンを押すたびに「GR：入」⇄「GR：切」と切り換わります。
- 「GR：入」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

おしらせ

- GR機能を「入」にすると、チャンネル表示の右下に「**GR**」が表示されます。



「ゴースト」について

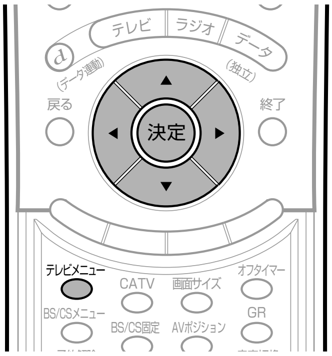
- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。
- 2画面のときは、左画面のみGR機能が働きます。

次ページへつづく

ゴーストを軽減する(GR機能)(つづき)

テレビメニュー画面でGR設定をする

扉を開けたところ



1 入力切換 を押し、テレビ入力にする

2

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

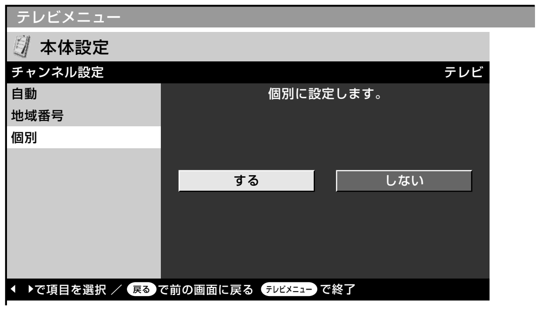
③ ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す



3 ▲ ▼ で「個別」を選び、決定 を押す



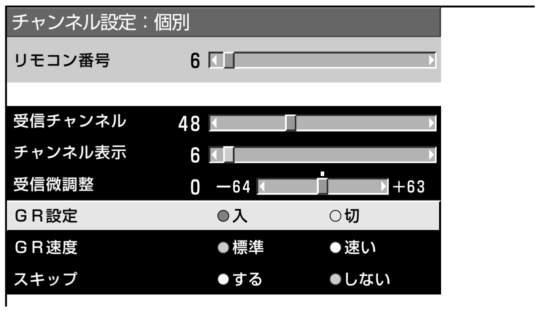
4 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す



5

① ▲ ▼ で「GR設定」を選ぶ

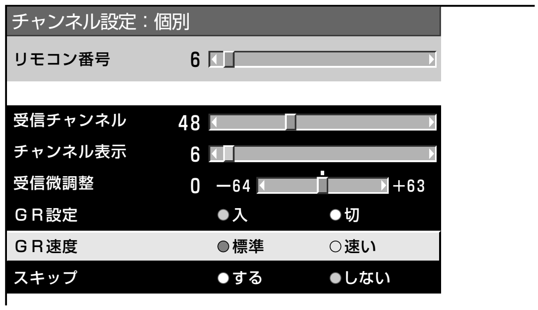
② ◀ ▶ で「入」または「切」を選ぶ



6

① ▲ ▼ で「GR速度」を選ぶ

② ◀ ▶ で「標準」または「速い」を選ぶ



「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。

「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

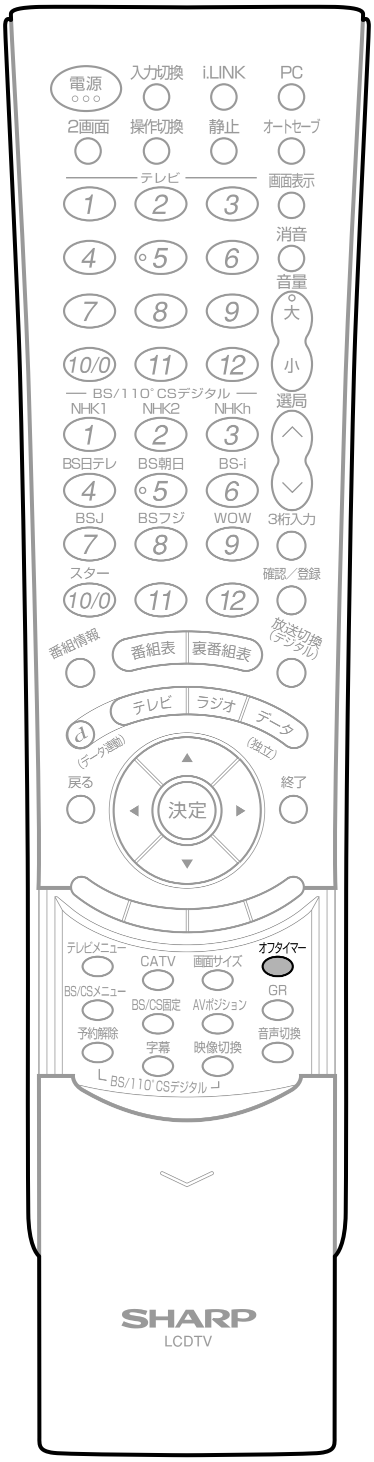
7 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

便利な機能を使う

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

■「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に本機の電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

扉を開けたところ



1 オフタイマーを押す

●オフタイマーの設定時間が表示されます。

オフタイマー：　0時間３０分

●オフタイマーがすでに設定されている場合は、残り時間が表示されます。

2 オフタイマー表示が出ている間に再びオフタイマーを押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

●ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

0時間30分
↓
1時間00分
↓
1時間30分
↓
2時間00分
↓
2時間30分
↓
切（解除）
↓
0時間30分

オフタイマーの残り時間を見るには

オフタイマーを押す

●残り時間が表示されます。

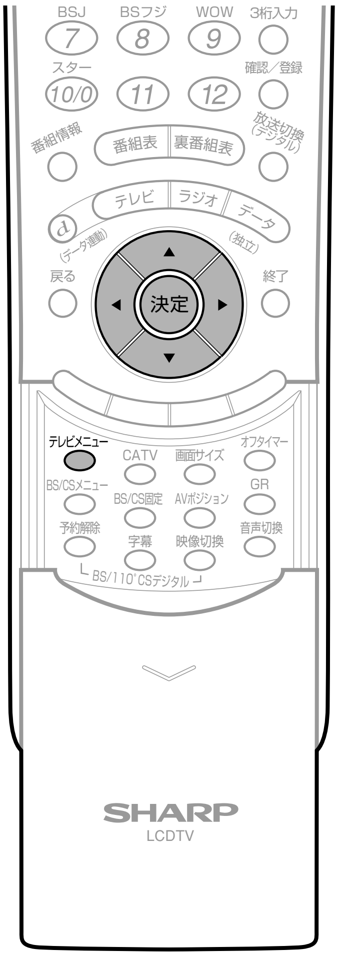
オフタイマー：残り　0時間１５分

便利な機能を使う(つづき)

映像を反転させる

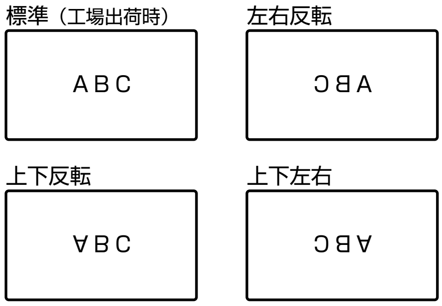
■設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

扉を開けたところ



おしらせ

映像反転の表示のされかた

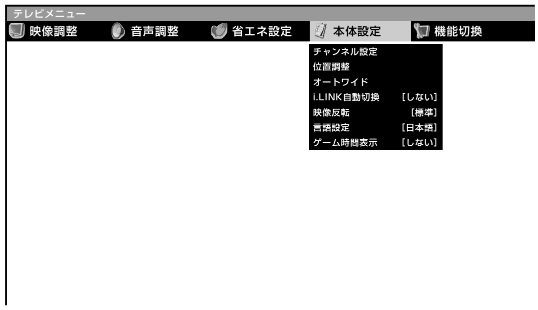


映像反転時の音声の反転について

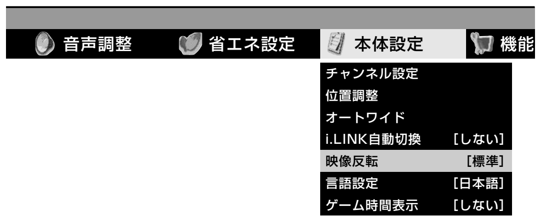
- 「左右反転」「上下左右」を選んだときは、音声も左右反転します。

1 ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

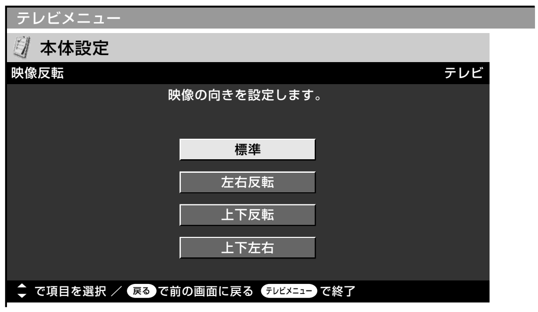
② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ



2 ▲ ▼ で「映像反転」を選び、決定 を押す



3 ▲ ▼ で「標準」「左右反転」「上下反転」「上下左右」のいずれかを選ぶ



- 「標準」を選んだときは、反転しません。
- 「標準」以外を選んだときは、メニューも反転表示されます。

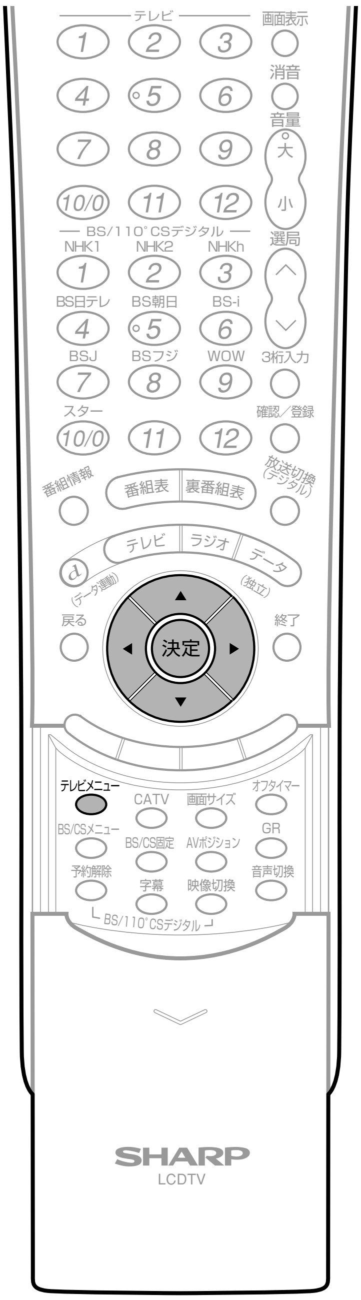
4 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

ゲーム時間表示を設定する

■決まった時間ごとに、画面に注意メッセージを表示して、経過時間を知らせる機能です。
時間を決めてテレビゲームを楽しむときなどに便利な機能です。

■この機能はつぎの2つの条件を同時に満たすときのみ働きます。
① ゲーム時間表示が「する」に設定されている。
② AVポジションが「ゲーム」に設定されている、または入力表示選択を「ゲーム」にした入力が選択されている。

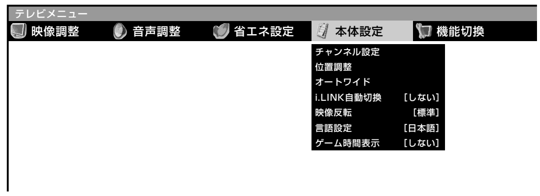
扉を開けたところ



1

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ



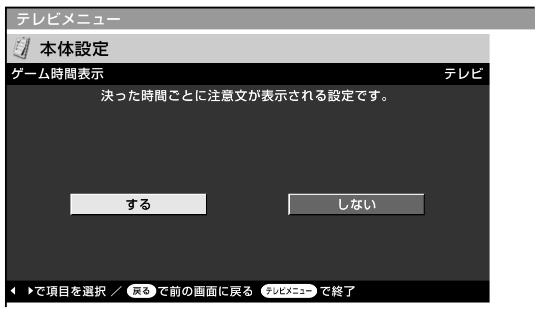
2

▲ ▼で「ゲーム時間表示」を選び、決定を押す



3

◀ ▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す



4

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

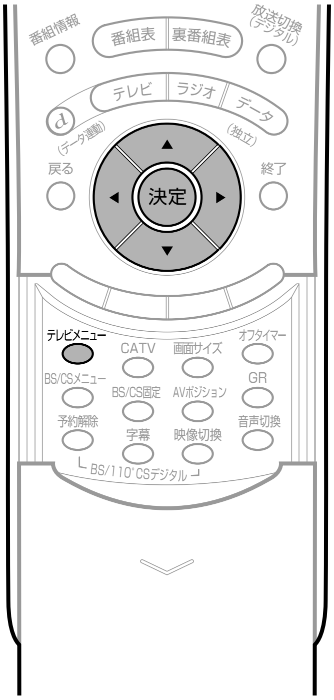
- ゲーム時間表示機能が働く状態になると、決まった時間ごとにつぎのような注意文が10秒間、画面に表示されます。



テレビメニューの表示言語を選ぶ

■テレビメニュー、PCメニューなどの画面表示を日本語にするか英語にするか選ぶことができます。

扉を開けたところ

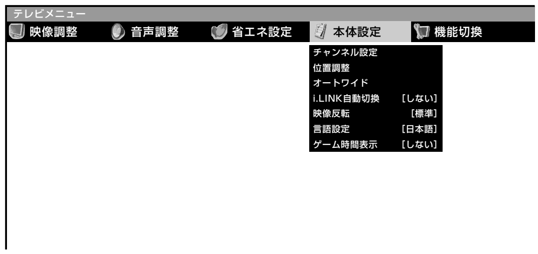


[例] テレビメニューを英語で表示する

1

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ



2

▲ ▼で「言語設定」を選び、決定を押す



3

◀ ▶で「English」を選び、決定を押す



●画面表示が英語になります。

4

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

Displaying the TV/PC Menus in English

Step 1

① Press テレビメニュー (TV menu) to display the TV (PC) menu screen.

② Press ◀ or ▶ to select "本体設定".

Step 2

Press ▲ or ▼ to select "言語設定", then press 決定.

Step 3

Press ◀ or ▶ to select "English", then press 決定.

● The menu screen is now displayed in English.

Step 4

Press テレビメニュー (TV menu) to return to normal screen.

省エネ機能を使う

画面の明るさを調整する（調光）

■本機は、省エネに役立つ4つの機能を備えています。

調光（バックライトの明るさの調整）

「オートセーブ」（表示あり／表示なし）……周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整する機能です。

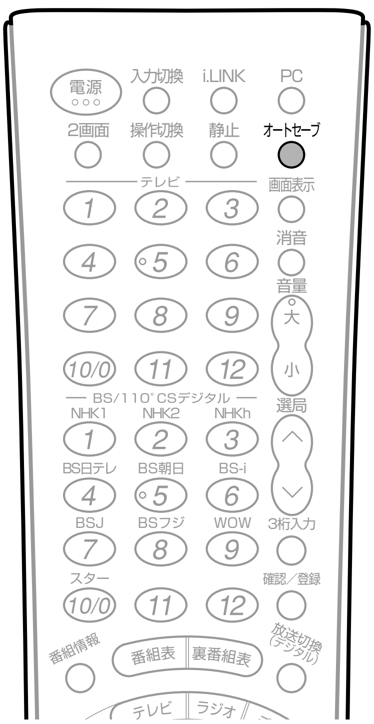
「手動」（オートセーブ「切」）……放送やソフトの内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

無信号オフ（テレビ／ビデオ入力のみ）
放送が終了するなど無信号状態になると、約15分後に電源が切れるように設定できます。

無操作オフ（テレビ／ビデオ入力のみ）
操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。

パワーマネージメント（PC入力のみ）
映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定できます。
（106ページ参照）

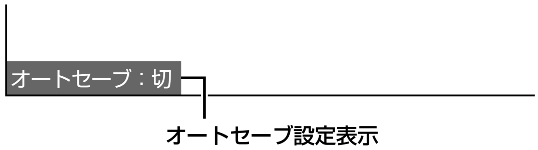
扉を閉じたところ



オートセーブで画面の明るさを自動調整する

1 オートセーブ ○ **を押す**

●画面左下に現在のオートセーブ設定が表示されます。

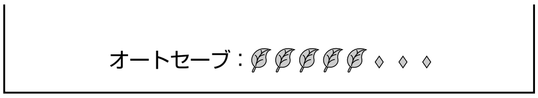


2 **オートセーブ設定表示が出ている間に** オートセーブ ○ **を押す**

●ボタンを押すたびに、設定がつぎのように切り換わります。

オートセーブ：入（表示あり）⟶オートセーブ：入（表示なし）⟶オートセーブ：切⟶（オートセーブ：入（表示あり）に戻る）

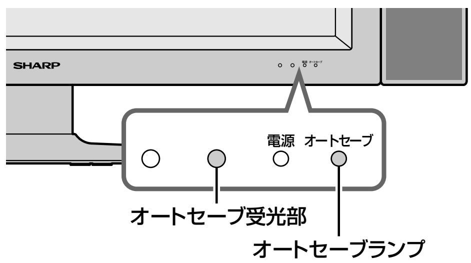
●オートセーブを「入」にした場合、周囲の明るさが変化すると、オートセーブ機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。
●「オートセーブ：入（表示あり）」に設定すると、自動調整中、オートセーブ機能の効果が画面に表示されます。



テレビメニュー画面で設定するには

① **104ページの手順1を行う**
② **手順2で「手動」「オートセーブ（表示あり）」「オートセーブ（表示なし）」のいずれかを選ぶ**
  ●「手動」を選んだときは、オートセーブ「切」になります。（104ページ参照）
③ **テレビメニューボタンを押し、通常画面に戻す**

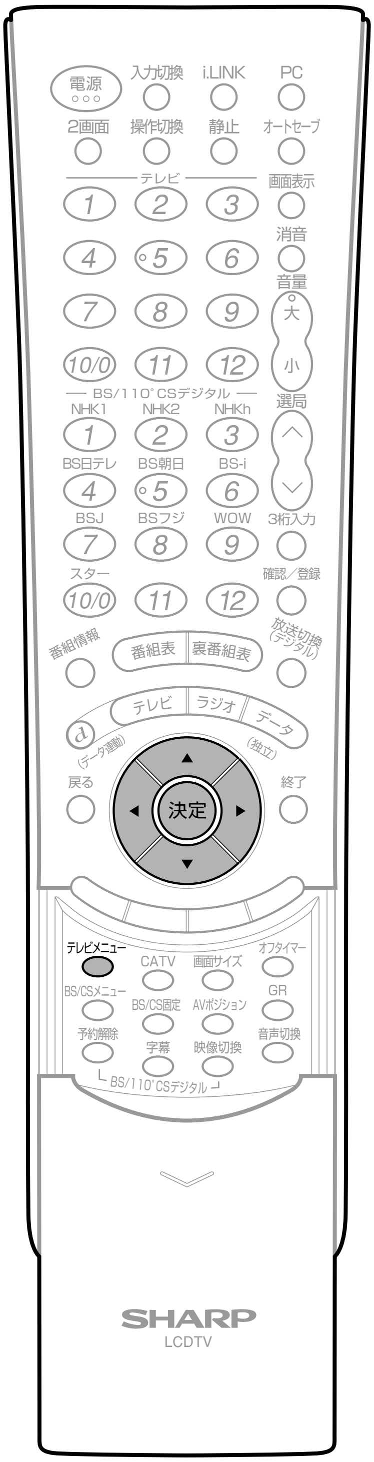
おしらせ
●オートセーブを「入」にしているときは、ディスプレイ部のオートセーブランプが点灯します。
●オートセーブ受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。



省エネ機能を使う(つづき)

■放送番組や再生ソフトなど映像に合わせて、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

扉を開けたところ



手動で画面の明るさを調整する

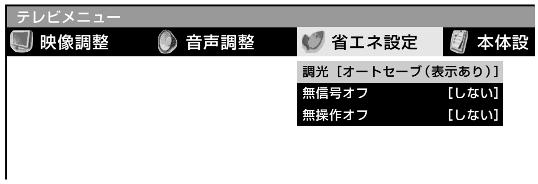
1

① テレビメニュー **を押し、テレビメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ **で「省エネ設定」を選ぶ**

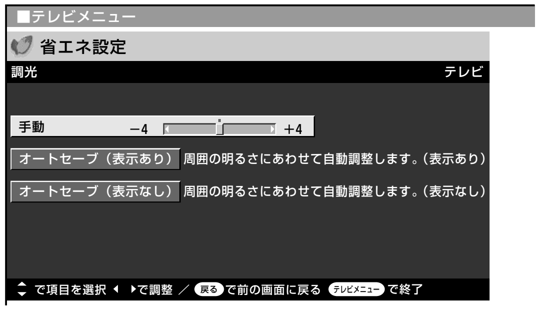
③ ▲ ▼ **で「調光」を選び、**

決定 **を押す**



2

▲ ▼ **で「手動」を選ぶ**



●オートセーブ機能は「切」になります。

3

◀ ▶ **で画面の明るさを調整する**

▶ を押すと、より明るくなります。



◀ を押すと、より暗くなります。



●−4〜標準〜+4の範囲で調整できます。

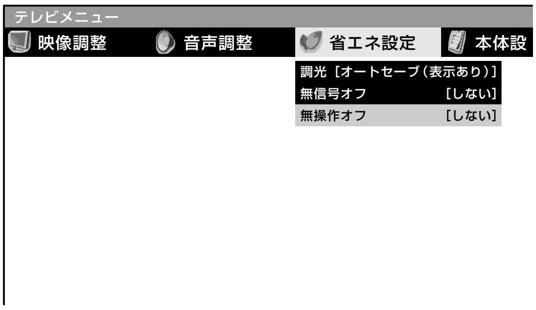
4

テレビメニュー **を押し、通常画面に戻す**

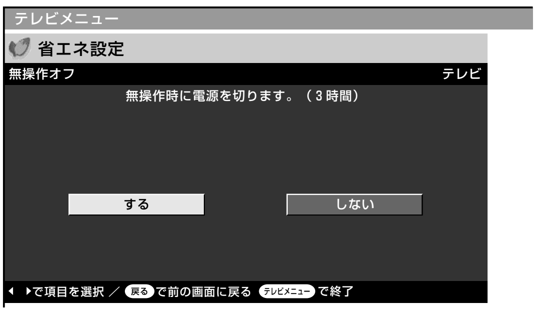
無操作オフ機能を設定する

1 テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ① ◀ ▶で「省エネ設定」を選ぶ
② ▲ ▼で「無操作オフ」を選び、決定を押す



3 ◀ ▶で「する」または「しない」を選ぶ



4 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

無操作オフ機能について
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- PC入力のとき、無操作オフ機能は働きません。
- ＰＣ入力のときは別項目の設定となります。（**106**ページ参照）

無信号オフ機能を設定する

1 テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ① ◀ ▶で「省エネ設定」を選ぶ
② ▲ ▼で「無信号オフ」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶で「する」または「しない」を選ぶ

4 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

無信号オフ機能について
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- 地上波およびビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- PC入力のとき、無信号オフ機能は働きません。
- ＰＣ入力のときは別項目の設定となります。（**106**ページ参照）
- 電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。



省エネ機能を使う(つづき)

PC入力の省エネ機能の設定

■PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。(パワーマネージメント)

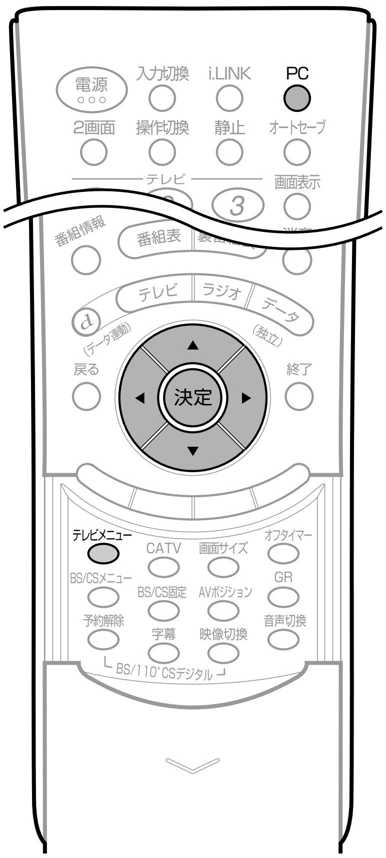
しない
パワーマネージメントを行いません。

モード1
無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
電源が切れる5分前から、画面左下に残り時間が表示されます。



モード2
無信号の状態が8秒間続くと、自動的に電源が切れる機能です。
この機能で電源が切れたときは、PCの映像信号が入力されると電源が入ります。

扉を開けたところ



[例] パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1

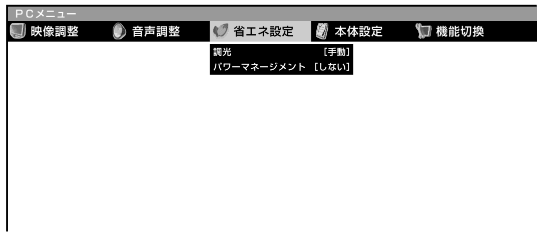
① **チューナー部とPC(パソコン)の接続を確認する(211ページ参照)**

② **PC を押し、PC入力にする**

2

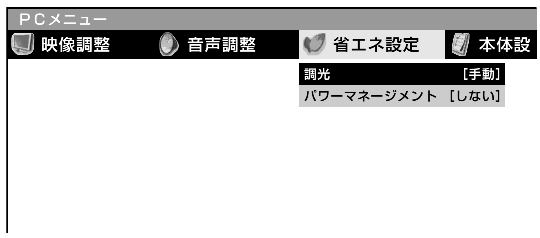
① **テレビメニュー を押し、PCメニュー画面を表示する**

② **◀ ▶ で「省エネ設定」を選ぶ**



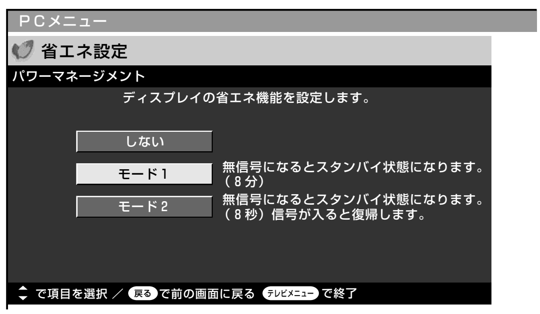
3

▲ ▼ で「パワーマネージメント」を選び、決定 を押す



4

▲ ▼ で「モード1」を選ぶ

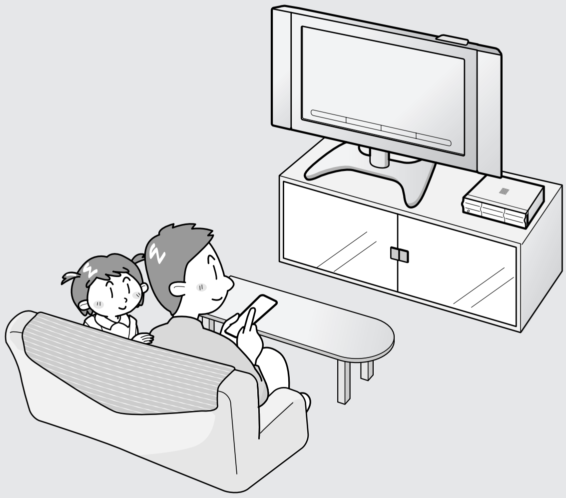


5

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

BS／110°CSデジタル放送を楽しむ

● この章では、BS／110°CSデジタル放送の番組の選びかた、番組予約のしかた、そしてデジタル放送を楽しくご覧いただくためのいろいろな機能と操作方法につき説明しています。



BS／110°CSデジタル放送について

BS／110°CSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

テレビ放送 ………… 従来のアナログBS／CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2002年11月現在）

データ放送 ………… 静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送 ………… CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表（EPG） ………… BS／110°CSデジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表（EPG）です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

臨時編成サービス ………… 野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス ………… 1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

おしらせ
- 臨時編成サービス、マルチビューサービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送について

BSデジタル放送のチャンネル番号表

	放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ／ラジオ／データ)	NHK BS1	101	なし	700～709
	NHK BS2	102		
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時：104、105)※		
	BS日テレ	140～143、145～149 (臨時編成サービス時：144)※	440～449	740～749
	BS朝日	150～157 (臨時編成サービス時：158、159)※	450～459	750～759
	BS-i	160～168 (臨時編成サービス時：169)※	460～469	760～769
	BSジャパン	170～179 (臨時編成サービス時：未定)※	470～479	770～779
	BSフジ	180～187 (臨時編成サービス時：188、189)※	488、489	780～789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時：198、199)※	491、492	790～799
	スターチャンネル	200～209	なし	800～809
ラジオ／データ	BSC	なし	300、301	なし
	ミュージックバード	なし	310～319	610～619
	JFNサテライト	なし	320～329	620～629
	セント・ギガ	なし	330～339	630～639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900～909
	ウェザーニュース	なし	なし	910～919
	DCI	なし	なし	930～939
	日本データ放送	なし	なし	940～949
	メディアサーブ	なし	なし	950～959
	日本メディアーク	なし	なし	960～969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990～999

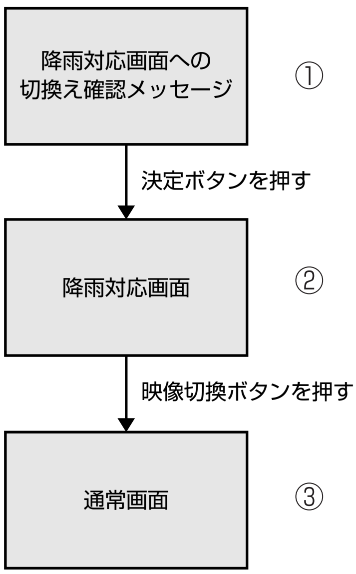
※臨時編成サービス：**108**ページをご覧ください。

(2002年11月現在)

BS デジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。(右図①)
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。(右図②)
- 通常画面に戻すには、リモコンの映像切換ボタンを押してください。(右図③)



おしらせ

- 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BS／110°CSデジタル放送について(つづき)

110°CS デジタル放送について

■従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110°の軌道上にある通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。
■110°CSデジタル放送を受信するには、BS／110°CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナ、BSアンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110°CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。**
■110°CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム(プラットワン、スカイパーフェクTV！2)※との個別受信契約が必要となります。(一部、無料の放送もあります。)

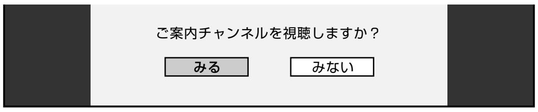
※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

110°CSデジタル放送の専用サービス

110°CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

■ ご案内チャンネルの表示

(画面例)



お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※注が表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※注.「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのシンボルイラストが表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード(掲示板)

(画面例)



プラットフォーム(プラットワン[CS1]、スカイパーフェクTV!2[CS2])単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。詳しくは**171**ページをご覧ください。

BS／110°CSデジタル放送の番組を選ぶ

ネットワーク、放送の種類、番組の選択手順

1 ネットワークを選ぶ 放送切換（デジタル）
- 3種類のネットワークから選びます。

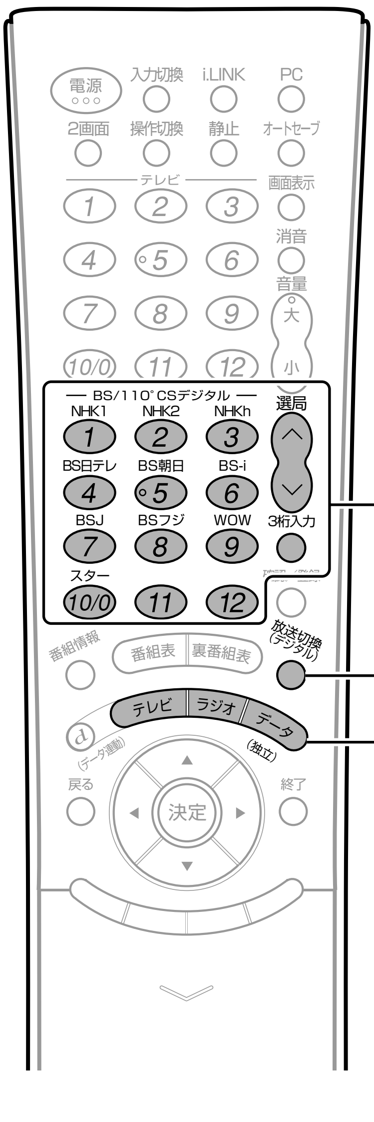
●BS（BSデジタル放送）
●CS1（プラットワン）
●CS2（スカイパーフェクTV！2）

2 放送の種類を選ぶ テレビ／ラジオ／データ（独立）
- 3種類の放送から選びます。

●テレビ放送
●ラジオ放送
●データ放送

3 チャンネルを選ぶ
- 3種類の選局方法があります。
（**112**～**114**ページをご覧ください。）

●チャンネルボタンで選ぶ
●3桁入力で選ぶ（※手順2は不要です。）
●選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ



操作手順

1 放送切換（デジタル） **を押し、視聴したいネットワークを選ぶ**

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→BS（BSデジタル放送）→CS1（プラットワン）→CS2（スカイパーフェクTV！2）→（BSへ戻る）

2 テレビ ／ ラジオ ／ データ（独立） **のいずれかを押し、視聴したい放送の種類を選ぶ**

●3桁入力で選ぶときは、この手順は必要ありません。

3 視聴したいチャンネルを選ぶ

●チャンネルの選局方法には、つぎの3種類がありま す。各ページをご覧ください。

- チャンネルボタンで選ぶ………… ☞ **112**ページ
- 3桁入力で選ぶ………………………… ☞ **113**ページ
- 選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ… ☞ **114**ページ

電子番組表（EPG）を使って番組を選ぶこともできます

■ 上記手順**1**、**2**の後に、電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

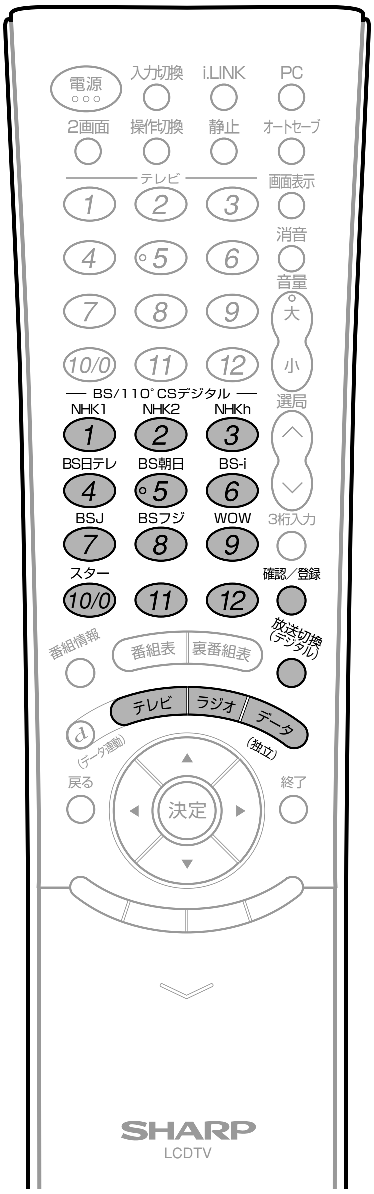
電子番組表（EPG）の表示のしかた、機能、操作方法については、**118・119**ページをご覧ください。

BS／110° CSデジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

チャンネルボタンで選ぶ

■リモコンのBS／110° CSチャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
また、確認／登録ボタンを押すと、BS／110° CSチャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**116**・**117**ページ参照)

扉を閉じたところ



1 放送切換(デジタル)ボタン **でネットワークを選ぶ**

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

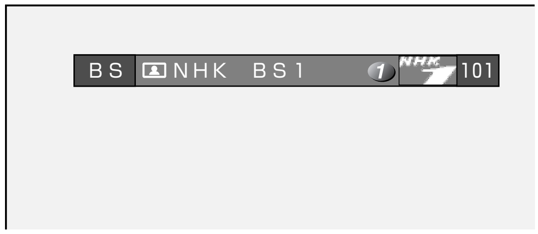
→BS(BSデジタル放送)→CS1(プラットワン)→CS2(スカイパーフェクTV！2)→(BSに戻る)

2 <例> BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選ぶとき

① テレビ **を押す**

② **チャンネルボタン** NHK1 1 **を押す**

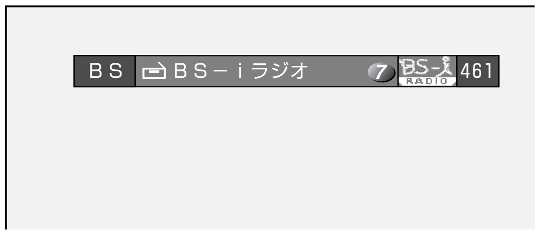
▼画面表示



<例> BSデジタル放送のラジオ放送「BS-iラジオ」を選ぶとき

① ラジオ **を押す**

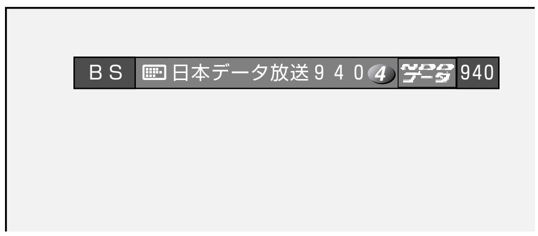
② **チャンネルボタン** BSJ 7 **を押す**



<例> BSデジタル放送のデータ放送「日本データ放送」を選ぶとき

① データ(独立) **を押す**

② **チャンネルボタン** BS日テレ 4 **を押す**



おしらせ

●独立データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。

3桁入力で選ぶ

■視聴したい番組のチャンネル番号（3桁）を入力して選局できます。
チャンネル番号表（**109**・**117**ページ）を参照してください。

扉を閉じたところ



1 放送切換（デジタル）〇 **でネットワークを選ぶ**

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→BS（BSデジタル放送）→CS1（プラットワン）→CS2（スカイパーフェクTV！2）→（BSに戻る）

2 ＜例＞ BSデジタル放送の161チャンネル（BS-i）を選ぶとき

① 3桁入力〇を押す

●画面右上に3桁入力欄が表示されます。



② 数字ボタン NHK1 1 BS-i 6 NHK1 1 を押す



●間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

●選んだ番組がデータ連動放送のときは、*d*マークがチャンネル表示の右下に表示されます。



●*d*（データ連動）ボタンを押すと、番組の関連情報などが表示されます。

おしらせ

●「*d*」表示のある番組でも、*d*（データ連動）ボタンを押したとき連動データ放送に切り換わらない場合があります。

BS／110°CSデジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

■選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、チャンネルを1つずつ、順方向・逆方向に選局することができます。



1 放送切換(デジタル) **でネットワークを選ぶ**

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→BS(BSデジタル放送)→CS1(プラットワン)→CS2(スカイパーフェクTV！2)→(BSにもどる)

2 テレビ ／ ラジオ ／ データ(独立) **で放送の種類を選ぶ**

3 選局 **を押す**

●視聴したい番組が表示されるまで、選局(∧順／∨逆)ボタンを押してください。

おしらせ

●あらかじめチャンネルスキップ(**143**ページ)を設定しているチャンネルは飛びこします。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

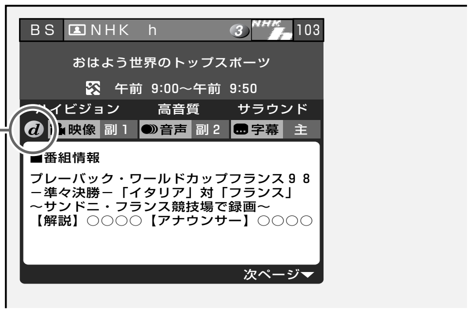
■テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」が表示されます。(放送局によっては表示されない場合があります。)



① 番組情報 **を押し、チャンネル表示内の「*d*」表示を確認する**

② *d*(データ連動) **を押す**

「*d*」表示





(連動データ放送の画面例)

●テレビ放送に戻すときは、再び*d*(データ連動)ボタンを押します。

おしらせ

●「*d*」表示のある番組でも、*d*(データ連動)ボタンを押したとき連動データ放送に切り換わらない場合があります。

おしらせ

●電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、*d*(データ連動)ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)

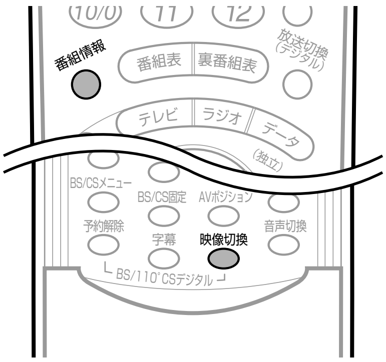
映像・音声の切り換えかた

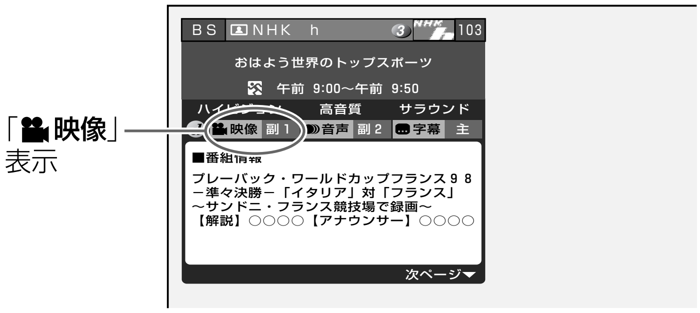
主映像と副映像(最大3つ)、または主音声と副音声(最大7つ)がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

主・副映像を楽しむ

■主・副映像のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「映像」が表示されます。

扉を開けたところ





映像切換を押し、映像を切り換える

●ボタンを押すたびに、つぎのように映像が切り換わります。

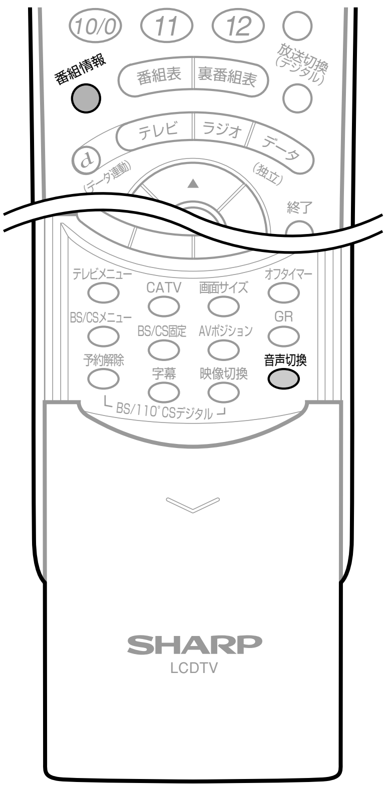
→主映像 → 副映像1〜3※

※番組によって副映像の数は異なります。

主・副音声を楽しむ

■主・副音声のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「音声」が表示されます。

扉を開けたところ





音声切換を押し、音声を切り換える

●ボタンを押すたびに、つぎのように音声が切り換わります。

マルチ音声番組のとき　→主音声 → 副音声1〜7※

※番組によって副音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主音声 →副音声 →主/副音声

おしらせ

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、主音声が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードによる表示であり、必ずしも表記どおりではないことがあります。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合は、前回の設定がそのまま反映されます。

BS/110°CSチャンネルボタンに登録されているチャンネルを確認する

■BS／110°CSチャンネルボタンでワンタッチ選局するときに、登録されているチャンネル内容の確認ができます。

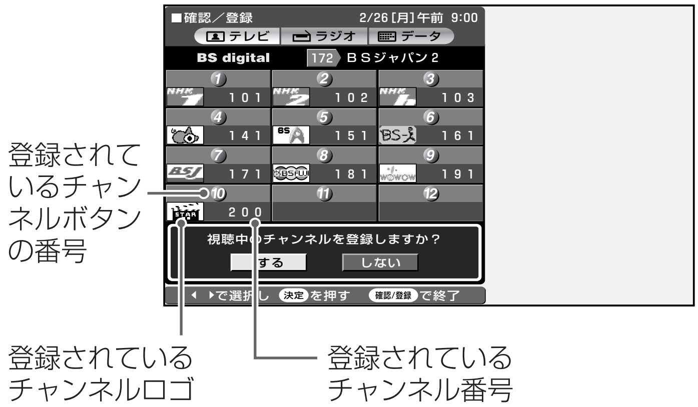
扉を閉じたところ



放送を視聴中に 確認／登録 を押す

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

＜例＞ BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧



●確認後、画面表示を消すには、確認／登録ボタンか終了ボタンを押します。

おしらせ

- 各放送のチャンネル登録画面は、それぞれ放送を視聴しているときに確認／登録ボタンを押すと表示されます。
- 確認／登録画面を表示中に、放送切換（デジタル）ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタンを押すと、ネットワーク・放送の種類が切り換わり、そのチャンネル登録画面が表示されます。

工場出荷時に設定されているBS／110° CSチャンネル一覧

BS（BSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
2 NHK2	NHK BS2	102	ミュージックバード	316	ウェザーニューズ	910
3 NHKh	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
4 BS日テレ	BS 日テレ	141	セントギガ	333	日本データ放送	940
5 BS朝日	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	BS955	955
6 BS-i	BS-i	161	BSAラジオ	455	日本メディアーク	963
7 BSJ	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	日本ビーエス放送	999
8 BSフジ	BS フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	―	―
9 WOW	WOWOW	191	LFX488	488	―	―
10/0 スター	スターチャンネル	200	BS QR489	489	―	―
11	―	―	WOWOW WAVE1	491	―	―
12	―	―	―	―	―	―

CS1（プラットワン）チャンネル

チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK1	プラットワン・プロモチャンネル	001	サウンドスケープテリア	700	データカレッジ	010
2 NHK2	G＋SPORTS&NEWS	004	ヒーリングテリア	701	CS日本	011
3 NHKh	NNN24	005	ライトクラシックテリア	702	WOWOW PPV NAVI	090
4 BS日テレ	電波少年的放送局	006	スクリーンテリア	703	おー当たりch	900
5 BS朝日	ブルームバーグテレビジョン	007	ストリング・アンサンブルテリア	704	お！宝ch	901
6 BS-i	ミュージックジャパンTVプラス	008	カフェ・ミュージックテリア	705	CS教育テレビ	902
7 BSJ	サイエンス教育チャンネル	009	スウィングテリア	706	ゲーちゃん	909
8 BSフジ	epプラザ	055	フュージョンテリア	707	ハローTivi	963
9 WOW	ep056	056	カントリー&ウェスタンテリア	708	スポーツTivi	966
10/0 スター	BBTV	085	ラテン&ブラジリアンテリア	709	ニュースTivi	967
11	ベルメゾンTV	088	ボーダーレス・ミュージックテリア	710	ショッピングTV	998
12	WOWOW PPV1	091	R&B・ソウルテリア	711	カルチャーTV	999

CS2（スカイパーフェクTV！2）チャンネル

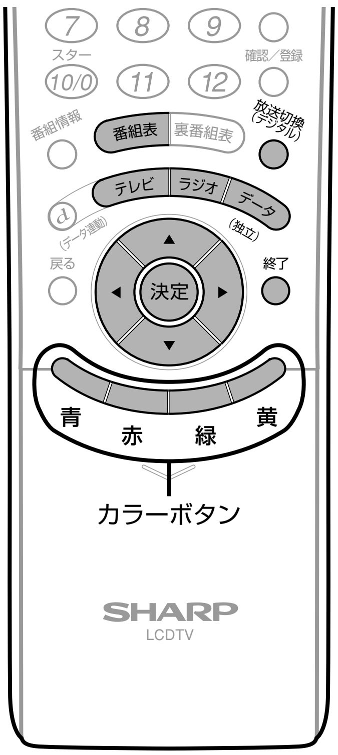
チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK1	スカパー2プロモ	100	－	－	ワンテンポータル	110
2 NHK2	C-TBSウェルカムチャンネル	160	－	－	CS映画	123
3 NHKh	ショップチャンネル	177	－	－	たまごとじ	168
4 BS日テレ	フジテレビ739	182	－	－	たまごとじ	169
5 BS朝日	AQステーション	194	－	－	タカラヅカ・スカイ・ステージ	190
6 BS-i	ザ・ゴルフチャンネル	211	－	－	AQデータ放送	196
7 BSJ	日本映画＋時代劇TV	220	－	－	ム・ーハ	501
8 BSフジ	スーパーチャンネル	230	－	－	ム・ーハ	512
9 WOW	CS NOW	235	－	－	－	－
10/0 スター	アクティブ！スポーツチャンネル	250	－	－	－	－
11	タカラヅカ・スカイ・ステージ	290	－	－	－	－
12	－	－	－	－	－	－

※CS2（スカイパーフェクTV！2）のラジオ放送は、現在放送予定がありません。
※チャンネルプランは2002年11月現在のもので、変更されることもあります。

電子番組表(EPG)の使いかた

BS／110°CSデジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

扉を閉じたところ



1 BSデジタル放送または110°CSデジタル放送を視聴中に 番組表 を押す

電子番組表（EPG）画面が表示されます。

（BSデジタル放送の画面例）



2 ▲ ▼ ◀ ▶ で番組を選び、 決定 を押す

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。（**125**ページ参照）

> **電子番組表(EPG)画面を消すときは**
> 番組表 または 終了 を押します。

基本

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは左右カーソルボタンを使います。

おしらせ

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表（EPG）を表示できるのは、BSデジタル放送と110°CSデジタル放送だけです。
- 本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

電子番組表の切り換えかた

- 電子番組表（EPG）を表示しているときに放送切換（デジタル）ボタン、テレビ／ラジオ／データ（独立）ボタンを押すと、他のネットワークや放送種類の番組表に切り換えることができます。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。
  画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がなく、色のついていないカラーボタンは、押しても働きません。

カラーボタンの機能について

青（情報を見る）
番組情報が表示されます。

赤（ジャンル検索）
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

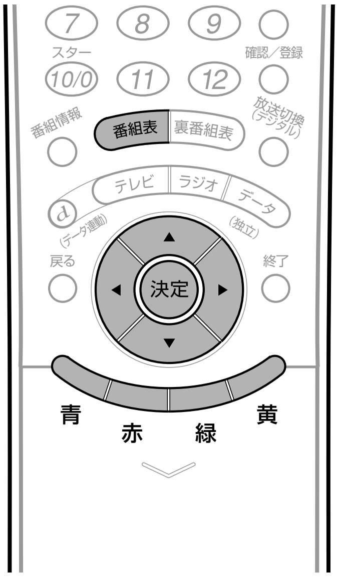
緑（日時検索）
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄（予約リスト）
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

電子番組表(EPG)で選ぶ

見たい番組を探す

扉を閉じたところ



電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

1 **（番組表）を押し、電子番組表(EPG)を表示する**

（電子番組表画面の例）



2 **見たい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、（決定）を押す**

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

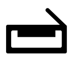
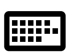
未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。（**125**ページ参照）

アイコン一覧

■BS／110°CSデジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

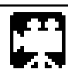
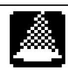
放送の種類を示すアイコン

アイコン	放送の種類
	テレビ放送
	ラジオ放送
	独立データ放送

番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約（ビデオ連動予約）している番組
	録画予約（i.LINK予約）している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピー禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース・報道		映画
	スポーツ		アニメ・特撮
	情報・ワイドショー		教養・ドキュメンタリー
	ドラマ		劇場・講演
	音楽		趣味・教育
	バラエティー		福祉

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

ジャンルで番組を探す

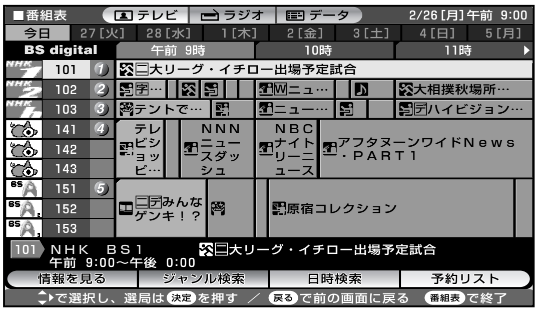
■番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

扉を閉じたところ



1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 赤 (ジャンル検索)を押す



2 見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ



3 見たい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●黄ボタン(次の時間帯)を押すと、時間帯を3時間先に送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタン(前の時間帯)を押します。



放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**125**ページ参照)

日時を指定して番組を探す

■日付と時間を指定して電子番組表を表示させることができます。

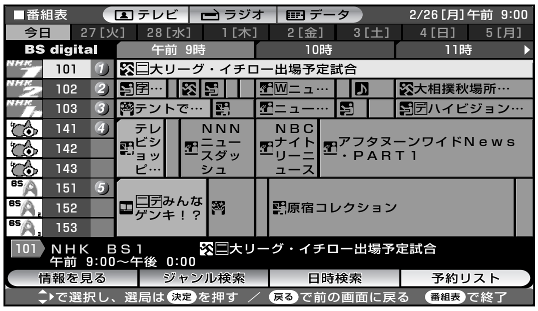
扉を閉じたところ



1

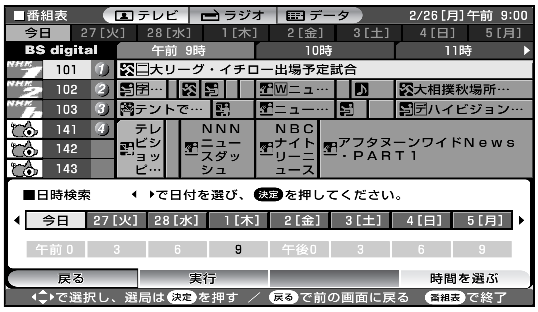
① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 緑（日時検索）を押す



2

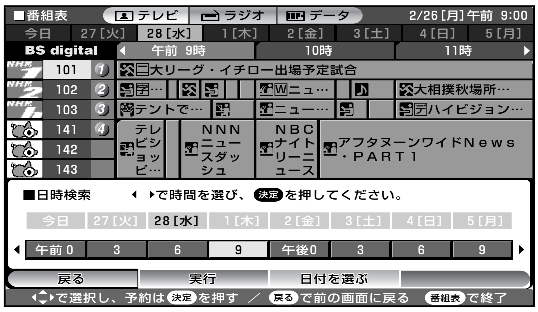
◀ ▶ で日にちを選び、黄（時間を選ぶ）を押す



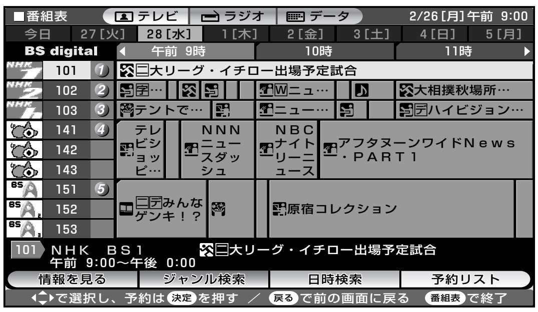
●日にちを選んだあとに決定ボタンを押すと、選んだ日にちの番組表が表示されます。

3

◀ ▶ で時間を選び、決定 を押す



●指定された日時の電子番組表が表示されます。



電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

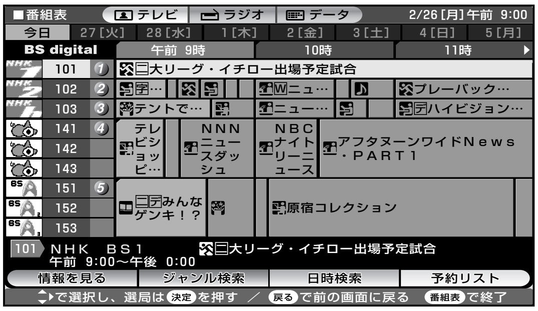
番組の内容を確認する

■番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

扉を閉じたところ



1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

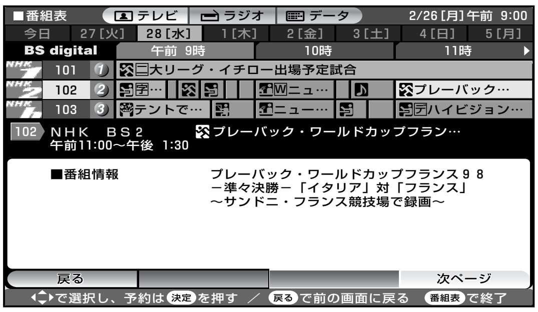


2 内容を確認したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ



3 青 (情報を見る)を押す

●番組情報が表示されます。



●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の情報を見るには

● 番組情報ボタンを押してください。
(電子番組表を表示する必要はありません。)

放送中の他の番組を知りたいとき

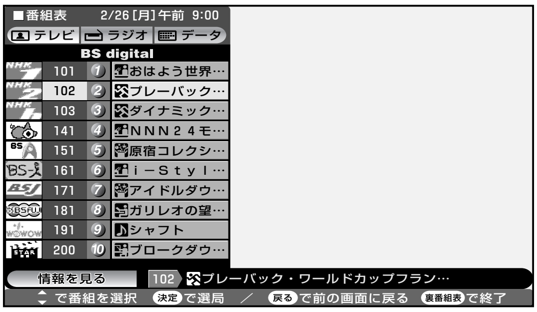
扉を閉じたところ



1 裏番組表 を押し、裏番組表を表示する



2 ▲ ▼ で番組を選ぶ



3 青（情報を見る）を押す

- 選んだ番組の情報が表示されます。



- 番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データ（独立）ボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

おしらせ

- 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
- BS・CS1・CS2のいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれの放送種類についても、同じように裏番組表を表示することができます。
- 裏番組表を表示しているときに放送切換（デジタル）ボタン、テレビ／ラジオ／データ（独立）ボタンを押すと、他のネットワークや放送種類の裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

■ BS／110°CSデジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■ 予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

番組予約（録画予約）の手順

予約したい未放送の番組を電子番組表から選ぶ

番組表から、直接予約ができます



↓

「録画予約」を選ぶ

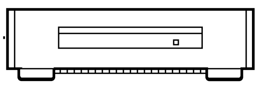
↓

録画機器の選択・設定

- ビデオ連動予約確認・設定
- i.LINK 予約確認・設定



ビデオデッキ



D-VHS ビデオデッキ

↓

予約の方法を選ぶ

- 予約
- 詳細予約

↓

契約の確認

- BSデジタル放送は無料放送と有料放送があり、有料放送にはあらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。
- 110°CSデジタル放送は有料放送で、各プラットフォームとの個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。

- 有料放送または PPV 番組の購入契約の判定

↓

購入内容の設定

- 購入金額制限の判定

↓

映像・音声の選択と購入設定

BS／110°CSデジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像・副音声などの情報が同時に送られてきます。

- マルチビュー、副映像、副音声

↓

予約内容確認

↓

予約手続き完了

おしらせ

- データ番組はビデオ連動予約ができません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、BS／110°CSデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。操作を行う場合は、リモコン扉内の予約解除ボタンで予約を解除してから操作してください。
- 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

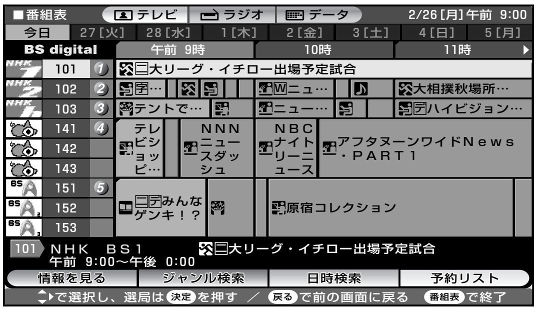
視聴予約か録画予約かを選ぶ

■電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約およびPPV（ペイパービュー）番組の録画予約ができます。

扉を閉じたところ



1 [番組表] を押し、電子番組表を表示する



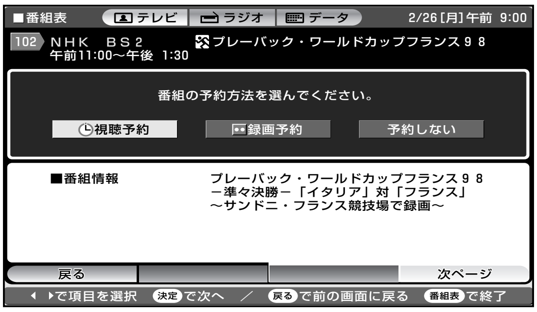
●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定（**121**ページ）で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ



3 [決定] を押す

●予約選択画面になります。



「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順（**126**ページ）に進みます。

「録画予約」…… 録画する機器の選択ができます。
録画予約の手順（**127**ページ）に進みます。

「予約しない」… 予約をしないで番組表に戻ります。

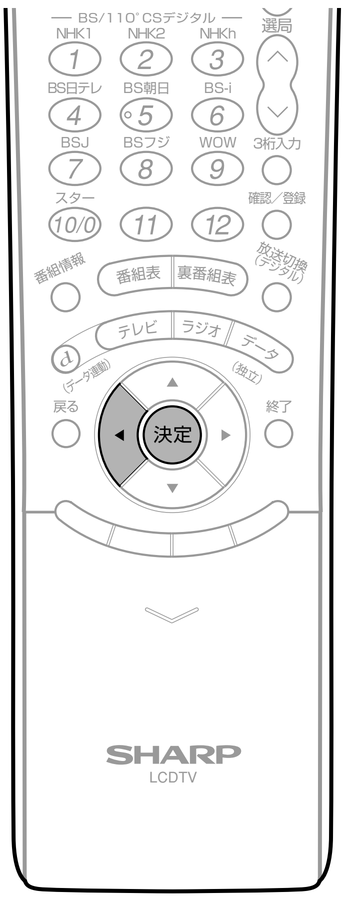
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

視聴予約

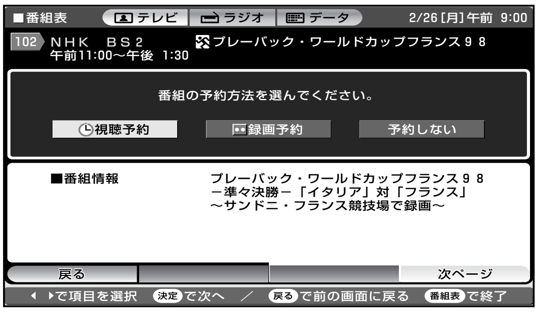
おしらせ

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**137**ページ)が必要です。

扉を閉じたところ

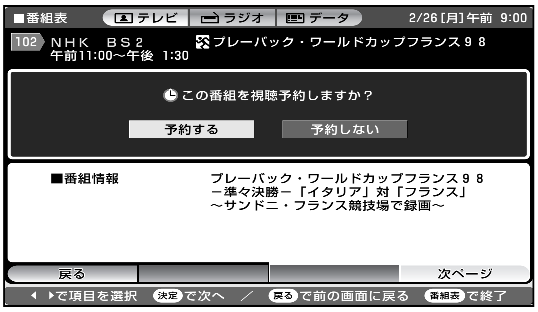


1 ◀で「視聴予約」を選び、(決定)を押す

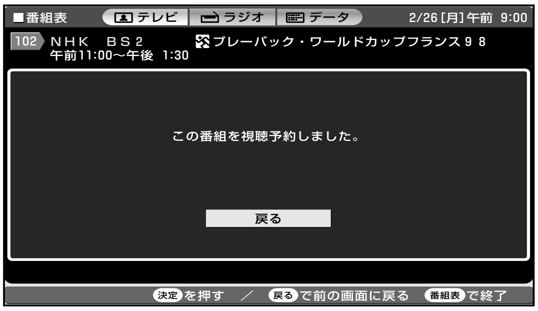


2 ◀で「予約する」を選び、(決定)を押す

「予約する」……… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「予約しない」…… 予約をしないで番組表に戻ります。



3 「戻る」で(決定)を押す

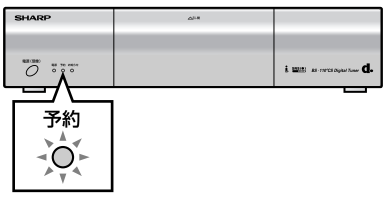


- 視聴予約が設定されました。

おしらせ

予約ランプについて

- 番組を予約すると、チューナー部の予約ランプが点灯します。

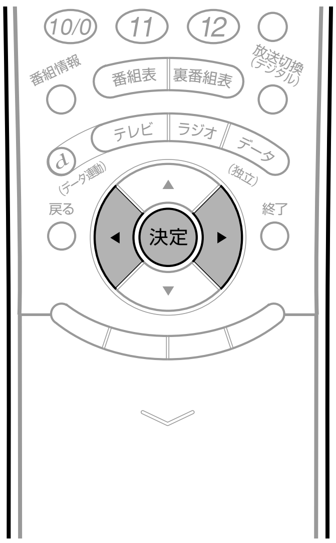


録画予約

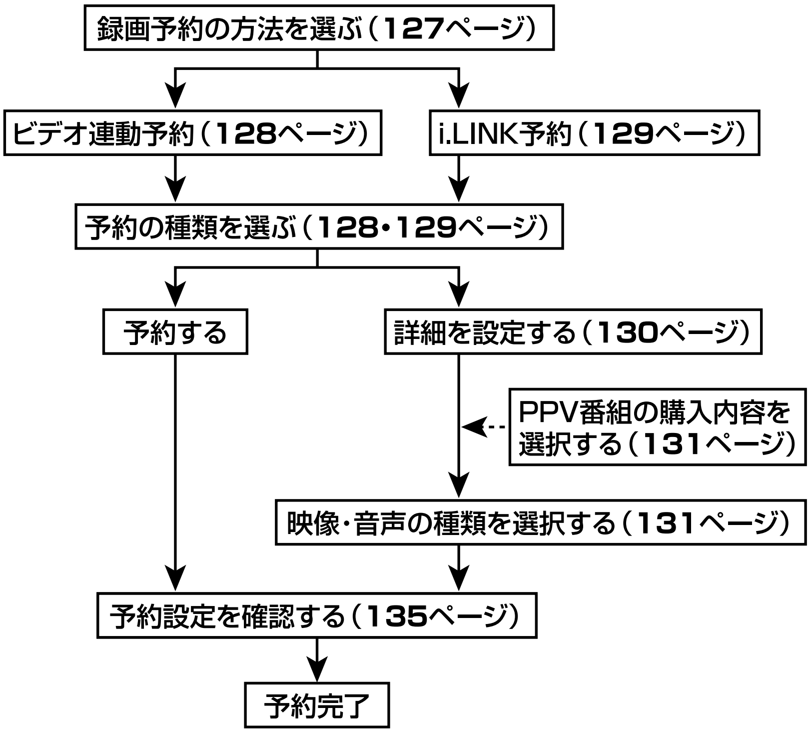
おしらせ

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し（**137**ページ）が必要です。
- データ放送はビデオ連動予約ができません。
- BS／110°CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力（光）端子の設定を「PCM」にしてください（**207**ページ）。
- 独立データ放送をD-VHSで録画するときは、i.LINKの設定を行ってください（**197**～**201**ページ）。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

扉を閉じたところ

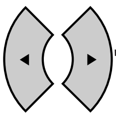


録画予約の操作手順

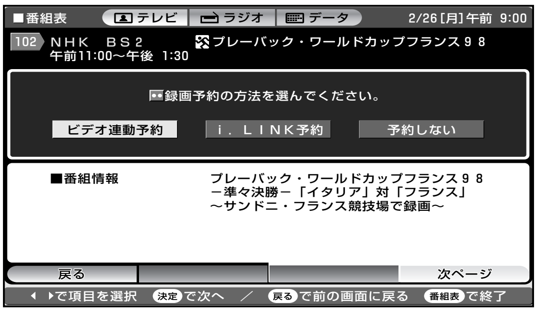


※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

録画予約の方法を選ぶ



で録画予約の方法を選び、（決定）を押す



「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約（**128**ページ）に進みます。

「i.LINK予約」……… i.LINK連動予約（**129**ページ）に進みます。

「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

■ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了する予約録画方法です。

おしらせ

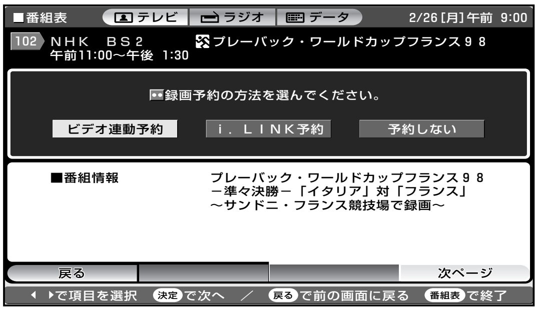
- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**184**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**185**ページ)を済ませておいてください。
- **ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。**

扉を閉じたところ

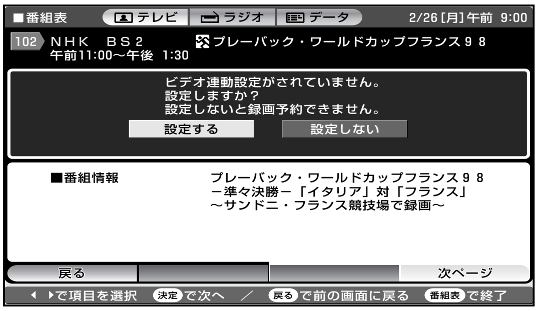


ビデオ連動予約するとき

1 **◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す**

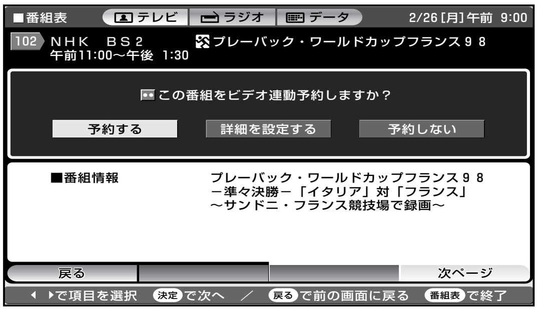


- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。



- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**185**ページ参照)

2 **◀▶で予約の種類を選び、決定を押す**



「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。

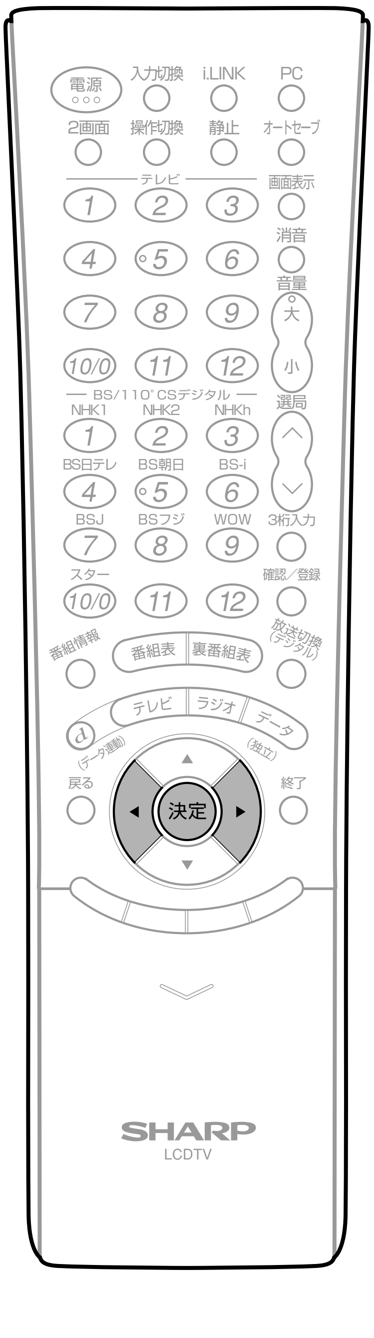
「詳細を設定する」…映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

「予約しない」………予約をしないで番組表に戻ります。

■i.LINK予約とは、本体後面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約した番組を録画する方法です。

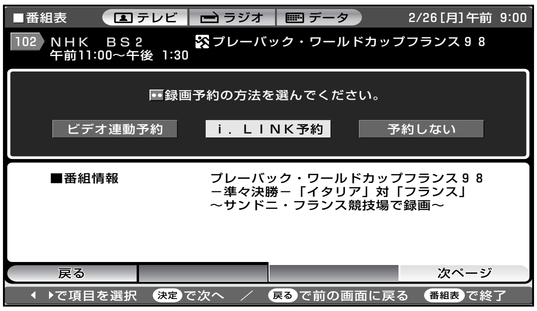
おしらせ
- i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続（**195**ページ）とi.LINK設定（**197**～**199**ページ）を済ませておいてください。

扉を閉じたところ

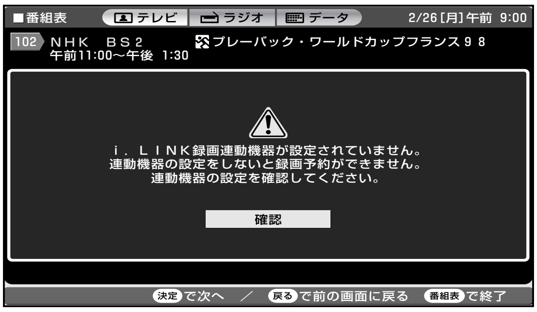


i.LINK予約するとき

1 **で「i.LINK予約」を選び、決定を押す**

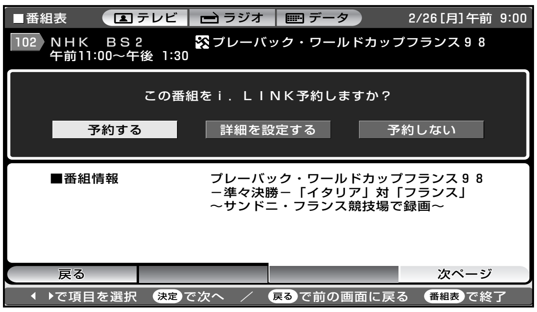


- i.LINK設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。



- 「確認」で決定ボタンを押すと、i.LINK設定画面になります。設定を行ってください。（**197**ページ参照）

2 **で予約の種類を選び、決定を押す**



「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「詳細を設定する」…映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。
「予約しない」………予約をしないで番組表に戻ります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

詳細設定

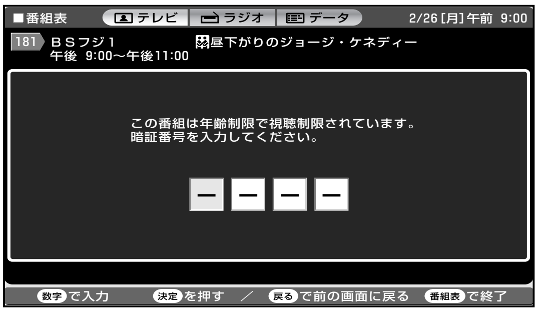
■ 視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

扉を閉じたところ



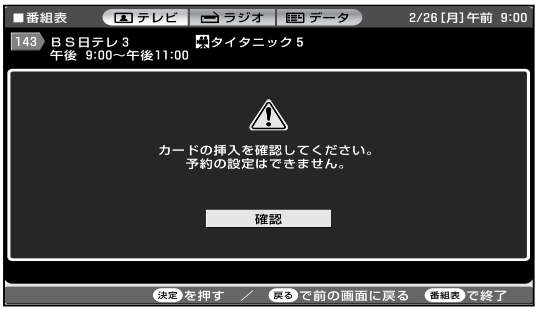
視聴年齢制限のある番組を予約したとき

●暗証番号入力画面が表示されます。



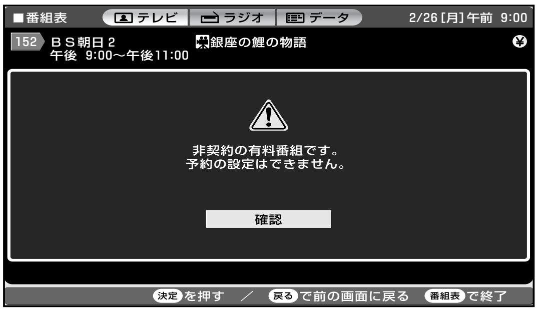
●BS／110°CSチャンネルボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力してください。(**147**ページ参照)

カード未挿入で非契約番組を予約したとき



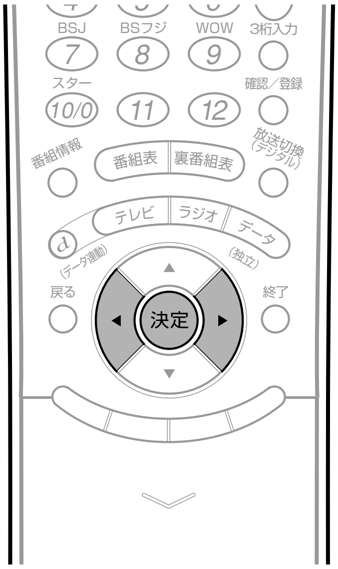
●「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入し、「確認」で決定ボタンを押してください。

非契約の有料番組を予約したとき



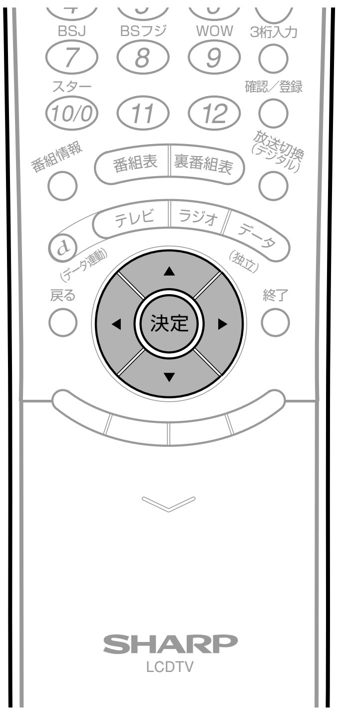
●「(非契約)有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

ビデオ連動予約の場合



■映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

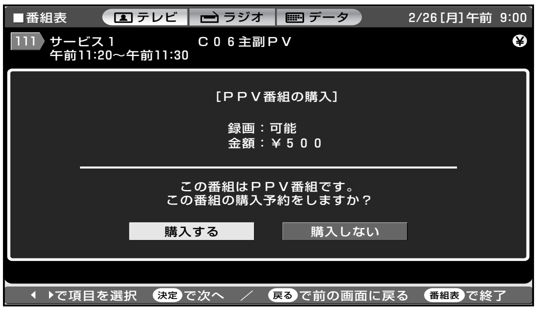
「マルチビュー」…	いろいろな角度から見た映像
「映像」………	主映像と副映像(最大3つ)
「音声」………	主音声と副音声(最大7つ)
「二重音声」…	主音声と副音声



PPV番組の購入(する／しない)を選択する

●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

◀ ▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す



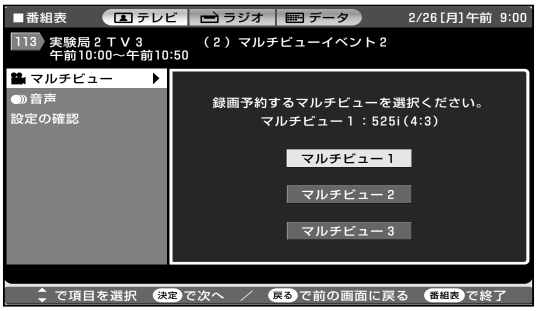
●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

映像・音声の種類を選択する

1

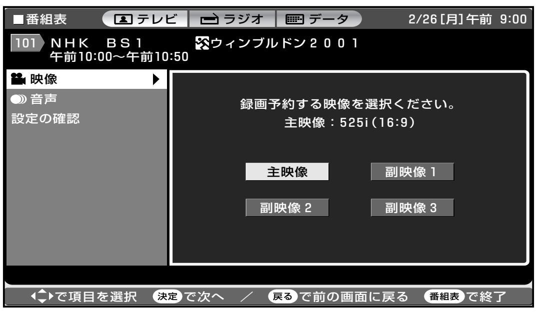
マルチビュー番組を選んでいるとき

決定を押してから、▲ ▼でマルチビューの種類を選び、決定を押す



副映像のある番組を選んでいるとき

決定を押してから、▲ ▼ ◀ ▶で映像を選び、決定を押す



次ページへ

●副映像の数は、番組によって異なります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

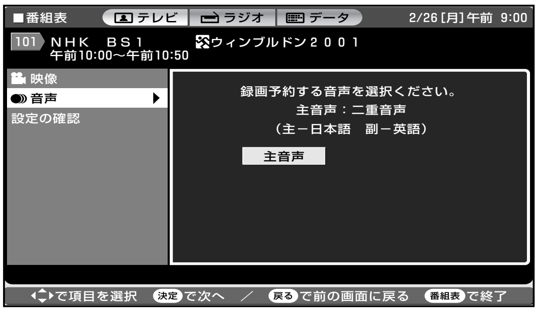
扉を閉じたところ



2

① ▼で「音声」を選び、決定を押す

② ▲ ▼ ◀ ▶で音声を選び、決定を押す

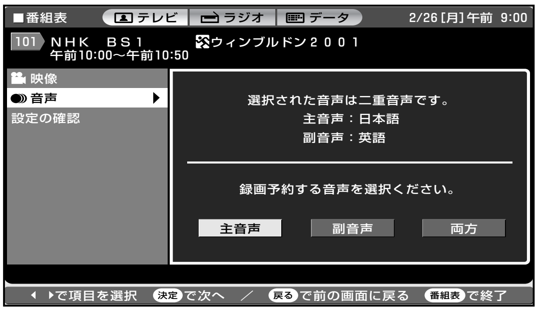


- 副音声の数は、番組によって異なります。

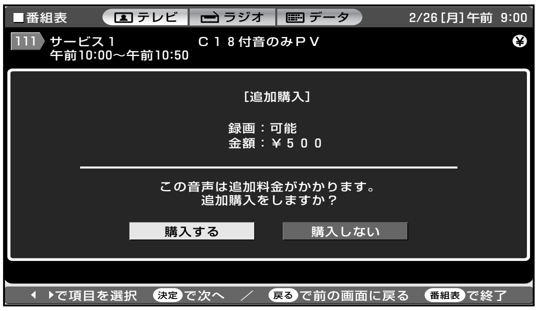
3

（手順**2**で選んだ音声が二重音声のときのみ必要な手順です。）

◀ ▶で二重音声の種類（言語）を選び、決定を押す



- 映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。



- 「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

i.LINK予約の場合

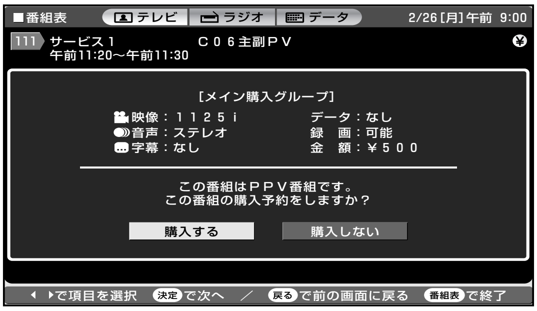
扉を閉じたところ



PPV番組の購入（する／しない）を選択する

●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す



● 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

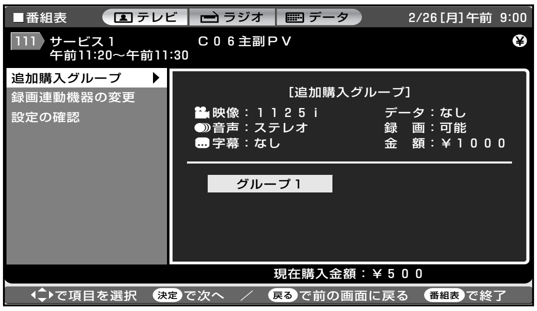
購入グループを選択する

●追加購入する映像・音声の組合せ（グループ）が複数あるときのみ必要な手順です。

1

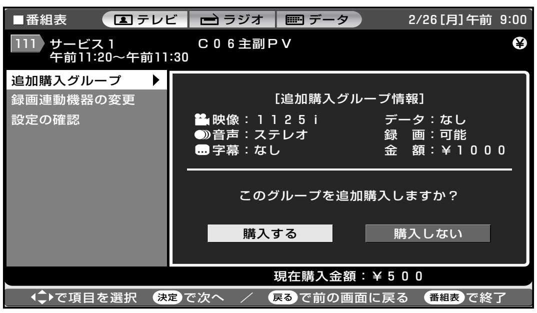
① 「追加購入グループ」で決定を押す

② ▲▼◀▶で購入グループを選び、決定を押す



2

◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す



i.LINK予約の場合(つづき)

扉を閉じたところ



使用するi.LINK機器を選択する

●使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

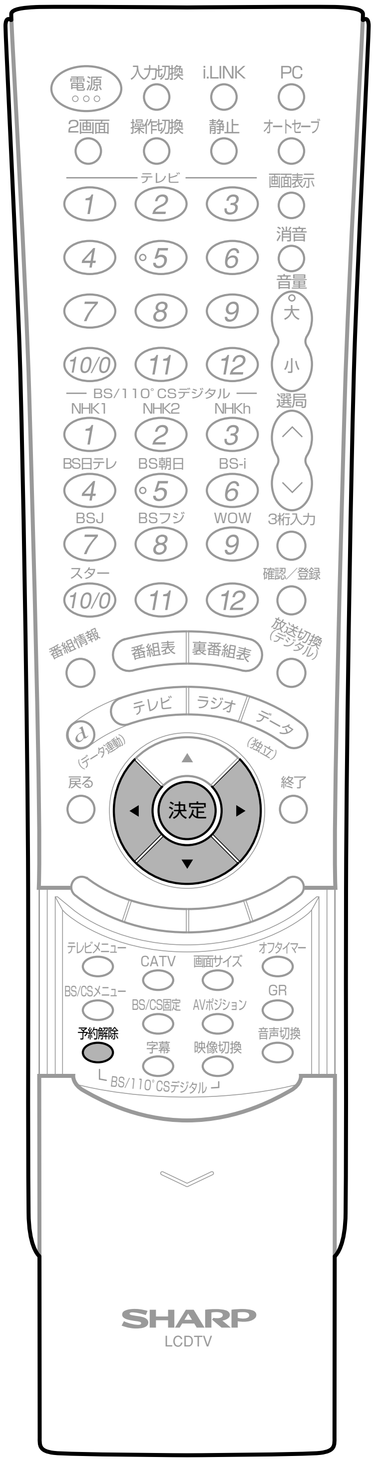
1 **▲ ▼ で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す**



2 **▲ ▼ で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す**

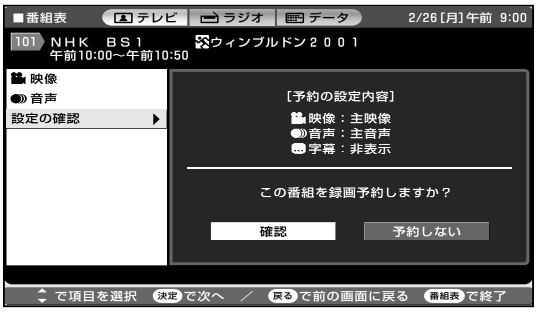


扉を開けたところ



予約設定を確認する

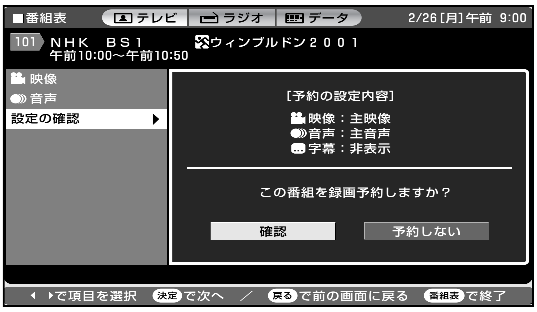
1 **▽で「設定の確認」を選び、決定を押す**



（ビデオ連動予約の場合の表示例）

2 **① 画面に表示された設定内容を確認する**

② 「確認」で決定を押す

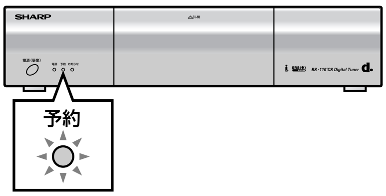


- 録画予約が設定されました。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

おしらせ

予約ランプについて

- 番組を予約すると、チューナー部の予約ランプが点灯します。



実行中の予約録画を解除するには

- 予約解除ボタンを押します。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

予約の確認・取消し・変更

■番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

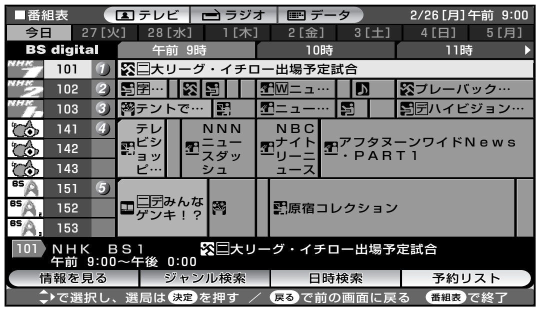
扉を閉じたところ



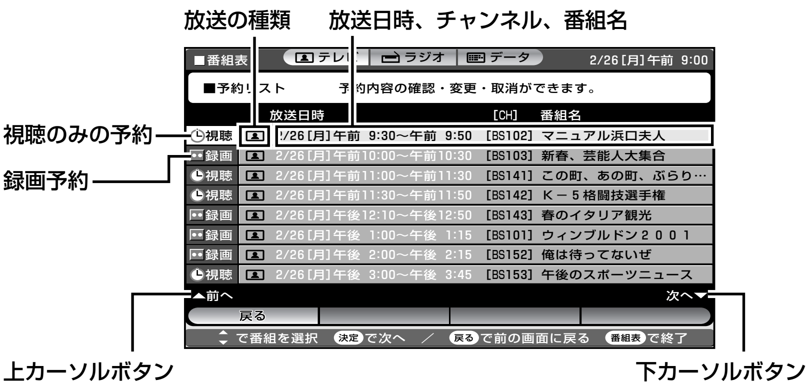
予約を確認したいとき

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

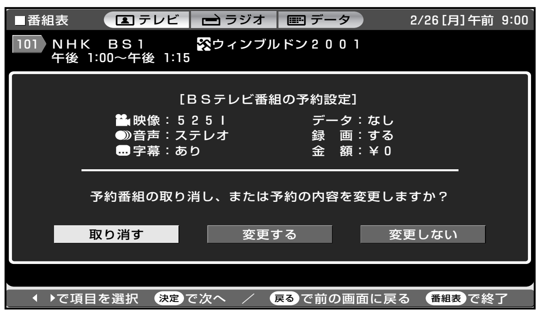
② 黄 (予約リスト)を押し、予約リストを表示する



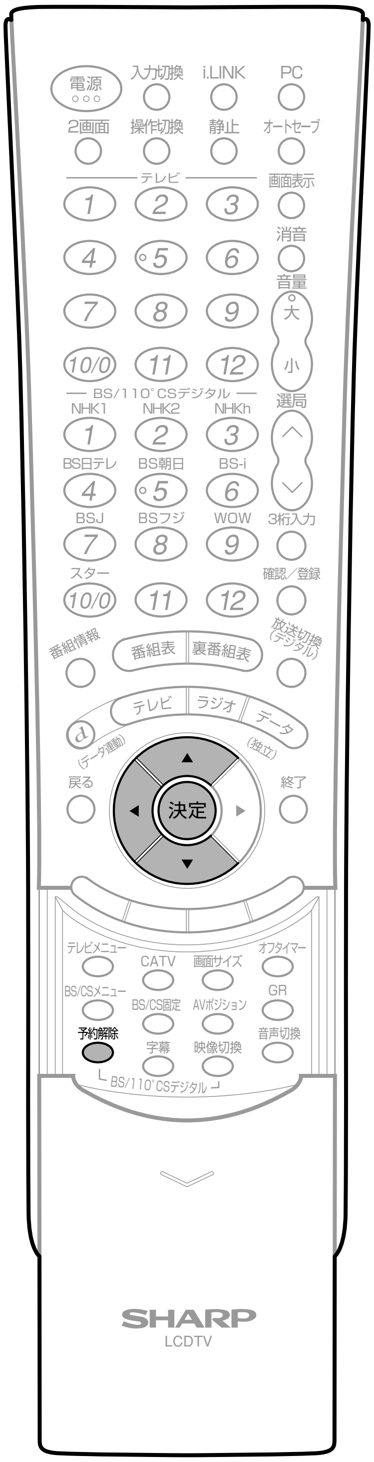
▼予約リストの例



- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

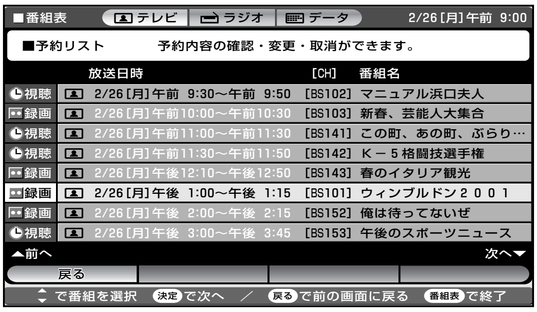


扉を開けたところ

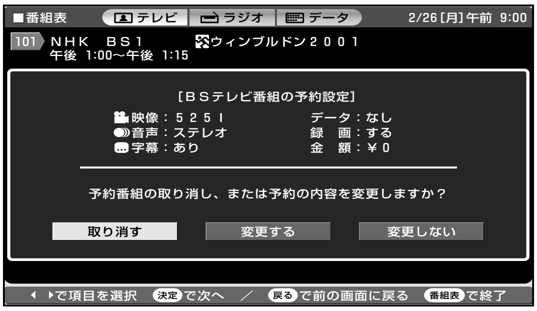


予約を取り消したいとき

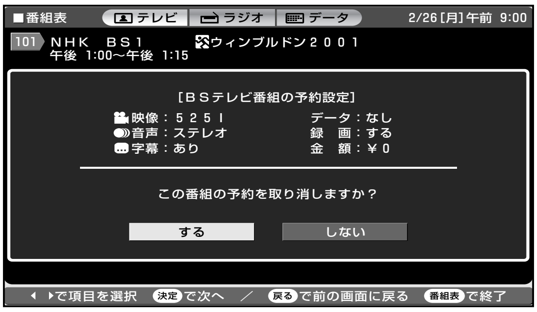
1 予約を取り消したい番組を ▲ ▼ で選び、決定を押す



2 ◀ で「取り消す」を選び、決定を押す



3 ◀ で「する」を選び、決定を押す



おしらせ

実行中の予約録画を解除するには

- 予約解除ボタンを押します。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

扉を閉じたところ

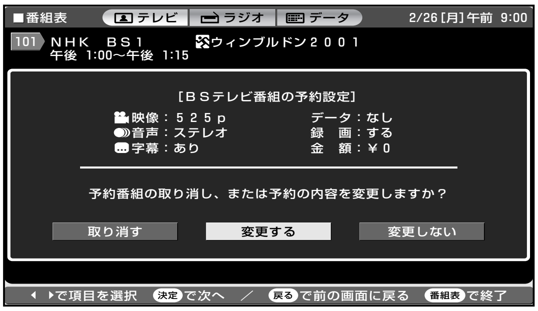


予約を変更したいとき

1 **予約を変更したい番組を▲▼で選び、決定を押す**



2 **◀▶で「変更する」を選び、決定を押す**



- 予約選択画面になります。

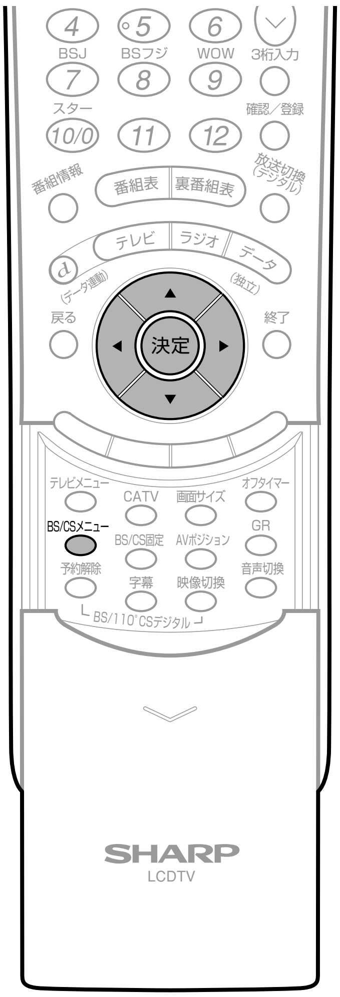
3 **予約操作をやりなおす**

- **126～135**ページの操作手順をご参照ください。

放送視聴のためのいろいろな設定

画面サイズの設定

扉を開けたところ

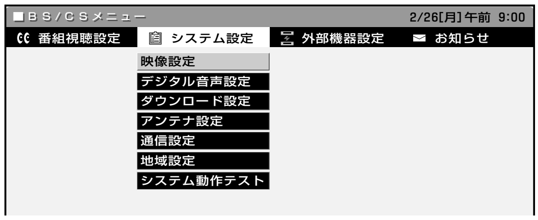


1

① （BS/CSメニュー）を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「映像設定」を選び、（決定）を押す



2

▲▼で「画面サイズ設定」を選び、（決定）を押す



3

◀▶で「オート」または「フル固定」を選び、（決定）を押す

「オート」……… 525i放送以外の放送を1125i変換してディスプレイに表示・再生します。525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。通常は「オート」でお使いください。

「フル固定」…… すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。



おしらせ

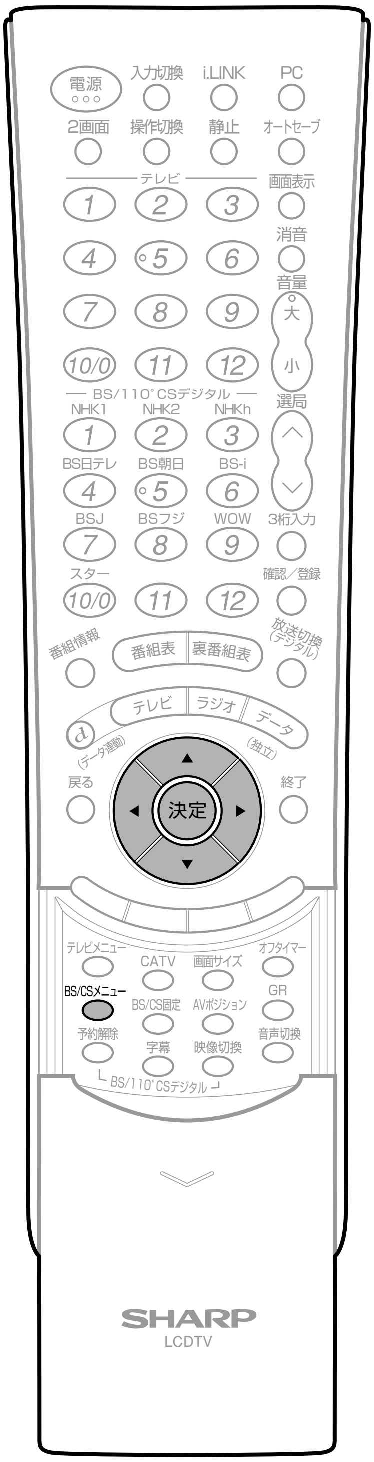
2種類の画面サイズ設定について

- 「オート」…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- 「フル固定」…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

録画画面サイズの設定

■本機に接続した録画用機器にＢＳ／110°CSデジタル放送の16：9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

扉を開けたところ

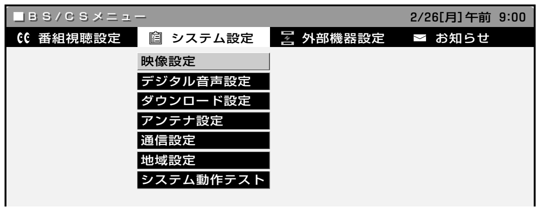


1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

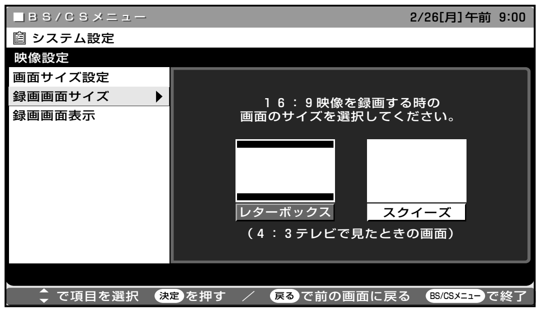
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す



2

▲ ▼ で「録画画面サイズ」を選び、決定 を押す

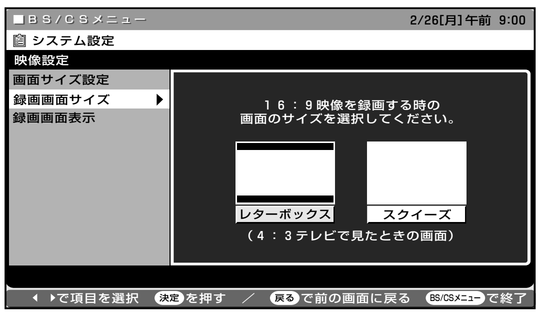


3

◀ ▶ で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、決定 を押す

「レターボックス」… 4：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16：9映像のまま見ることができます。

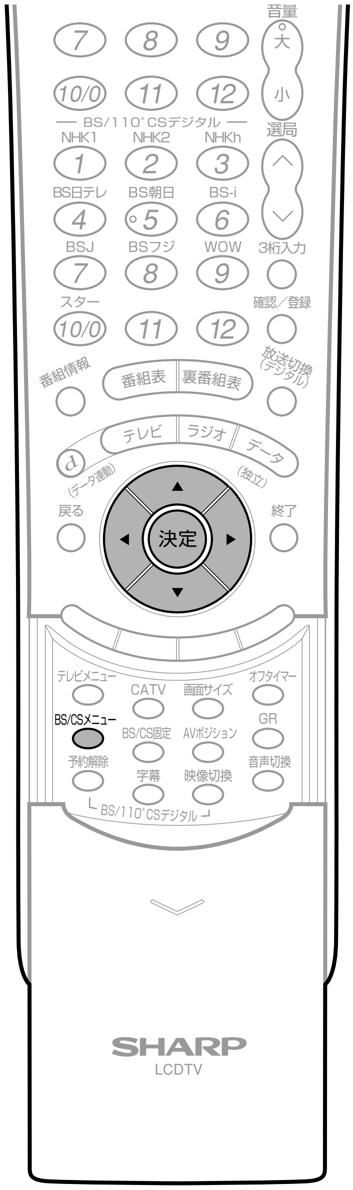
「スクイーズ」……… 4：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16：9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。



録画画面表示の設定

■本機チューナー部後面のBS/CS出力端子に接続した録画用機器に録画するとき、データ放送画面、字幕、メニュー、電子番組表などの画面表示をいっしょに録画するかしないかを選ぶことができます。

扉を開けたところ



おしらせ

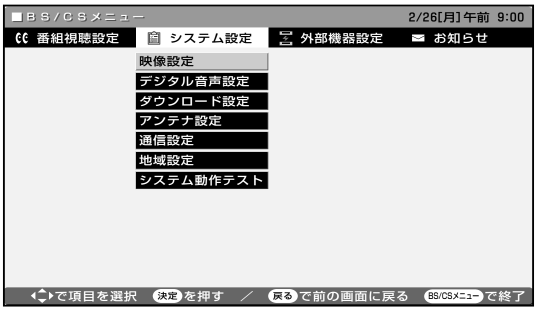
- 録画画面表示を「する」に設定したとき、BS/CS出力端子から出力される映像の画面サイズが変わることがあります。
- BS/CS固定時は、BS/CSメニューや電子番組表を表示することができません。

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

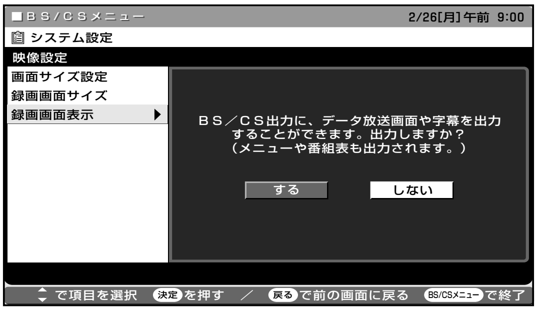
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す



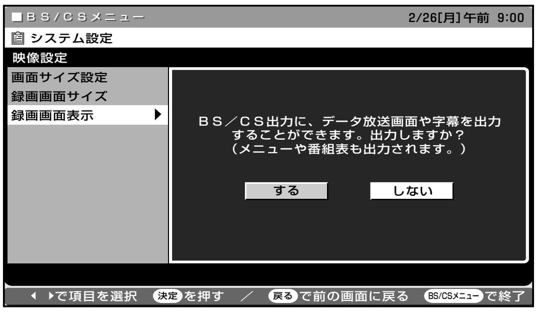
2

▲ ▼ で「録画画面表示」を選び、決定 を押す



3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

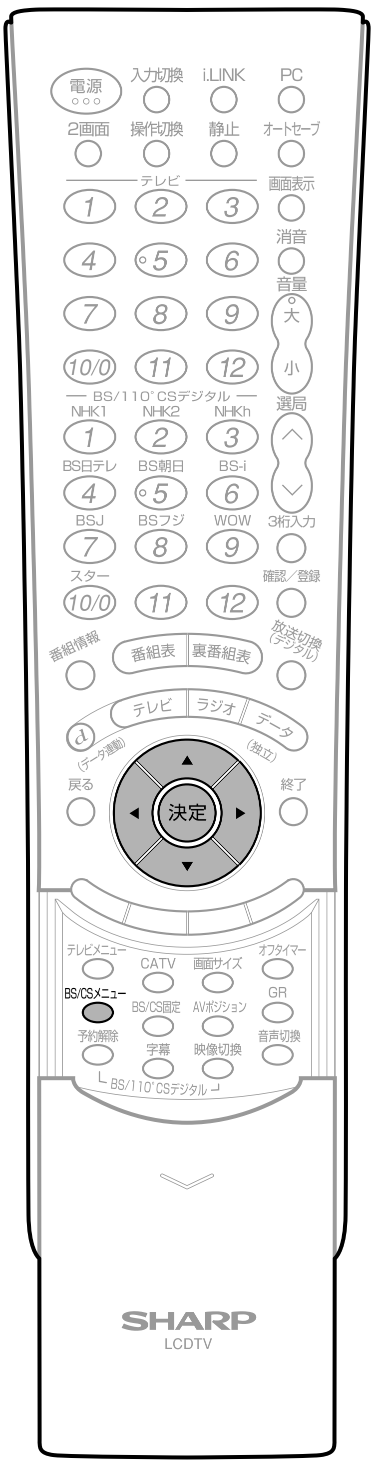


放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

チャンネル表示のしかたを選ぶ

■番組を選んで画面を切り換えたときに、チャンネル番号や番組タイトルなどが表示されます。

扉を開けたところ



1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

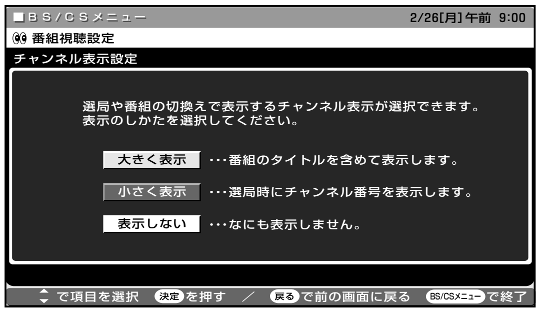
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネル表示設定」を選び、決定 を押す



2

▲ ▼ で表示のしかたを選び、決定 を押す



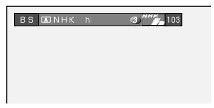
「大きく表示」… 番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

(表示例)



「小さく表示」… チャンネル番号だけを表示します。

(表示例)



「表示しない」… 何も表示しません。



3

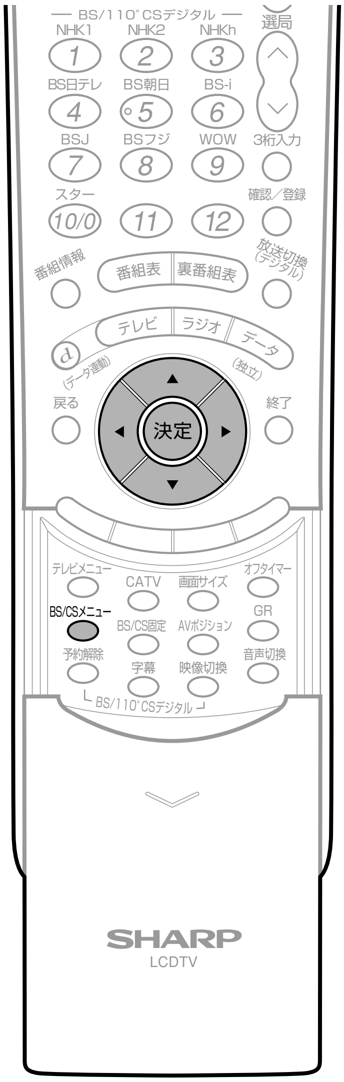
BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

チャンネルスキップを設定する

■選局（∧順／∨逆）ボタンでBS／110°CSチャンネルを選局するとき、同じ番組※をとばして選局するように設定することができます。

※ 時間帯によっては、同じ1つの放送局が複数のチャンネルで同じ番組を放送することがあります。

扉を開けたところ



1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

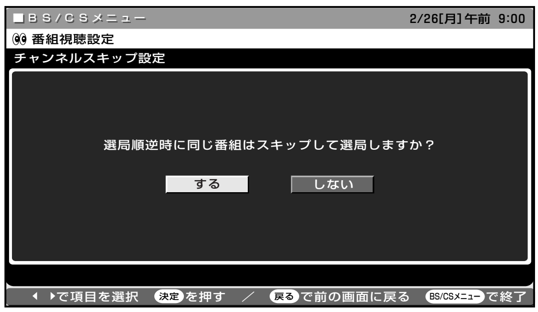
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定 を押す



2

◀ で「する」を選び、決定 を押す



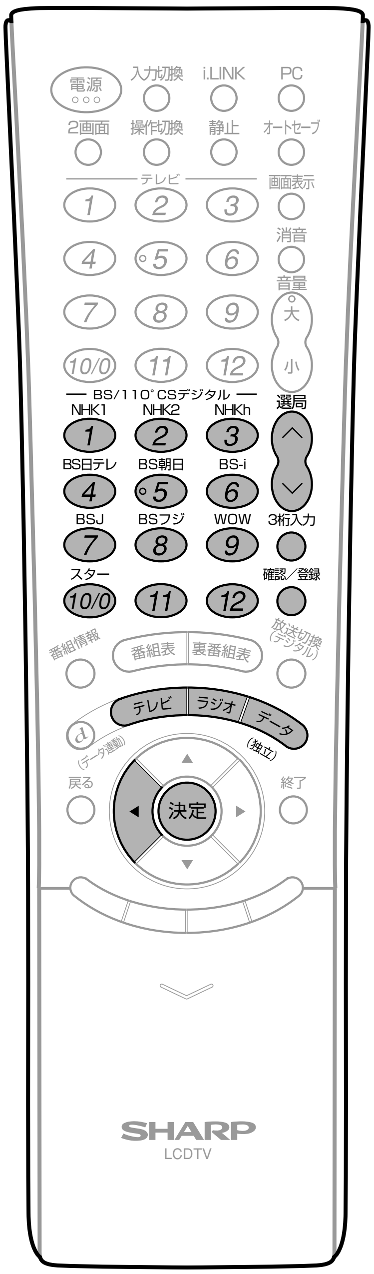
3

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

お好みのチャンネルを登録する

■BS／110゜CSデジタル放送のテレビ放送・ラジオ放送・独立データ放送それぞれにつき、お好みのチャンネルを12局まで登録できます。登録できるチャンネルボタンは、BS／110゜CSチャンネルボタン1～12です。

扉を閉じたところ

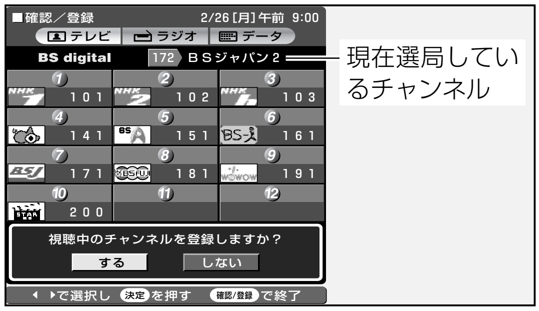


1

① **登録したいBS／110゜CSデジタル放送のチャンネルを選局する**

② **確認／登録 を押す**

③ **◀ で「する」を選び、決定 を押す**



2

登録したいBS／110゜CSチャンネルボタン(1～12)を押し、決定 を押す

＜例＞「BSジャパン2」(172チャンネル)を 11 に登録する場合は、BS／110゜CSチャンネルボタン 11 を押します。



●登録確認画面が表示されます。

3

◀ で「登録する」を選び、決定 を押す

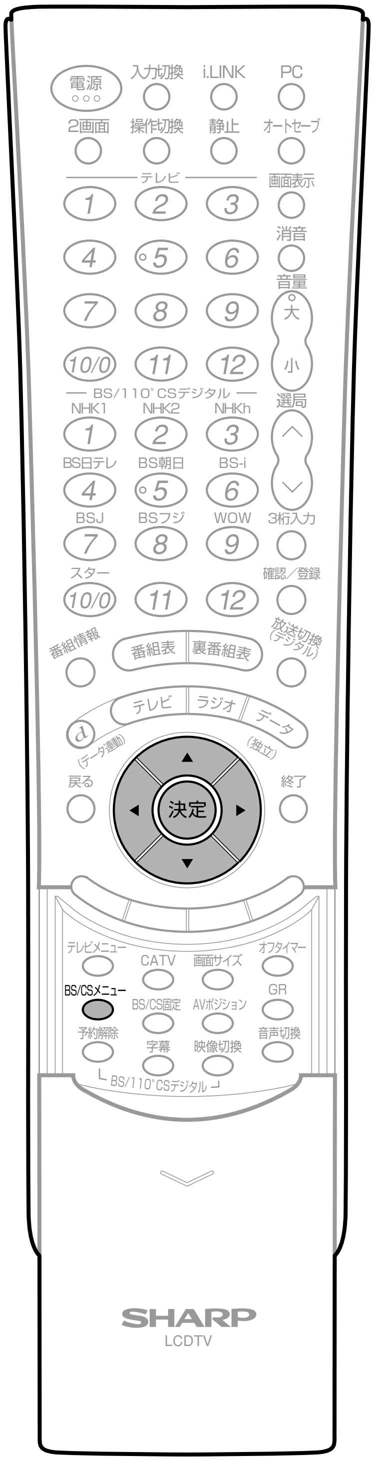


●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期設定」を選んで決定ボタンを押します。

電子番組表やBS/CSメニューを半透明で表示する

■背景の映像を見ながら番組表操作などをしたいとき、電子番組表やBS/CSメニューなどを半透明で表示させることができます。

扉を開けたところ

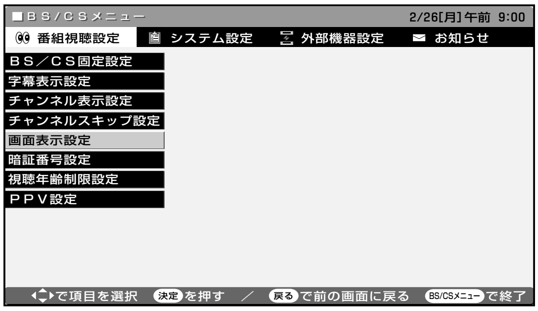


1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「画面表示設定」を選び、決定を押す

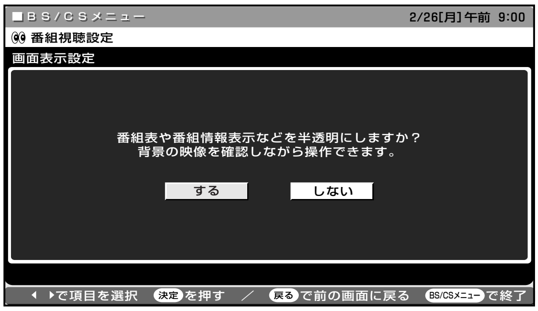


2

◀ ▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… BS/CSメニューや電子番組表を半透明で表示します。背景の映像を確認しながら操作できます。

「しない」…… 半透明で表示しません。画面表示をはっきりと見ることができます。



3

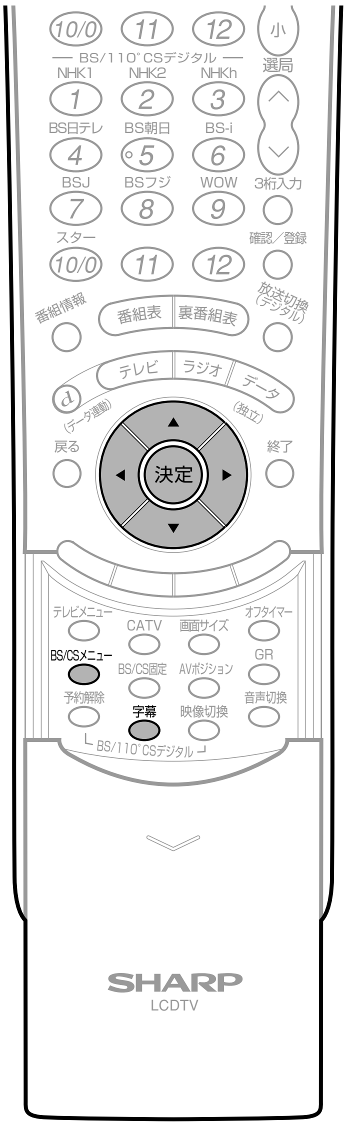
BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

字幕を表示する

■字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

扉を開けたところ



1

① を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② で「番組視聴設定」を選ぶ

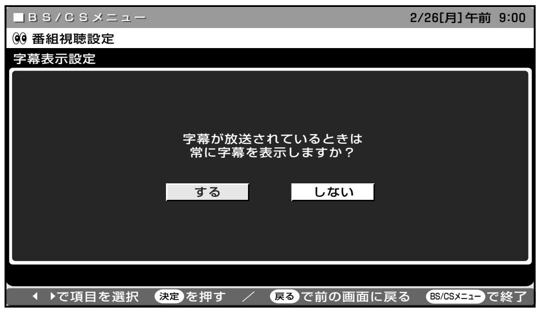
③ で「字幕表示設定」を選び、を押す



2

で「する」または「しない」を選び、を押す

「する」……… 字幕のある番組では、常に字幕を表示します。（リモコンの字幕ボタンでは字幕表示を消せません。）
「しない」…… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。



3

を押し、通常画面に戻す

おしらせ

字幕ボタンについて
- 字幕表示設定を「する」にしたとき
  複数の字幕がある番組では、字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
- 字幕表示設定を「しない」にしたとき
  字幕のある番組では、字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

安心して使うための設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

■暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

扉を開けたところ



1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

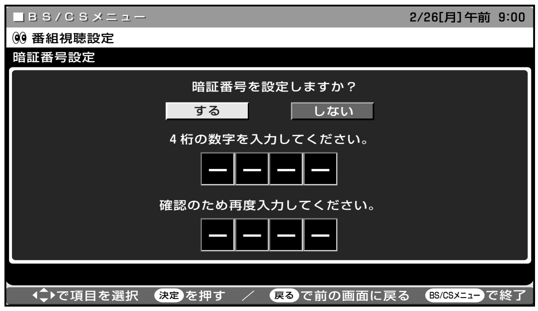
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す



2

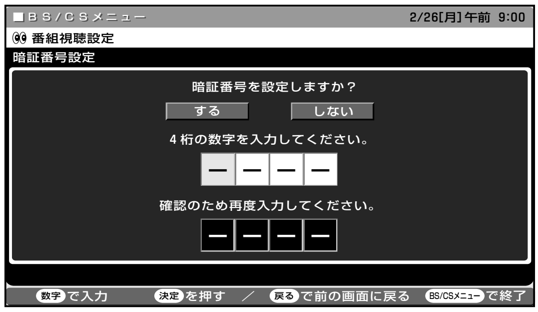
◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す



「する」……新しい暗証番号の設定(手順**3**)に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせず、メニュー画面に戻ります。

3

BS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で、新しい暗証番号を入力する

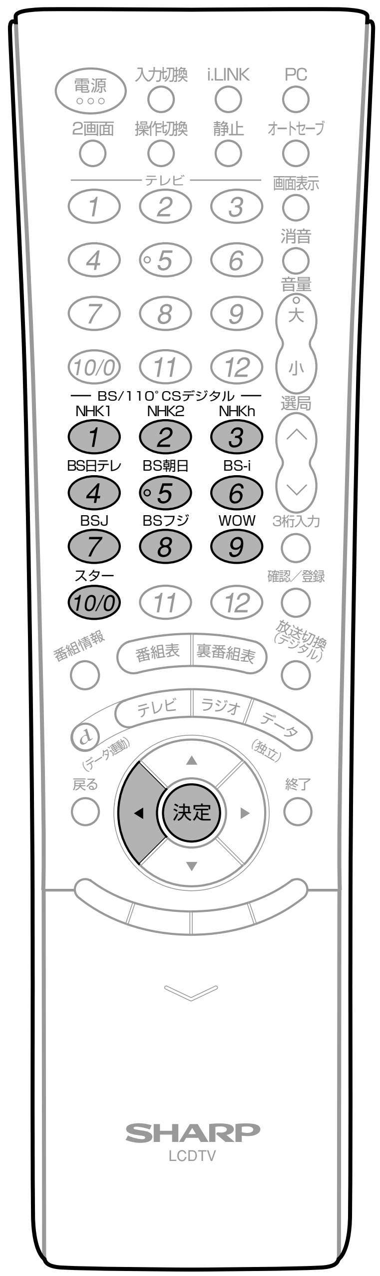


●左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁削除できます。

次ページへ

次ページへつづく

扉を閉じたところ

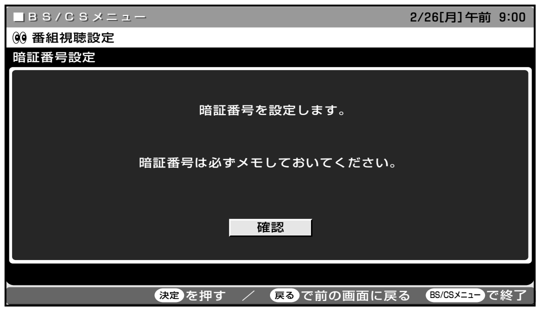


4 確認のため、再度同じ番号をBS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で入力する

●番号の入力を間違えると、手順3からやりなおしになります。



5 暗証番号をメモし、「確認」で(決定)を押す



●新しく入力した暗証番号の設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

おしらせ

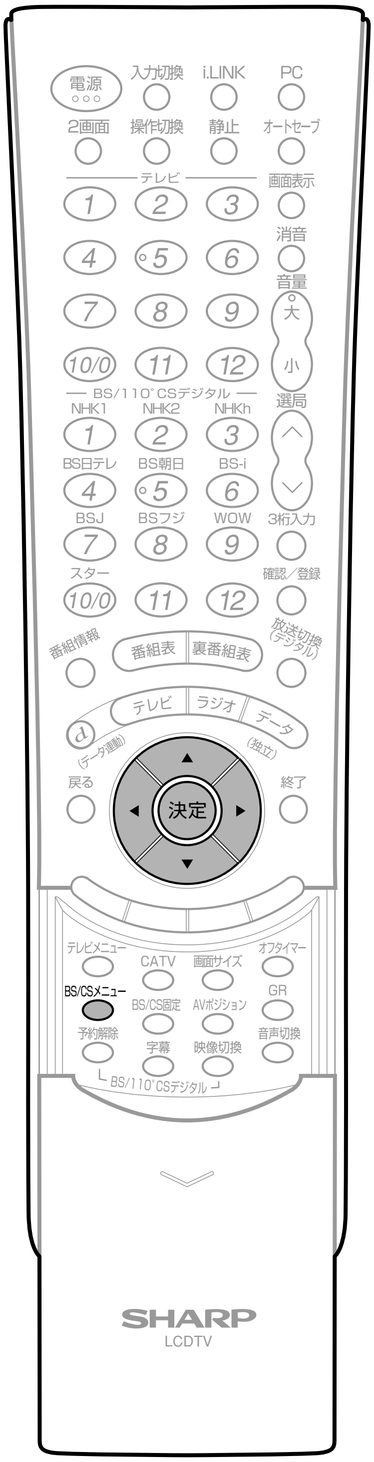
● 暗証番号は必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

● 受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
暗証番号の消去には手数料がかかります。(2002年11月現在)

暗証番号を変更するとき

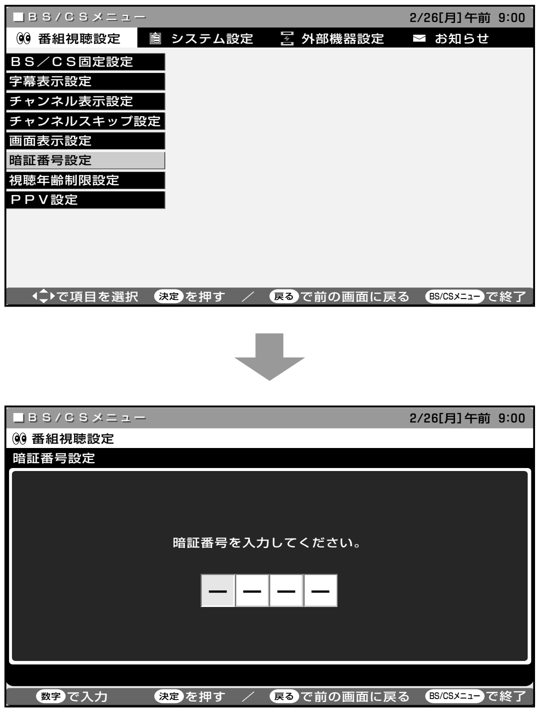
扉を開けたところ



① BS/CSメニュー **を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ **で「番組視聴設定」を選ぶ**

③ ▲ ▼ **で「暗証番号設定」を選び、決定を押す**

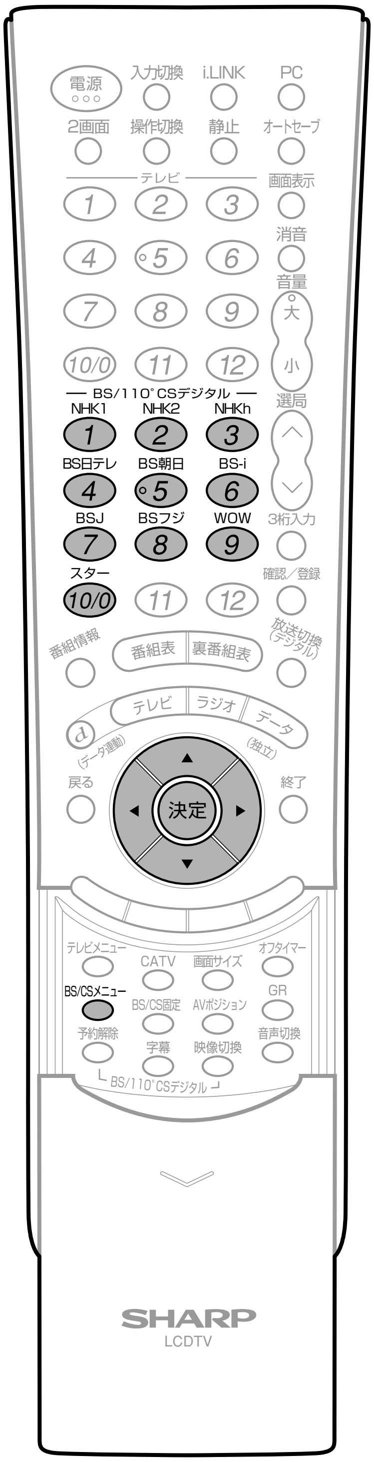


●暗証番号を入力すると、**147**ページ「暗証番号を設定する」の手順**2**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

視聴年齢制限を設定する

■年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。

扉を開けたところ



1

① (BS/CSメニュー)を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② (◀)(▶)で「番組視聴設定」を選ぶ

③ (▲)(▼)で「視聴年齢制限設定」を選び、(決定)を押す



2

BS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

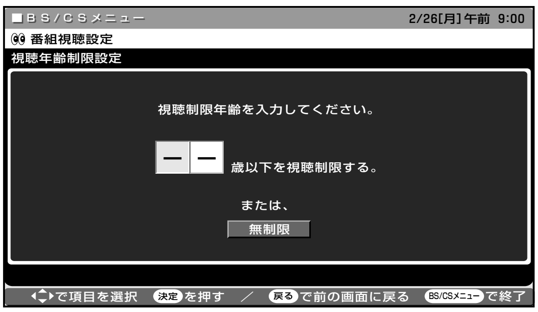


●視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3

① (▲)で年齢の入力欄を選ぶ

② 制限する年齢をBS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で入力し、(決定)を押す

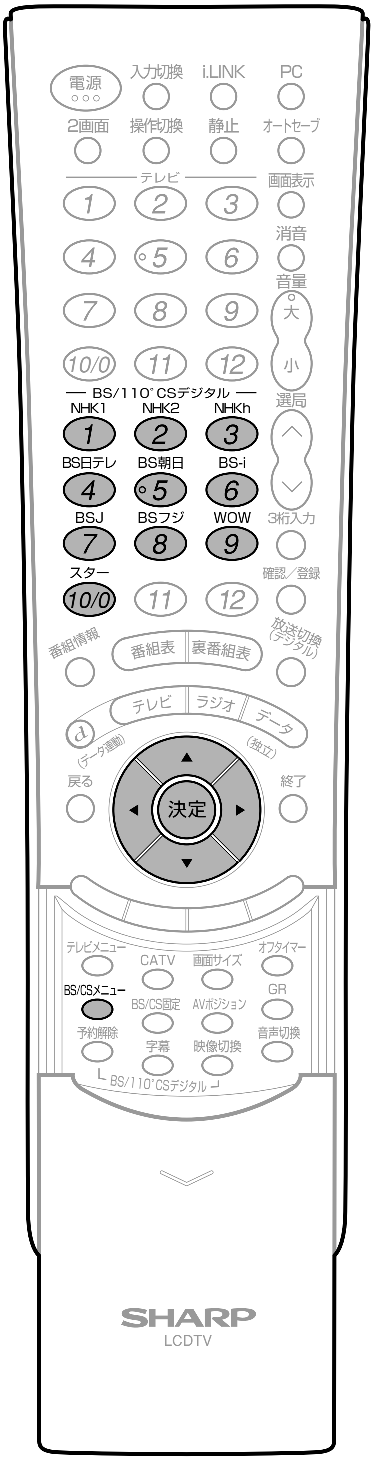


●年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

PPV制限を設定する

■暗証番号を入力しないと、PPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**147**ページ）をしておくことが必要です。

扉を開けたところ



1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「PPV設定」を選び、決定を押す



2

BS／110°CSチャンネルボタン（1～10/0）で暗証番号を入力する



●PPV設定画面が表示されます。

3

「PPV制限」で決定を押す

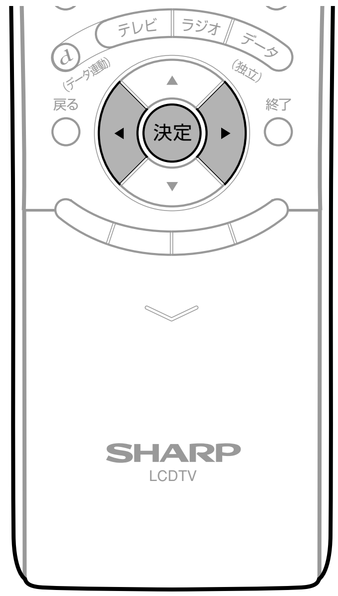


次ページへ

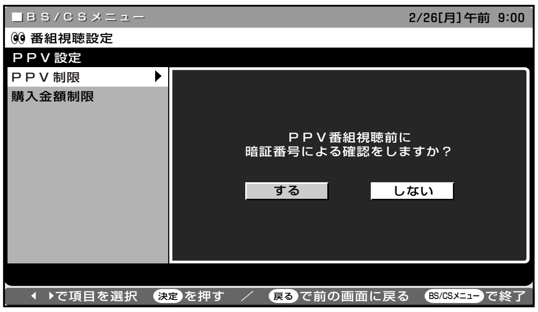
次ページへつづく

安心して使うための設定(つづき)

扉を閉じたところ



4 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す



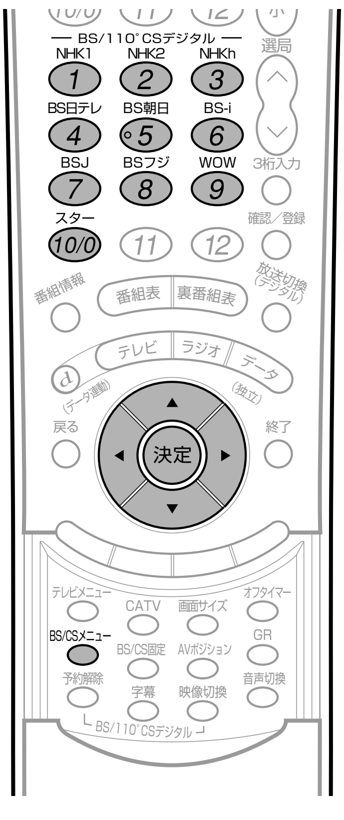
「する」……PPV番組の購入前に暗唱番号の入力が必要になります。

「しない」…PPV番組の購入前に暗証番号の入力は必要ありません。

購入金額制限を設定する

■PPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。

扉を開けたところ



1 ① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「PPV設定」を選び、決定を押す



2 BS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する



次ページへ

扉を閉じたところ



3

▼で「購入金額制限」を選び、決定を押す

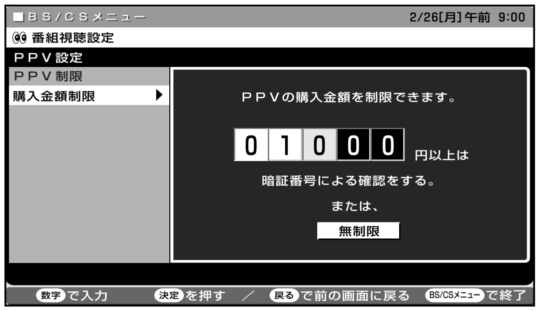


4

① ▲で購入金額の入力欄を選ぶ

② 購入金額の上限をBS／110° CSチャンネルボタン（1～10/0）で入力し、決定を押す

<例>1,000円のとき



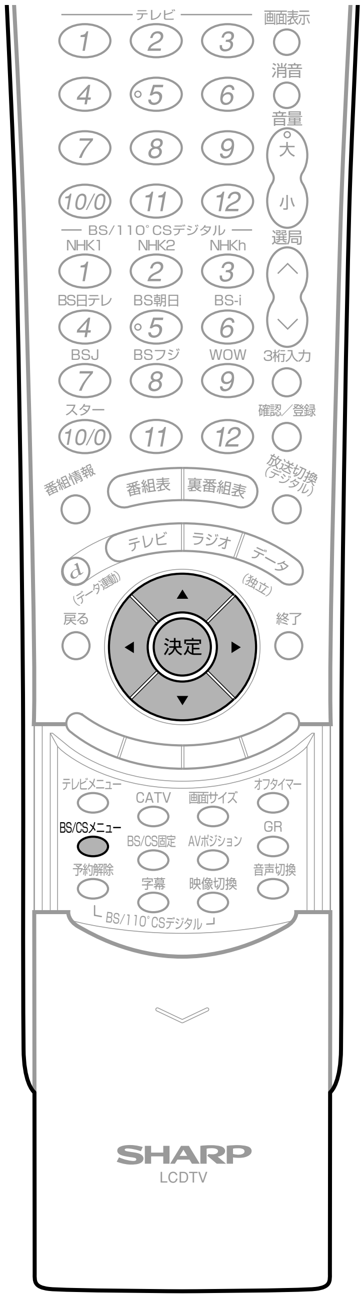
● 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

BS／110°CSデジタル放送受信のいろいろな設定

ダウンロードの設定

■ダウンロードとは、BS／110°CSデジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送電波で受信し、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

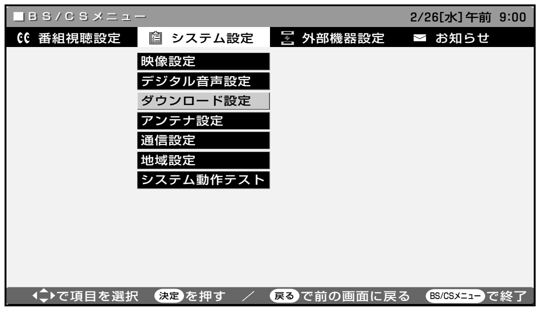
扉を開けたところ



1 BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

2 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

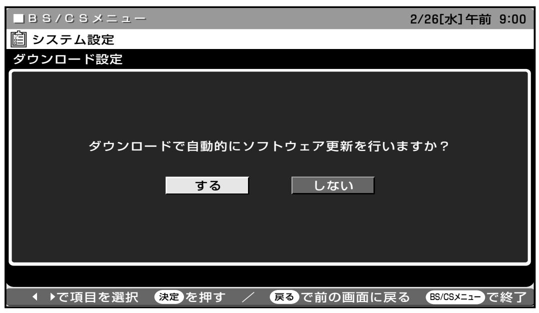
② ▲ ▼ で「ダウンロード設定」を選び、決定 を押す



3 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)

「しない」…… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。



4 BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

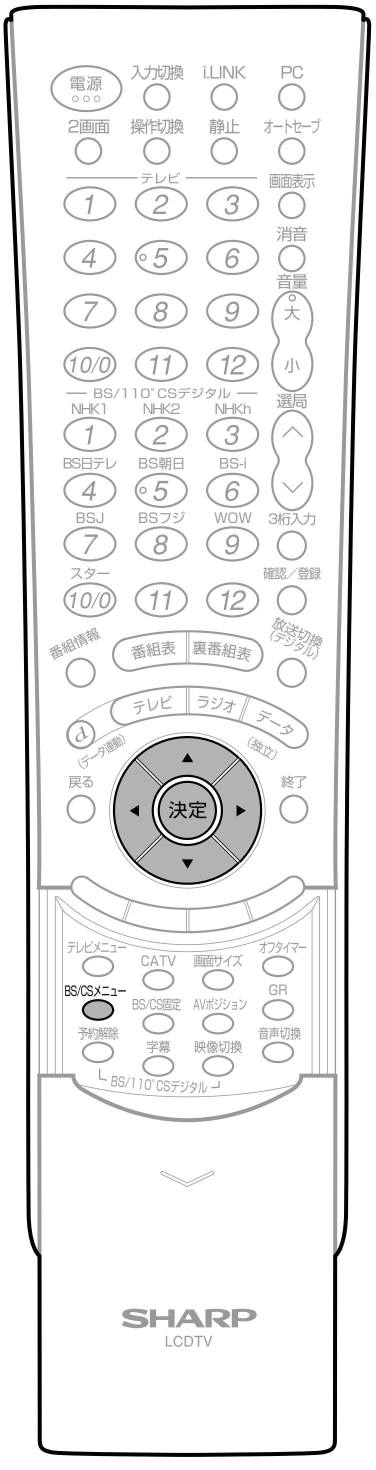
おしらせ

- ダウンロードは、チューナー部が電源待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

手動でダウンロードを行うとき

扉を開けたところ

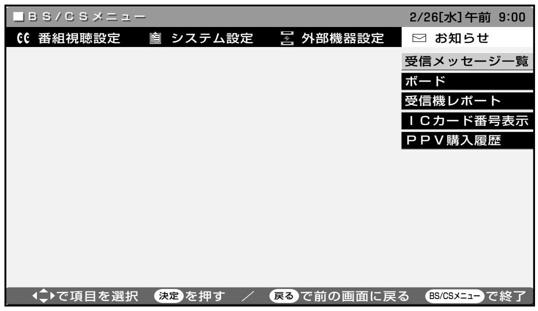


1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

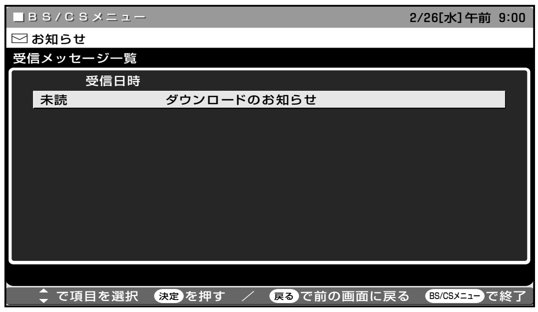
② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定 を押す



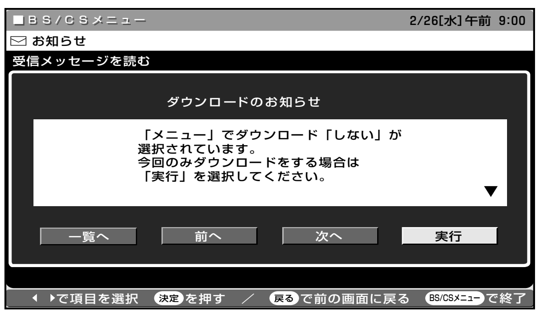
2

▲ ▼ で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定 を押す



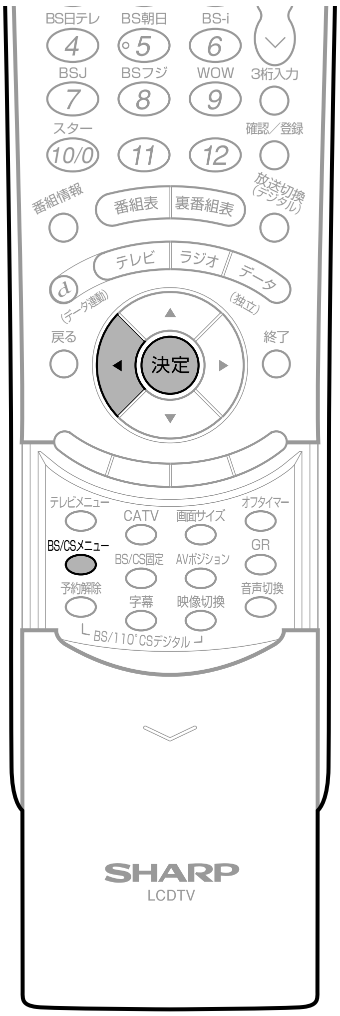
3

画面の表示内容を確認してから、▶ で「実行」を選び、決定 を押す

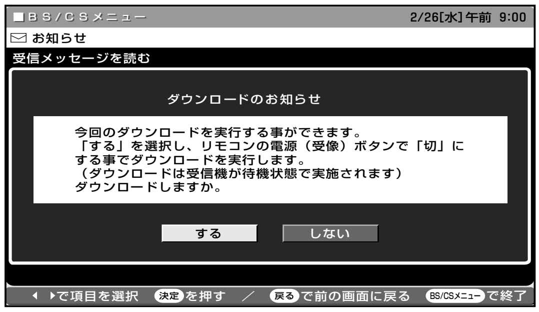


次ページへ

扉を開けたところ



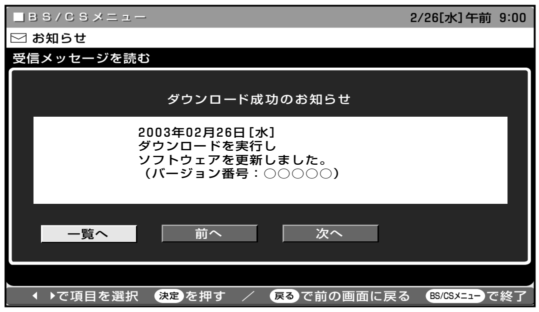
4 **画面の表示内容を確認してから、◀で「する」を選び、決定を押す**



おしらせ

- ダウンロードは、チューナー部が電源待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**155**ページ手順**1**～**2**の操作を行ってください。



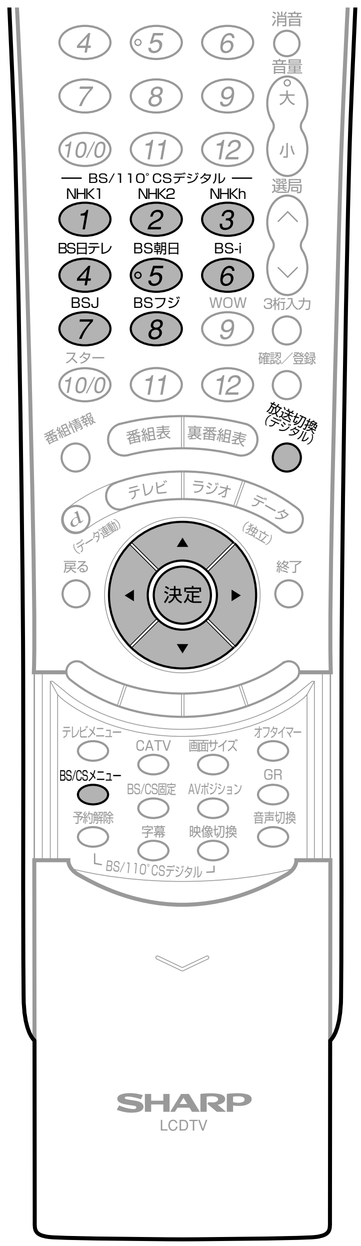
おしらせ

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、BS/CSリセットボタンの操作や電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、チューナー部の電源が入り、ファンが回る場合があります。

BS／110°CSアンテナの設定

■BS／110°CS共用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。

扉を開けたところ



アンテナ設定画面を表示する

1 **BSデジタル放送のチャンネルを選局する（111ページ参照）**

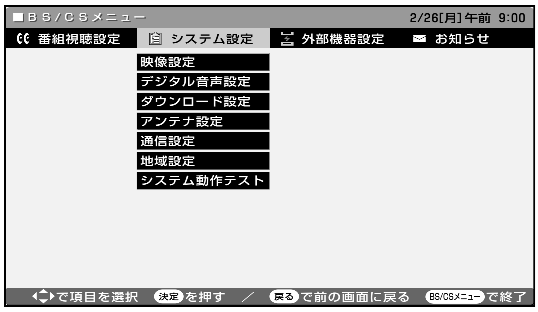
① 放送切換（デジタル）でBSを選ぶ

② BS／110°CSチャンネルボタンNHK1（1）～BSフジ（8）のいずれかを押し、無料番組を選局する

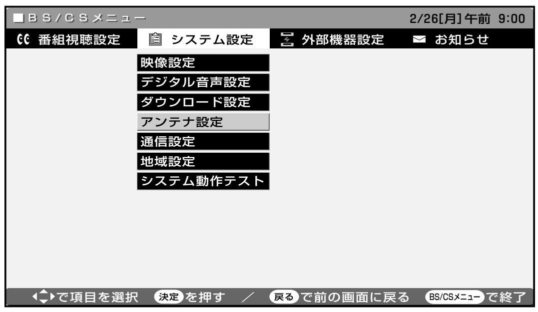
●画面に「放送が受信できません」と表示されても、ほとんどの設定は行うことができます。

2 ① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ



3 ▲ ▼で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

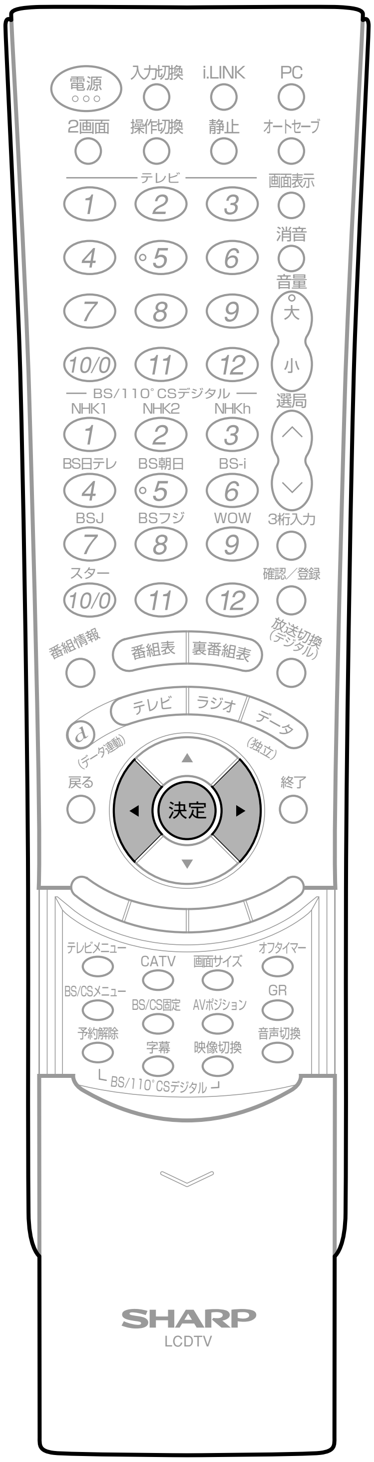


●アンテナ設定画面が表示されます。

次ページへつづく

BS/110°CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

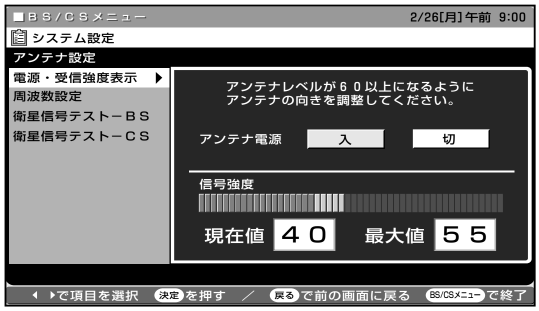
扉を開けたところ



アンテナに電源を供給する

1 **「電源・受信強度表示」で(決定)を押す**

2 **(◀)(▶)でアンテナ電源「入」または「切」を選ぶ**



「入」……個人でアンテナを設置・接続している場合

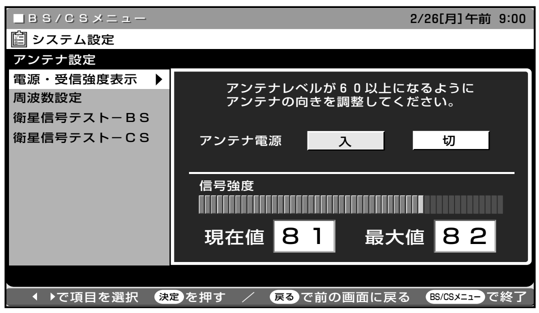
「切」……電源を供給しないときの設定(共聴アンテナに接続している場合など)(工場出荷時の設定)

受信強度を確認・調整する

3 (アンテナの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

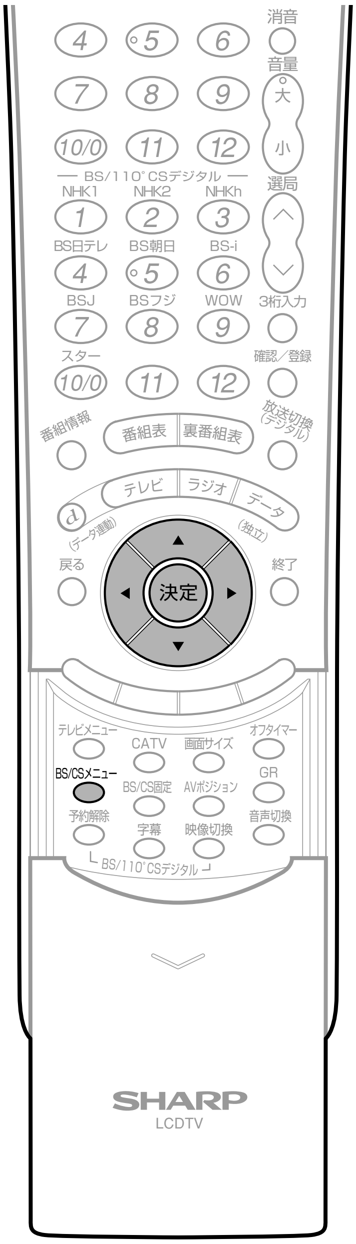
アンテナレベルが最大になるようアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル(信号強度)が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。



4 **(決定)を押す**

扉を開けたところ



衛星信号テスト

［例］BSデジタル放送の衛星信号テストを行う

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

2

▲ ▼で「衛星信号テストーBS」を選び、決定を押す



3

「BS－1」～「BS－15」のうち、テストしたい項目を▲ ▼ ◀ ▶で選び、決定を押す



- アンテナレベル（信号強度）の最大値が60以上あることを確認してください。

4

▼ ▶で「終了」を選び、決定を押す



■110°CSデジタル放送の衛星信号テスト

手順**2**で「衛星信号テストーCS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

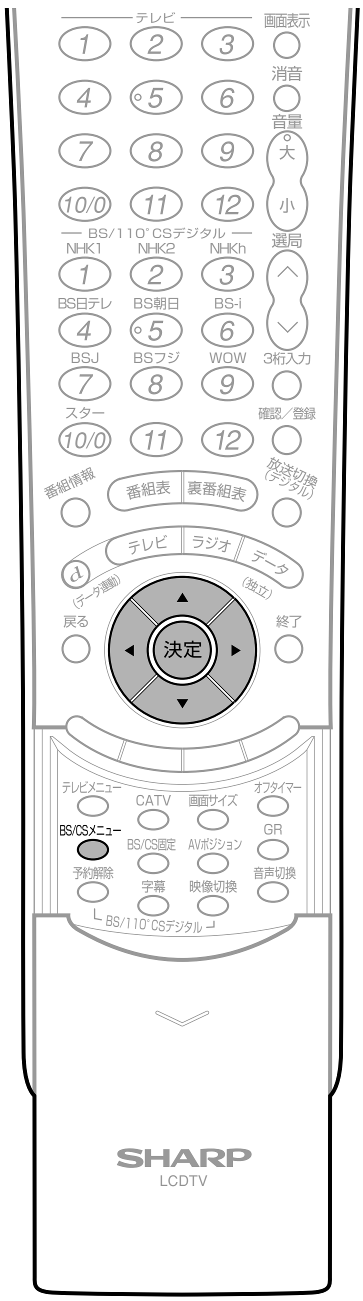
■周波数設定

新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障した場合、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。
通常は、設定する必要はありません。

電話回線の設定

■引っ越しなどで電話回線の種類を変えたときは、電話回線設定をしなおす必要があります。

扉を開けたところ



おしらせ
- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

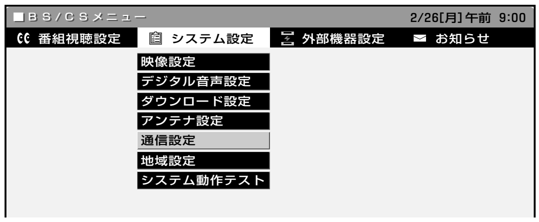
1 電話回線が接続されていることを確認する（54ページ参照）

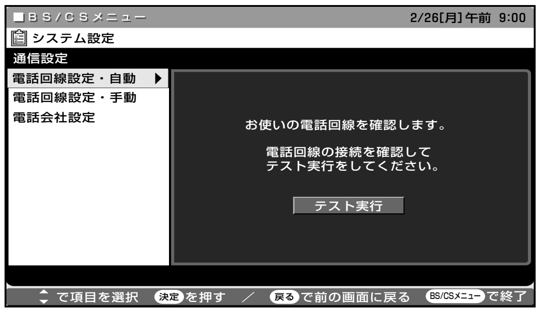
2

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定を押す



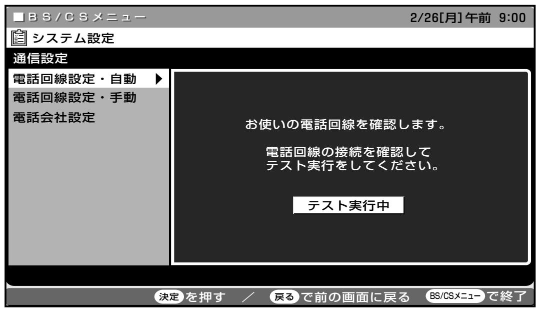


3

① 「電話回線設定・自動」で決定を押す

② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。



- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。（**161**ページ参照）

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

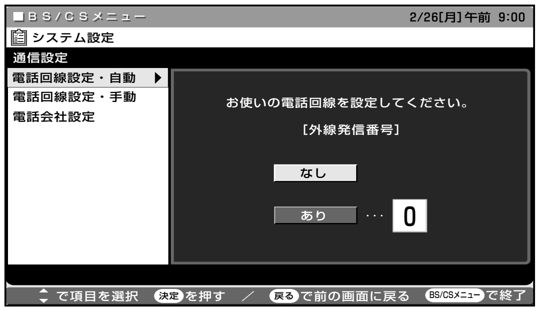
扉を閉じたところ



外線発信番号の設定

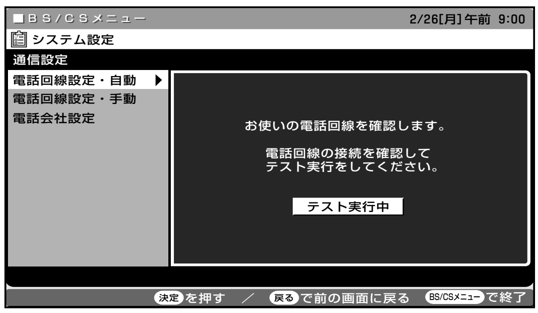
1 **▲ ▼ で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す**

「なし」……外線交換機を使用しない場合（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合



- 「あり」を選んだ場合は、BS／110°CSチャンネルボタン（1〜10/0）で外線発信番号（0〜9）を右のボックスに入力してから決定ボタンを押します。

2 **「テスト実行」で決定を押す**



- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

ご注意

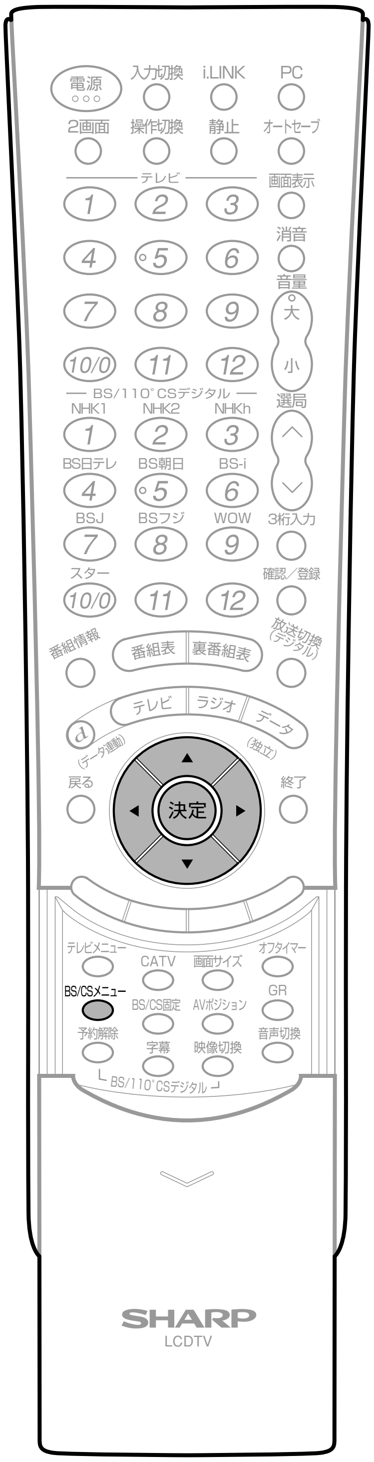
- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、162ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

BS/110°CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

扉を開けたところ



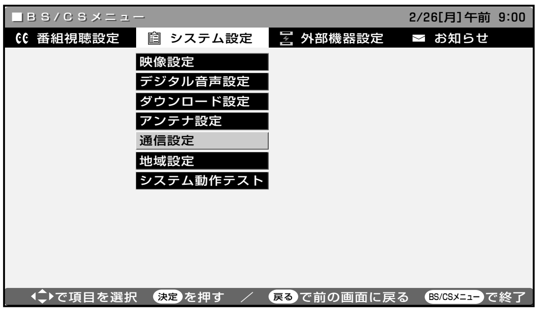
手動による電話回線設定

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

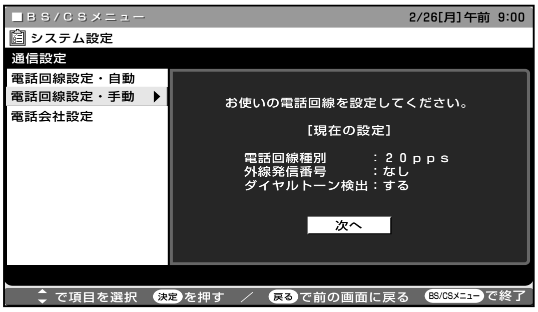
② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「通信設定」を選び、決定を押す



2

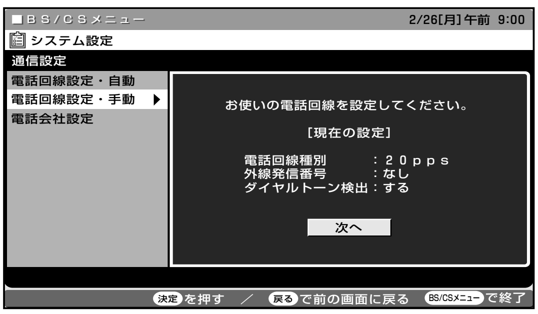
▼で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す



3

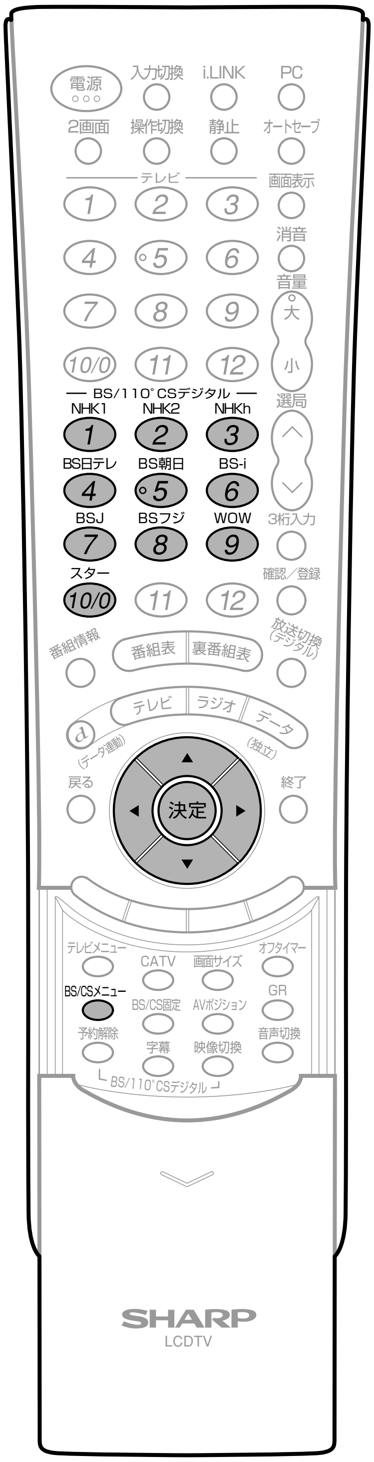
① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で決定を押す



次ページへ

扉を開けたところ



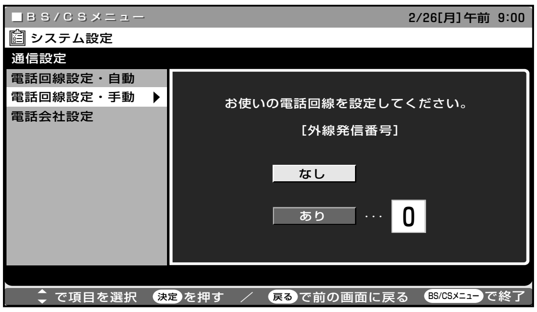
4 ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。



5

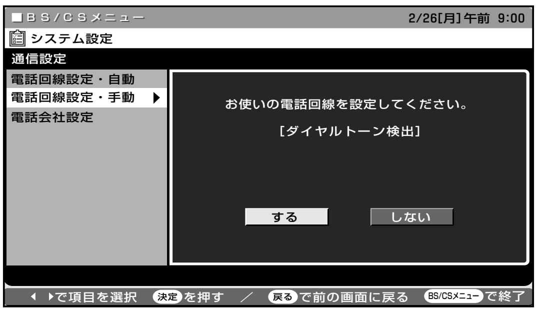
① ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ



- 「あり」を選んだ場合は、BS／110°CSチャンネルボタン（1～10/0）で外線発信番号を右のボックスに入力してください。

② 決定を押す

6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀▶で選び、決定を押す



7 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

ご注意

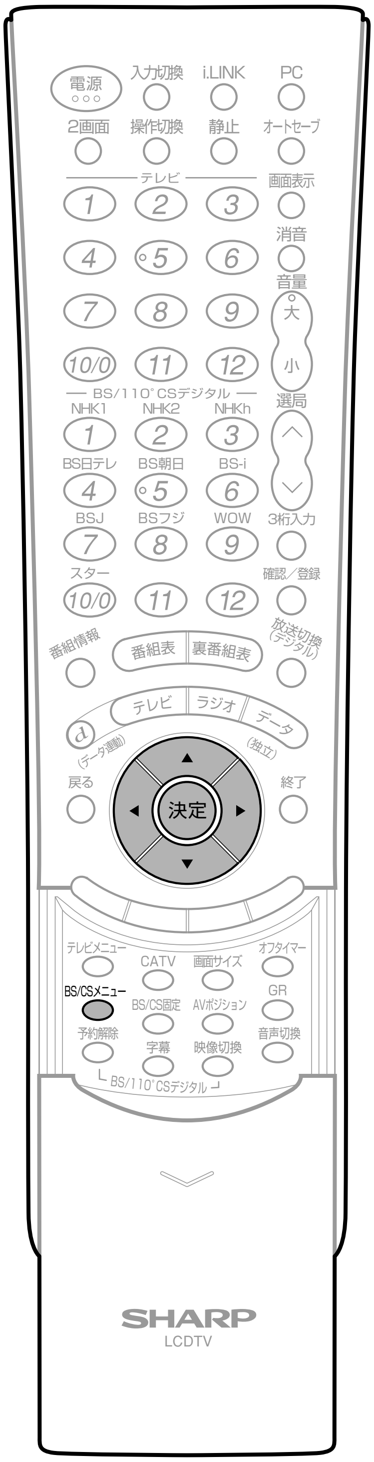
- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

電話会社設定

■放送局やプラットフォームなど、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

■**通常は設定する必要はありません。**

扉を開けたところ



発信者番号通知設定

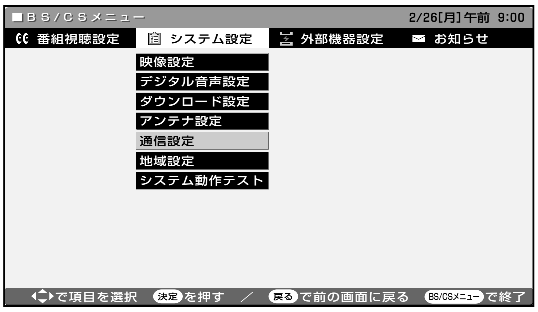
●通信時、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

1 BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

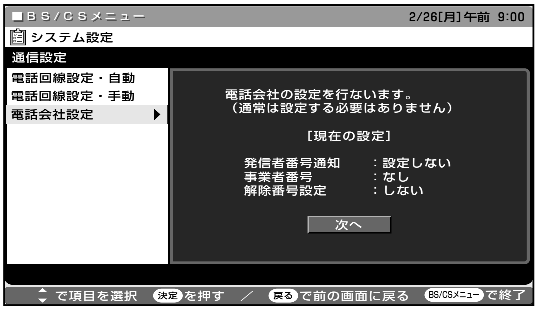


2 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定を押す

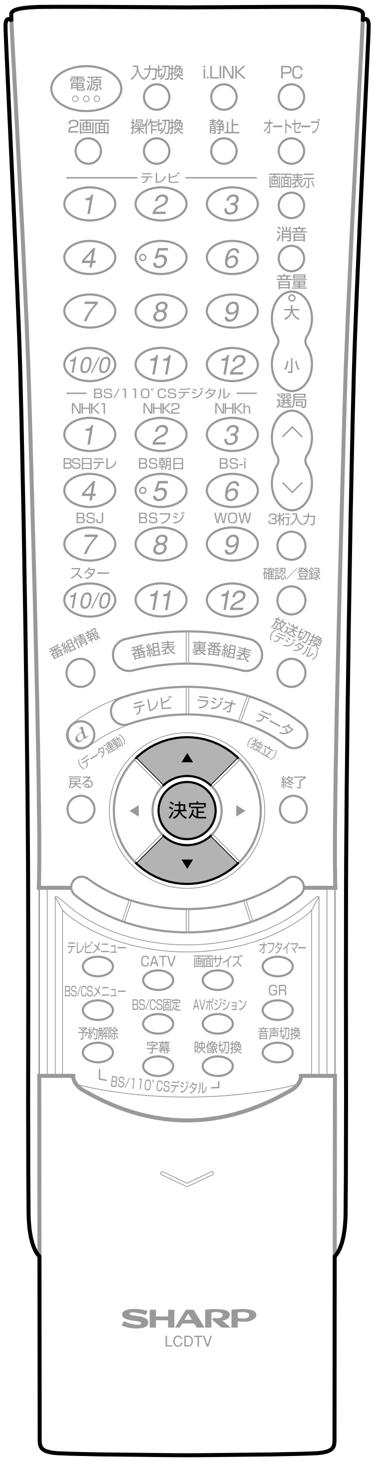


3 ▼ で「電話会社設定」を選び、決定を押す



次ページへ

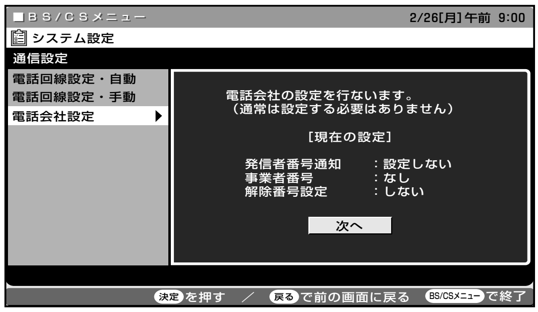
扉を開けたところ



4

① 「現在の設定」を確認する

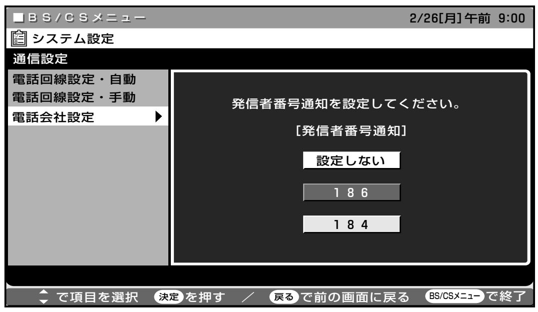
② 「次へ」で 決定 を押す



5

▲ ▼ で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、決定 を押す

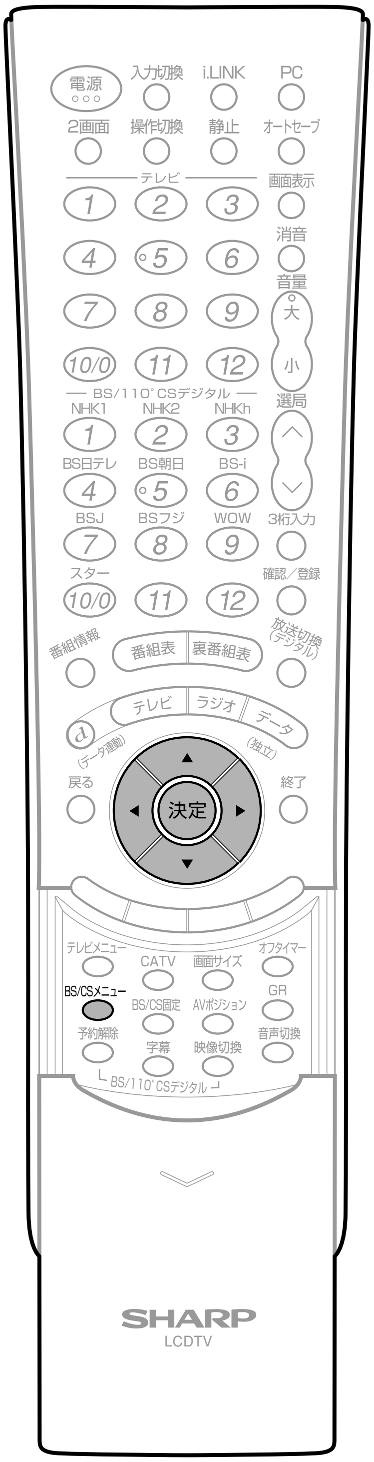
「設定しない」……「186」「184」のどちらにも設定しない
「186」………………番号を通知する
「184」………………番号を通知しない



次ページへ

次ページへつづく

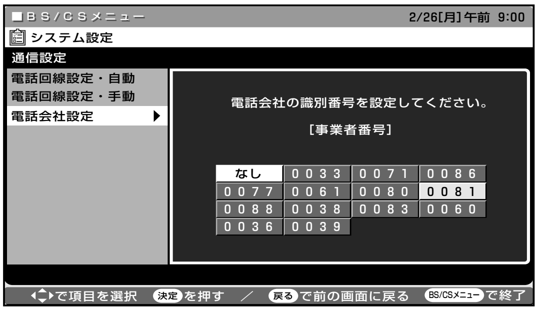
扉を開けたところ



事業者番号設定

- 電話回線による通信に利用する電話会社の識別番号を登録します。

6 **▲▼◀▶で、利用している電話会社の識別番号を選び、決定を押す**



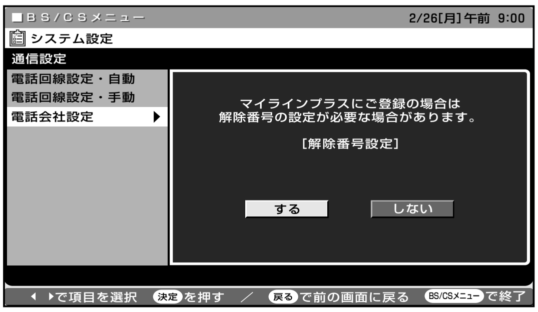
解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

7 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」……. マイラインプラスを解除しないで発信します。

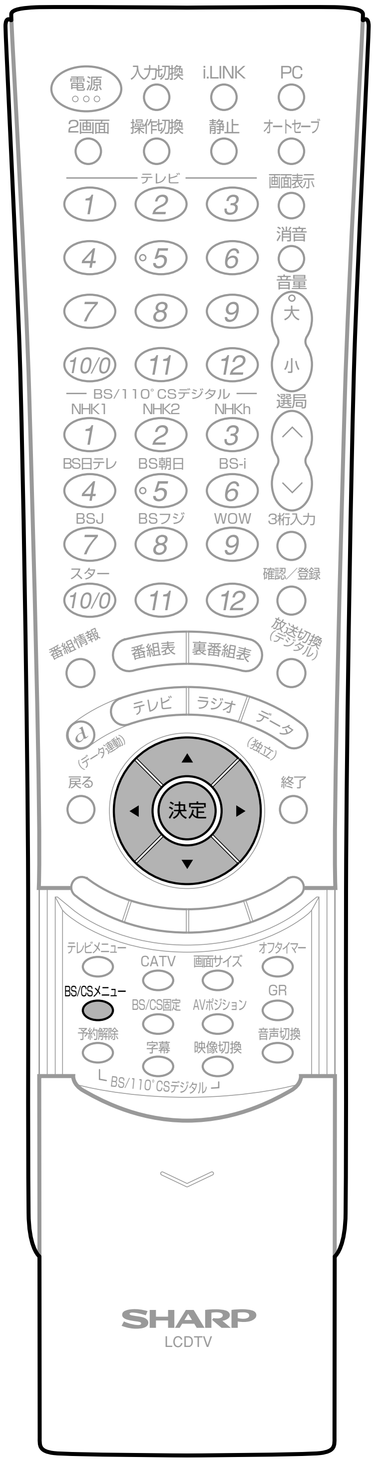


8 **BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す**

地域と郵便番号の設定

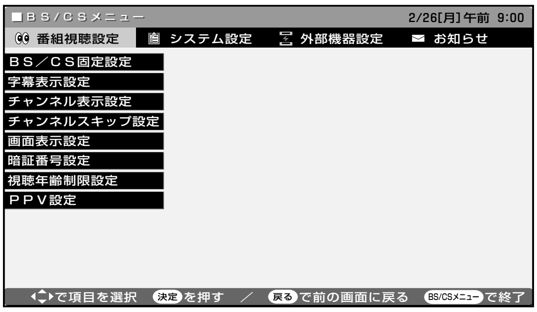
■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

扉を開けたところ

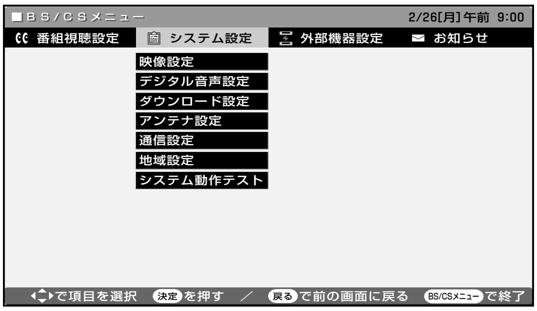


地域選択

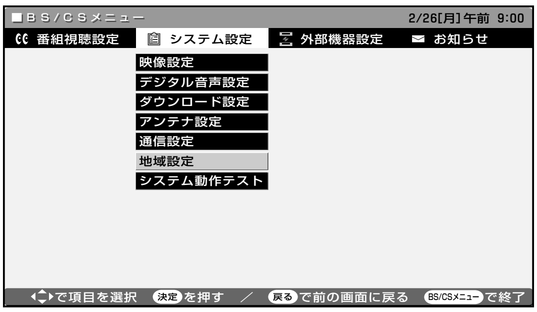
1 BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する



2 ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ



3 ▲ ▼ で「地域設定」を選び、決定 を押す

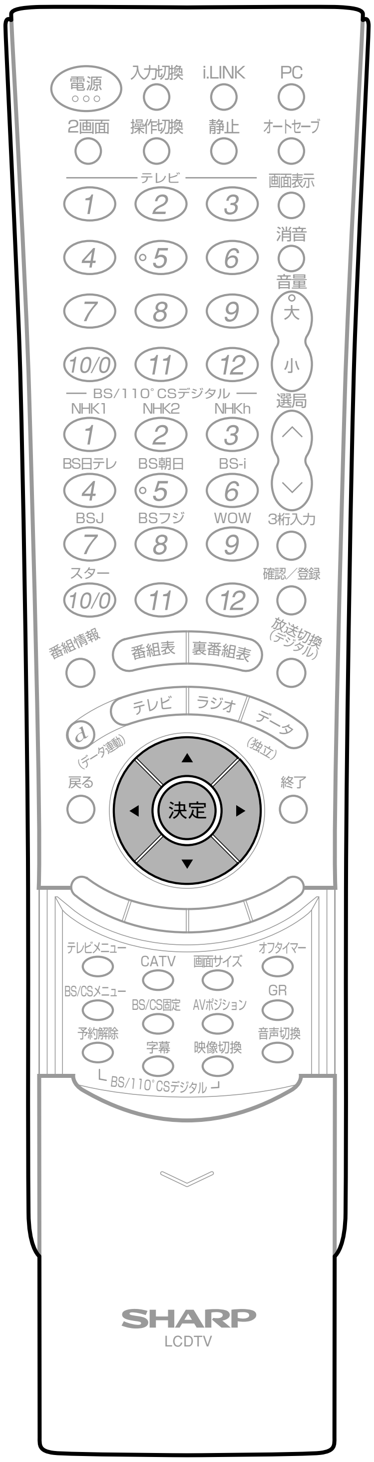


次ページへ

次ページへつづく

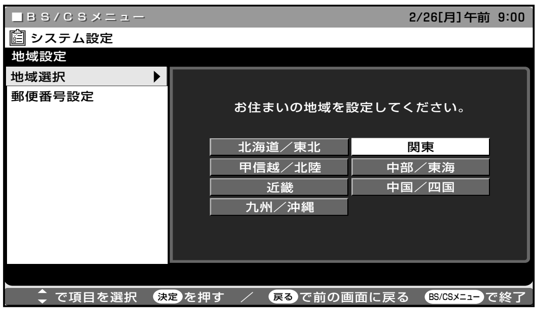
BS／110° CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を開けたところ



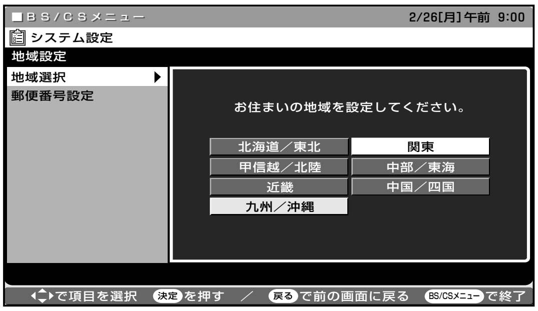
4

▲ ▼ で「地域選択」を選び、決定 を押す



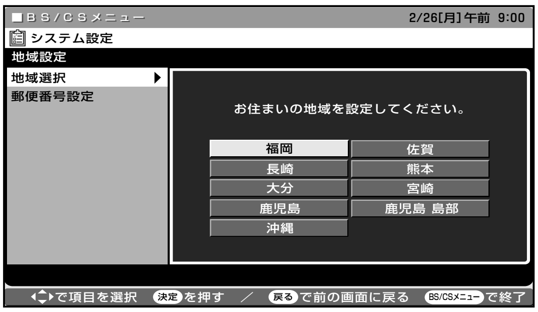
5

お住まいの地域を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す



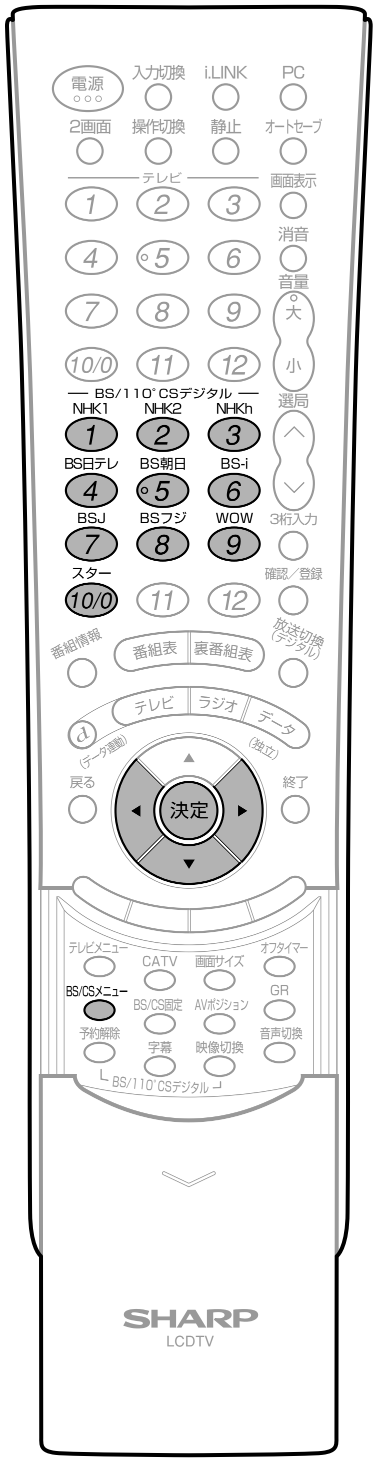
6

お住まいの都道府県を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す



次ページへ

扉を開けたところ

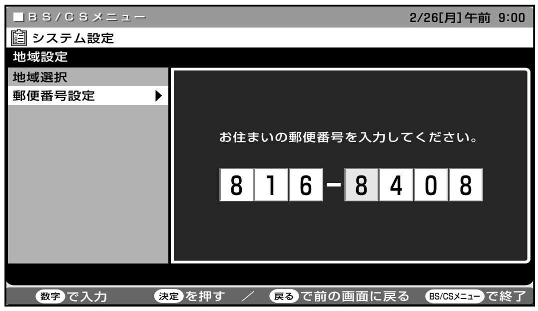


郵便番号設定

7 **▼で「郵便番号設定」を選び、決定を押す**



8 **BS／110°CSチャンネルボタン（1～10/0）で郵便番号を入力し、決定を押す**



- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BS／110°CSチャンネルボタンで入力しなおします。

9 **BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す**

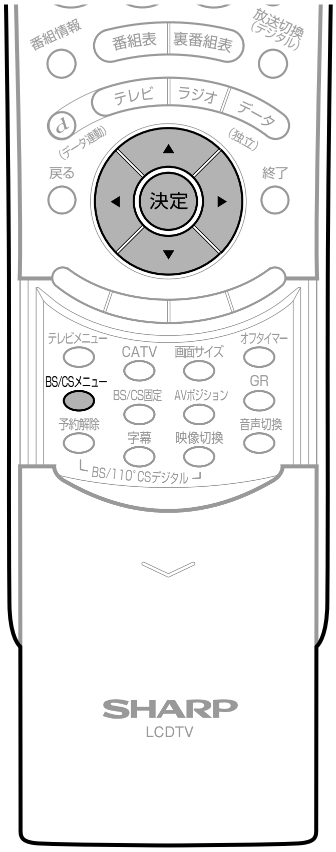
お知らせを見る

受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号なども確認できます。

受信メッセージを見る

■受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

扉を開けたところ



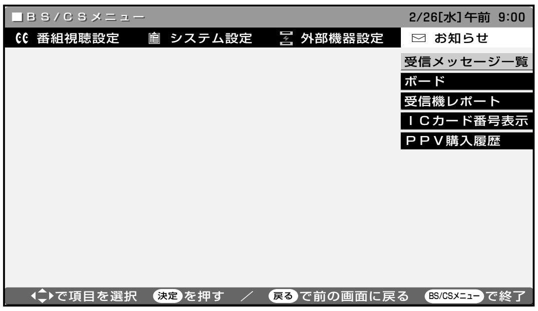
[例] ダウンロード成功のお知らせを見る

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す



2

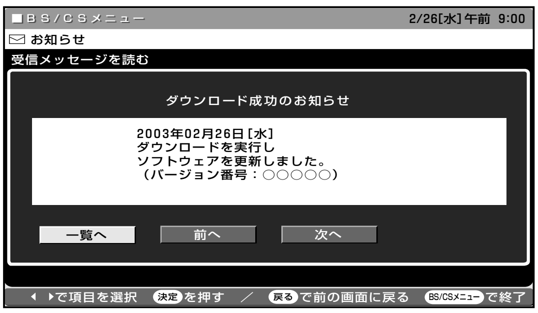
見たいメッセージを ▲ ▼で選び、決定を押す



3

① メッセージの内容を確認する

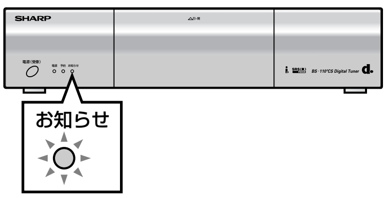
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀ ▶で選び、決定を押す



おしらせ

お知らせランプについて

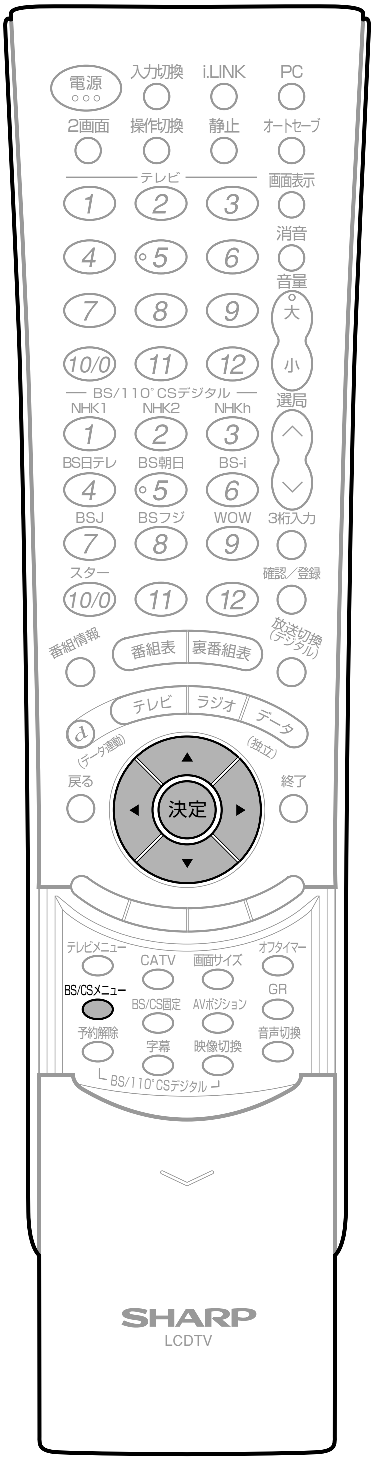
● 放送局から送られてきたメッセージを受信すると、チューナー部前面のお知らせランプが点灯します。



ボードを表示して情報を見る

■送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

扉を開けたところ

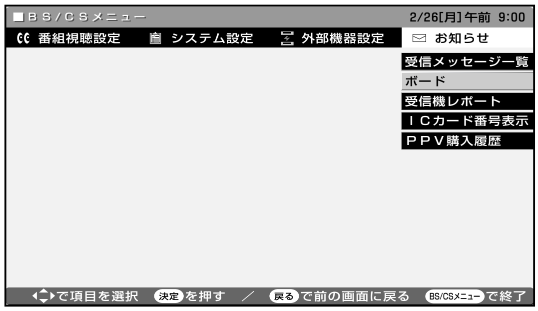


1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

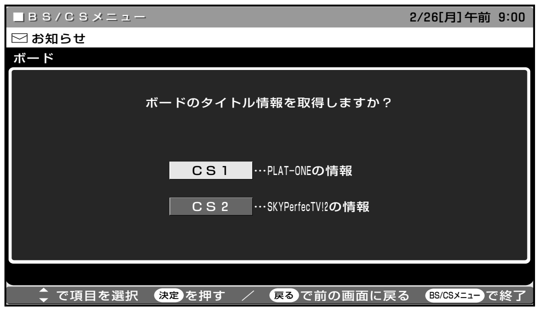
② ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼で「ボード」を選び、決定を押す



2

表示したいネットワークを▲ ▼で選び、決定を押す



●選んだネットワークのボードが表示されます

3

見たい情報のタイトルを▲ ▼で選び、決定を押す



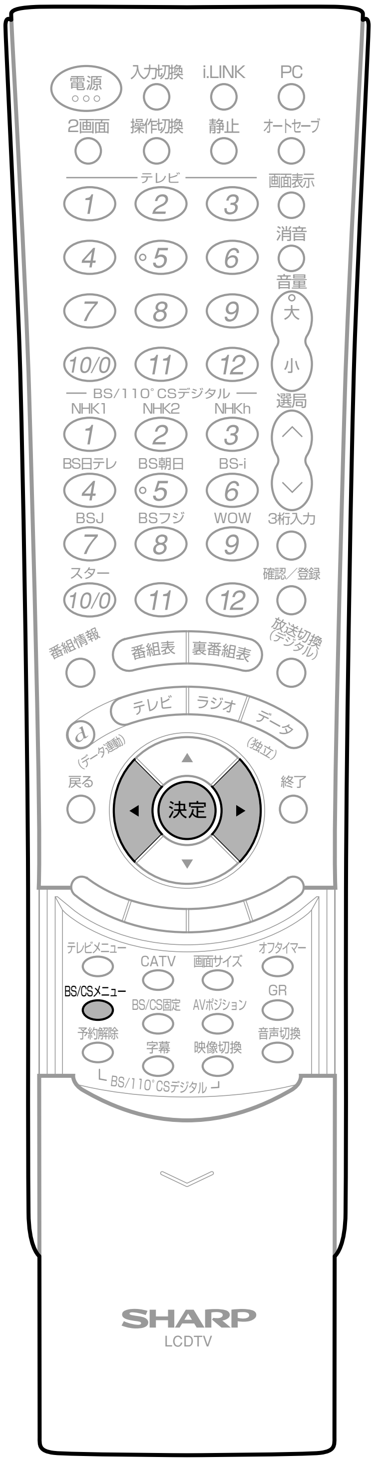
(プラットワンのボード表示例)

次ページへ

次ページへつづく

お知らせを見る(つづき)

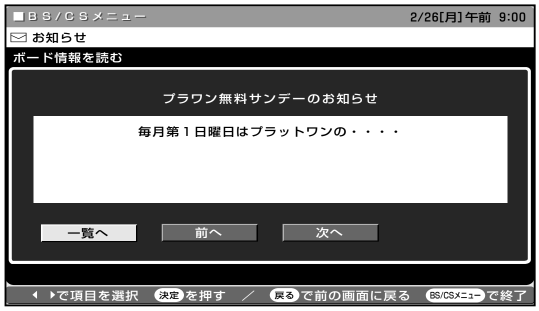
扉を開けたところ



4

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀▶ で選び、決定 を押す



5

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

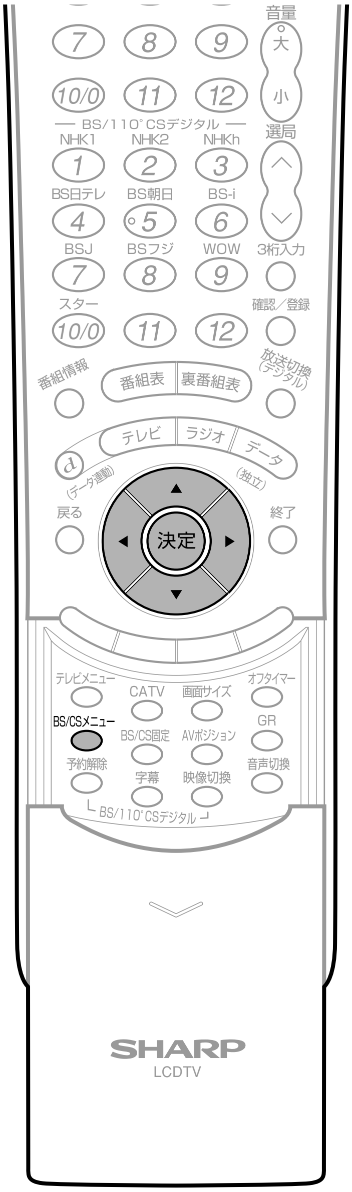
おしらせ

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

受信機レポートを見る

■B-CASカードが壊れたときや、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

扉を開けたところ



おしらせ

- アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

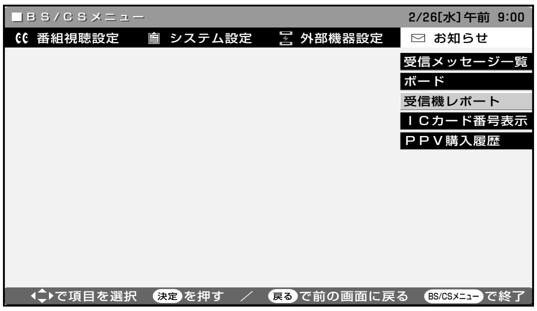
［例］アップロード失敗のレポートを見る

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼で「受信機レポート」を選び、決定を押す



2

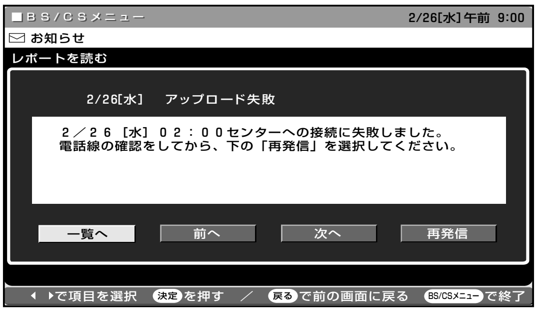
見たいレポートを ▲ ▼ で選び、決定を押す



3

① レポートの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定を押す

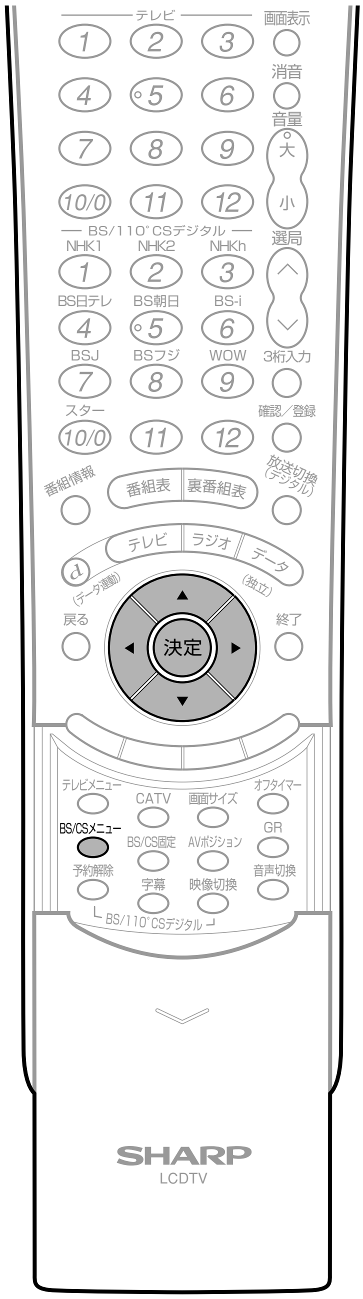


お知らせを見る(つづき)

B-CASカード番号を見る

■受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

扉を開けたところ

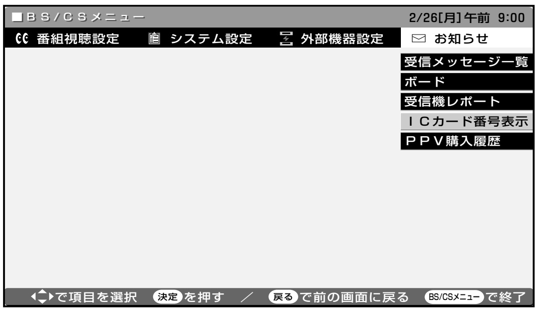


1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

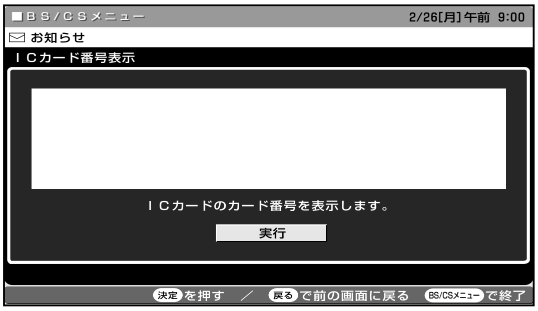
② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ICカード番号表示」を選び、決定 を押す



2

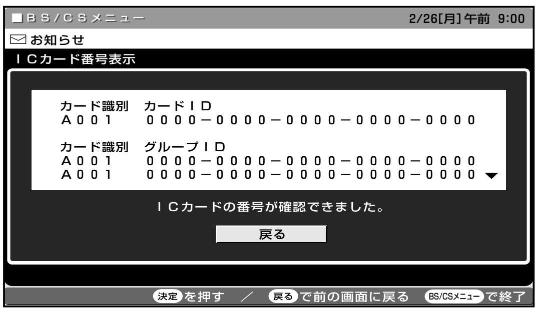
「実行」で 決定 を押し、ICカード番号表示を実行する



3

① カード番号を確認する

② 「戻る」で 決定 を押す



カード識別… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。

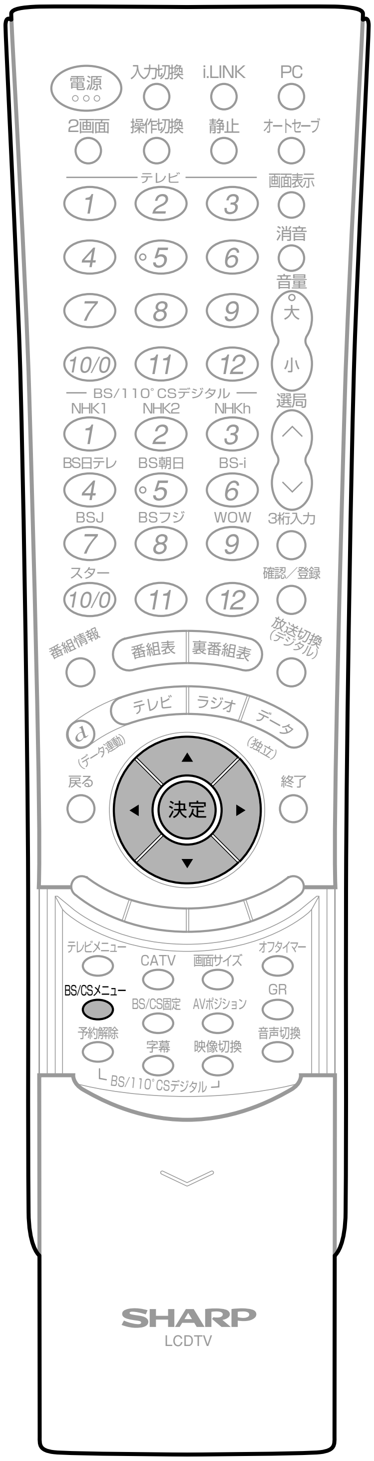
カードID……カード固有の番号です。

グループID…複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが異なるB-CASカードに書き込まれます。

PPV購入履歴を見る

■購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

扉を開けたところ

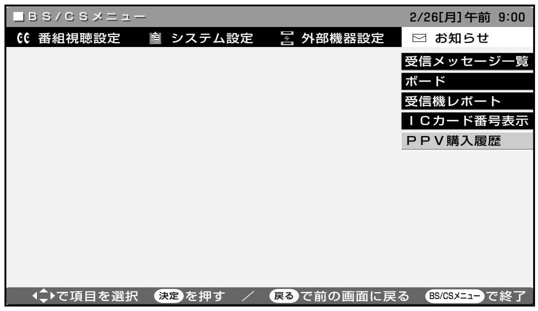


1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼で「PPV購入履歴」を選び、決定を押す



●PPV購入履歴画面が表示されます。

2

① 画面を確認する

② 「戻る」で決定を押す



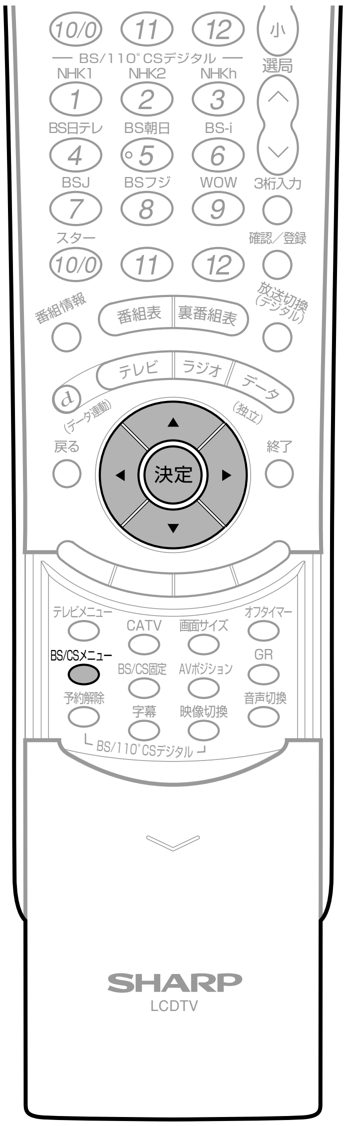
3

BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

システム動作テストを行う

本機は、BS／110°CS共用アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

扉を開けたところ

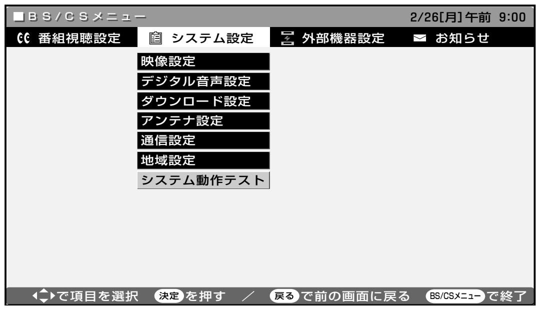


1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

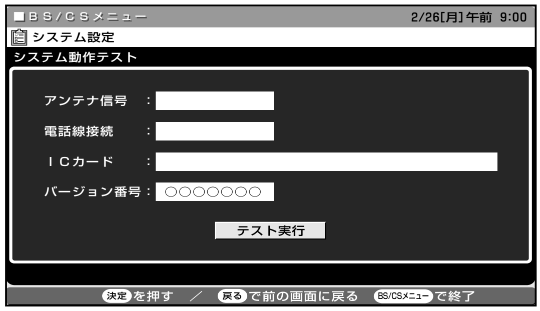
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「システム動作テスト」を選び、決定 を押す



2

「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する



●表示が「テスト実行中」に変わります。
テストが終了すると「テスト終了」になります。

3

① 結果を確認する

② 「テスト終了」で 決定 を押す



システム動作テストに失敗したときは

アンテナ信号

BS／110°CSアンテナの接続と設定を確認してください。
⇨ **31**・**157**ページ

電話線接続

電話回線の接続と設定を確認してください。 ⇨ **54**・**160**ページ

ICカード

B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
⇨ **57**ページ

他の機器をつないで使う



● この章では、お手持ちのAV機器やパソコンをつないで再生映像を楽しんだり、テレビやBS／110°CSデジタル放送を録画したりするときに必要となることがらにつき説明しています。

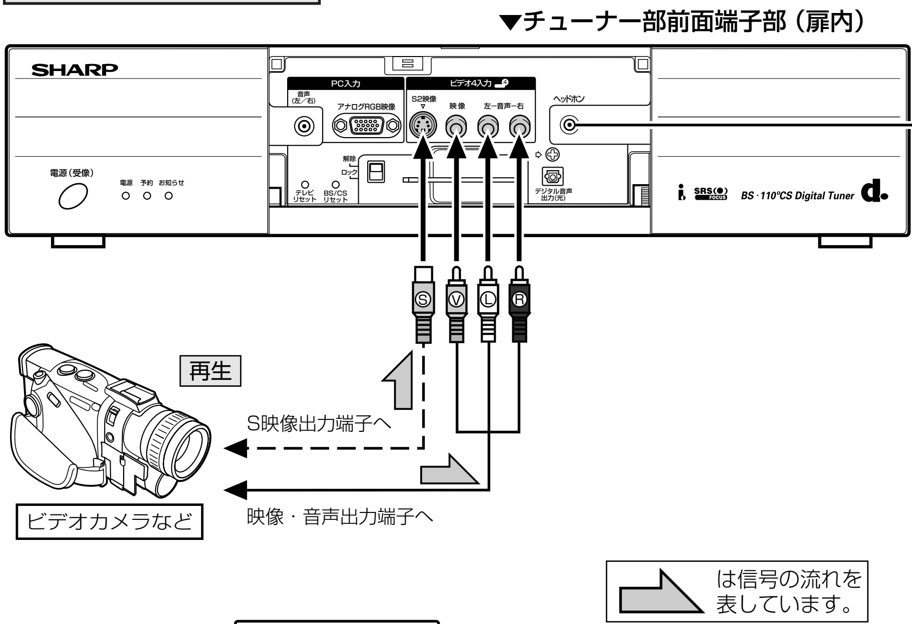
ビデオ機器をつなぐ

■本機はビデオ入力端子4系統とモニター出力端子1系統、BS/CS出力端子1系統を搭載しています。

■映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。

■接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

接続のしかた



ヘッドホン端子について

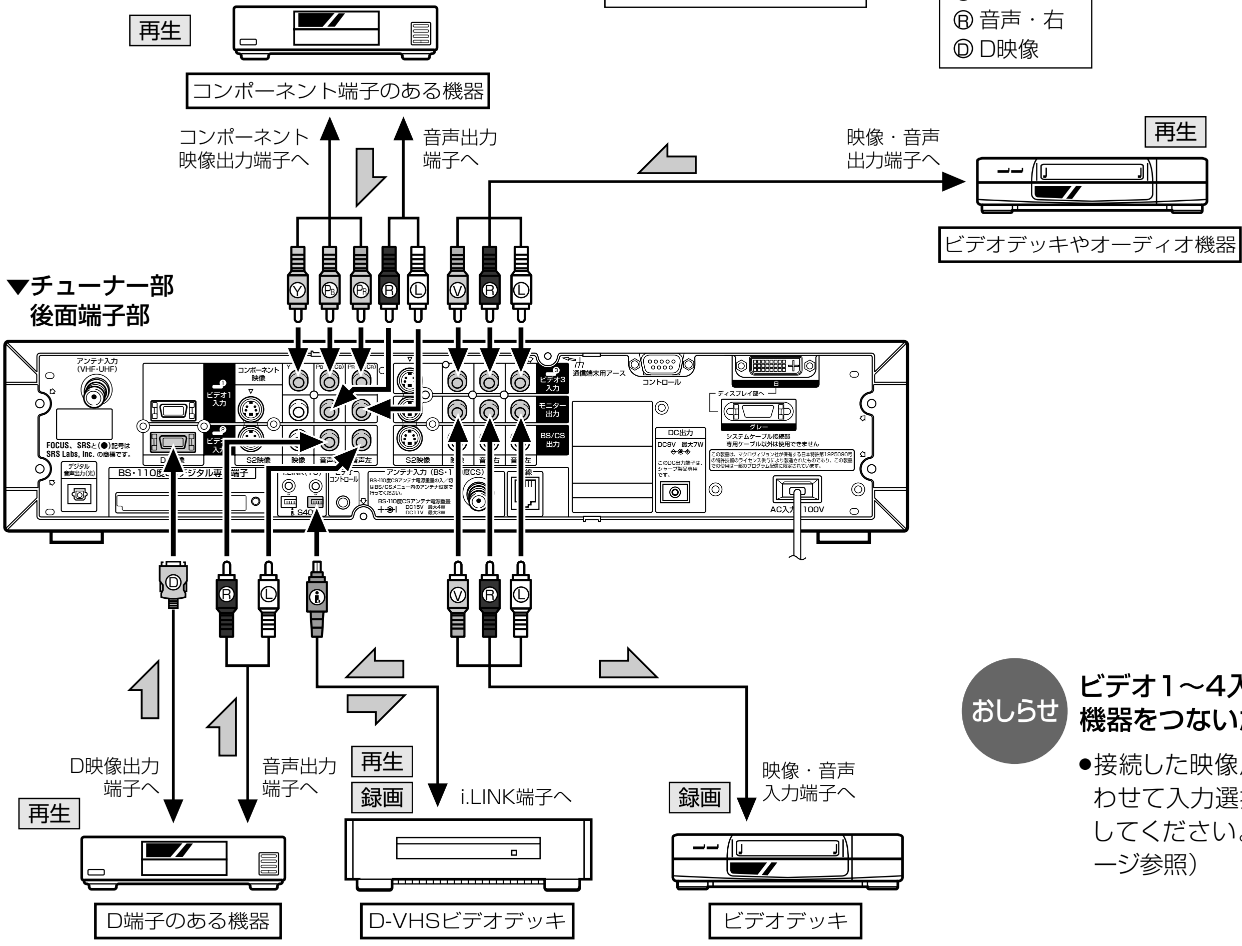
- ステレオミニプラグの付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを使わないときは、必ず、ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声は出ません。

ヘッドホン接続時の音量表示

30

プラグの記号

Ⓢ S2映像
Ⓥ 映像
Ⓛ 音声・左
Ⓡ 音声・右
Ⓓ D映像



おしらせ

ビデオ1～4入力に外部機器をつないだとき

- 接続した映像用端子に合わせて入力選択の設定をしてください。（**190**ページ参照）

接続上のご注意

■接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
■接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
■接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜きとってください。
■複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
■接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

おしらせ

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、映像端子(ビデオ映像端子)に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- ビデオ1～4入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
- 本機は、画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がビデオ1～4入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**86**ページ)
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、問題なく映像を楽しむことができます。(この場合、画面サイズ制御信号は外部機器から入ってきません。)

D4映像入力端子について

- D端子ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- ビデオ1入力、ビデオ2入力にあるD4映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。

コンポーネント映像入力端子について

- コンポーネント映像ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- ビデオ1入力にあるコンポーネント映像端子は、映像用の端子です。音声は音声端子(左・右)に接続します。

モニター出力端子について

- つぎの信号はモニター出力端子から出力できません。(ただし、音声は出力できます。)
  ① D4映像端子から入力された映像信号
  ② コンポーネント映像端子から入力された映像信号
  ③ PC(パソコン)映像信号
  ④ テレビ(UHF/VHF)、映像入力(ビデオ映像入力)時のS2映像出力信号(Y/C分離出力機能はありません。)
- BS/110°CSデジタル放送を、モニター出力端子に接続した外部機器で録画する場合、コピープロテクト信号が含まれている一部の放送は正常に録画することができません。
- S2映像入力端子から入力された信号は、モニター出力の映像端子からも出力されます。

デジタル音声出力(光)端子について

- チューナー部前面扉内の端子と後面の端子は、まったく同じものです。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター出力端子の音声出力の内容と同じです。
- 設定により、つねにBS/CSチューナーの音声を出力するようにできます。(**208**ページの「デジタル音声出力の設定」をご覧ください。)

ご注意

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

ビデオ機器をつなぐ(つづき)

ビデオデッキなどの再生映像を見る

おしらせ
- ビデオ機器を接続している入力の入力選択設定を済ませておいてください。（**190**ページ参照）

扉を閉じたところ



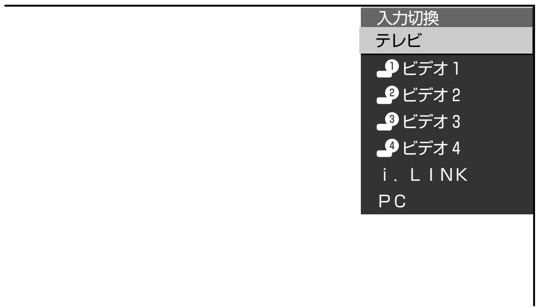
おしらせ
入力選択の設定について
- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定（**190**ページ参照）で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。

［例］ビデオ1入力端子に接続したビデオデッキの再生映像を見る

1 再生機器の準備をする

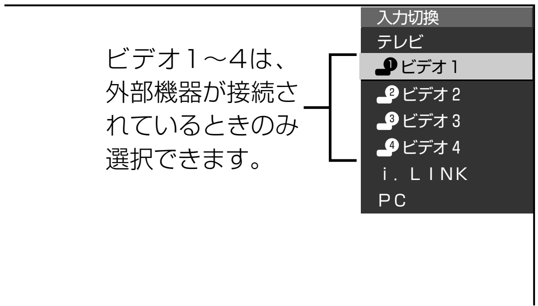
① チューナー部後面のビデオ1入力端子にビデオデッキを接続し、電源を入れる
② 再生したいビデオテープを入れる

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する



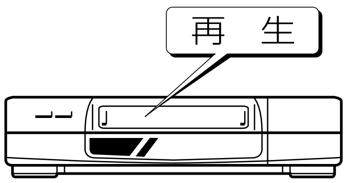
- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 ① 入力切換 または ▲ ▼ を押し、「ビデオ1」を選ぶ



② 決定を押す

4 ビデオ機器を再生状態にする



テレビ番組を録画する

扉を閉じたところ



[例] 6チャンネルの番組を録画する

1 録画機器の準備をする

① チューナー部後面のモニター出力端子に録画機器(ビデオデッキなど)を接続し、電源を入れる

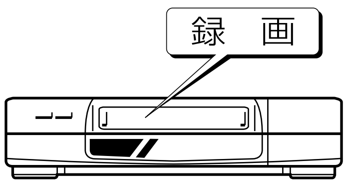
② 録画機器の入力切換えを「外部入力」に切り換える

③ 録画可能なビデオテープを入れる

2 テレビチャンネルボタンまたは 選局 で、6チャンネルを選ぶ



3 録画機器(ビデオデッキなど)を録画状態にする



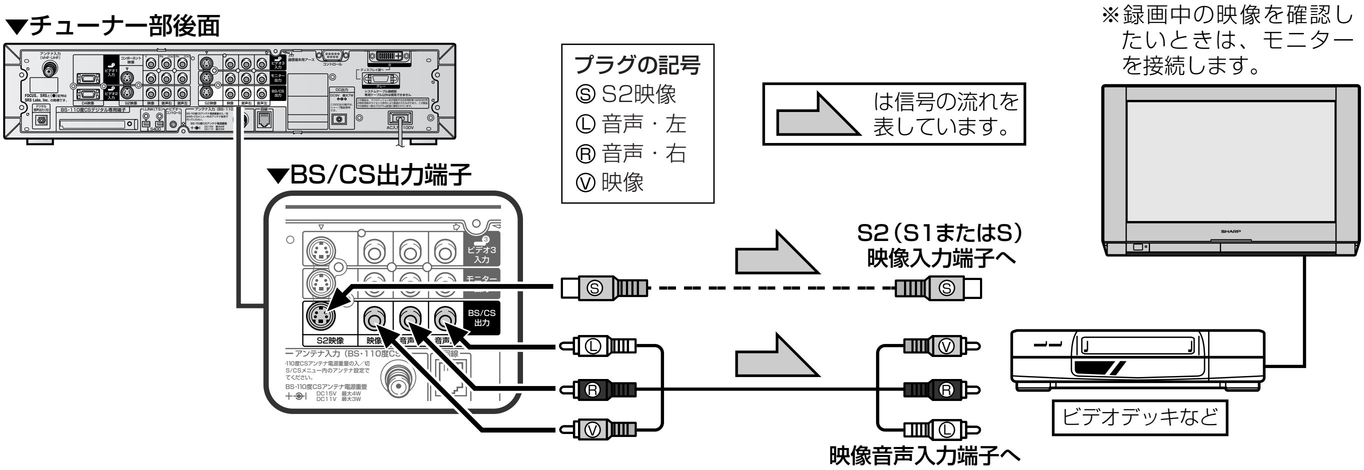
おしらせ

- 録画中にテレビチャンネルを変えると、モニター出力端子から出力される映像も変わります。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された映像信号は、モニター出力端子から出力されません。(ただし、音声は出力されます。)

視聴中のBS／110゜CSデジタル放送をビデオデッキに録画する

■チューナー部後面のBS/CS出力端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、BS／110゜CSデジタル放送を録画することができます。

ビデオデッキとの接続のしかた



おしらせ

- BS/CS出力端子からは、BSデジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像を標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して行ってください。(**195**～**204**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。
- 2画面機能を入／切すると、まれにBS/CS出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。
- BS／110゜CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」(**183**ページ)または「ビデオ連動予約」(**184**ページ)で録画することをおすすめします。

扉を閉じたところ



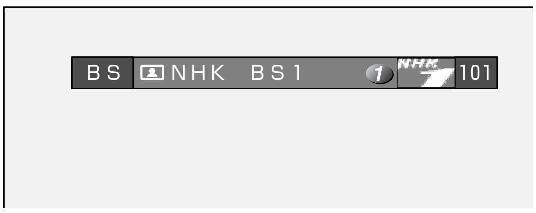
おしらせ

- BS／110゜CSデジタル放送を録画しながら、地上放送などの裏番組を見るときは、BS/CS固定を「入」に設定します。(**183**ページ参照)
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

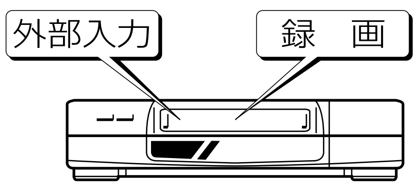
BS／110゜CSデジタル放送を録画する

[例] NHK BS1の番組を録画するとき

1 BS／110゜CSチャンネルボタン(NHK1 1)を押し、録画する番組を選ぶ



2 ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする

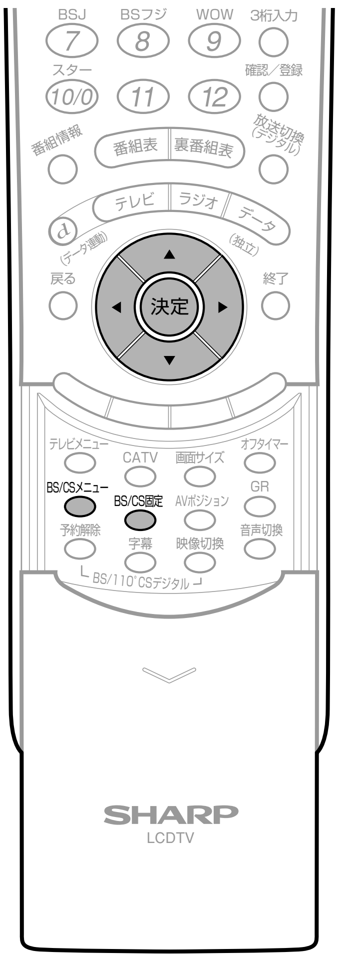


BS/CS固定の設定

■「BS/CS固定」とは、現在受信しているBS／110°CSデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
BS／110°CSデジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。また、電源待機状態でBS／110°CSデジタル番組を録画したり、BS／110°CSデジタル番組を録画しながら地上放送やCATV放送の裏番組を視聴したりすることができます。

■BS/CS固定は、リモコンでの直接操作またはBS/CSメニュー画面操作のいずれでも設定することができます。どちらで設定しても動作は同じです。

扉を開けたところ

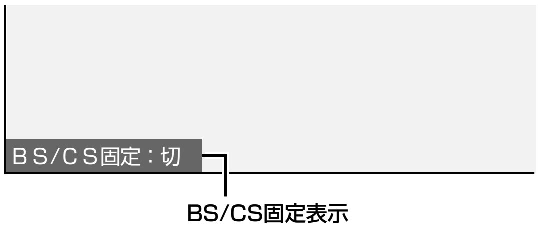


1

① 固定したいBS／110°CSデジタル放送のチャンネルを選局する

② BS/CS固定を押す

●画面左下にBS/CS固定表示が出ます。

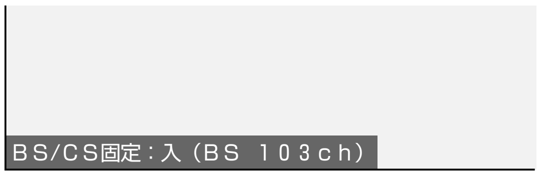


2

もう一度、BS/CS固定を押す

●ＢＳ/ＣＳ固定表示が出ている間にボタンを押すと、BS/CS固定を入／切できます。

＜例＞ BS103チャンネルを固定する場合



BS/CSメニュー画面で設定するには

① BS/CSメニューボタンを押し、BS/CSメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「番組視聴設定」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「BS/CS固定設定」を選び、決定ボタンを押す
④ 左右カーソルボタンで「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す
⑤ BS/CSメニューボタンを押し、通常画面に戻す

おしらせ

- BS/CS固定中に録画・視聴予約時間の2分前になると、BS/CS固定が自動的に解除されます。
- 予約録画実行中やi.LINK入力時には、BS/CS固定にすることができません。
- BS／110°CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動予約」（**184**ページ）で録画することをおすすめします。
- BS/CS固定時には、録画出力の切り換わりを防ぐため、つぎの操作ができません。
  - BS／110°CSデジタル放送の選局、BS/CSメニュー・電子番組表の表示など。
  - i.LINK操作パネルの表示。
  - 「i.LINK」への入力切換え。

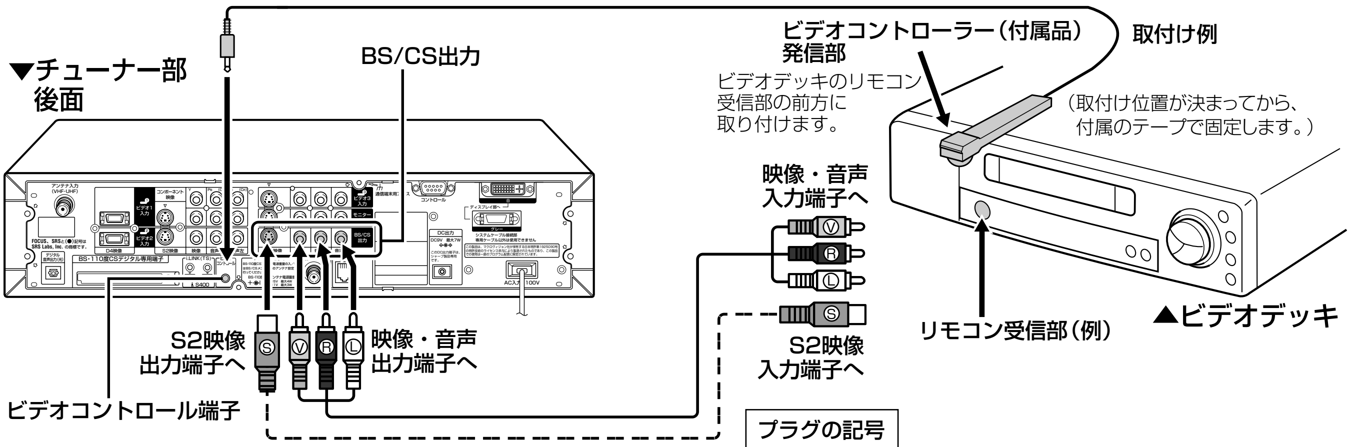
ビデオ機器をつなぐ(つづき)

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動して録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた（ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます）



プラグの記号
Ⓢ S2映像
Ⓛ 音声・左
Ⓡ 音声・右
Ⓥ 映像

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しているため、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
NEC	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日立	1, 2, 3
フナイ	1
松下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三菱	1, 2, 3, 4
パイオニア	1, 2, 3

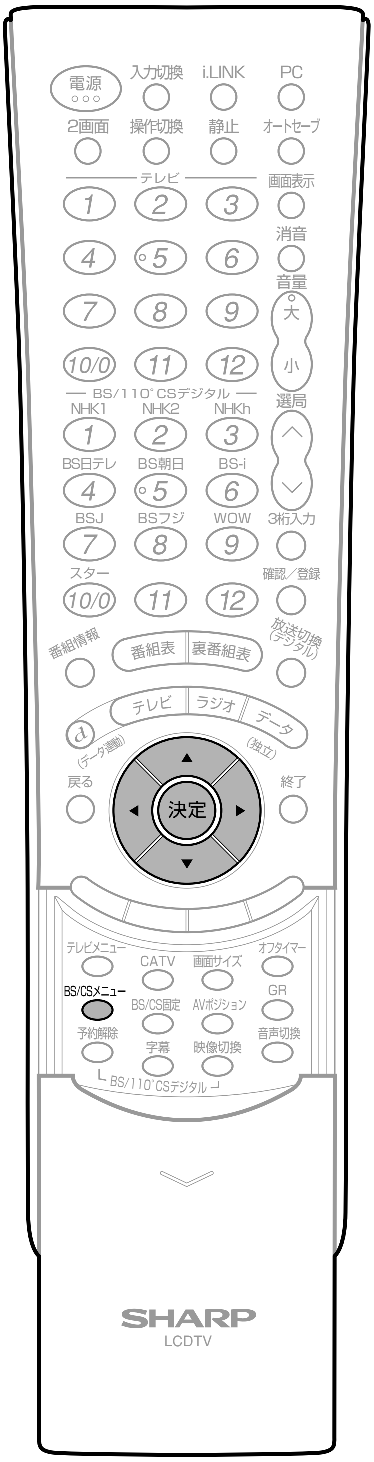
工場出荷時の設定：シャープ 1

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**185**～**187**ページ「ビデオ連動録画の設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

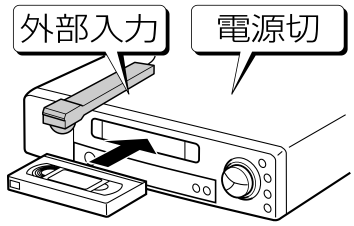
ビデオ連動録画の設定

扉を開けたところ



1 ビデオデッキの準備をする

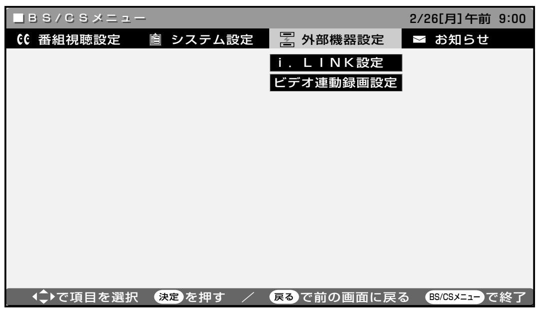
① 本機につなぐ(**184**ページ参照)
② ビデオコントローラーを取り付ける(**184**ページ参照)
③ 外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ 電源を「切」にする



2

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ



3 ▲ ▼ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定 を押す



- 「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

次ページへ

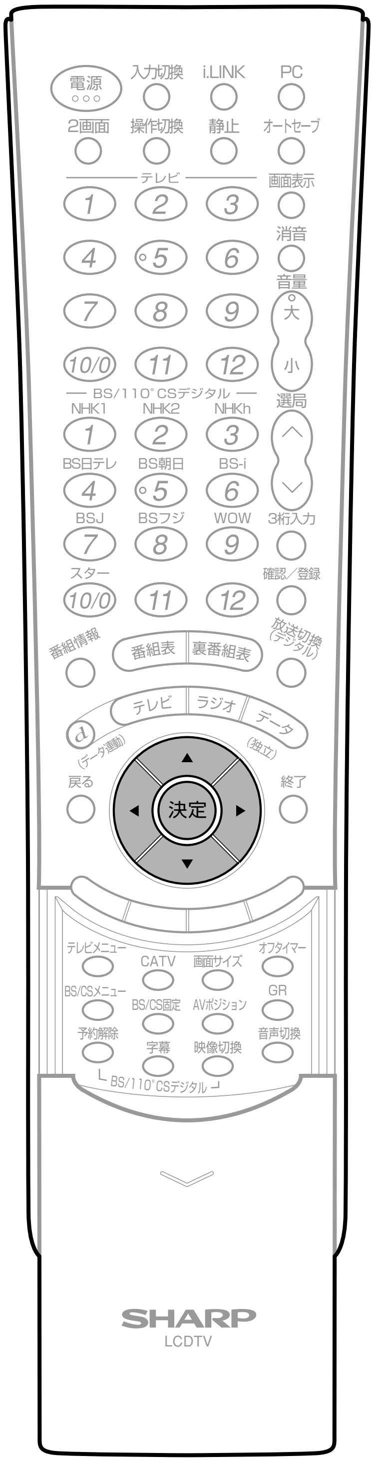
おしらせ

- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

次ページへつづく

ビデオ機器をつなぐ(つづき)

扉を開けたところ



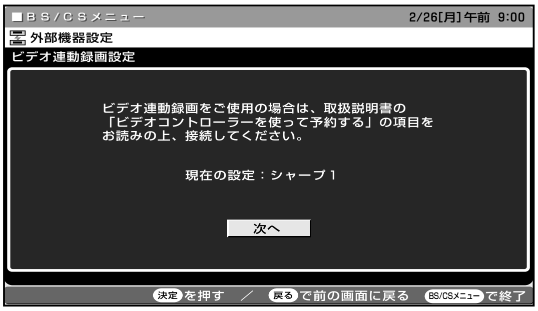
おしらせ

● ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないためにビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**6**～**8**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

4

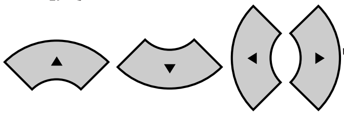
① ビデオコントローラーの接続を確認する

② 「次へ」で 決定 を押す

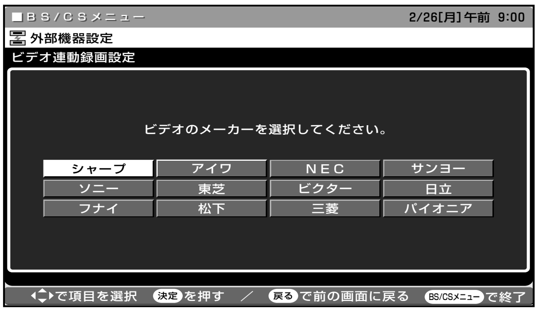


5

お使いのビデオデッキのメーカーを

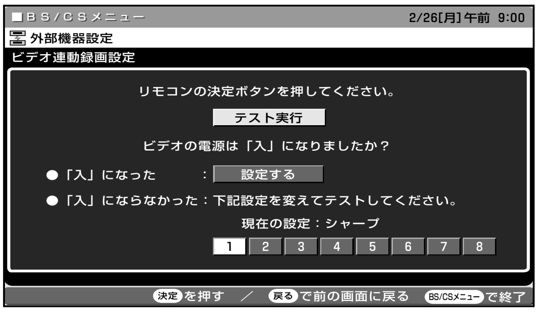


で選び、決定 を押す



6

「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する



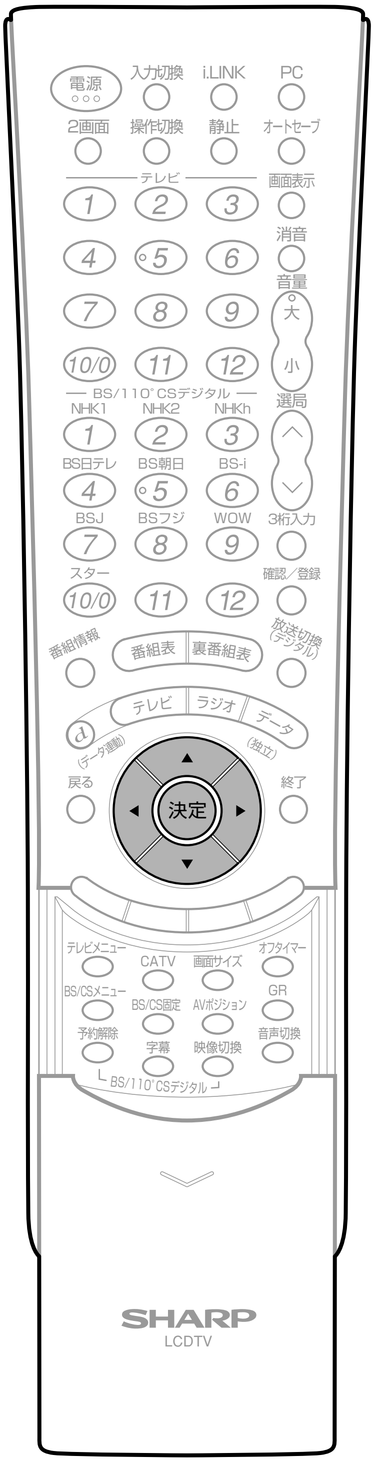
テストの結果

●ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
⇨ 手順**9**に進みます。

●ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**7**に進みます。

次ページへ

扉を開けたところ

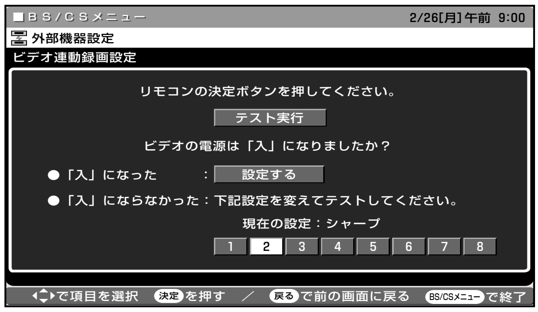


7

① （▼）でカーソルを機種番号の欄に移動する

② （◀）（▶）でメーカーの機種番号を選び、（決定）を押す

- **184**ページ「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**7**、**8**をくり返してください。



8

（決定）を押し、テストを実行する

9

① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で（決定）を押す

- ビデオ連動録画が設定され、メニュー画面に戻ります。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

- 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約のしかたについては、**124**〜**138**ページをご覧ください。

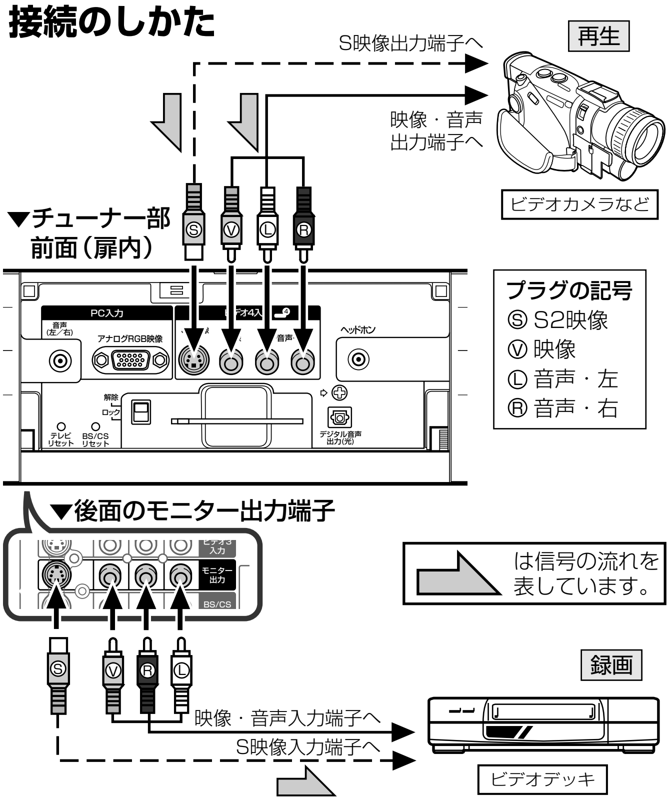
おしらせ

- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

ビデオ機器をつなぐ(つづき)

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

接続のしかた





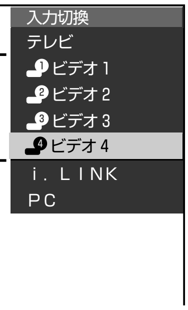
おしらせ

- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された映像信号は、モニター出力端子から出力されません。(ただし、音声は出力されます。)
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

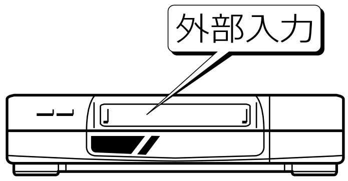
[例] ビデオ4入力端子に接続したビデオカメラなどの映像をビデオデッキに録画する

1 入力切換 で「ビデオ4」を選ぶ

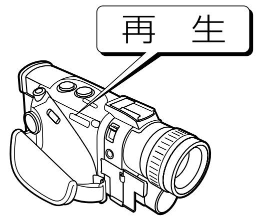
ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。



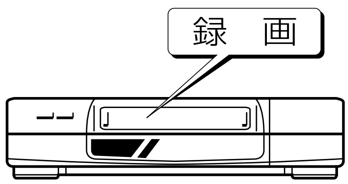
2 モニター出力端子に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする



3 ビデオ4入力端子に接続したビデオカメラなどの機器を再生状態にする



4 モニター出力端子に接続しているビデオデッキを録画状態にする



DVDプレーヤーをつなぐ

高精細映像を楽しむ

■チューナー部後面のビデオ1入力またはビデオ2入力のD4映像端子や、ビデオ1入力のコンポーネント映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。

おしらせ
- DVDプレーヤーをつないでいる入力(ビデオ1入力またはビデオ2入力)の入力選択の設定を済ませておいてください。(**190**ページ参照)

扉を閉じたところ

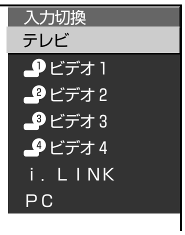


［例］ビデオ2入力端子に接続したDVDプレーヤーの再生映像を見る

1 DVDプレーヤーの準備をする

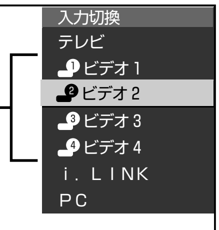
① チューナー部後面のビデオ2入力端子にDVDプレーヤーを接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

2 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

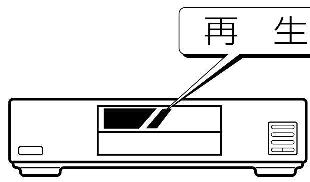


3 入力切換 または ▲ ▼ を押し、「ビデオ2」を選ぶ

ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。



4 DVDプレーヤーを再生状態にする



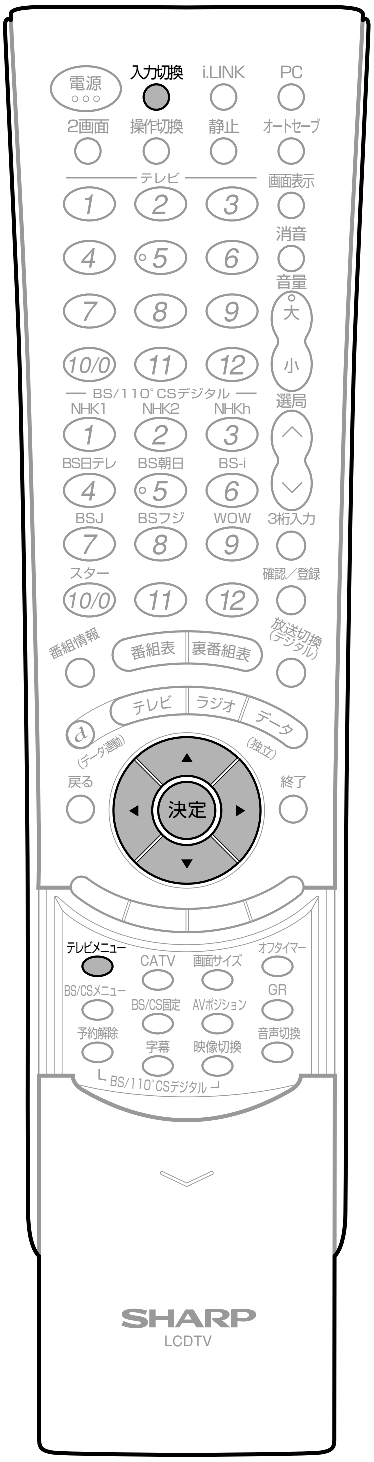
おしらせ
- 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子からの入力映像は、モニター出力端子から出力されません。（ただし、音声は出力されます。）
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

入力選択の設定

■ビデオ1〜4入力端子に外部機器を接続したときは、本機に入力される映像信号の入力選択の設定を行ってください。（工場出荷時は、すべて「自動」に設定されています。）

■入力選択設定の操作を行う前に、機器の接続を済ませておいてください。

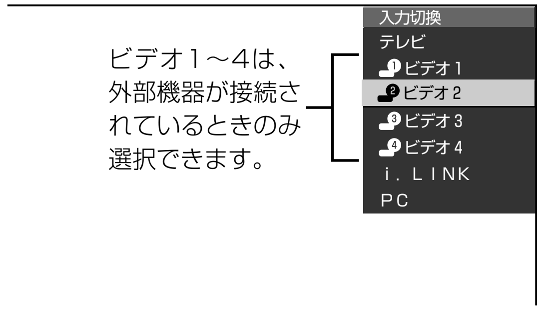
扉を開けたところ



［例］ビデオ2入力のD4映像端子からの入力を選択する

1

入力切換 ○ で「ビデオ2」を選ぶ



2

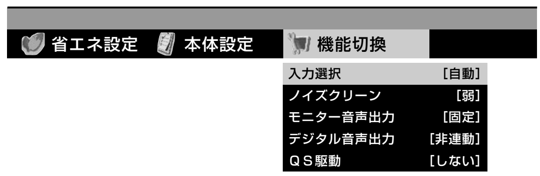
① テレビメニュー ○ を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ



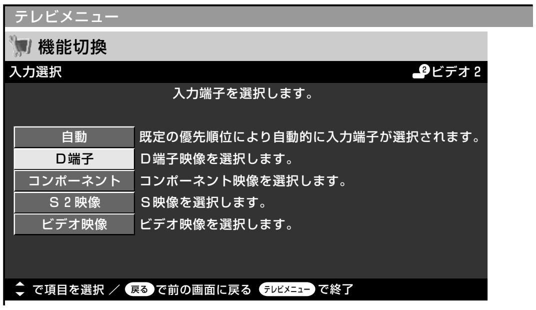
3

▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定 を押す



次ページへ

4 ▲ ▼ で「D端子」を選ぶ



5 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- テレビ入力、i.LINK入力、PC入力のとき、「入力選択」はテレビメニューに表示されません。

入力選択の項目について

■ビデオ1～4入力のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

入力	選択できる項目
ビデオ 1	自動
	D端子
	コンポーネント
	S2映像
	ビデオ映像
ビデオ 2	自動
	D端子
	S2映像
	ビデオ映像
ビデオ 3	自動
	S2映像
	ビデオ映像
ビデオ 4	自動
	S2映像
	ビデオ映像

映像入力端子選択の優先順位について

- 入力選択を「自動」に設定したときは、つぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

ビデオ1

D端子映像→コンポーネント映像→S2映像→ビデオ映像

ビデオ2

D端子映像→S2映像→ビデオ映像

ビデオ3および4

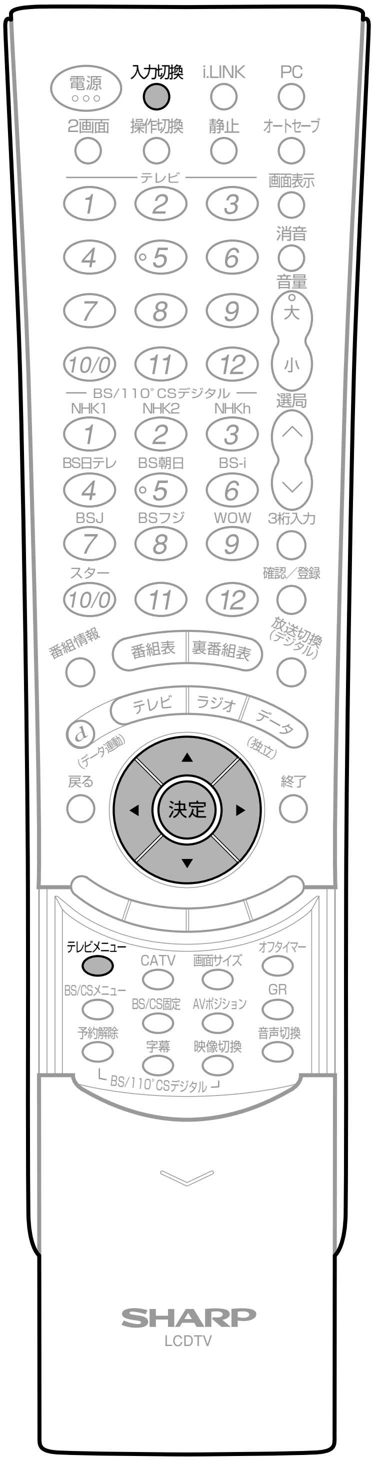
S2映像→ビデオ映像

外部機器に表示を合わせる

入力表示を選択する

■ビデオ1～4入力端子に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューに表示される機器の名称を選択することができます。

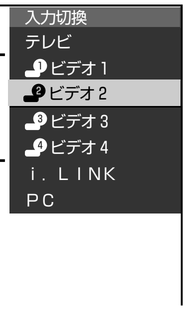
扉を開けたところ



［例］ビデオ2の表示を「ゲーム」に変える

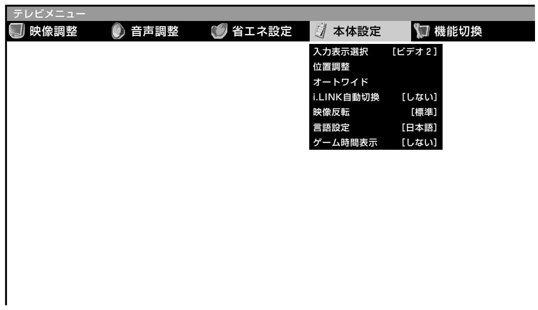
1 入力切換 で「ビデオ2」を選ぶ

ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

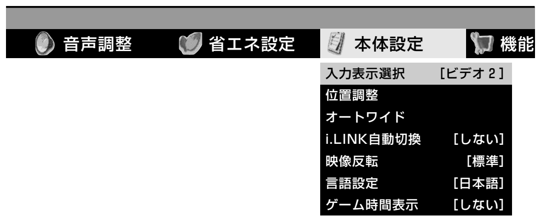


2 ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

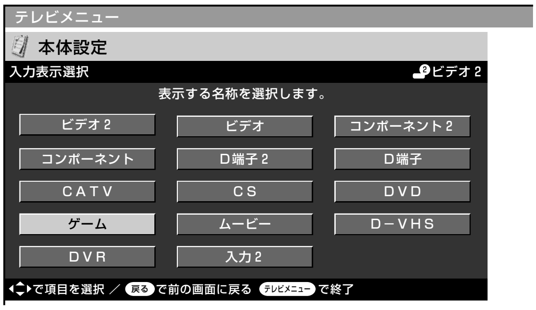


3 ▲ ▼ で「入力表示選択」を選び、決定 を押す



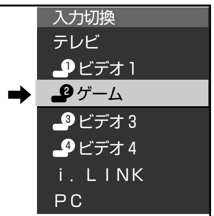
次ページへ

4 ▲▼◀▶で「ゲーム」を選ぶ



5 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

● 入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「 2ゲーム 」が表示されます。



おしらせ

● テレビ入力、i.LINK入力、PC入力のとき、「入力表示選択」はテレビメニューに表示されません。
● 入力表示選択の設定で選択された名称は、画面表示（チャンネルサイン）にも表示されます。

入力表示設定できる名称

1 ビデオ1入力

ビデオ1	ビデオ	コンポーネント1
コンポーネント	D端子1	D端子
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
DVR	入力1	

2 ビデオ2入力

ビデオ2	ビデオ	コンポーネント2
コンポーネント	D端子2	D端子
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
DVR	入力2	

3 ビデオ3入力

ビデオ3	ビデオ	CATV
CS	DVD	ゲーム
ムービー	D-VHS	DVR
入力3		

4 ビデオ4入力

ビデオ4	ビデオ	CATV
CS	DVD	ゲーム
ムービー	D-VHS	DVR
入力4		

モニター出力の音声出力設定を切り換える

モニター音声出力を設定する

■モニター出力からの音声出力を「固定」または「可変」に設定する機能です。

「固定」……モニター出力からの音声出力が一定の音量で出力されます。

画面の音量表示



「可変」……モニター出力からの音声出力を調整することができます。
スピーカーからの音声は消音状態となります。

画面の音量表示



扉を開けたところ



おしらせ

- 「可変」に設定し、モニター出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大/小)ボタンで調整します。
- 「可変」「固定」の設定にかかわらず、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。

1

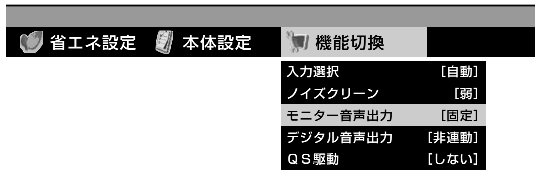
① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ



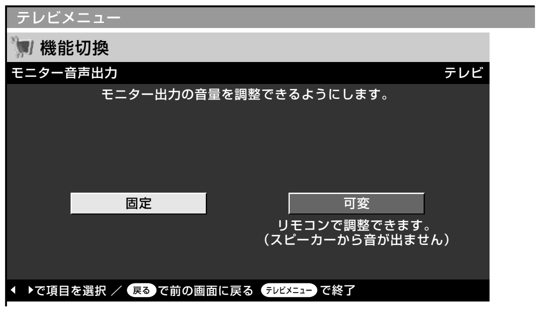
2

▲ ▼ で「モニター音声出力」を選び、決定 を押す



3

◀ ▶ で「固定」または「可変」を選ぶ



4

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)

i.LINK(アイリンク)について

■i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

本機に接続できるi.LINK機器について

■**本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。**DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)やPC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

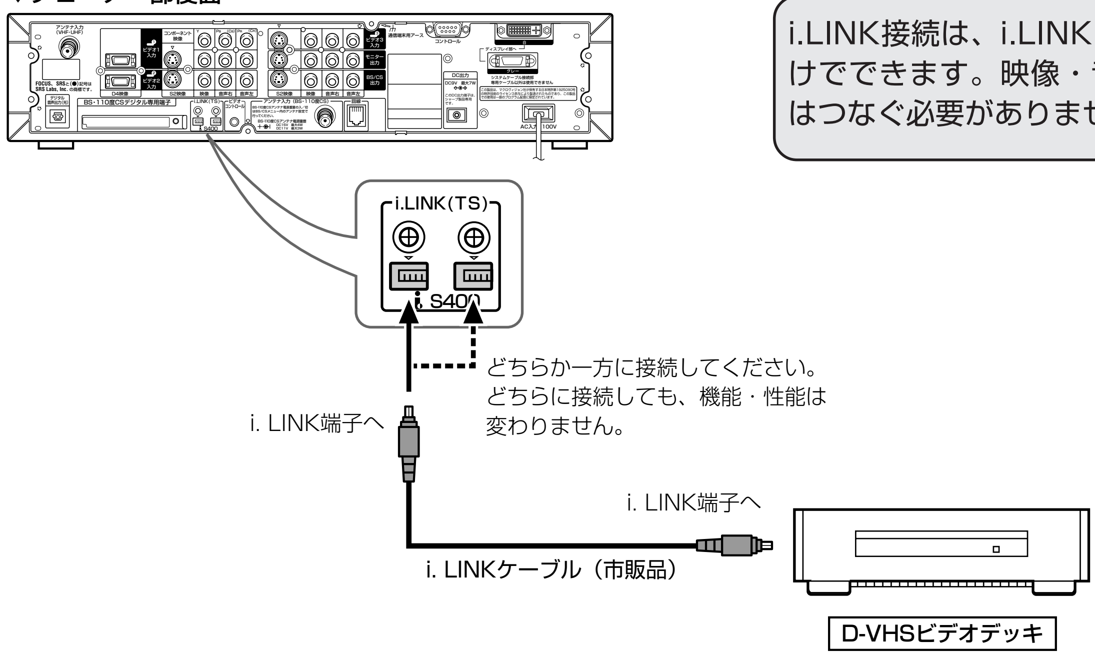
i.LINKで録画できる内容について

■本機とD-VHSビデオデッキをi.LINK接続して録画できるのは、**BS/110°CSデジタル放送のみ**です。それ以外のテレビ(UHF/VHF)、外部入力(ビデオ1～4)、PC入力は、i.LINK録画ができません。

i.LINK接続のしかた

[例] 接続するi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が1台の場合

▼チューナー部後面

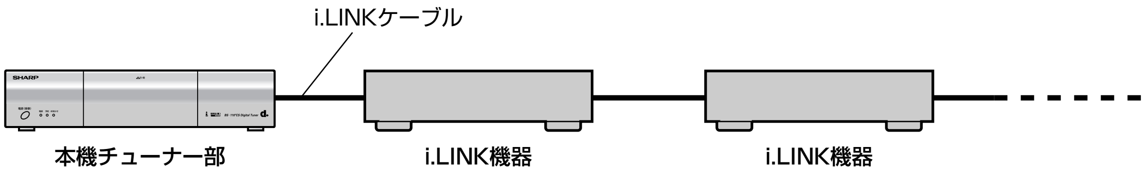


i.LINK接続は、i.LINKケーブルだけでできます。映像・音声端子等はつなぐ必要がありません。

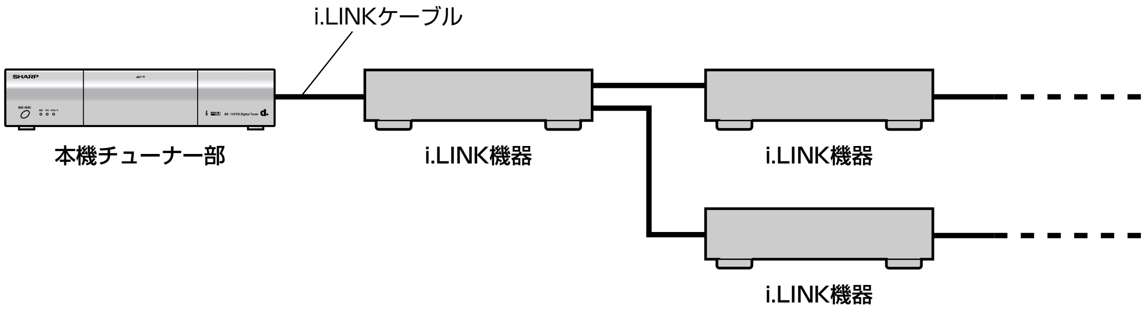
D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

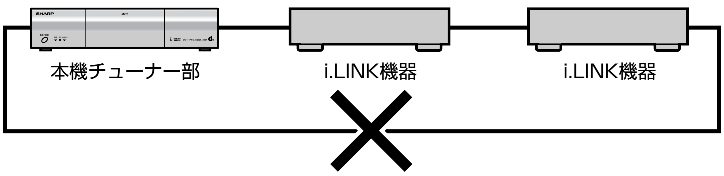


■i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。



接続に関するご注意

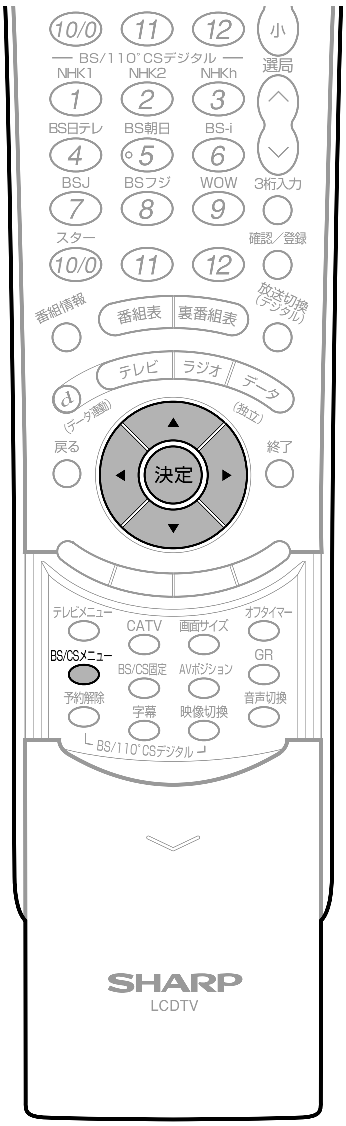
- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。BS/CSメニューの「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**198**ページ参照)
- **下図のようなループ(輪)接続をしないでください。**



- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

i.LINK設定を行う

扉を開けたところ



おしらせ

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

録画モードの設定

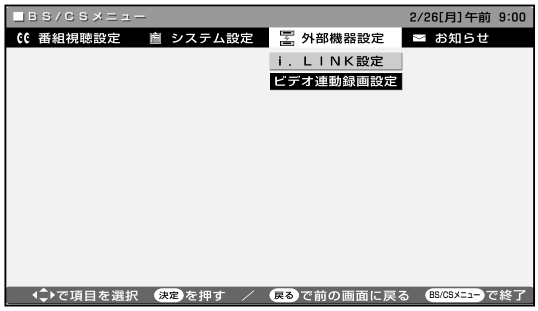
- 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に設定する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

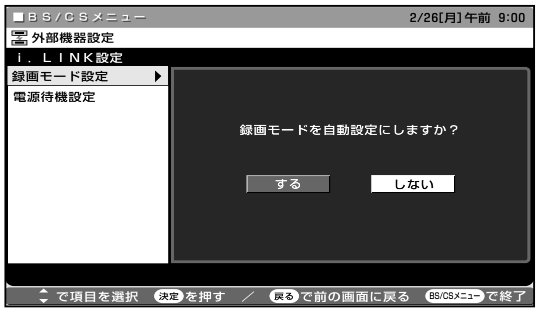
② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す



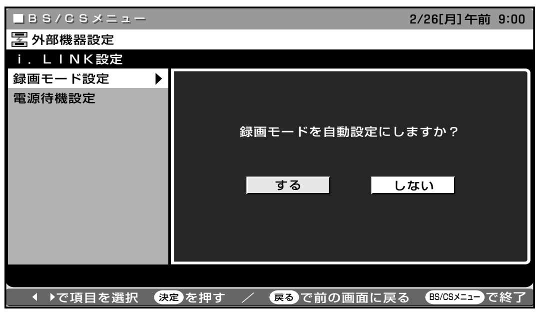
2

「録画モード設定」で 決定 を押す



3

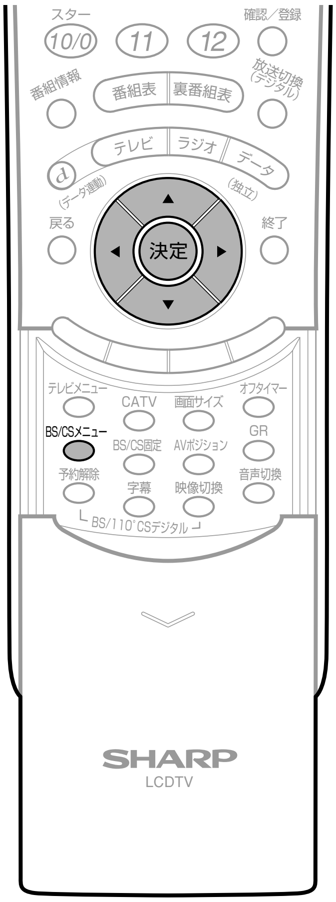
◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す



次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

扉を開けたところ



お願い

● 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態(電源ランプ赤色点灯)にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。



おしらせ

● 本機の電源が待機状態(電源ランプ赤色点灯)のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」(電源ランプ緑色点灯)にしてから行ってください。

i.LINK電源待機の設定

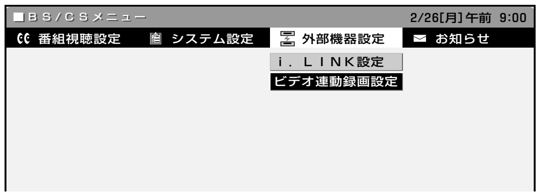
● 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
● i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す



2

▼ で「電源待機設定」を選び、決定を押す



3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。
「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。



扉を閉じたところ



i.LINK機器の選択

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

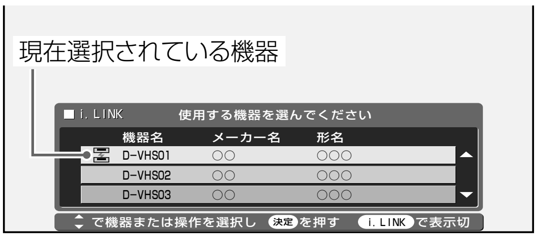
1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する



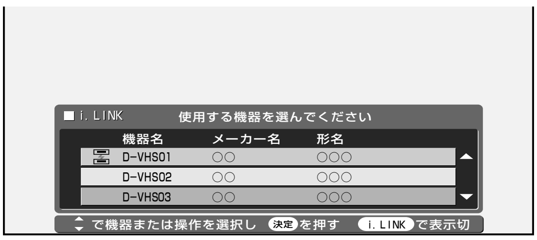
- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（**195**ページ参照）
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲ ◀ で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。



3 操作したい機器を ▲ ▼ で選び、決定を押す



- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

おしらせ

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

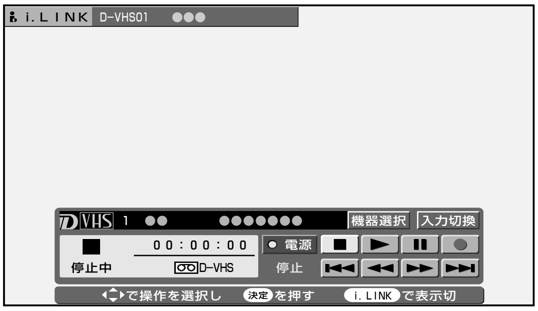
扉を閉じたところ



i.LINK機器の使用解除

- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

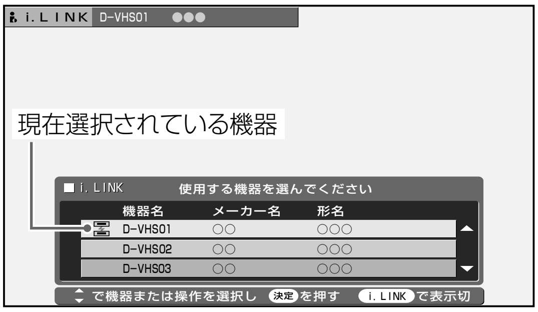
1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する



- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**195**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲ ◀ で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。



3 ▼ で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す



- i.LINK機器の使用が解除されます。

おしらせ

- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器をリストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

扉を閉じたところ



1

① i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

② ▲ ◀ で「機器選択」を選び、決定 を押す



2

削除したいi.LINK機器を ▲ ▼ で選び、決定 を押す



3

◀ で「削除する」を選び、決定 を押す

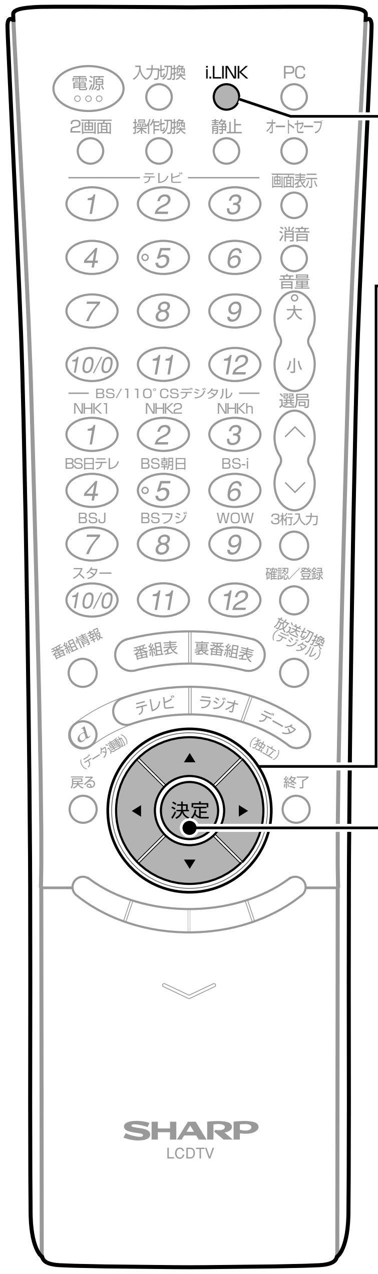


- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器の操作のしかた

■i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
　画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■操作を始める前に、**197**ページの「i.LINK設定を行う」を済ませておいてください。
■本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。



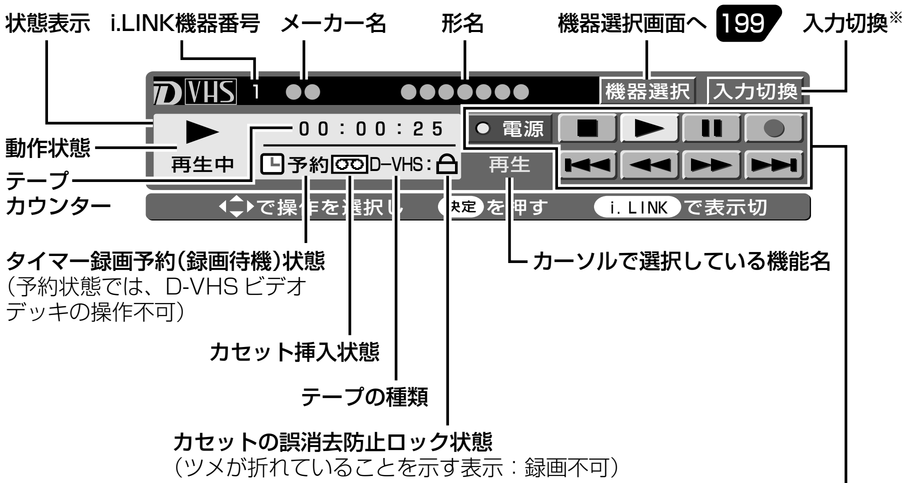
基本操作

1 i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する

2 操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

3 決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

i.LINK操作パネルの見かた



※入力切換ボタンについて
- i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、BS／110°CSデジタル放送とi.LINK機器入力との切換えに使用します。

●操作ボタンの機能

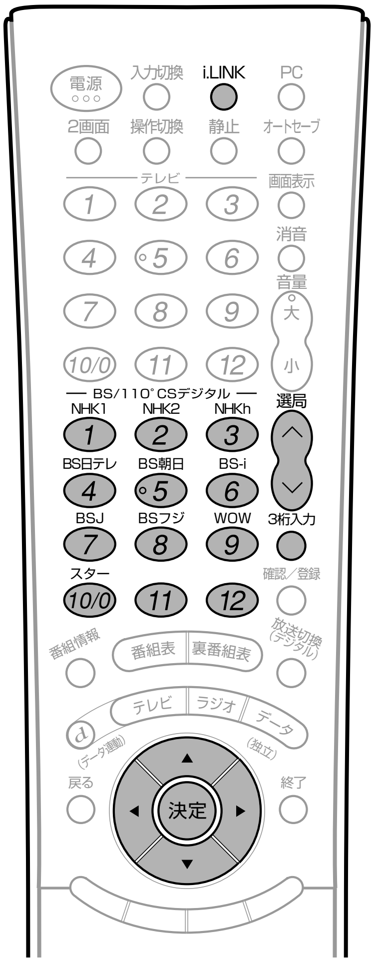
ボタン	機能	ボタン	機能
○ 電源	電源の入／切	⏮	1つ前に戻って頭出し
■	停止	◀◀	巻戻し
▶	再生	▶▶	早送り
❚❚	一時停止	⏭	1つ先に進んで頭出し
●	録画開始		

おしらせ

- 本機とD-VHSビデオデッキをi.LINK接続して録画できるのは、BS／110°CSデジタル放送のみです。それ以外のテレビ(UHF/VHF)、外部入力(ビデオ1〜4)、PC入力は、i.LINK録画ができません。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキを再生状態にすると、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声に自動的に切り換わるように設定できます。(**205**ページ参照)
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、BS／110°CSデジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機は、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声をi.LINKで視聴することができません。視聴したい場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ映像出力を本機のビデオ1〜4入力のいずれかに接続してご使用ください。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- 本機で受信しているBS／110°CSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- BS/CS固定中は、入力を「i.LINK」に切り換えることができません。
- BS/CS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示することができません。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 本機に接続したi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)で録画した内容を再生したとき、ビデオサーチ(早送り／巻戻し)をすると画面がモザイクになる場合があります。

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

扉を閉じたところ



おしらせ

- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面(操作パネル)にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキがタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBS／110°CSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBS／110°CSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- BS/CS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示することができません。
- 録画した放送の内容によっては、再生時にビデオサーチ(早送り、巻戻し)した際、画面がモザイクになる場合があります。

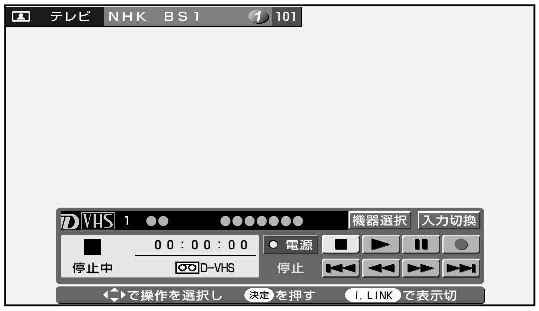
i.LINK機器でBS／110°CSデジタル放送を録画する

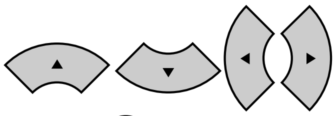
■以下の操作をする前に、**197**ページの「i.LINK設定を行う」を済ませておいてください。

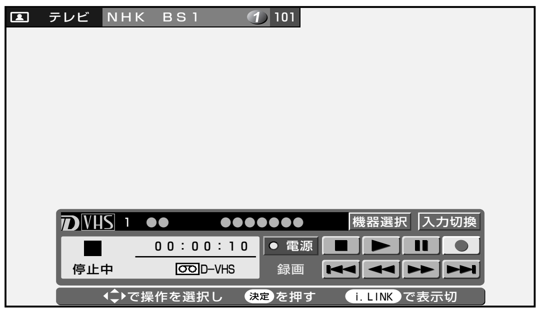
■本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 **録画したいBS／110°CSデジタル放送の番組を選局する**

2 **i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する**



3  **で (録画ボタン)を選び、決定を押す**



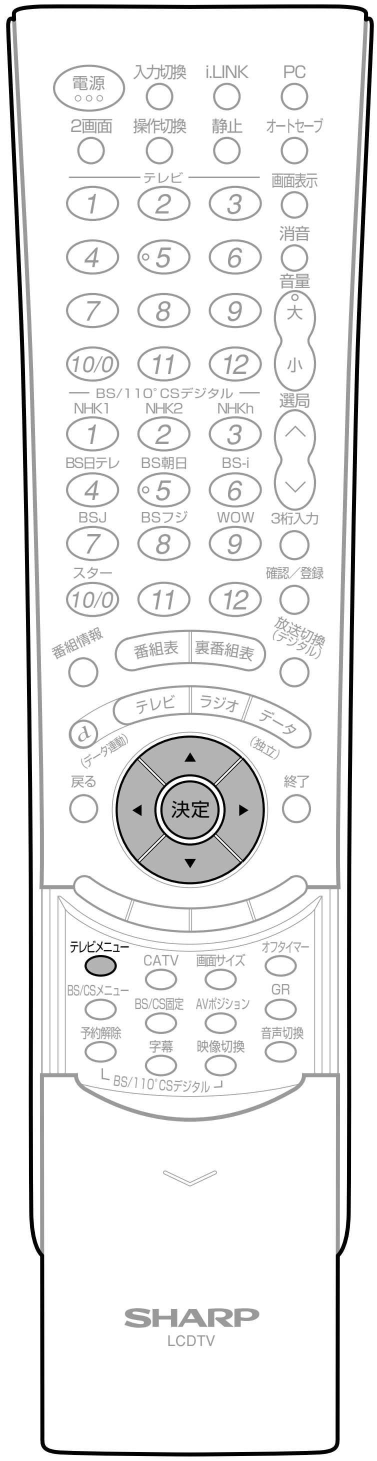
- 録画が開始し、操作パネルが消えます。
- 録画を止めるときは、i.LINKボタンで再度操作パネルを表示し、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

- 録画中は、入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。

■i.LINKで接続したD-VHSビデオデッキを再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるようにするかしないかを設定できます。

扉を開けたところ



i.LINK自動切換の設定

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ



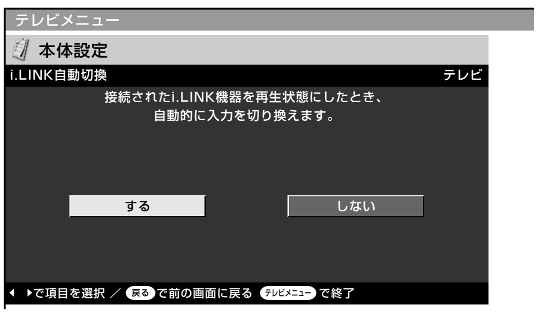
2

▲ ▼ で「i.LINK自動切換」を選び、決定 を押す



3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選ぶ



4

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

音響機器をつなぐ

デジタル音声出力(光)端子から録音する

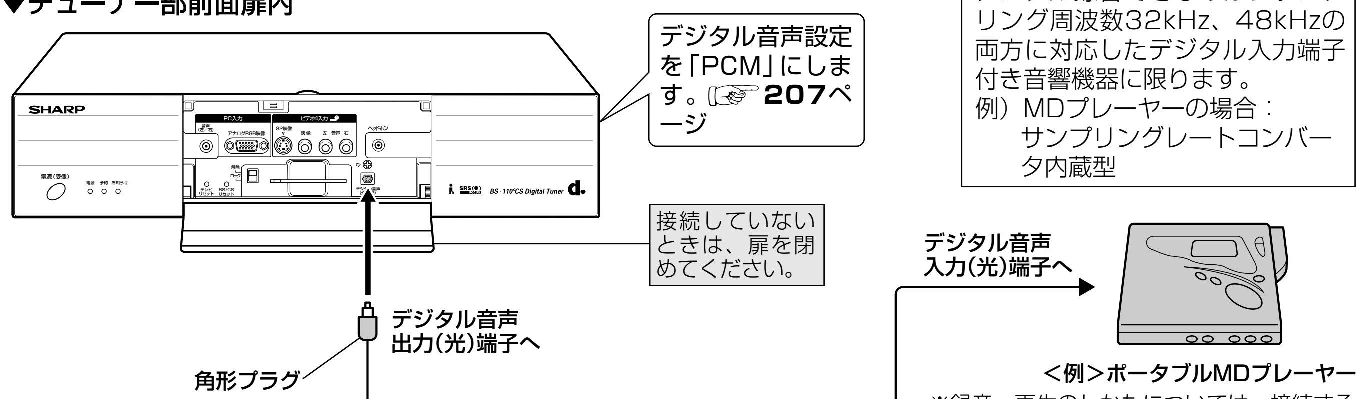
■デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル音声入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、BS／110°CSデジタル放送の音声を高音質で録音できます。

接続のしかた

▼音響機器

デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz、48kHzの両方に対応したデジタル入力端子付き音響機器に限ります。
例）MDプレーヤーの場合：
サンプリングレートコンバータ内蔵型

▼チューナー部前面扉内



<例>ポータブルMDプレーヤー

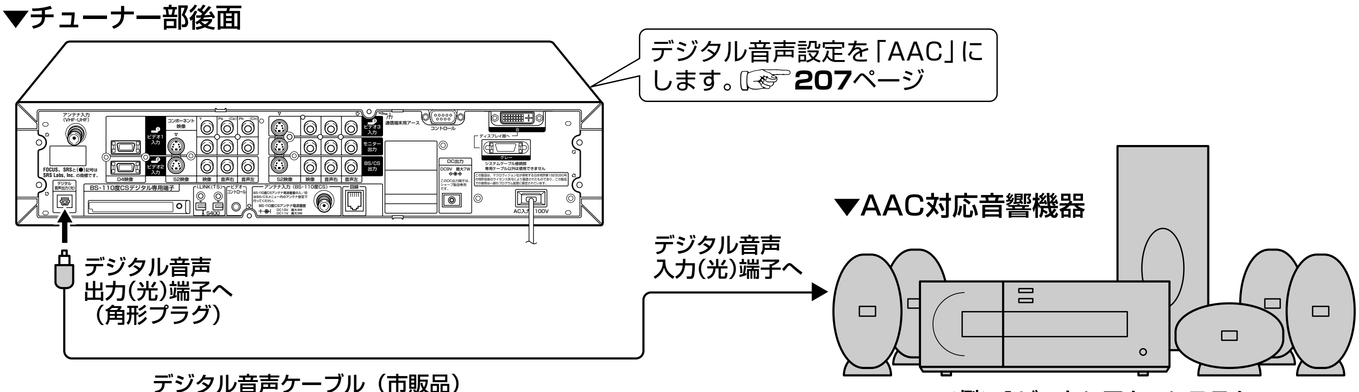
※録音、再生のしかたについては、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル音声ケーブル（市販品）
※接続する音響機器の端子に合ったものをお選びください。

■また、本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

接続のしかた

▼チューナー部後面



デジタル音声ケーブル（市販品）
※接続する音響機器の端子に合ったものをお選びください。

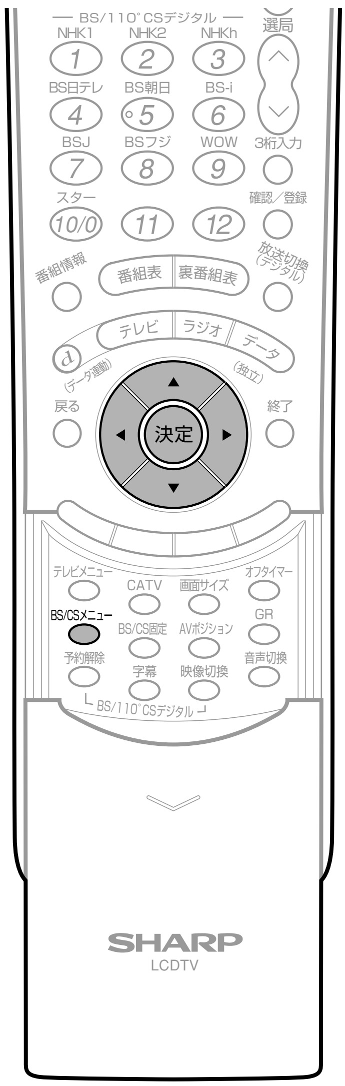
<例>1ビットシアターシステム

おしらせ

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- チューナー部前面扉内のデジタル音声出力(光)端子と後面のデジタル音声出力(光)端子は、まったく同じものです。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター出力端子の音声出力の内容と同じです。
- 設定により、つねにBS/CSチューナーの音声がデジタル音声出力(光)端子から出力されるようにすることができます。（**208**ページの「デジタル音声出力の設定」をご覧ください。）
- デジタル音声設定を「AAC」にしているとき、字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■チューナー部前面扉内および後面のデジタル音声出力(光)端子を、接続する音響機器に合わせて設定します。

扉を開けたところ



おしらせ

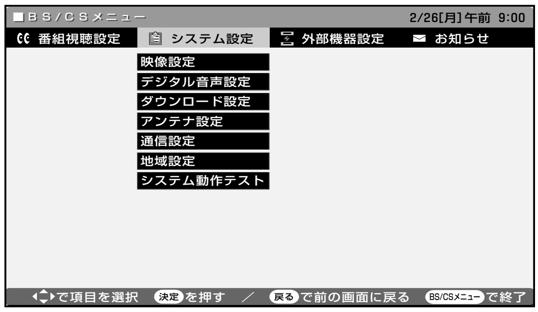
- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「AAC」に設定した場合でも、地上放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

デジタル音声出力(光)端子の設定

1

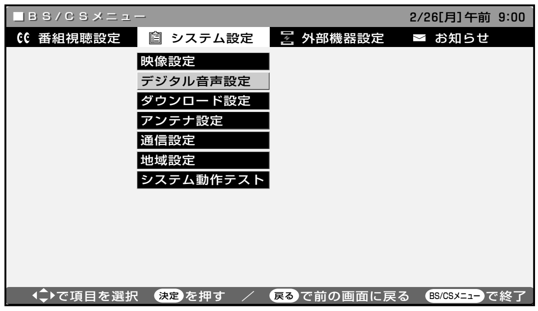
① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ



2

▲ ▼ で「デジタル音声設定」を選び、決定 を押す

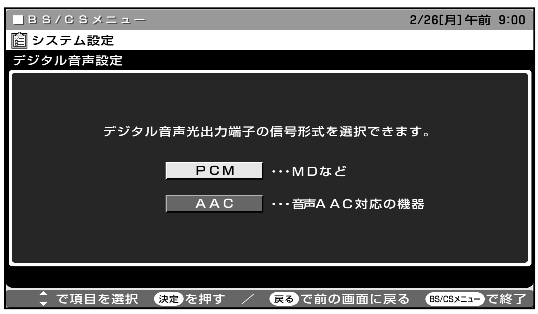


3

接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

「PCM」……AACに対応していない音響機器(例．MDプレーヤー、MDコンポなど)に接続するとき

「AAC」……AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

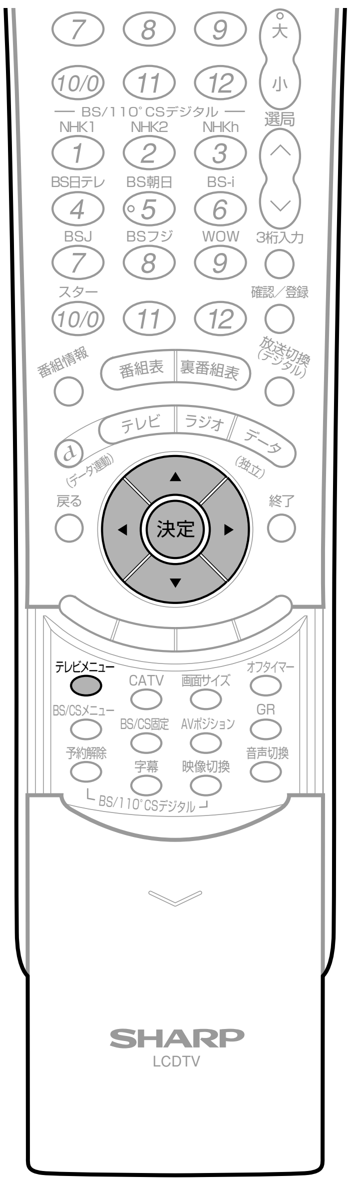


音響機器をつなぐ(つづき)

■デジタル音声出力(光)端子からの出力を、BS/CS固定と連動させるか否かを設定することができます。

「連動」……BS/CS固定した場合、BS/CS固定したBS／110°CSデジタル放送チャンネルの音声が出力されます。
「非連動」…BS/CS固定の設定に関係なく、選択されているチャンネルや入力の音声が出力されます。

扉を開けたところ



デジタル音声出力の設定

1

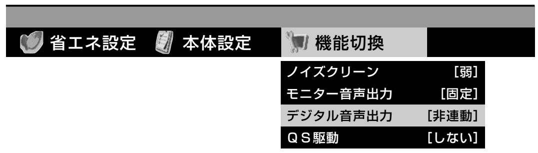
① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「機能切換」を選ぶ



2

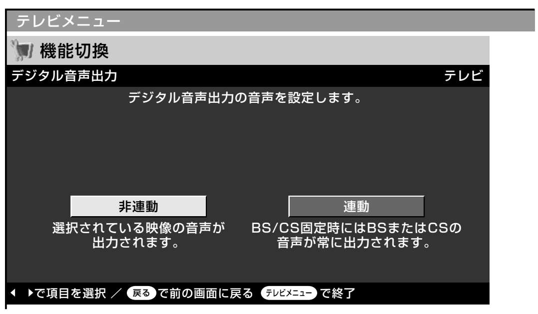
▲ ▼で「デジタル音声出力」を選び、決定を押す



●デジタル音声出力設定画面が表示されます。

3

◀ ▶で「非連動」または「連動」を選ぶ



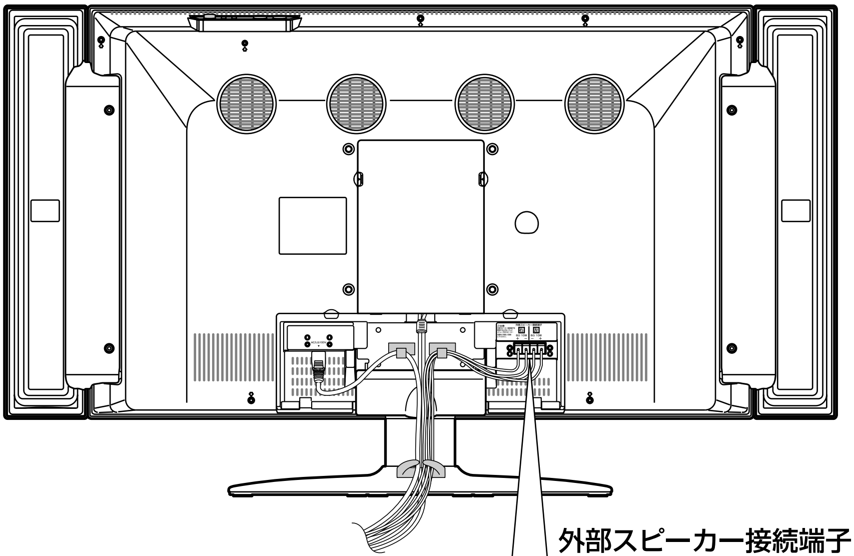
4

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

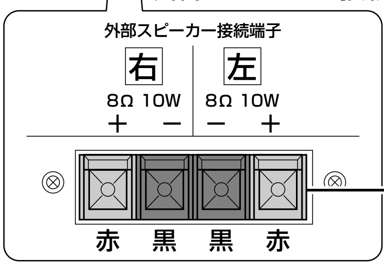
外部スピーカーを接続する

ご注意　接続するときは、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

▼ディスプレイ部後面



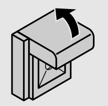
外部スピーカー接続端子



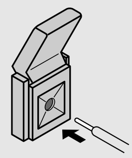
外部スピーカーは必ず、8Ω 10Wの仕様のものをお使いください。

スピーカーケーブルのつなぎかた

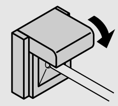
① ツマミを上に起こす



② ケーブルの先端を穴に差し込む



③ ツマミをもとの位置に戻す



外部スピーカーを使用するときは

- スピーカー切換を「外部」に設定します。（**210**ページ参照）

スピーカー端子とケーブルの極性(⊕、⊖)にご注意ください

■ スピーカー端子には⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性があります。⊕端子は赤、⊖端子は黒になっています。
ケーブルも⊕(プラス)用と⊖(マイナス)用に分かれています。
左右のスピーカーケーブルを接続する際は、それぞれ、⊕端子どうし、⊖端子どうしを正しいケーブルでつないでください。

おしらせ
- 外部スピーカーのケーブルの処理(付属のケーブルクランプの使いかた)については、**29**ページをご覧ください。

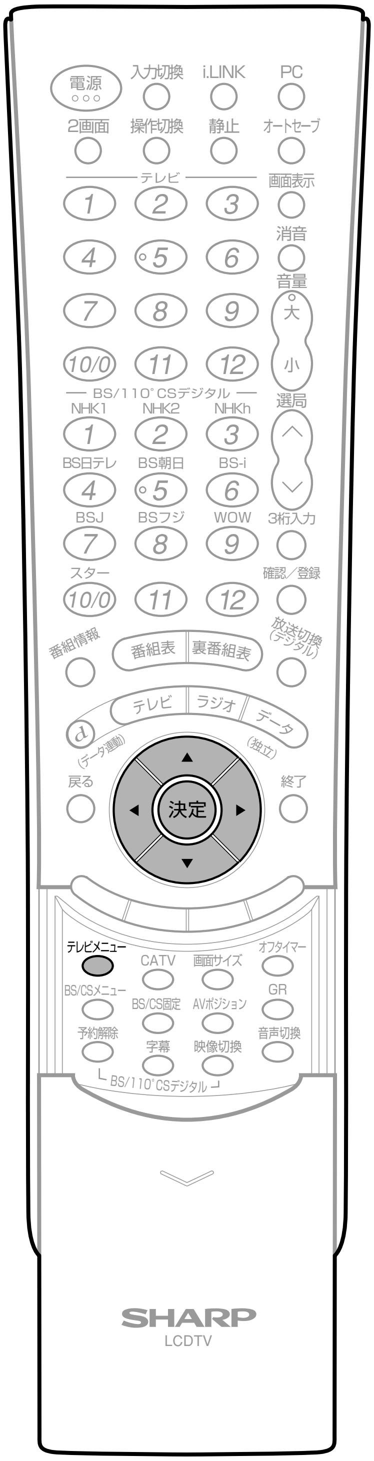
音響機器をつなぐ(つづき)

使用するスピーカーを選択する

■外部スピーカーを使うときは、テレビメニュー画面でスピーカー選択の設定を「外部」にする必要があります。

■本機に付属のスピーカーを使うときは「内蔵」に設定します。

扉を開けたところ



1

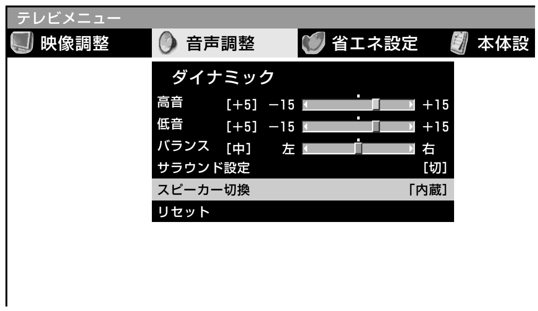
① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「音声調整」を選ぶ



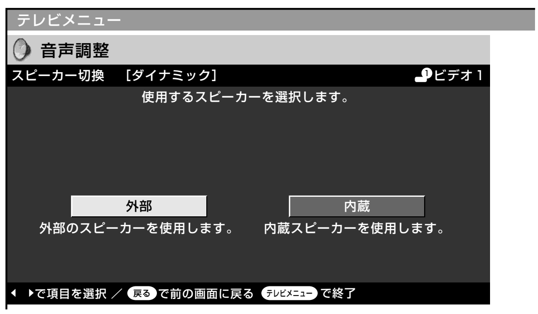
2

▲ ▼ で「スピーカー切換」を選び、決定 を押す



3

◀ ▶ で「外部」または「内蔵」を選ぶ



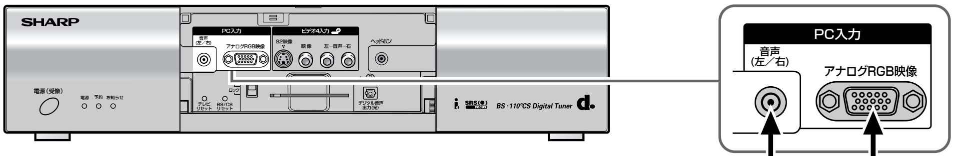
4

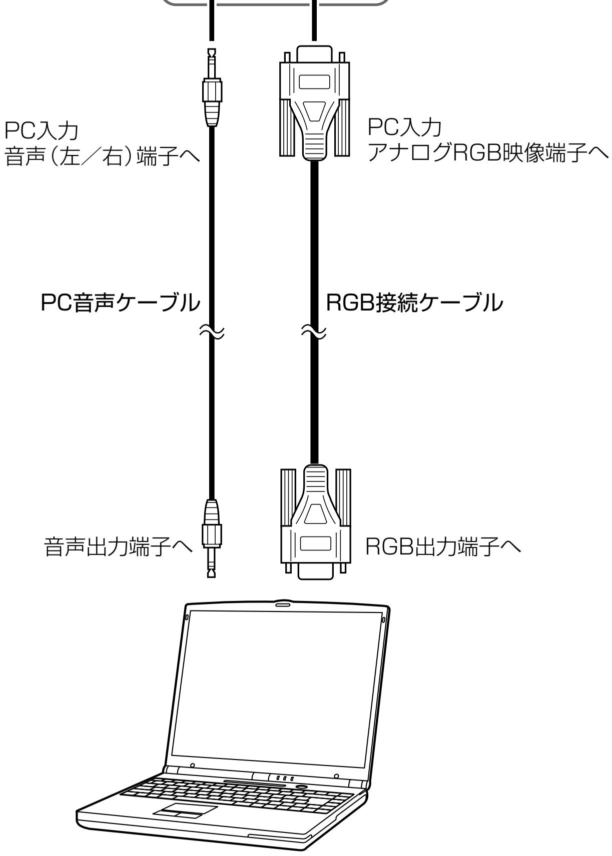
テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

PC（パソコン）をつなぐ

接続のしかた

▼チューナー部前面端子部（扉内）　▼PC接続端子部



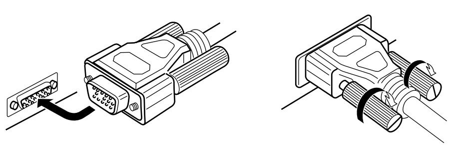


PC（パソコン）

RGB接続ケーブルの取扱いについて

チューナー部とPC（パソコン）を接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

①　②



PC入力対応表

画素数	垂直周波数	備　考	画素数	垂直周波数	備　考
640×400	85Hz		800×600	72Hz	
720×400	70Hz			75Hz	
	85Hz			85Hz	
640×480	60Hz		832×624	74.5Hz	Macintosh16"
	65Hz	Macintosh13"（67Hz）	1024×768	60Hz	
	72Hz			70Hz	
	75Hz			75Hz	Macintosh19"
	85Hz			85Hz	
800×600	56Hz		1280×768	60Hz	
	60Hz		1280×1024	60Hz	

※PC接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（自動同期調整……**80**ページ参照）

PC(パソコン)をつなぐ(つづき)

入力解像度を選択する

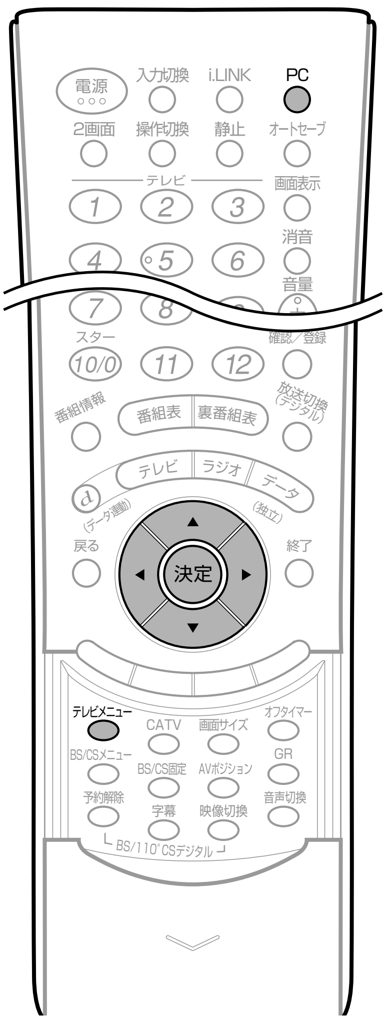
■PC入力時、入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。

■入力された信号が下の表に掲載されている信号のとき、横に並んだ信号どうしは自動的に判別ができません。この場合は、「入力解像度選択」でどの信号(解像度)として表示するかを手動で選択します。一度選択すると、それ以降、同じ信号が入力されたとき、最後に選択した信号(解像度)として表示します。

640×400	720×400
640×480	848×480
1024×768	1280×768

※ この表に掲載されている信号(6種類)が入力されたときのみ、「入力解像度選択」の項目を選択することができます。

扉を開けたところ



1 PCを押し、PC入力にする

2 ① テレビメニューを押し、PCメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

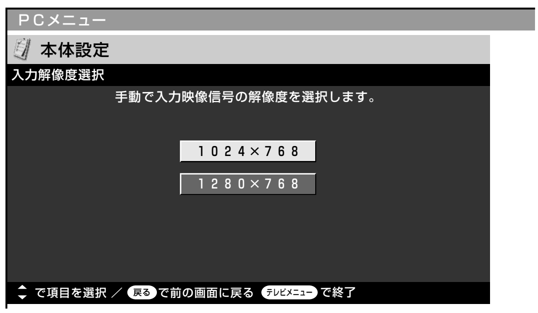


3 ▲ ▼で「入力解像度選択」を選び、決定を押す



4 ▲ ▼で入力解像度を選ぶ

(画面例)



5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

お知らせ

● 知っておいていただきたいことやご注意、別売品のご案内など、便利な情報のページです。テレビ／PCメニューの項目一覧やテレビ用語の解説、索引も掲載していますので、ぜひお役立てください。



PC(パソコン)で本機を制御する

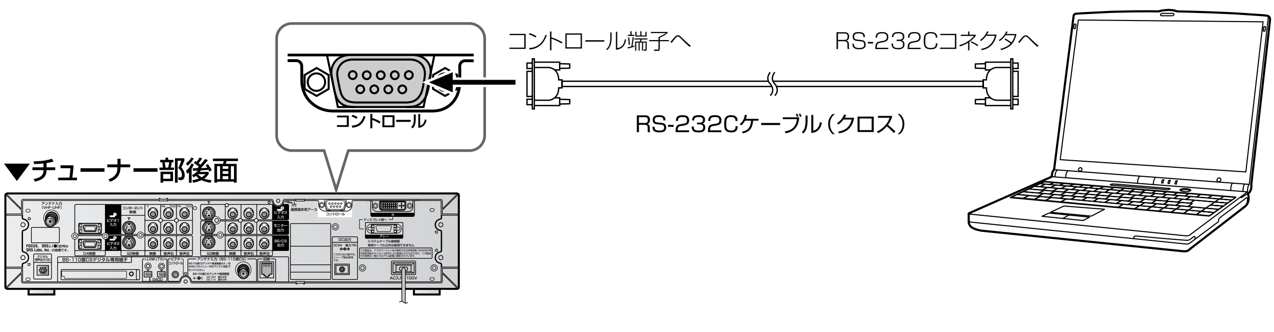
PC(パソコン)による本機の制御について

この操作システムはPC(パソコン)を使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。

■ターミナルソフトなどを利用して、RS-232Cコネクタでつないだ PC(パソコン)から本機を制御することができます。チャンネル切換え、入力切換え、音量調整などを行うことができます。

■接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス)をご用意ください。

接続のしかた



通信仕様

■PC側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。

■本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

■PCからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをPC側に送ります。

■複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

コマンド（PCから本機へ）

C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	↵
コマンド種類（4桁）				パラメータ（4桁）				リターンコード（0DH）

レスポンス（本機からPCへ）

● 正常時

O	K	↵
		リターンコード（0DH）

● 異常発生時（通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき）

E	R	R	↵
			リターンコード（0DH）

RS-232Cコマンド一覧

■下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

制御項目		“A” part	“B” part	選択項目	制御内容
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
画面表示		DISP	–		
入力切換	トグル	ITGD	–	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	0		テレビに入力切換 （チャンネルはそのまま［ラストメモリー］）
	ビデオ1～4	IAVD	1-4	（入力端子番号）	ビデオ1～ビデオ4に入力切換
	i.LINK	LINK	0		i.LINKに入力切換
	PC	IPCD	–		PCに入力切換
	放送切換 （デジタル）	IDEG	–	（トグル）	BS、CS1、CS2の切換
チャンネル切換	UV	CCUV	1～20	（TVのチャンネル番号）	UV表示でなかったら入力切換含む
	CATV	CCCT	13～63	（CATVのチャンネル番号）	CATV表示でなかったら入力切換含む
	3桁入力	CCBS	0～999	（デジタル放送のチャンネル番号）	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	選局＋	CHUP	–	テレビのチャンネル番号＋1	テレビ表示でなかったらテレビに入力切換 （U/V→CATV→BSD/CSD→U/Vの順でトグル）
	選局－	CHDW	–	テレビのチャンネル番号－1	テレビ表示でなかったらテレビに入力切換 （U/V→BSD/CSD→CATV→U/Vの順でトグル）
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	ダイナミック	
			3	映画	
			4	ゲーム	
			5	AVメモリー	
音量		VOLM	0～60	（音量）	
消音		MUTE	–	（トグル）	消音オン、オフのトグル
SRS		ASRS	0	（トグル）	トグル動作
			1	オフ	
			2	SRS	
			3	FOCUS	
			4	FOCUS＋SRS	
音声切換		ACHA	–	（トグル）	
2画面		TWIN	0	1画面	
			1	2画面	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー60分	
			3	オフタイマー90分	
			4	オフタイマー120分	

※“B” part欄の「–」はスペースを意味します。

PC(パソコン)で本機を制御する(つづき)

通信内容

■通信設定

9600、8、N、1、N

■コマンド形式

アスキー8文字+CR

“A” part　“B” part

“A” part......コマンド（テキスト4文字）
“B” part......引数 (0〜9、ー、空白、?)

■引数

“B”partには左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。（必ず4文字になるようにしてください。）
設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。（「返り値」参照）
表中で引数が「−」になっているものは、数値であれば何を書いてもかまいません。

0			

0	0	0	9

−	3	0	

1	0	0	

0	0	5	5

いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

?			

?	?	?	?

■返り値

コマンドの実行が終了したら、下記戻り値を返します。

O	K	(CR)

コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、下記戻り値を返します。

E	R	R	(CR)

リセットボタンについて

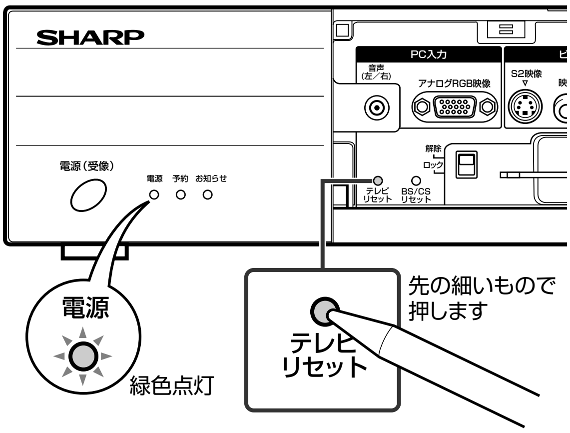
テレビリセットボタン

■テレビメニューや2画面モードなどを操作していて、もとに戻せなくなったりした場合には、本機が動作している状態(電源ランプが緑色点灯中)で、チューナー部前面扉内のテレビリセットボタンを押してください。
本機が電源スタンバイ状態のとき(電源ランプが赤色点灯中)など、動作状態にないときには、テレビリセットボタンは機能しません。
テレビリセットボタンを押すと、つぎの状態に設定されます。

- AVポジションが「標準」になります。
- テレビの1チャンネルが表示されます。
- 1画面になります。
- 省エネ設定が初期化されます。
- 位置調整が初期化されます。
- 映像反転が初期化されます。
- ゲーム時間表示が初期化されます。
- モニター音声出力が初期化されます。
- オフタイマーが初期化されます。

※上記以外(チャンネル設定など)は初期化されません。

▼チューナー部前面扉内

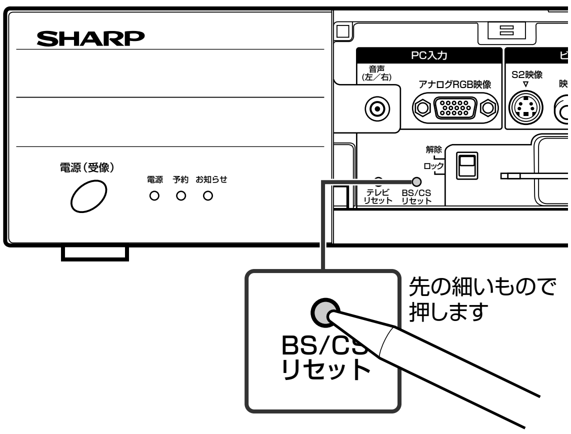


BS/CSリセットボタン

■本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、チューナー部前面扉内のBS/CSリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

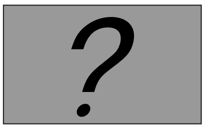
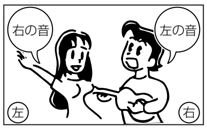
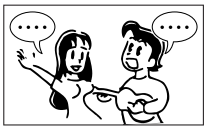
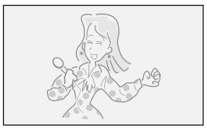
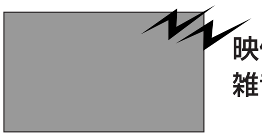
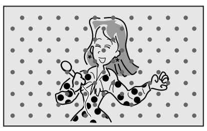
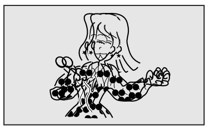
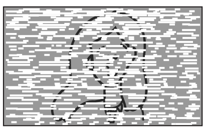
おしらせ
- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には時間がかかります。

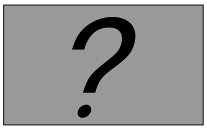
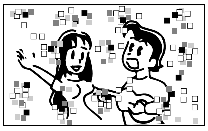
▼チューナー部前面扉内



故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては**224**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	 映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●電源が「切」の状態になっていませんか。 ●テレビ（地上放送、CATV）やBS/CS放送を見たいのに、ビデオ入力やPC入力に切り換えられていませんか。	28 32·33 180
全般	リモコンが動作しない	●電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンはディスプレイ部に向けてお使いください。	21
全般	 音が左右逆になる 片方しか音が出ない	●スピーカープラグがきちんと接続されていますか。 ●左右反転や上下左右反転になっていませんか。 ●外部スピーカーの接続ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていませんか。	25 100 209
全般	 映像は出るが 音声が出ない	●音量調整が最小になっていませんか。 ●「消音」状態になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ●モニター音声出力が「可変」に設定されていませんか。「固定」にしてください。 ●S映像·D映像·コンポーネント映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。 ●スピーカー切換は正しく設定されていますか。	33 33 178 194 178 210
全般	 色がうすい 色あいが悪い	●色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	89·90
全般	特定のテレビチャンネルだけ映らない	●テレビチャンネルの微調整がズレていませんか。	46
アンテナ	 映像が出ず 雑音のみ出る	●アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。	30·31
アンテナ	 画像にはん点が出る	●自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	–
アンテナ	 映像が二重になる （ゴースト）	●近くに山や大きな建物·樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。 ●GR設定を行ってみてください。	– 97
アンテナ	 色じま模様が出る	●近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	–
アンテナ	 雪が降っているような画面になる	●アンテナ線は正しく接続されていますか。 ●屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ●アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	30·31 – –

	こんなときに		ここをお確かめください	ページ
BS／110°CSデジタル放送関係		映像も音声も出ない	●BS／110°CSアンテナ電源が「切」になっていませんか。 ●映像、音声のない放送ではありませんか。 ●ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	157 － 180
		画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	●アンテナの向きがズレていませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ●アンテナの前方に障害物はありませんか。 ●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	－ 157 － 31
	有料放送の視聴ができない		●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ●有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ●電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	57 58･59 54･60
	110°CS デジタル放送が受信できない		●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ●ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110°CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	31
	画面にノイズが出る		●VHF/UHFのアンテナケーブルがBS／110°CSアンテナケーブルと接近していませんか。	－
	特定のチャンネルだけ映らない		●契約していない有料放送ではありませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	58･59 157
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある		●電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	－
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない		●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ●ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。 ●データ番組ではありませんか。	184 185 －
	番組の予約をしても受信できない場合があります。		●契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。	130
その他	リモコンで電源を「切」（電源待機状態）にしてもファンが回転している		●BS/CS固定を「入」に設定していませんか。「入」に設定しているときは、ファンが回転しています。 ●電源を「切」にしても、ファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、8～10秒程度かかります。	183 －
	i.LINK接続されない		●接続先の機器の電源は入っていますか。 ●i.LINKケーブルが外れていませんか。 ●接続先はD-VHSビデオデッキですか。本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。	－ 195 195

■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときはディスプレイ部の主電源スイッチで電源を「切」にし、ディスプレイ部、チューナー部両方の電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

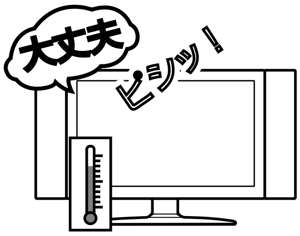
このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS ／ 110°CS 共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。



BS／110° CSデジタル放送の注意文

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
IC カードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入し、B-CASカードロックスイッチをロックしてください。	**57**
この IC カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**57**
このカードは使用できません。 正しいIC カードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	**57**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
この IC カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	–
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**31・157**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしています。 アンテナとの接続を確認ください。	E209	アンテナ線を確かめてください。	**31**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**54・57**

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ(つづき)

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、BS/CSメニューの通信設定を正しく行ってください。	**54・60**
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

■i.LINKに関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**196**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■システムエラー発生時の注意文

注意文	内容・対処のしかた
システムエラーです。 電源を入れなおしてください。	内部のファンが停止するなど、マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。

テレビ／PCメニュー項目一覧

テレビメニュー項目一覧

映像調整

項目	設定
映像	0～+40
明るさ	−30～0～+30
色の濃さ	−30～0～+30
色あい	−30～0～+30
画質	−10～0～+10
プロ設定	→
リセット	する、しない

プロ設定 →

項目	設定
カラーマネージメント	→
色温度	高、高ー中、中、中ー低、低
黒伸張	しない、強、弱
3次元設定	標準、動画より、静止画より
モノクロ	する、しない
フィルムモード	する、しない
I／P設定	インターレース、プログレッシブ

カラーマネージメント →

項目	設定
R	−30～0～+30
Y	−30～0～+30
G	−30～0～+30
C	−30～0～+30
B	−30～0～+30
M	−30～0～+30
リセット	

音声調整

項目	設定
高音	−15～0～+15
低音	−15～0～+15
バランス	左30～中～右30
サラウンド設定	切、SRS、FOCUS、FOCUS+SRS
スピーカー切換	外部、内蔵
リセット	する、しない

省エネ設定

項目	設定
調光	→
無信号オフ	する、しない
無操作オフ	する、しない

調光 →

項目	設定
手動	−4～標準～+4
オートセーブ(表示あり)	
オートセーブ(表示なし)	

本体設定

- チャンネル設定 ※1 →

項目	設定
自動	全て探す、追加で探す、しない
地域番号	する、しない
個別	する → / しない

個別：する →

項目	設定
リモコン番号	1～20
受信チャンネル	1～62、C13～C63
チャンネル表示	0～99、C13～C63
受信微調整	−64～0～+63
GR設定	入、切
GR速度	標準、速い
スキップ	する、しない

- 入力表示選択 ※2 → ※3 ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4、ビデオ、コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント D端子1、D端子2、D端子、入力1、入力2、入力3、入力4 CATV、CS、DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、DVR
- 位置調整 →

項目	設定
水平位置	−10～0～+10
垂直位置	−30～0～+30
リセット	

- オートワイド →

項目	設定
映像判別	する、しない
S2対応 ※2	する、しない
EDTVII対応	する、しない
D識別対応 ※4	信号、端子

- i.LINK自動切換 → する、しない
- 映像反転 → 標準、左右反転、上下反転、上下左右
- 言語設定 → 日本語、English
- ゲーム時間表示 → する、しない

機能切換

項目	設定
入力選択 ※2	※3 自動、D端子、コンポーネント、S2映像、ビデオ映像
ノイズクリーン	しない、強、弱
モニター音声出力	固定、可変
デジタル音声出力	非連動、連動
QS駆動	する、しない

おしらせ

※1 テレビ入力時のみ表示されます。
※2 ビデオ入力時のみ表示されます。
※3 選択されているビデオ入力により、表示項目が異なります。
※4 ビデオ1・2入力時のみ表示されます。
● 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

PCメニュー項目一覧

映像調整

項目	設定
映像	0～+40
明るさ	−30～0～+30
赤	−30～0～+30
緑	−30～0～+30
青	−30～0～+30
カラーマネージメント	→ (下表)
リセット	する、しない

カラーマネージメント

項目	設定
R	−30～0～+30
Y	−30～0～+30
G	−30～0～+30
C	−30～0～+30
B	−30～0～+30
M	−30～0～+30
リセット	

音声調整

項目	設定
高音	−15～0～+15
低音	−15～0～+15
バランス	左30～中～右30
サラウンド設定	切、SRS、FOCUS、FOCUS+SRS
スピーカー切換	外部、内蔵
リセット	する、しない

省エネ設定

項目	設定
調光	→ 手動 −4～標準～+4 オートセーブ(表示あり) オートセーブ(表示なし)
パワーマネージメント	しない、モード1、モード2

本体設定

項目	設定
入力解像度選択 ※1	※2 640×400、720×400、640×480、848×480 1024×768、1280×768
自動同期調整	する、しない
画面調整	→ (下表)
i.LINK自動切換	する、しない
映像反転	標準、左右反転、上下反転、上下左右
言語設定	日本語、English

画面調整

項目	設定
水平位置	−90～0～+90
垂直位置	−60～0～+60
クロック周波数	−90～0～+90
クロック位相	−20～0～+20
リセット	

機能切換

項目	設定
モニター音声出力	固定、可変
デジタル音声出力	非連動、連動
QS駆動	する、しない

おしらせ
※1 入力信号の種類によっては表示されません。
※2 入力信号の種類により、表示項目が異なります。
● 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別添）

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

■ 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■「故障かな？と思ったら」（**218**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　　名：LC-37BD5
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

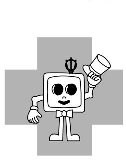
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか
- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… 修理相談センター へ

● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… お客様相談センター へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

ナビダイヤル

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（02.10）

おもな仕様

品名			液晶カラーテレビ
形名			LC-37BD5
ディスプレイ部	液晶パネル	画面サイズ	37V型（横819.6mm×縦460.8mm／対角940.3mm）
		駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
		画素数	3,147,264ドット（縦768×横1,366×3）
	スピーカー		8cm 丸形 2個
	音声出力		20W（10W＋10W）
	接続端子		システムケーブル（白）接続端子、システムケーブル（グレー）接続端子 専用スピーカー接続端子、外部スピーカー接続端子、AC入力端子
	使用電源		AC100V・50/60Hz
	消費電力		145W
	待機電力		0.26W
	寸法	ディスプレイ部のみ	幅948mm×奥行82mm×高さ587mm
		スピーカー装着時	幅1184mm×奥行87.5mm×高さ587mm
		スピーカー、スタンド装着時	幅1184mm×奥行305mm×高さ697mm
	本体質量	ディスプレイ部のみ	17.0kg
		スピーカー装着時	20.0kg
		スピーカー、スタンド装着時	24.0kg
チューナー部	受信チャンネル		テレビVHF1～12ch、UHF13～62ch、CATV13～63ch BSデジタル000～999ch、110°CSデジタル000～999ch
	BS／110°CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
		トランスポート	MPEG2 システム
		映像	MPEG2（MP@HL）
		音声	MPEG2 AAC
		限定受信システム	ARIB CASシステム
		受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
		IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
	接続端子		システムケーブル（白）接続端子、システムケーブル（グレー）接続端子、 ビデオ入力4系統4端子、S2映像入力4系統4端子、D4映像入力2系統2端子、 コンポーネント映像入力端子1系統1端子、モニター出力1系統1端子（S2映像付き）、 アナログRGB映像端子（ミニD-sub 15pin）1系統、 PC音声入力端子（3.5φステレオ）1系統、 デジタル音声出力（光）2系統2端子（前面1、後面1）、 アンテナ入力（VHF・UHF）端子、ヘッドホン出力端子、DC出力端子、 AC入力端子、コントロール端子
	BS・110度CSデジタル専用端子		i.LINK2端子、BS/CS出力1系統1端子（S2映像付き）、電話回線端子、 ビデオコントロール端子、アンテナ入力（BS・110度CS）端子
	使用電源		AC100V・50/60Hz
	消費電力		44W
	待機電力		0.4W
	寸法		幅430mm×奥行250mm×高さ95mm
	本体質量		約5.0kg（本体のみ）
使用温度			0℃～40℃
年間消費電力量			268kWh／年

■年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（約4.5時間／日）を基準に算出した1年間に使用する電力量です。
■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■高調波ガイドライン適合品

別売品について

■液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-37AG1
2	アンテナ整合器	AN-300RF
3	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF
4	AVワイヤレス伝送システム	AN-AV400
5	AVデジタルワイヤレス伝送システム	AN-SS700
6	システムラック	AN-28SR1
7	システムケーブル（7m）	AN-07SC1

（2002年11月現在）

- 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

用語の解説 （よく使われるテレビ用語です）

■ 16：9

BSデジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i

走査線525本、インターレース方式。地上放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（→ MPEG2 AAC）

■ B-CAS カード（ビーキャスカード）

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110°CSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BS デジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ 110°CS デジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110°に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。放送サービスは「プラットワン」と「スカイパーフェクTV！2」の2つのプラットフォーム（運営会社）によって提供され、BSデジタル放送と同じく、テレビ、ラジオ、データのチャンネルがあります。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり(本機はD4に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG(Electronic Program Guide)

BS／110°CSデジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ i.LINK(アイリンク)

i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG(Moving Picture Experts Group)

デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ MPEG2 AAC(MPEG2 Advanced Audio Coding)

MPEG2音声圧縮技術の符号化方式の1つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ NTSC(National Television System Committee)

日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM(Pulse Code Modulation)

アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV(Pay Per View)

「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像

セパレート(S)映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

次ページへつづく

用語の解説(つづき)

■ インターレース(飛び越し走査)
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlace)を表します。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ
BS／110°CSデジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ ハイビジョン放送
BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。現行の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、BSデジタルハイビジョン放送は750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ ワイドクリアビジョン放送
地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

索引

次ページへつづく

索引（つづき）

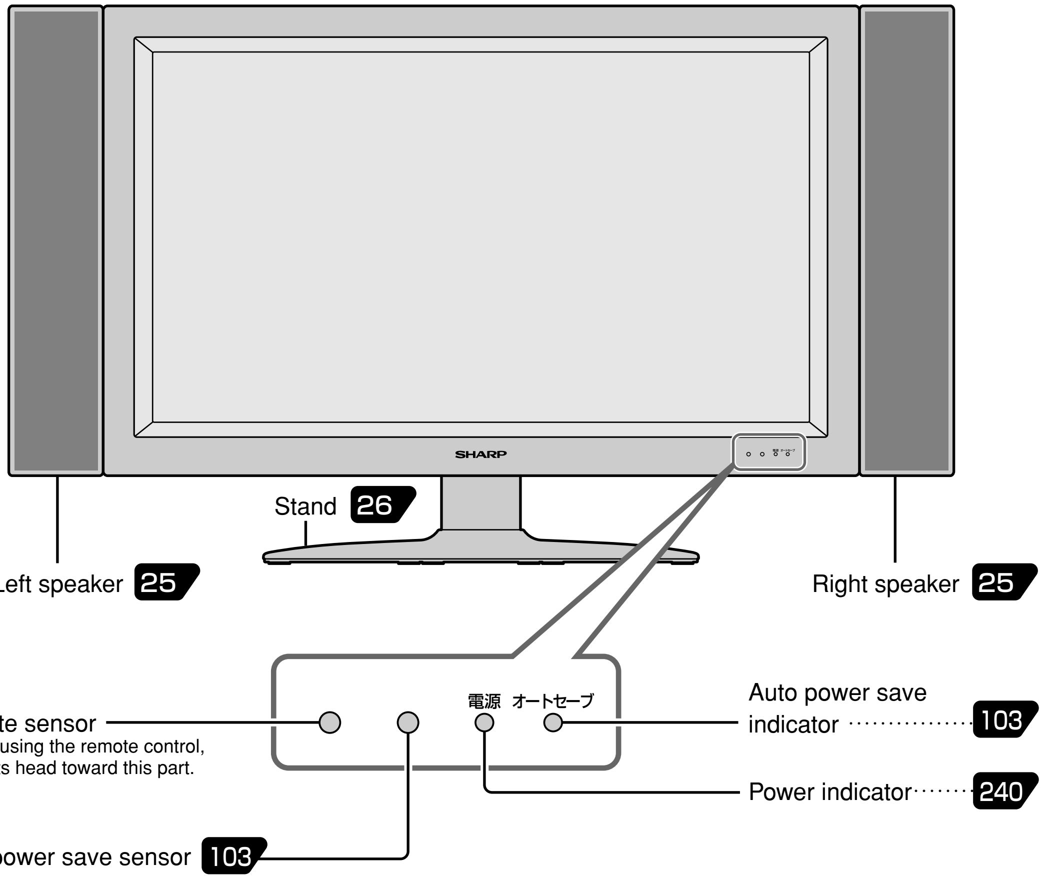
Quick Start Guide

Part Names

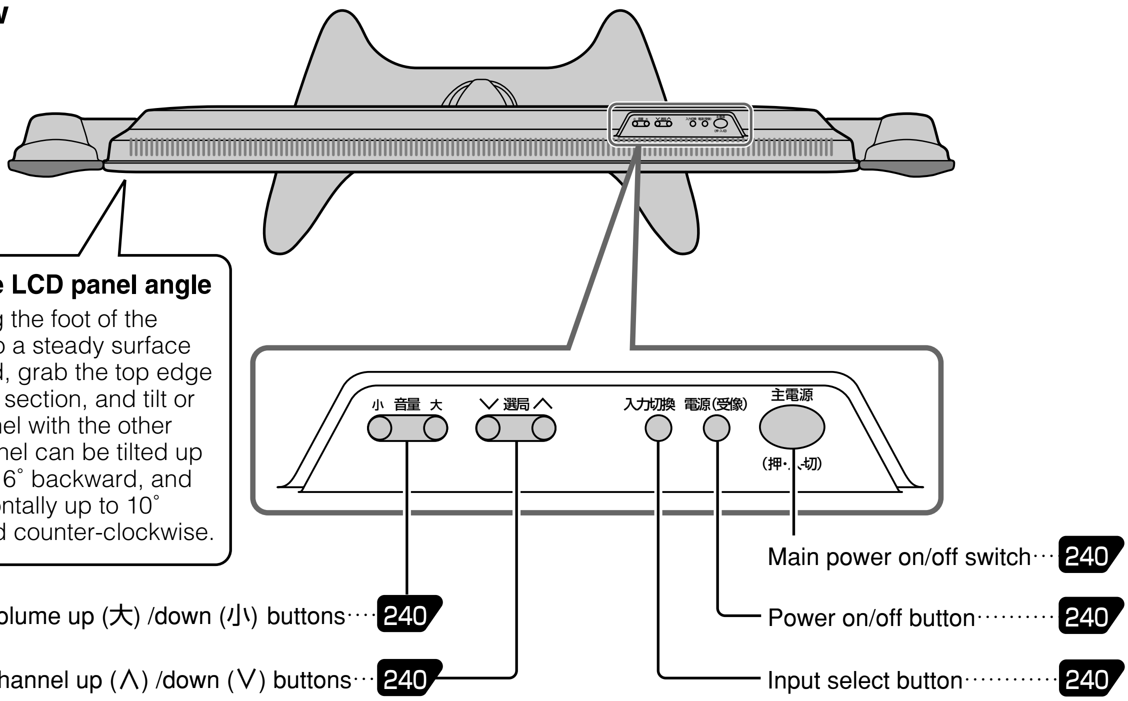
■ The number shown in each [page-number mark] is the page number where the part's function and/or use are explained either in English or Japanese.

Display Unit

Front view



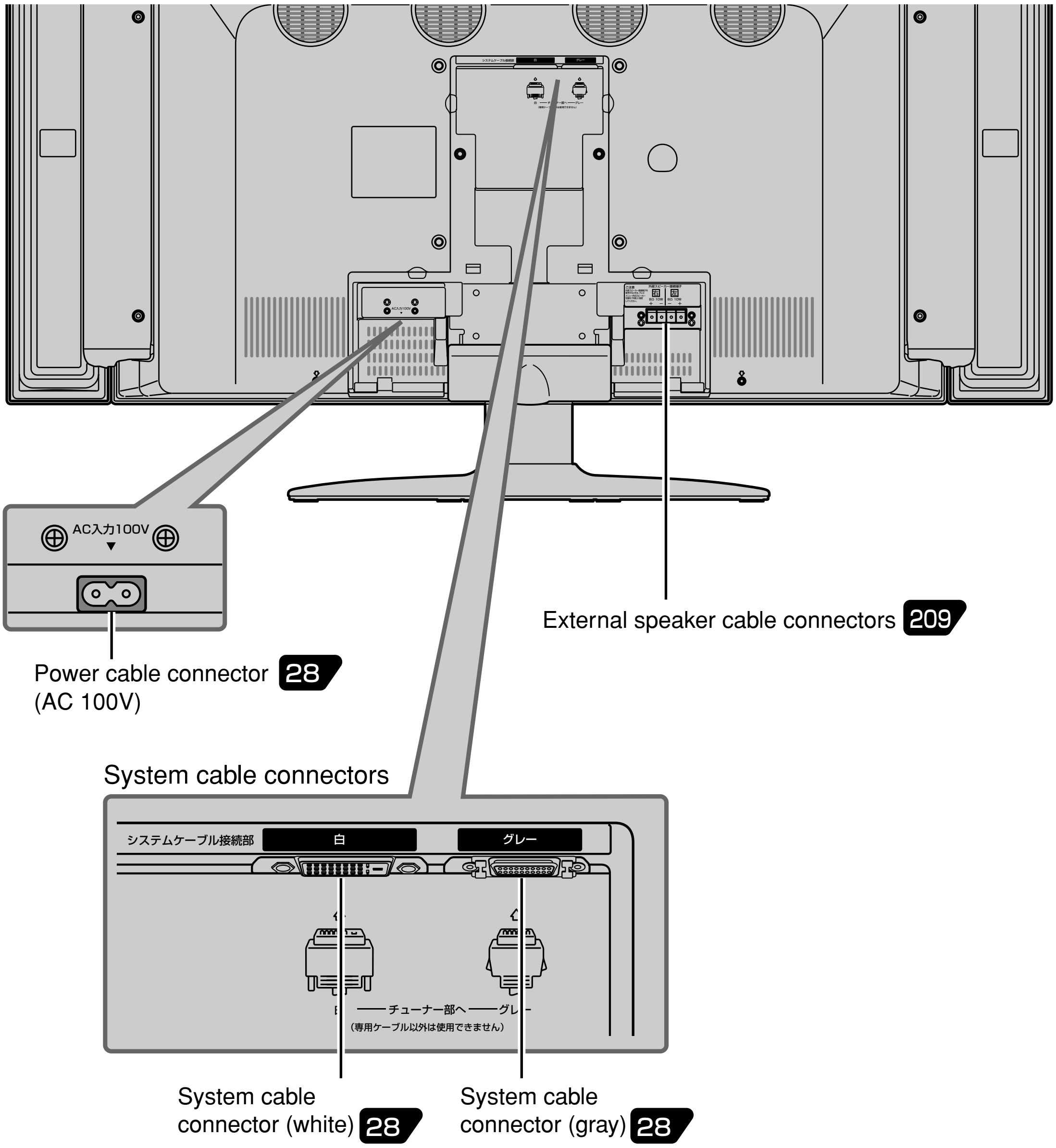
Top view



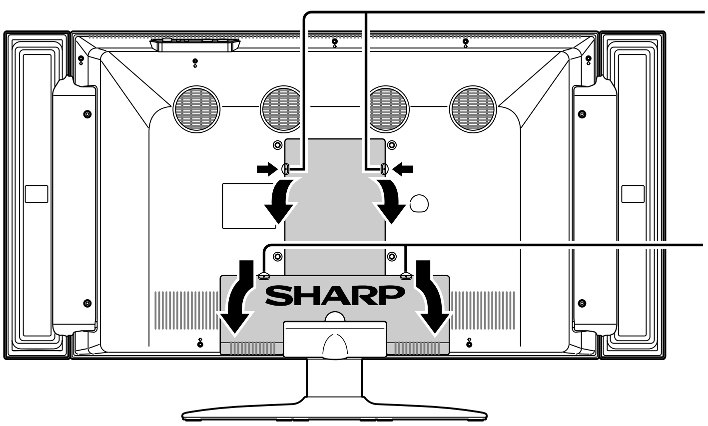
Adjusting the LCD panel angle

- Firmly holding the foot of the stand down to a steady surface with one hand, grab the top edge of the display section, and tilt or rotate the panel with the other hand. The panel can be tilted up to 4° forward, 6° backward, and rotated horizontally up to 10° clockwise and counter-clockwise.

Rear view



Opening the terminal covers



Holding the two locks at the left and right edges of the cover toward the center, pull the cover off the back of the display unit.

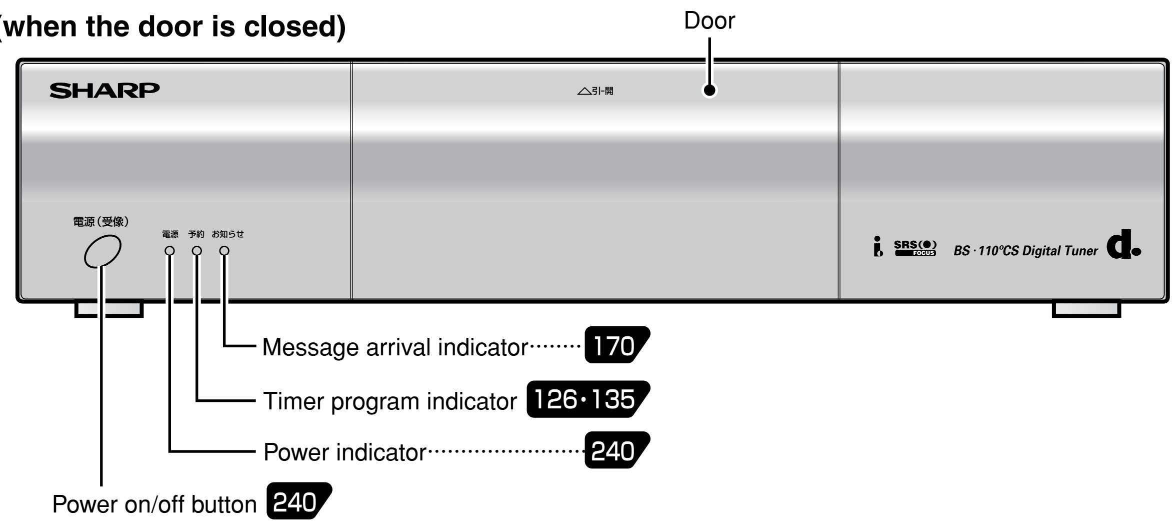
Holding the two locks at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the display unit.

Quick Start Guide

Part Names

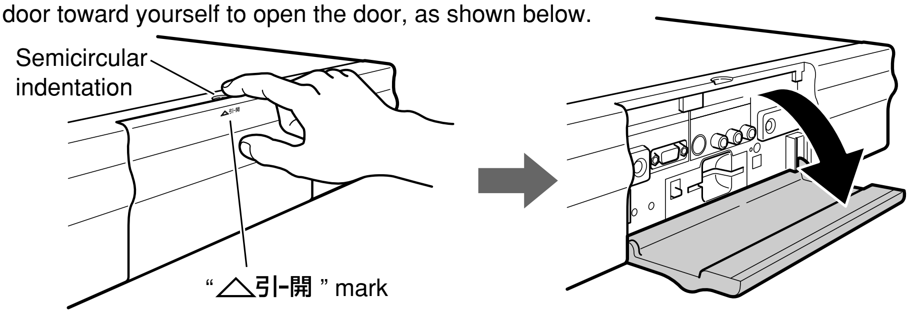
Tuner Unit

Front view
(when the door is closed)

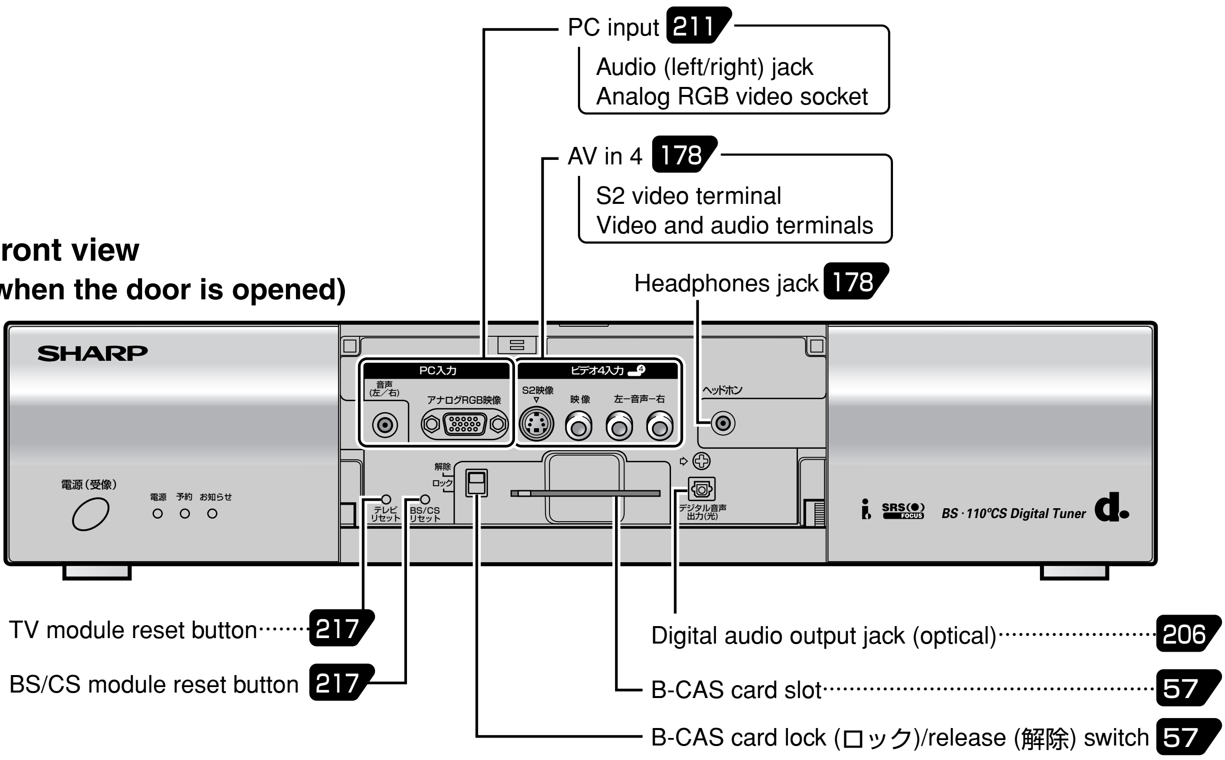


Opening the door

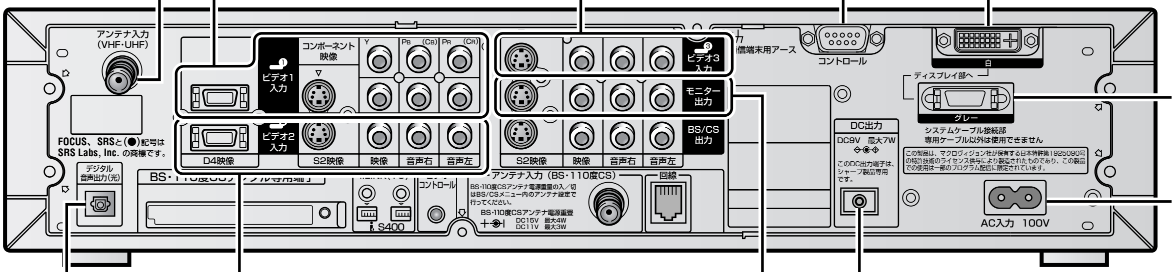
- Using the semicircular indentation above the " △引-開 " mark, pull the top edge of the door toward yourself to open the door, as shown below.



Front view
(when the door is opened)



Rear view



VHF/UHF antenna connector 30

AV in 1 178
- D4 video terminal
- Component video terminal
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

AV in 3 178
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

PC control terminal 214

System cable connector (white) 28

System cable connector (gray) 28

Power cable connector (AC 100V) 28

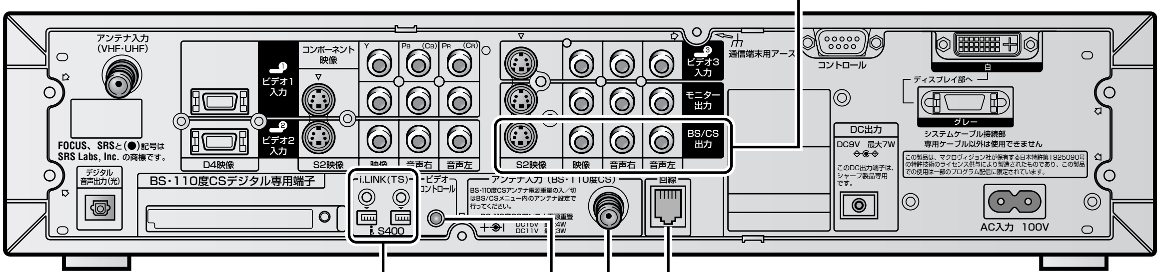
AV in 2 178
- D4 video terminal
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

DC output jack
- This jack outputs DC 9V power. Use the supplied DC power cable to connect Sharp's AV digital wireless transmission system (sold seperately) to this jack. (As of Nov. 2002)
  Use this jack with optional accessories specified by Sharp only.

Digital audio output jack (optical) 206

Monitor output 178
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

Rear view (BS/CS 110 digital-related terminals)



BS/CS output 182
- S2 video terminal
- Video and audio terminals

i.LINK (TS) jacks 195

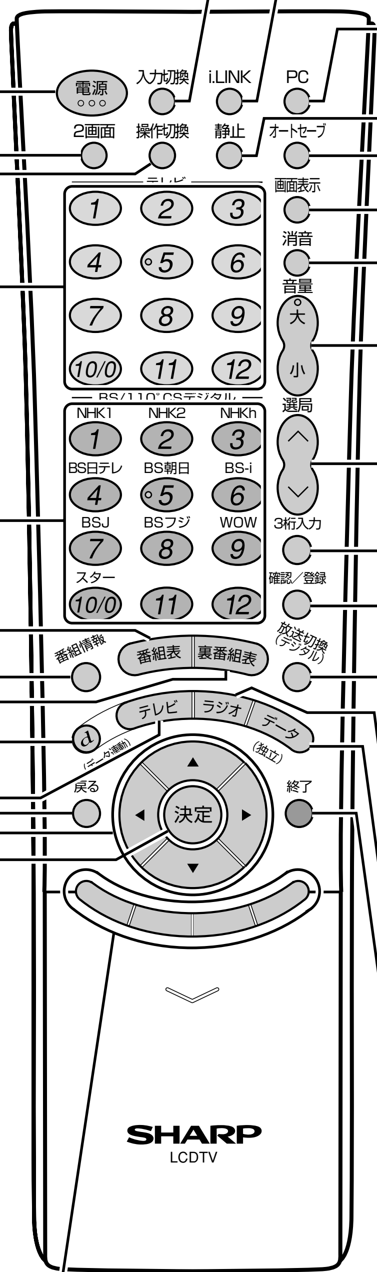
Telephone line jack······················ 54

BS/CS 110 antenna connector 31

VCR controller connector········· 184

Part Names

Remote Control



Power on/off·················· 240·241
Press to engage the TV set in the active mode or the standby mode.

Split screen··························· 75
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

Operatable screen················· 76
Press to switch the operatable screen (screen with the "♪" mark in the channel number display) when the TV is in the split screen mode.

TV channel select············ 241·37
- Press to select a regular TV (VHF, UHF) or CATV channel.
- Use to input the area number for channel setting.

BS/CS 110 channel select························ 242·69·147
- Press to select a BS/CS 110 channel.
- Use to input a number for various settings.

EPG·································· 118
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving BS/CS 110 broadcast.

Program information················ 244
Press to display the information (e.g. title, genre, on-air time, cast, writer, etc.) on the currently received program.

Other on-air programs············ 123
Press to display the EPG for the other currently broadcast programs (裏番組表).

d (linked data)························ 244
Press to call data broadcast linked with the currently received BS/CS 110 TV or radio program.

TV·· 242
Press to select BS/CS 110 TV broadcast.

Return································ 50·70
Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you have selected the wrong item or input the wrong number, etc.

Cursor (Up, Down, Left, Right)
······························ 242·50·70
Use to select a menu item, column, etc.

Enter/Confirm············ 242·50·70
Press to confirm a selected setting or menu item.

Color (Blue, Red, Green, Yellow)
······································ 242·118
Use to operate the BS/CS 110 EPG or data program screens.

Input select································ 180
Each time you press the button, the input mode changes as follows:

TV → AV in 1 (ビデオ1) → AV in 2 (ビデオ2) → AV in 3 (ビデオ3) → AV in 4 (ビデオ4) → i.LINK → PC → TV

* The AV in 1, 2, 3, or 4 mode is only selectable when the corresponding video input terminal is used.

i.LINK······································ 202
- Press to display or turn off the D-VHS VCR (i.LINK) control panel.
- Press to select the i.LINK mode.

PC··· 80
Press to select the PC mode.
(The PC mode screen is displayed.)

Freeze······································ 77
Press to freeze the picture. A frozen image and a moving picture are displayed simultaneously on split screens.

Power save mode······················ 103
Press to select the desired power-saving mode.

Display····································· 241
Press to display or turn off the channel call, etc.

Mute·· 241
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

Volume up (大)/down (小)·········· 241
Press to adjust the sound volume.

Channel up (∧)/down (∨) 241·242
Press to select next higher or lower channel.
* CATV channels are factory set to be skipped.

Channel number input··············· 242
When selecting a BS/CS 110 channel by entering the 3-digit channel number, press this button first, then enter the number with the BS/CS 110 channel select buttons (1-10/0).

Preset channel table/Set··· 116·144
Press to display the preset BS/CS 110 channel table/new channel set screen.

Network select·························· 242
Press to select the desired digital broadcast network (BS, CS1, or CS2).

Radio·· 242
Press to select BS/CS 110 radio broadcast.

Data··· 242
Press to select BS/CS 110 independent data broadcast.

End································ 50·118
Press to end the split screen mode or picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Inside the sliding cover

TV/PC menu············· **102·50**
Press to display or turn off the TV/PC menu screen.
The TV/PC menus can be displayed in English.
See page 102 for instructions on how to switch menu languages.

BS/CS 110-related buttons

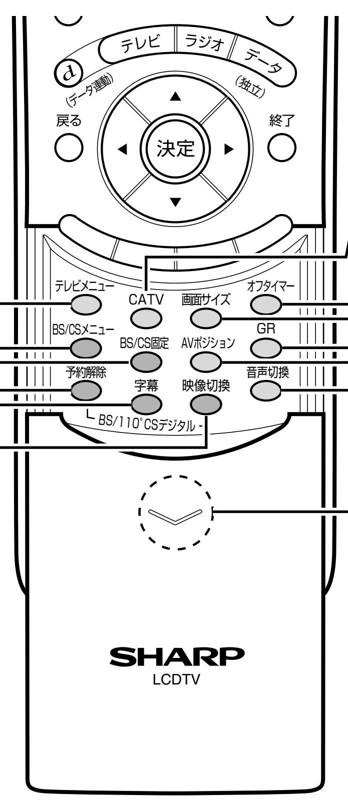
BS/CS menu····················· **70**
Press to display or turn off the BS/CS 110 menu screen.

BS/CS channel fix············ **183**
Press to fix BS/CS channel selection to the currently received BS/CS channel so that no other BS/CS channel can be selected. Use this feature when you want to watch a regular TV (VHF, UHF) or CATV channel while recording a BS/CS 110 program.

Timer recording cancel····· **137**
Press to cancel an on-going timer recording.

Subtitles··················· **244·146**
Press to display or turn off subtitles when watching a BS/CS 110 program with subtitles.

Picture select··················· **244**
Press to select the desired picture when receiving a BS/CS 110 multi-picture program.



CATV························· **241**
When selecting a CATV channel by entering the channel number, press this button first, then enter the 2-digit number with the TV channel select buttons (1-10/0).

Sleep timer················· **99**
Press to select the desired remaining time period after which the TV set automatically turns off and enters the standby mode.

Screen mode······· **73·74**
Press to select the desired screen mode from 4 choices: normal, wide, full, or cinema (when the TV/video input mode is selected.)

GR······························ **97**
Press to activate or deactivate the ghost reduction function.

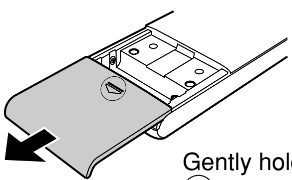
Picture/sound setting··· **88**
Press to select the picture/sound setting (standard, dynamic, cinema, game, or AV memory) that best matches the currently received program.

Sound select········ **94·115**
Press to select the desired sound (e.g. Japanese or English in bilingual broadcast, the main sound or a sub sound in BS/CS multi-sound broadcast, etc.).

To open the cover
- Gently holding down this area with your thumb, slide the cover toward yourself.

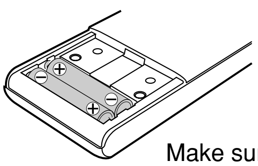
Inserting batteries in the remote control

1 Open the battery compartment cover.



Gently holding down the ⊜-marked area, slide the cover in the direction of the arrow.

2 Insert the supplied two AAA batteries, and close the cover.



Make sure that the terminals match the ⊕ and ⊖ indicators in the battery compartment.

Cautions regarding the remote control
- Do not expose the remote control to shock, water, or high humidity.
- The remote sensor on the display unit may not properly receive remote control signals when the display unit is under direct sunlight or strong lighting. In such a case, change the angle of the lighting or the display unit.

Cautions regarding batteries

CAUTION

Improper use of batteries can result in chemical leakage or explosion. Be sure to follow the instructions below.
- Do not mix batteries of different types.
- Do not mix old and new batteries.
- Do not try to charge or disassemble batteries.
- Place the batteries with their terminals corresponding to the ⊕ and ⊖ indicators.
- Do not short-circuit batteries.

Note
- The supplied batteries may have a shorter life expectancy due to storage conditions. Replace them with new ones before they are depleted.
- Remove the batteries from the remote control, if you will not use it for a long time.
- If, after replacing batteries, the remote control does not work, make sure the new batteries are placed in the right direction.

Quick Start Guide

Basic Operations

Shown on this and the next pages are the basic operations for watching regular TV (VHF, UHF) and CATV channels.

Turning the power on

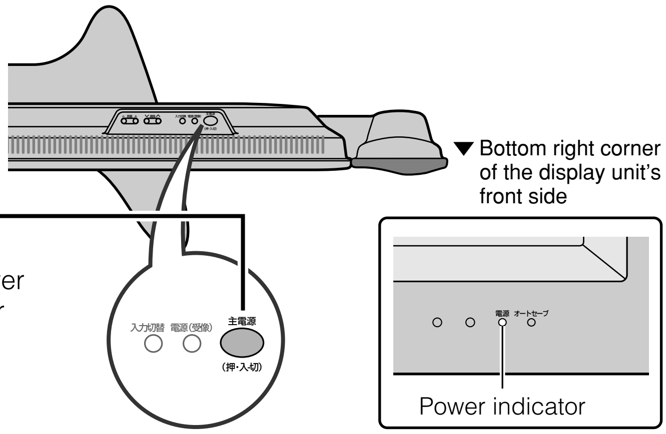
❶ Press the main power switch to turn on the power.

- The TV set enters the standby mode (with the power indicator lit red) or the active mode (with the power indicator lit green).

  Standby mode ☞ Go to step ❷.
  Active mode ☞ Go to step ❸.

▼ Top of the display unit

▼ Bottom right corner of the display unit's front side

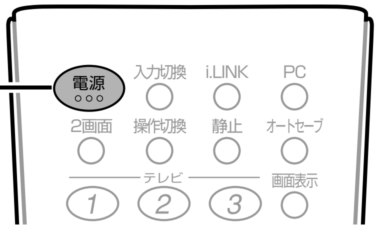


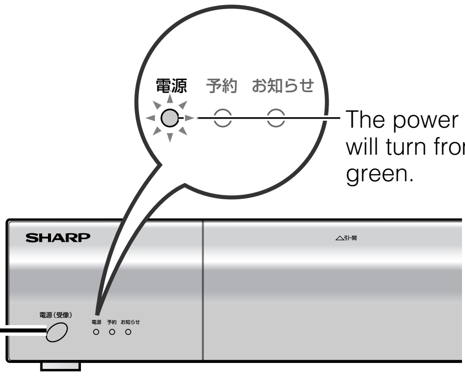
- When the power indicator flashes in red, check the system cable connection and the power cable connection to the tuner unit.

❷ Engage the TV set in the active mode by performing ①, ②, or ③ shown below.

① Press the power on/off button on the remote control.
② Press the power on/off button on the display unit.
③ Press the power on/off button on the tuner unit.

▼ Remote control

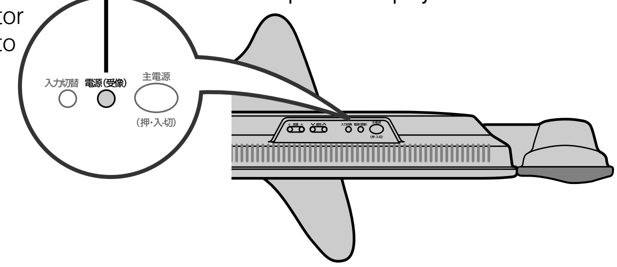




The power indicator will turn from red to green.

Tuner unit ▶

▼ Top of the display unit

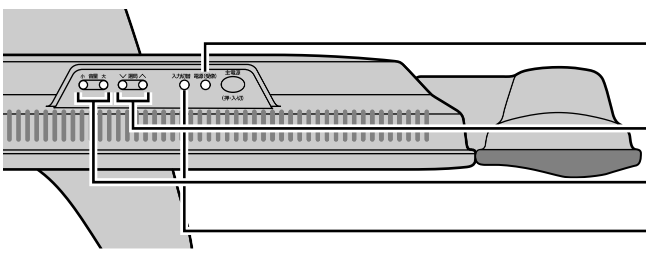


Note

Power supply and power cable connection

- The tuner unit communicates with BS/CS 110 broadcasting stations even when it is in the standby mode.
- Normally keep the power cables plugged into wall outlets even when the TV set is not in use.
- Do not disconnect the power cable from the wall outlet immediately after it has been plugged in. In rare cases, the tuner unit's memory will be initialized causing timer programs, the PPV program purchase history, etc., to be erased. If this happens, perform all necessary settings again.
- Do not unplug the power cable or shut off the power supply when the TV set is in use. This may damage the data stored in the built-in memory.

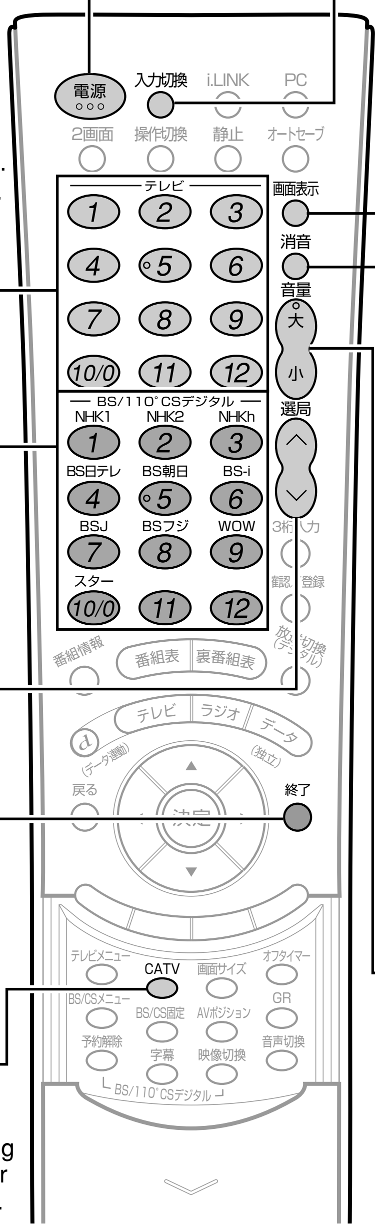
▼ Control section on the top of the display unit



Control buttons on the display unit

❷ Press to engage the TV set in the active mode or the standby mode.
❸ Press to select the desired channel.
❹ Press to adjust the sound volume.
Press to select the desired input mode.

Selecting a channel, adjusting the sound volume, etc.



Press to engage the TV set in the active mode or the standby mode.

Active mode: The power indicator lights green.
Standby mode: The power indicator lights red.

❸ Select the desired channel.

TV (VHF, UHF, CATV) channel select buttons

BS/CS 110 channel select buttons

See pages 242–244, and 107–176 for BS/CS 110 digital broadcast-related operations.

Press to select the next higher (∧) or lower (∨) channel.

Press to end the current operation.

- Use to end the split screen mode or the picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation.

Use for selecting a CATV channel.

- First, press the CATV button inside the sliding cover, then input the desired channel number using the TV channel select buttons (1-10/0).

Press to select the input mode.

→ TV → AV in 1 → AV in 2 → AV in 3 → AV in 4 → i.LINK → PC → (back to TV)
(ビデオ1) (ビデオ2) (ビデオ3) (ビデオ4)

- The AV in 1, 2, 3, or 4 mode is only selectable when the corresponding video input terminal is used.

Press to display or turn off on-screen indicators such as the currently selected channel number.

Examples:

Terrestrial TV broadcast···
BS digital broadcast·········
CS 110 digital broadcast···
CATV broadcast···············
AV in·································
PC·····································



Press to temporarily turn off the sound.

- Press again to return the sound volume to the previous level.

❹ Adjust the sound volume.

- When the button is pressed, a bar with a number (60 max.) appears at the bottom of the screen showing the current level of sound volume.



Note

Preset channels

- The tuner unit is factory preset to receive VHF channels 1 to 12 and BS/CS 110 channels. See pages 34 through 49 if you wish to receive UHF broadcast or change the VHF channel setting.

CATV broadcast reception

- CATV channels can only be received in areas where CATV broadcasting services are available.
- To receive CATV broadcast, you need to subscribe to your local CATV station and register your TV with that station. To watch (and record) charged, scrambled programs, you need to connect a home terminal adapter to the tuner unit. For further details, consult with your local CATV service provider.
- Before using the channel up (∧)/down (∨) buttons for CATV channel selection, select the desired CATV channel and perform individual channel setting (see page 42).
- The TV set allows you to select CATV channels C13 through C63.

No-signal-power-off feature

- If “Able” is selected for “No Signal Off” (see page 105), the TV set will turn off and enter the standby mode with the power indicator turning red approximately 15 minutes after the service day for the selected channel is over. (This function may not work properly when the TV set is receiving a weak signal from another channel or some other wave.)
- This function works the same way when an AV input is selected.
- This function does not work when the TV set is receiving BS/CS 110 broadcast or in the i.LINK input mode.

Quick Start Guide

Enjoying BS/CS 110 Digital Broadcast

Selecting a BS/CS 110 Program

1 Select the desired digital broadcast network

The tuner unit incorporates a digital tuner that allows you to receive BS/CS 110 digital broadcast networks—BS, CS1, and CS2. What you do first is to select the network of your choice.

Press 放送切換 (デジタル) to select the desired network.

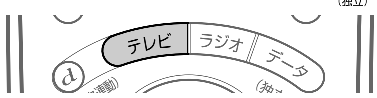
- Each time you press the button, the network changes in the following order.

BS (BS digital) → CS1 (PLAT-ONE) → CS2 (SKY PerfecTV!2) → BS (BS digital)

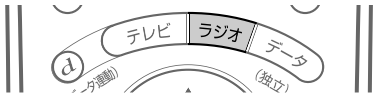
2 Select the type of broadcast (Not necessary when selecting a channel by entering the channel number.)

Both the BS and CS 110 digital broadcasts offer not only TV programs but also radio and data programs. After you have selected the network of your choice in step 1 above, what you do next is to select the type of broadcast—TV, radio, or data, by pressing テレビ (TV), ラジオ (radio), or データ (独立) (data).

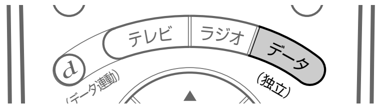
1) To select TV broadcast··········Press テレビ (TV).
➡ A TV channel is selected.



2) To select radio broadcast······Press ラジオ (radio).
➡ A radio channel is selected.



3) To select data broadcast·······Press データ (独立) (data).
➡ A data channel is selected.



Operating a data program screen

Data programs usually display control button and item graphics on the screen. Use ▲ ▼ ◀ ▶ cursor buttons and 決定 (enter/confirm) as well as color buttons (Blue Red Green Yellow) to select an item, confirm your choice, or switch screens back and forth, etc.

3 Select the desired channel

① **Using the BS/CS 110 channel select buttons**

The BS/CS 110 channel select buttons are factory preset to receive the channels listed in the tables shown on the next page.

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, all you do now is press one of the BS/CS 110 channel select buttons 1 (NHK1) - 12 to directly select the channel of your choice.

② **Selecting a channel by entering the 3-digit channel number** (Ex. Selecting a BS channel)

Press 3桁入力 (channel number input). "BS---" is displayed in the top right corner of the screen. Enter the channel number using the BS/CS 110 channel select buttons (1-10/0).

Ex. Press 1 (NHK1) → 4 (BS日テレ) → 1 (NHK1) to select BS Nippon.

As you press the third button, 1 (NHK1), a BS Nippon program will be displayed on the screen.

③ **Using 選局 (channel up/down)**

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, press the ∧ or ∨ side of 選局 (channel up/down) to select the next higher or lower channel.

Factory Preset BS, CS1 and CS2 Channels

BS (BS digital) channels

BS/CS 110 channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1 NHK1	NHK BS1	101	BSC300	300	Megaport	900
2 NHK2	NHK BS2	102	Music Bird	316	Weathernews	910
3 NHKh	NHK Hi-Vision	103	JFN 1	320	Digicas 933	933
4 BS日テレ	BS Nippon	141	St. GIGA	333	NDB 940	940
5 BS朝日	BS Asahi	151	BS Nippon Radio 1	444	BS955-5	955
6 BS-i	BS-i	161	BSA Radio 455	455	Tivi! 963	963
7 BSJ	BS Japan	171	BS-i Radio	461	ch999	999
8 BSフジ	BS Fuji	181	BSJ 471	471	—	—
9 WOW	WOWOW	191	LFX488	488	—	—
10/0 スター	Star Channel	200	BSQR489	489	—	—
11	—	—	WOWOW WAVE 1	491	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS1 (PLAT-ONE) channels

BS/CS 110 channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1 NHK1	Promo Channel	001	Sound Terior	700	Data College	010
2 NHK2	G+SPORTS & NEWS	004	Healing Terior	701	CS JAPAN	011
3 NHKh	NNN24	005	Light Classical Terior	702	WOWOW PPV NAVI	090
4 BS日テレ	DENPA SHONEN	006	Screen Terior	703	Oh ATARI ch	900
5 BS朝日	Bloomberg Television	007	String Ensemble Terior	704	Oh TAKARA ch	901
6 BS-i	MUSIC JAPAN TV PLUS	008	Café Music Terior	705	CS Education TV	902
7 BSJ	Momma TV Science	009	Swing Terior	706	Ge-chan	909
8 BSフジ	ep PLAZA	055	Fusion Terior	707	Hello Tivi!	963
9 WOW	ep056	056	Country & Western Terior	708	SPORTS Tivi!	966
10/0 スター	BBTV	085	Latin & Brazilian Terior	709	NEWS Tivi!	967
11	Belle Maison	088	Borderless Music Terior	710	Shopping TV	998
12	WOWOW PPV1	091	R & B Soul Terior	711	Culture TV	999

CS2 (SKY PerfecTV!2) channels

BS/CS 110 channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1 NHK1	Promo Channel	100	—	—	110 PORTAL	110
2 NHK2	C-TBS Welcome Channel	160	—	—	CS Movie Channel	123
3 NHKh	SHOP CHANNEL	177	—	—	TAMAGOTOJI	168
4 BS日テレ	FUJITV739	182	—	—	TAMAGOTOJI	169
5 BS朝日	AQ STATION	194	—	—	TAKARAZUKA SKY STAGE	190
6 BS-i	THE GOLF CHANNEL	211	—	—	AQ DATA CHANNEL	196
7 BSJ	Japanese Movie Ch.	220	—	—	MU-mmmHA	501
8 BSフジ	Super Channel	230	—	—	MU-mmmHA	512
9 WOW	CS NOW	235	—	—	—	—
10/0 スター	ACTIVE SPORTS CHANNEL	250	—	—	—	—
11	TAKARAZUKA SKY STAGE	290	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—

Note

- There is no channel plan for CS2 (SKY PerfecTV!2) radio broadcast as of November 2002.
- The channel plans listed above are those known as of November 2002, and subject to change in the future.

Enjoying BS/CS 110 Digital Broadcast

Enjoying other services

BS/CS 110 digital broadcasting stations offer various services which take advantage of digital technologies that allow far more data volume to be transmitted within a single channel than the traditional ground-based or analog satellite TV broadcast. These services include programs with multiple pictures and sounds, program-linked data broadcast in which program-related information is provided with still images and texts.

Press 番組情報 (program information) to display the currently selected program information.

(Example: BS digital program)



① " *d* " indicates that the program has linked data broadcast.

② " Picture " indicates that the program has multiple pictures.

③ " Audio " indicates that the program has multiple sounds.

④ " Subtl " indicates that the program has multiple subtitles.

Selecting the desired service

①When " *d* " is displayed ················· Press (データ連動) (linked data).

➡ A linked data screen will be displayed, usually with a small window showing the program that has been being watched.

②When " Picture " is displayed ······ Press 映像切換 (picture select) inside the sliding cover.

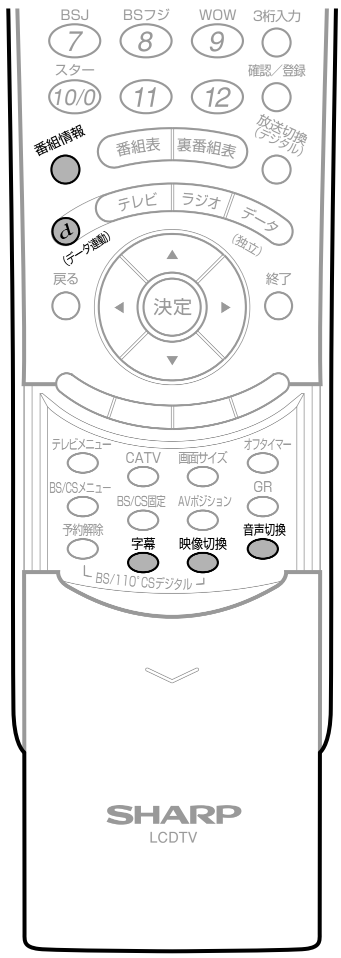
- Press the button until the desired picture is displayed.

③When " Audio " is displayed ······ Press 音声切換 (sound select) inside the sliding cover.

- Press the button until the desired sound is selected.

④When " Subtl " is displayed ······· Press 字幕 (subtitles) inside the sliding cover to display subtitles.

- Press the button again to turn off the subtitles, or select other subtitles.



● 製品についてのお問合せは…		
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**
≪受付時間≫ 月曜〜土曜：午前9時〜午後6時 日曜・祝日：午前10時〜午後5時（年末年始を除く）		

● 修理のご相談は…	**225**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ	**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-A390WJZZ
02J K/K①